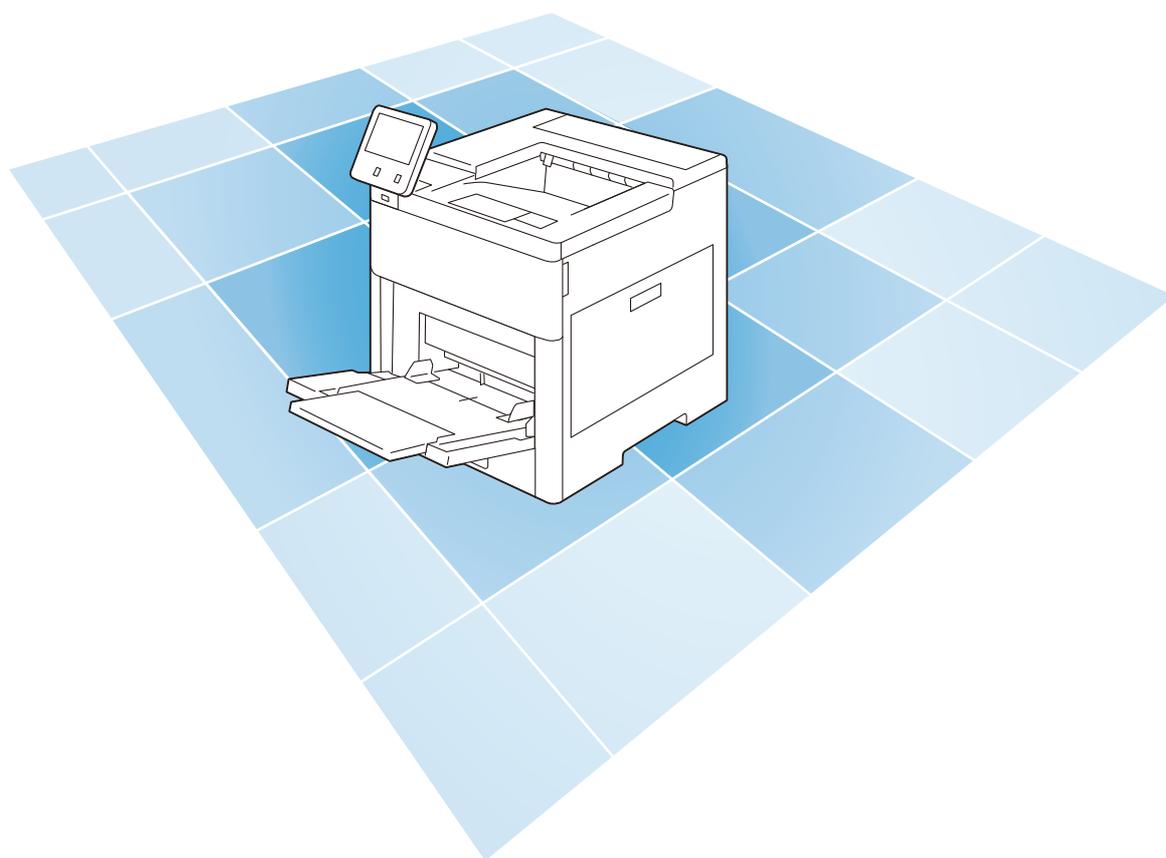


# Color MultiWriter 7700C ユーザーズガイド



NEC、および NEC ロゴは、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

Adobe、および PostScript は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

Microsoft、Active Directory、Azure、Windows、Windows Server、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple, Bonjour, iPad, iPhone, Mac, macOS, OS X, and AirPrint are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

RSA および BSAFE は、EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

MULTIWRITER、ApeosWare、DocuWorks、および TrustMarkingBasic は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

万一、本体の補助記憶装置に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータなどが消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ・ このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ・ このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

# 目次

<b>1</b>	<b>お使いいただく前に</b> .....	<b>11</b>
	はじめに .....	12
	本書の使い方 .....	13
	本書の構成 .....	13
	本書の表記 .....	14
	<b>本機のセキュリティ設定</b> .....	<b>15</b>
	<b>各部の名称と働き</b> .....	<b>16</b>
	本体 .....	16
	操作パネル .....	18
	<b>本機で使用している記号</b> .....	<b>19</b>
	<b>ライセンス</b> .....	<b>20</b>
<b>2</b>	<b>本機のセットアップ</b> .....	<b>21</b>
	<b>電源について</b> .....	<b>22</b>
	電源を入れる .....	22
	初期情報を設定する .....	22
	電源を切る .....	23
	リモート操作で電源を切る .....	23
	<b>本機をコンピューターに接続する</b> .....	<b>24</b>
	有線 LAN で接続する .....	24
	USB で接続する .....	24
	無線 LAN で接続する .....	25
	IP アドレスを設定する .....	25
	Windows 用のソフトウェアをインストールする .....	27
	Mac 用のソフトウェアをインストールする .....	30
	Linux 用のソフトウェアをインストールする .....	30
	<b>WiFi アダプターの接続</b> .....	<b>31</b>
	本機とモバイル機器との接続方法 .....	31
	WiFi アダプターの取り付け・取り外し .....	32
	Wi-Fi で接続する .....	35
	Wi-Fi Direct で接続する .....	42
	Wi-Fi Direct の接続を切断する .....	46
	<b>メール機能の設定</b> .....	<b>47</b>
<b>3</b>	<b>本機の基本操作</b> .....	<b>49</b>
	<b>節電機能について</b> .....	<b>50</b>
	節電状態に移行する .....	50
	節電状態から復帰する .....	50
	<b>暖機モードについて</b> .....	<b>52</b>
	暖機モード動作を設定する .....	52

<b>タッチパネルディスプレイについて</b> .....	<b>53</b>
ホーム画面の説明.....	53
基本の操作方法.....	56
共通の操作ボタンの説明.....	58
文字の入力方法.....	59
<b>認証モードへのログイン</b> .....	<b>60</b>
タッチパネルディスプレイで認証モードにログインする.....	60
IC カード利用時に認証モードにログインする.....	60
<b>カスタマイズ機能について</b> .....	<b>61</b>
ホーム画面のカスタマイズ.....	61
機能リストのカスタマイズ.....	62
<b>CentreWare Internet Services を使う</b> .....	<b>65</b>
Web ブラウザーの設定.....	65
CentreWare Internet Services を起動する.....	66
認証モードへのログイン.....	67
<b>用紙をセットする</b> .....	<b>68</b>
弊社が推奨する用紙.....	68
使用できる用紙.....	68
使用できない用紙.....	71
用紙の保管と取り扱い.....	71
用紙トレイ 1～4 に用紙をセットする.....	72
手差しトレイに用紙をセットする.....	74
はがき、往復はがきをセットする.....	75
封筒をセットする.....	76
A5 対應用紙ガイド（オプション）を使用する.....	78
用紙の設定を変更する.....	79
<b>4 プリント</b> .....	<b>81</b>
<b>機能の紹介</b> .....	<b>82</b>
最新ソフトウェアの入手方法について.....	82
<b>コンピューターからの指示でプリント</b> .....	<b>83</b>
プリンタードライバを使ってプリント.....	83
メールに添付した文書をプリント（メール受信プリント）.....	83
CentreWare Internet Services を使ってプリント.....	85
<b>本機に蓄積したデータのプリント</b> .....	<b>86</b>
サンプルプリント.....	86
時刻指定プリント.....	87
セキュリティープリント.....	88
認証プリント.....	88
プライベートプリント.....	90
<b>USB メモリーに保存されたデータのプリント</b> .....	<b>91</b>
文書プリント.....	92
デジカメプリント.....	93
USB メモリーの取り外し.....	93
機能リスト.....	94
<b>その他のプリントサービス</b> .....	<b>95</b>

モバイル機器からのプリント .....	95
AirPrint .....	96
Google クラウドプリント .....	98
<b>5 ジョブ情報 .....</b>	<b>101</b>
ジョブ情報の概要 .....	102
実行完了 / 実行中 / 実行待ちジョブの確認 .....	103
実行中 / 実行待ちジョブの中止 .....	104
実行待ちジョブを優先実行 .....	105
実行待ちジョブのプリント .....	106
<b>6 基本設定 .....</b>	<b>107</b>
概要 .....	108
[言語切り替え] .....	109
[キーボード] .....	109
[ホームに [言語切り替え] ボタンを表示] .....	109
[機械確認 / レポート] .....	110
[機械構成] .....	110
[ソフトウェアバージョン] .....	110
[無線 LAN の接続状態] .....	110
[レポート / リストの出力] .....	110
[通知] .....	113
[用紙トレイ] .....	114
[共通設定] .....	114
[消耗品確認] .....	118
[メーター確認] .....	119
[ユーザー別メーター確認] .....	120
[機能別カウンターのリセット] .....	120
[保守] .....	121
[保守レポートの出力] .....	121
[初期設定項目] .....	122
[ソフトウェアオプションの設定] .....	122
[ソフトウェアオプションの設定 -USB] .....	122
[機械起動時のプログラム診断] .....	122
[IC カード情報の確認] .....	122
[証明書の一括削除 / 初期化] .....	123
[カスタムトナー / ドラム] .....	123
[画質調整] .....	123
[機械の詳細設定] .....	123
[標高設定] .....	123
[定着温度調整] .....	123
[濃度補正] .....	124
[ブロッキング対策] .....	124
[コート紙の印刷モード] .....	124
[現像器と転写ユニットのクリーニング] .....	124
[目標濃度の設定] .....	124

[トナーリフレッシュ]	124
[転写ベルトクリーニング]	124
[1 次転写電流オフセット調整]	124
[カラーレジ補正]	124
[転写出力調整]	125

## 7 詳細設定 ..... 127

概要	128
----	-----

[システム設定]	129
----------	-----

[システム時計 / タイマー設定]	129
[節電モードの設定]	130
[音の設定]	131
[画面の設定]	132
[レポート設定]	134
[強制アノテーション]	134
[UUID 印字]	135
[プラグイン設定]	136
[その他の設定]	136

[アプリ設定]	139
---------	-----

[プリンター設定]	139
[ジョブ情報設定]	145

[ネットワーク設定]	146
------------	-----

[ポート設定]	146
[無線 LAN 設定]	150
[プロトコル設定]	150
[本体メールアドレス / ホスト名]	152
[プロキシサーバー一覧]	153
[メール送受信設定]	154
[外部認証サーバー設定]	155
[セキュリティ設定]	158
[Google クラウドプリント登録]	162
[その他の設定]	162

[認証 / 集計管理]	163
-------------	-----

[ユーザー情報の設定]	163
[集計管理]	163
[認証・セキュリティ設定]	166

[監査ログ設定]	174
----------	-----

[リセット]	175
--------	-----

[IPsec と 802.1x の設定をリセット]	175
[フォントとフォーム、マクロを消去]	175
[工場出荷時の設定に戻す]	175

## 8 暗号化と署名機能の設定 ..... 177

暗号化と署名機能の概要	178
-------------	-----

証明書の種類	178
証明書の状態	179
通信の暗号化機能	179

HTTP の通信を暗号化するための設定 .....	181
Step1 証明書の準備 .....	181
Step2 証明書の設定 .....	182
Step3 コンピューターから本機へのアクセス方法 .....	182
IPsec を使用して暗号化するための設定 .....	183
Step1 証明書の準備 .....	183
Step2 IPsec の設定 .....	184
Step3 通信先機器の設定 .....	184
<b>9 認証と集計管理機能について .....</b>	<b>185</b>
<b>認証機能と集計管理機能の概要 .....</b>	<b>186</b>
ユーザーの種類について .....	186
管理の権限と権限グループについて .....	186
利用制限について .....	187
認証の種類について .....	187
集計管理機能について .....	188
<b>認証機能を使ったサービスの利用制限 .....</b>	<b>190</b>
利用制限できるサービス .....	190
認証モードと集計管理モードの組み合わせ .....	190
<b>ユーザー認証機能を有効にする .....</b>	<b>191</b>
認証方式を設定する .....	191
アクセス制御を設定する .....	191
権限グループを設定する (本体認証) .....	192
ユーザーを登録する (本体認証) .....	193
デフォルト権限グループを設定する (外部認証) .....	194
認証システムを設定する (外部認証) .....	195
外部認証の LDAP サーバーを設定する .....	195
その他の設定事例 (LDAP) .....	197
<b>IC カードリーダー (オプション) で認証するための設定 .....</b>	<b>199</b>
Step1 事前準備 .....	199
Step2 IC カードとパスワードの併用の設定 .....	199
Step3 IC カード使用時の認証解除の設定 .....	199
Step4 IC カード情報の登録 .....	200
Step5 外部認証に LDAP サーバーを使うときの設定 .....	200
<b>集計管理するための設定 .....</b>	<b>201</b>
<b>ユーザー認証の操作 .....</b>	<b>202</b>
登録ユーザーの認証 .....	202
パスワードの変更 .....	202
<b>10 日常の管理 .....</b>	<b>205</b>
<b>消耗品を交換する .....</b>	<b>206</b>
トナーカートリッジを交換する .....	208
トナー回収ボトルを交換する .....	210
ドラムカートリッジを交換する .....	212
<b>本体を清掃する .....</b>	<b>216</b>
本体外部の清掃 .....	216

本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃 .....	216
色濃度センサーの清掃 .....	218
タッチパネルの清掃.....	219
<b>階調を補正する .....</b>	<b>220</b>
階調補正チャートをプリントする.....	220
濃度設定値を決める.....	221
濃度設定値を入力する .....	223
<b>アライメント調整を行う .....</b>	<b>225</b>
手動アライメント調整 .....	225
<b>転写出力調整 .....</b>	<b>228</b>
転写出力調整の設定.....	228
<b>11 困ったときは.....</b>	<b>229</b>
<b>トラブルを解決する .....</b>	<b>230</b>
<b>機械本体のトラブル .....</b>	<b>231</b>
<b>画質のトラブル .....</b>	<b>234</b>
<b>プリンターのトラブル.....</b>	<b>238</b>
プリントできない.....	238
思ったとおりのプリント結果にならない.....	239
<b>ネットワークのトラブル .....</b>	<b>240</b>
TCP/IP を使用したときのトラブル.....	240
CentreWare Internet Services を使用したときのトラブル .....	240
メール機能のトラブル .....	241
インターネット / イン트라ネット接続のトラブル .....	242
IPv4 または IPv6 接続のトラブル.....	243
<b>文書プリントのトラブル .....</b>	<b>245</b>
<b>デジカメプリントのトラブル .....</b>	<b>246</b>
<b>メール受信プリントのトラブル.....</b>	<b>247</b>
<b>AirPrint のトラブル対処.....</b>	<b>248</b>
プリンター選択時のトラブル .....	248
プリント時のトラブル .....	248
<b>Google クラウドプリントのトラブル対処.....</b>	<b>249</b>
登録時のトラブル.....	249
プリント時のトラブル .....	250
<b>用紙が詰まった場合 .....</b>	<b>251</b>
用紙トレイ 1、手差しトレイでの紙づまり.....	251
用紙トレイ 2～4 での紙づまり .....	253
定着ユニットでの紙づまり.....	254
<b>エラーコード .....</b>	<b>256</b>
<b>12 オプションの取り付け .....</b>	<b>319</b>
<b>オプション製品について .....</b>	<b>320</b>
<b>ストレージ（ソリッドステートドライブ）の取り付け .....</b>	<b>321</b>

PostScript ソフトウェアキット またはセキュリティ拡張キットの取り付け .....	323
IC カードリーダーの取り付け .....	324
内蔵して使用する場合 .....	324
外置きして使用する場合 .....	326
<b>13 付録 .....</b>	<b>327</b>
<b>主な仕様 .....</b>	<b>328</b>
プリント機能 .....	328
<b>プリント可能領域 .....</b>	<b>333</b>
標準印字領域 .....	333
拡張印字領域 .....	333
<b>保証について .....</b>	<b>334</b>
保証書について .....	334
保守サービスについて .....	334
プリンターの耐久性について .....	335
有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について .....	336
<b>情報サービスについて .....</b>	<b>336</b>
MultiWriter サポート窓口について .....	336
<b>使用済みカートリッジ回収について .....</b>	<b>337</b>
<b>消耗品および補修用性能部品について .....</b>	<b>337</b>
<b>本機の廃棄について .....</b>	<b>337</b>
<b>エミュレーションについて .....</b>	<b>338</b>
エミュレーションモード .....	338
プリント言語の切り替え .....	338
モードメニュー画面 .....	338
使用できるフォント .....	339
ART IV、ESC/P エミュレーションについて .....	339
PC-PR201H エミュレーションについて .....	346
PCL エミュレーションについて .....	352
HP-GL/2 エミュレーションについて .....	357
<b>PDF ダイレクトプリントを使用するには .....</b>	<b>372</b>
モードメニュー画面 .....	372
PDF ダイレクトプリント機能の設定項目 .....	372
<b>DocuWorks ダイレクトプリントを使用するには .....</b>	<b>374</b>
モードメニュー画面 .....	374
DocuWorks ダイレクトプリント機能の設定項目 .....	374
<b>本機のファームウェアを更新する .....</b>	<b>376</b>



1

お使いいただく前に

## はじめに

このたびは Color MultiWriter 7700C（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

日本電気株式会社

# 本書の使い方

## 本書の構成

### ■ 1 お使いいただく前に

本書の使い方、各部の名称について説明しています。

### ■ 2 本機のセットアップ

電源の入 / 切、コンピューターとの接続方法、メール機能の初期設定について説明しています。

### ■ 3 本機の基本操作

アプリの概要や、用紙などについて説明しています。

### ■ 4 プリント

プリントの基本的な操作方法と、機能について説明しています。

### ■ 5 ジョブ情報

ジョブの状態を確認したり、ジョブを削除したりする方法について説明しています。

### ■ 6 基本設定

[設定] アプリのうち、一般ユーザーや機械管理者が確認 / 設定できる項目を説明しています。

### ■ 7 詳細設定

[設定] アプリのうち、機械管理者が確認 / 設定する項目を説明しています。

### ■ 8 暗号化と署名機能の設定

本機で暗号化と署名機能を利用するための設定方法について説明しています。

### ■ 9 認証と集計管理機能について

各機能を利用するときに利用に制限をかける認証機能と、認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能について説明しています。

### ■ 10 日常の管理

消耗品を交換する方法や、本体を清掃する方法について説明しています。

### ■ 11 困ったときは

本機に何らかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

### ■ 12 オプションの取り付け

オプションの取り付け方法を説明しています。

### ■ 13 付録

本機的主要な仕様や、保守サービスなどについて説明しています。

## 本書の表記

- 本書に記載している画面や本機のイラストは、各種オプション製品が装着された状態のものです。使用している機種や構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本書やほかのマニュアル、および機械 / ソフトウェア内では「プリンター」、「ドライバー」など長音語尾表記を採用しています。公式 HP などでは、慣例に従い「プリンタ」「ドライバ」など、長音語尾を省略し表記している場合があります。
- 各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

### 注記

- 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

### 補足

- 補足事項を記述しています。

### 参照

- 参照先を記述しています。
- 本文中では、次の記号を使用しています。

- |            |   |
|------------|---|
| 「     」    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本書内にある参照先を表しています。</li> <li>• メディア、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表しています。</li> </ul>   |
| 『     』    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 参照するマニュアルを表しています。</li> </ul>   |
| [     ]    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li> <li>• コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li> </ul> |
| 〈     〉 キー | <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターのキーボード上のキーを表しています。</li> </ul>   |
| >          | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作パネルまたはコンピューターで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。</li> </ul>  |

- 本文中では、用紙の向きを、次のように表しています。

- |         |  |
|---------|--|
| □、 たて置き | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機の正面から見て、用紙をたて長にセットした状態を表しています。</li> </ul> |
| □、 よこ置き | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機の正面から見て、用紙をよこ長にセットした状態を表しています。</li> </ul> |

- 機能によっては、オプション製品やサービス担当者の設定が必要になります。詳しくは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。
- 認証状態や装着しているオプションによって、操作パネルに表示される項目は異なります。
- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- 本書では、内蔵増設ハードディスク（HDD）や Solid State Drive（SSD）を総称して「ストレージ」と表記します。
- 本書の内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は、弊社公式サイトをご覧ください。

# 本機のセキュリティ設定

本機の設定が次のどれかを満たす状態で機械管理者モードに入ると、セキュリティ警告画面が表示されます。本機をより安全にご利用いただくために、本機を設置したあと、すぐに設定を変更することをお勧めします。

- 機械管理者のユーザー ID とパスワードが初期値
- SNMP プロトコルの設定でコミュニティ名や認証用パスワードが初期値
- グローバル IP アドレスが設定され、かつ [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている

機械管理者のユーザー ID とパスワードおよび、SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワードの設定を初期値から変更することをお勧めします。これらの初期値を変更することで、悪意のある第三者による攻撃（設定変更や情報搾取など）を防ぐことができます。

## 補足

- 機械管理者のユーザー ID とパスワード、SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワードを初期値から変更すると、複合機と連携するソフトウェアやユーティリティの動作に影響が出る場合があります。影響を確認のうえ、実施してください。

また、本機にグローバル IP アドレスを設定する場合、受付 IP アドレスを制限することにより、本機を外部ネットワークからの不正アクセス（ジョブ履歴の閲覧）から防ぐことができます。

さらに、[認証方式の設定] を [本体認証] または [外部認証] に設定することをお勧めします。[本体認証] の場合、本機に登録したユーザー情報を使用して認証管理を行います。認証が成功したユーザーだけが本機を使用できます。ただし、使用時には操作パネルからユーザー ID を入力するか、IC カードの利用が必要となります。[外部認証] の場合、外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を使用して認証管理を行います。

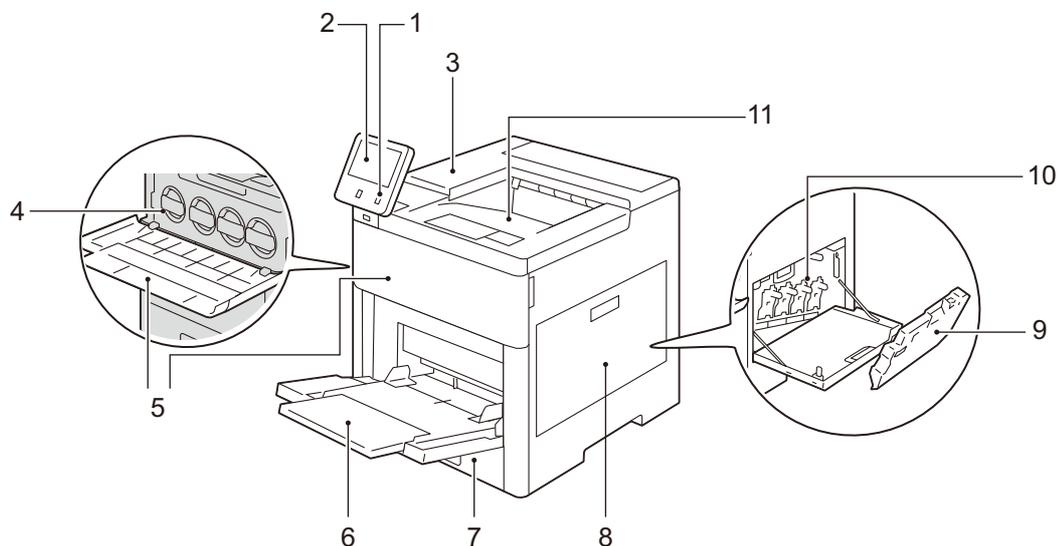
## 参照

- 機械管理者のユーザー ID とパスワードの変更については、「[機械管理者情報の設定]」(P.166) を参照してください。
- SNMP 認証データの変更、および受付 IP アドレス制限の設定については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- 認証方式の設定については、「[認証の設定]」(P.166) を参照してください。

# 各部の名称と働き

## 本体

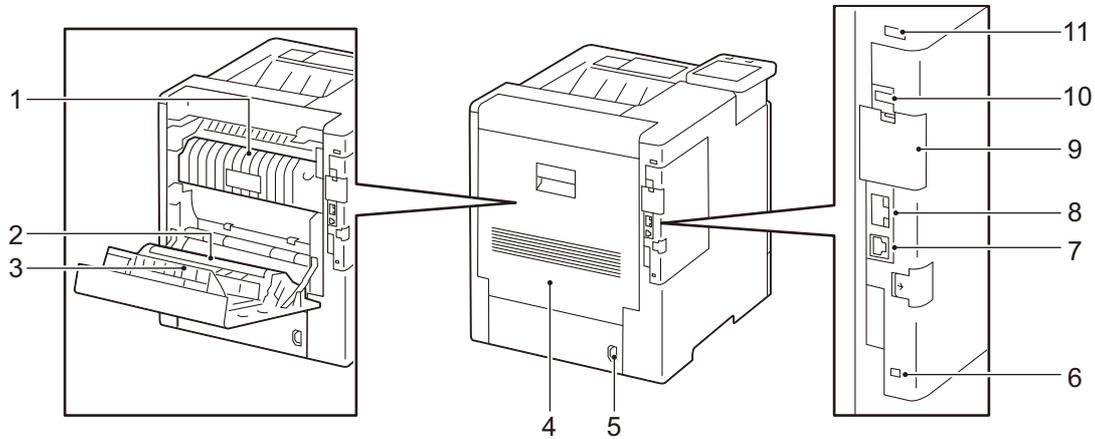
### 前面



番号	名称	働き
1	電源 / 節電ボタン	本機の電源を入 / 切します。  参照 ・詳しくは、「電源について」(P.22) を参照してください。
2	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。  参照 ・詳しくは、「操作パネル」(P.18) を参照してください。
3	本体内蔵型IC カードリーダー (オプション)	IC カードでユーザー認証するときに使います。IC カードをタッチすると、登録されたユーザー情報が本体に読み込まれ、機械がユーザー認証します。  補足 ・機械が低電力モードで節電中に IC カードをタッチすると、節電状態は解除されます。ただし、スリープモードに移行した場合は解除されません。詳しくは、「節電状態から復帰する」(P.50) を参照してください。  参照 ・IC カードリーダーの取り付けについては、「IC カードリーダーの取り付け」(P.324) を参照してください。
4	トナーカートリッジ	トナーが入っています。
5	フロントカバー	消耗品交換や清掃を行うときに開けます。
6	用紙トレイ 5 (手差し)	用紙トレイにセットしていない用紙、またはできない用紙 (厚紙などの特殊用紙) をセットできます。
7	用紙トレイ	用紙をセットします。  補足 ・用紙トレイ 2、3、4 はオプションです。
8	サイドカバー	消耗品交換や清掃を行うときに開けます。
9	トナー回収ボトル	使用済みのトナーが回収されます。

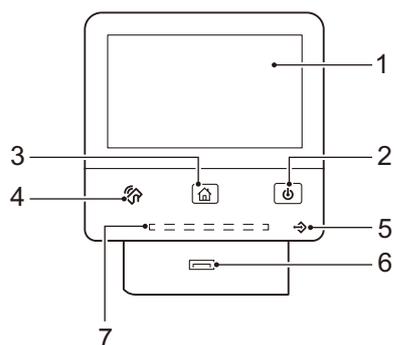
番号	名称	働き
10	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。
11	排出トレイ	プリントされたものが排出されます。

## 左側面部、および背面



番号	名称	働き
1	定着ユニット	トナーを用紙に定着させます。
2	転写ロール	トナーを用紙に転写するためのローラーです。
3	両面出力ユニット	両面印刷をするためのユニットです。
4	背面カバー	紙づまりの処置や清掃を行うときに開けます。
5	電源コネクター	本機の電源ケーブルを接続します。
6	セキュリティースロット	盗難防止用のケンジントンロックを取り付けます。
7	USB3.0 インターフェイスコネクター	プリンター用の USB ケーブルを接続します。
8	Ethernet インターフェイスコネクター	ネットワークケーブルを接続します。
9	WiFi アダプターソケット	WiFi アダプターを使用する場合は、ここに取り付けます。
10	USB2.0 インターフェイスコネクター (下)	使用しません。
11	USB2.0 インターフェイスコネクター (上)	IC カードリーダーを接続します。

## 操作パネル



番号	名称	働き
1	タッチパネルディスプレイ	操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。タッチパネルディスプレイに直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。
2	電源 / 節電ボタン	このボタンを押して、本機の電源を入 / 切します。このボタンを使って、本機を節電状態から解除したり、節電状態にしたりすることもできます。節電状態のときは、このボタンが点滅します。
3	ホームボタン	ホーム画面を表示するときに押します。
4	NFC タッチエリア	お使いの NFC 対応モバイル機器をかざすエリアです。相互通信するには、本機の NFC 機能が有効になっている必要があります。 <b>補足</b> ・詳しくは、「NFC 機能でプリントする」(P.95) を参照してください。
5	データランプ	本機からデータを送信中や、クライアントからのデータを受信中に、点滅します。
6	USB メモリー差込口	USB2.0 用のメモリー差込口です。
7	状態表示ランプ	操作を受け付けたときに、青色で短く光ります。システムエラーや、紙づまり、用紙切れ、トナー切れなどで機械に異常が発生している間は、オレンジ色で点滅します。

# 本機で使用している記号

記号	説明
 注意	注意、危険、警告
	高温注意
	裏紙（他機で印刷した紙）を使用しないこと
	インクジェット紙を使用しないこと
	OHP フィルムを使用しないこと
	折り目、しわ、カール紙を使用しないこと
	ホチキス、クリップを使用した用紙を使用しないこと
	紙幣をコピーしないこと
	IC カードリーダー
	プリント面を上に乗せ
↓MAX↓	最大積載量

	用紙残量
	清掃
	USB 端子
	LAN 端子
	WiFi アダプターソケット
	セキュリティーロット
	電源 / 節電ボタン
	ホームボタン
	紙詰まり
	冷却
	経過時間

## ライセンス

ここでは、ソフトウェアライセンスについて説明します。必ずご確認ください。

本製品は、第三者が権利を有するオープンソースソフトウェア（以降、OSS と呼びます。）が含まれています。各 OSS の適用ライセンス、著作権表示および個別のライセンス条件については、CentreWare Internet Services の [ホーム] タブ > [サポート] > [OSS ライセンス情報のダウンロード] から取得できます。

本製品は、GNU Library General Public License 2.0 など、OSS ライセンスに基づき許諾されるソフトウェアを含んでいます。

OSS ライセンスに基づき、対象となるソフトウェアのソースコードの入手を希望される方は、以下のサイトより入手が可能です。

[https://jpn.nec.com/printer/laser/etc/oss/prt/PR-L7700C/v1\\_0/](https://jpn.nec.com/printer/laser/etc/oss/prt/PR-L7700C/v1_0/)

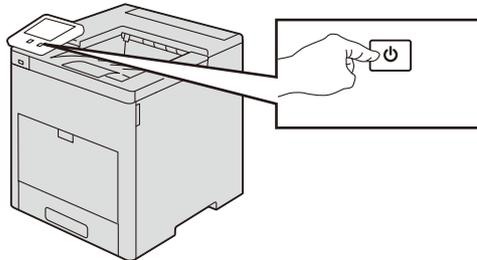
# 2

## 本機のセットアップ

# 電源について

## 電源を入れる

- 1 電源 / 節電ボタンを押して、電源を入れます。



### 補足

- 電源が入らない場合は、電源プラグが入っているか確認してください。

## 初期情報を設定する

初めて電源を入れたときに、本機の初期情報を設定するウィザードが起動されます。各画面で必要な情報を設定し、[次へ] をタップします。画面に従って、必要な情報を設定してください。

[初期設定終了] が表示されたら、[完了] をタップします。



### 注記

- [ソフトウェアオプションの設定] では、何も入力しないで次の画面に進んでください。

### 補足

- 設定内容については、各項目の説明を参照してください。初期設定ウィザードで設定する項目は、あとで変更できます。

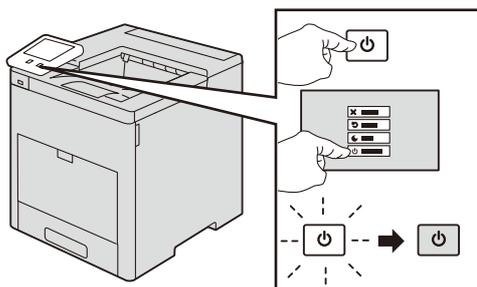
## 電源を切る

- 1 プリントが完全に終了していることを確認します。また、データランプが点滅していないことを確認します。

### 注記

- 次の状態の場合は、電源を切らないでください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。
  - データの受信が行われている
  - プリント処理が行われている
- 用紙排出終了後、5 秒たってから、電源を切ってください。

- 2 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。



### 注記

- 電源を切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフ処理をしています。タッチパネルディスプレイが消灯して電源 / 節電ボタンの点滅が終わるまで、ほかの操作をしないでお待ちください。
- 電源 / 節電ボタンを長押しすると、強制終了します。

### 補足

- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、タッチパネルディスプレイ消灯後、電源 / 節電ボタンの点滅が終わってから入れてください。
- 指定した時刻に電源がオフになるように設定することもできます。詳しくは、「[電源の自動制御]」(P.130) を参照してください。

## リモート操作で電源を切る

### 補足

- リモート操作で電源を切るには、機械管理者 ID とパスワードが必要です。機械管理者 ID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。

- 1 コンピューターから CentreWare Internet Services に接続します。

### 参照

- CentreWare Internet Services については、「CentreWare Internet Servicesを起動する」(P.66) を参照してください。

- 2 [サポート] をクリックします。
- 3 [電源を切る] をクリックします。
- 4 [[はい (電源を切る)] をクリックします。

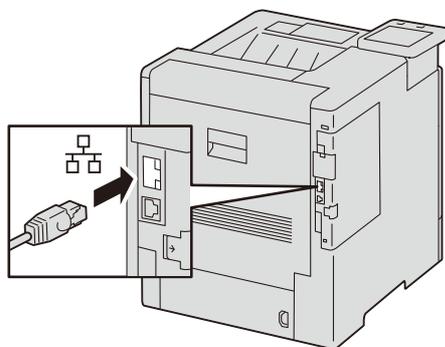
# 本機をコンピューターに接続する

## 有線 LAN で接続する

### 補足

- 次の不具合が発生する場合、[設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Ethernet 設定] > [Energy Efficient Ethernet] を [無効] に設定すると改善することがあります。
  - 本機のネットワーク接続が遅い
  - 本機のネットワーク接続が不安定で、頻繁にタイムアウトする
  - 長時間のスリープモードから復帰した後に、本機がネットワークに接続できなくなる

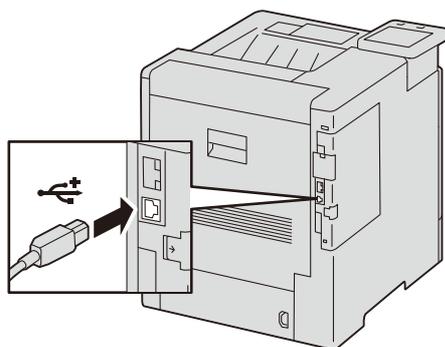
- 1 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。
- 2 タッチパネルディスプレイと電源 / 節電ボタンが消灯していることを確認します。
- 3 Ethernet インターフェイスのコネクターに、ネットワークケーブルを接続します。



- 4 電源 / 節電ボタンを押して、電源を入れます。

## USB で接続する

- 1 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。
- 2 タッチパネルディスプレイと電源 / 節電ボタンが消灯していることを確認します。
- 3 インターフェイスコネクターに、USB インターフェイスケーブルを接続します。



- 4 コンピューターに、USB インターフェイスケーブルのもう一方のコネクターを接続します。
- 5 電源 / 節電ボタンを押して、電源を入れます。
- 6 コンピューターを再起動します。

## 無線 LAN で接続する

無線 LAN で接続するためには、WiFi アダプターが必要です。また、無線 LAN 接続には設定が必要です。WiFi アダプターが本機に取り付けられていることを確認してから、無線 LAN 接続を設定します。

### 参照

- 無線 LAN 接続の設定方法については、「WiFi アダプターの接続」(P.31) を参照してください。

## IP アドレスを設定する

本機をネットワーク環境で使用するときはあらかじめ、IP アドレスとその他のネットワーク情報を設定する必要があります。

### 補足

- IPv6 環境の IP アドレスを手動で割り当てるときは、本機のインストーラーまたは CentreWare Internet Services を使用してください。CentreWare Internet Services の起動方法については、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.66) を参照してください。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 機械管理者モードにログインします。  
  

### 補足

  - 詳しくは、「認証モードへのログイン」(P.60) を参照してください。
- 3 [設定] をタップします。
- 4 [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] をタップします。
- 5 [TCP/IP— 共通設定] をタップします。
- 6 [IP 動作モード] をタップし、お使いの環境に合わせて、[デュアルスタック]、[IPv4 モード] または [IPv6 モード] をタップします。  
  

### 補足

  - 使用するネットワークが IPv4 および IPv6 の両方に対応している場合は、[デュアルスタック] を選択してください。
- 7 [プロトコル設定] 画面に戻って [TCP/IP— ネットワーク設定] をタップし、お使いの環境に合わせて IP アドレスの取得方法を設定します。  
ここでは手順 6 で [IPv4 モード] を選択した場合を例に説明します。
- 8 [IPv4-IP アドレス取得方法] をタップします。
- 9 IP アドレスの割り当て方法を設定します。

■IP アドレスを自動で設定する場合

- 1) [DHCP/AutoIP から取得]、[BOOTP から取得]、[DHCP から取得] のどちらかをタップし、手順 10 に進みます。

■IP アドレスを手動で設定する場合

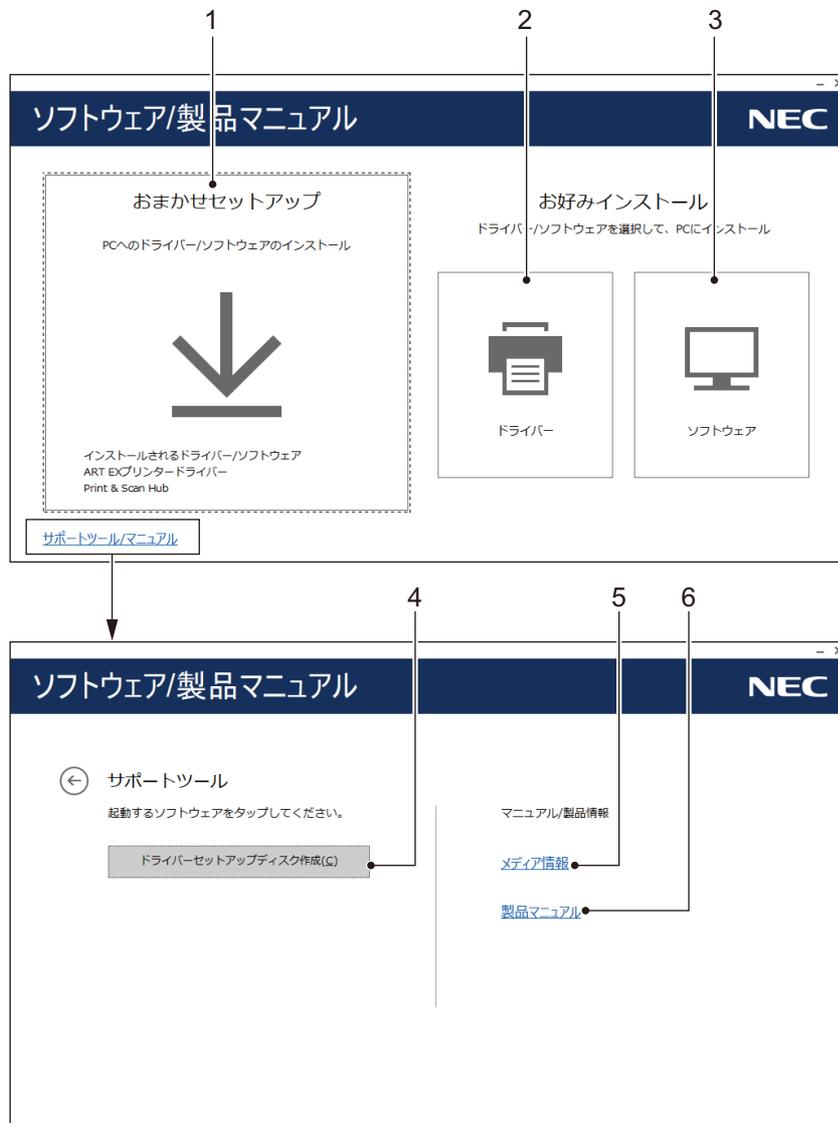
- 1) [手動で設定] を選択し、[OK] をタップします。
- 2) [IPv4-IP アドレス] をタップします。
- 3) IP アドレスを入力し、[OK] をタップします。
- 4) [IPv4- サブネットマスク] をタップします。
- 5) サブネットマスクを入力し、[OK] をタップします。
- 6) [IPv4- ゲートウェイアドレス] をタップします。
- 7) ゲートウェイアドレスを入力し、[OK] をタップします。

**10** 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

## Windows 用のソフトウェアをインストールする

### 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクを使う

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使って、次の機能を利用できます。



#### 1 [おまかせセットアップ]

本機で使用できる基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- Print & Scan Hub

#### 参照

- インストール方法については、「[おまかせセットアップ] でインストールする」(P.28) を参照してください。

## 2 [お好みインストール] > [ドライバー]

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- PS ドライバー H2
- MultiWriter 共通ドライバ

### 参照

- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.29) を参照してください。

## 3 [お好みインストール] > [ソフトウェア]

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- Print & Scan Hub
- ContentsBridge Utility

### 参照

- インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P.29) を参照してください。

## 4 [サポートツール] > [ドライバーセットアップディスク作成]

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負担を軽減できます。

### 補足

- セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターのOS と異なるOS のコンピューターでは使用できません。OS ごとにセットアップディスクを作成してください。

## 5 [メディア情報]

[ソフトウェア / 製品マニュアル] ディスクの収録内容を確認できます。

## 6 [製品マニュアル]

弊社の公式サイトに掲載されている、ユーザーズガイドを表示します。

## [おまかせセットアップ] でインストールする

### 補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
  - 「有線 LAN で接続する」(P.24)
  - 「USB で接続する」(P.24)
  - 「無線 LAN で接続する」(P.25)

## 1 [ソフトウェア / 製品マニュアル] ディスクをコンピューターにセットします。

### 補足

- [ソフトウェア / 製品マニュアル] ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
  1. スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
  2. 「D:¥Launcher.exe」（「D」は光学ディスクドライブの名称）を入力し、[OK] をクリックします。

## 2 [おまかせセットアップ] をクリックします。



## 3 画面の指示に従ってインストールを完了します。

### [お好みインストール] でインストールする

#### 補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
  - 「有線 LAN で接続する」(P.24)
  - 「USB で接続する」(P.24)
  - 「無線 LAN で接続する」(P.25)

## 1 [ソフトウェア / 製品マニュアル] ディスクをコンピューターにセットします。

#### 補足

- [ソフトウェア / 製品マニュアル] ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
  1. スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
  2. 「D:¥Launcher.exe」(「D」は光学ディスクドライブの名称) を入力し、[OK] をクリックします。

- 2 [ドライバー] または [ソフトウェア] をクリックします。  
[ソフトウェア] を選んだ場合は、手順 5 に進みます。



- 3 [使用許諾契約の条項に同意する] を選び、[次へ (N)] をクリックします。
- 4 お使いの接続方法を選び、[次へ (N)] をクリックします。
- 5 画面の指示に従ってインストールを完了します。

## Mac 用のソフトウェアをインストールする

### ソフトウェアをインストールする

- 1 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。
- 2 ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [MacPrinter] > [MacOSX] > [Common] の順に開きます。
- 3 フォルダー内にある pkg ファイルをダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってインストールを完了します。

## Linux 用のソフトウェアをインストールする

最新版の Linux 用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。  
次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/os/linux/download/index.html>

# WiFi アダプターの接続

## 本機とモバイル機器との接続方法

無線ネットワークで本機を使用するときの接続方法には、「Wi-Fi 接続」と「Wi-Fi Direct 接続」があり、どちらも本機での設定が必要です。

### ■ Wi-Fi 接続

本機とモバイル機器を無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。社内に無線ネットワークがある場合、こちらの設定を行ってください。

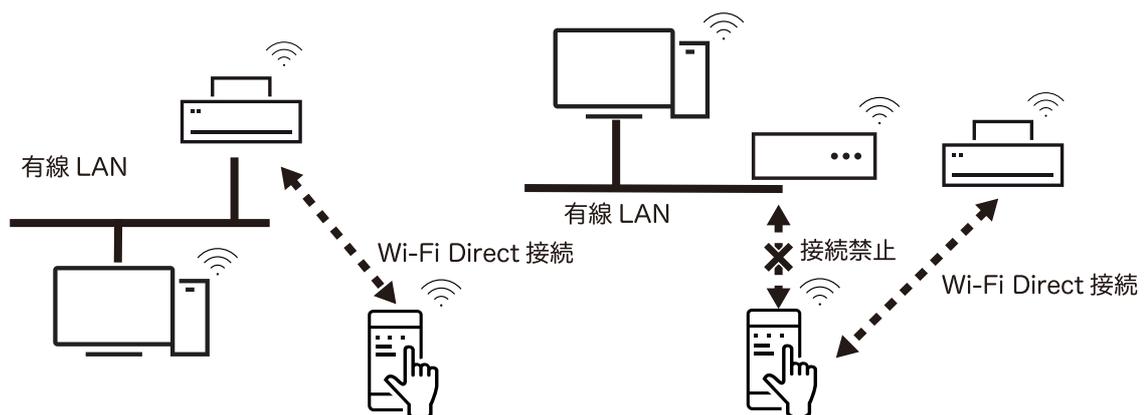


#### 参照

- 詳しい設定方法については、「Wi-Fi で接続する」(P.35) を参照してください。

### ■ Wi-Fi Direct 接続

無線 LAN アクセスポイントを経由せず、本機とモバイル機器を直接接続します。社内に有線ネットワークしかない場合や、社内に無線ネットワークはあるが、スマートフォンなどを接続させたくない場合は、こちらの設定を行ってください。



#### 補足

- Wi-Fi Direct は、IPv6 やアドホック環境では使用できません。
- Wi-Fi Direct では、同時に 3 台まで接続できます。

#### 参照

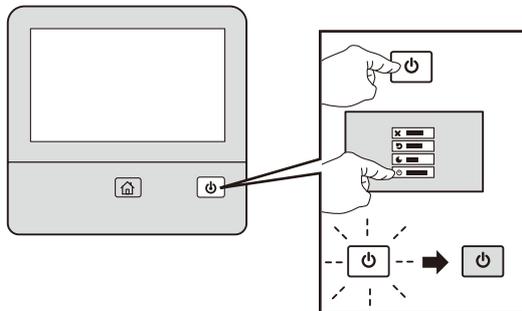
- 詳しい設定方法については、「Wi-Fi Direct で接続する」(P.42) を参照してください。

## WiFi アダプターの取り付け・取り外し

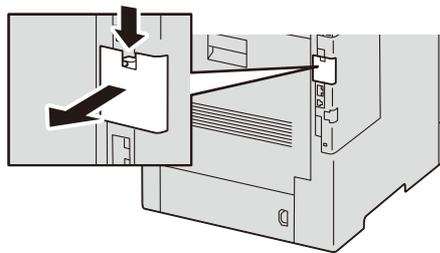
### 取り付け

- 1 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。

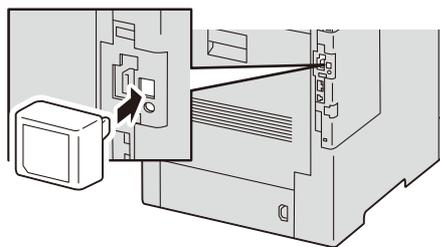
操作パネルのディスプレイおよび各ランプがすべて消えたことを確認して、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。



- 2 背面にある WiFi アダプターソケットのカバーを取り外します。



- 3 WiFi アダプターのコネクタを WiFi アダプターソケットに差し込みます。

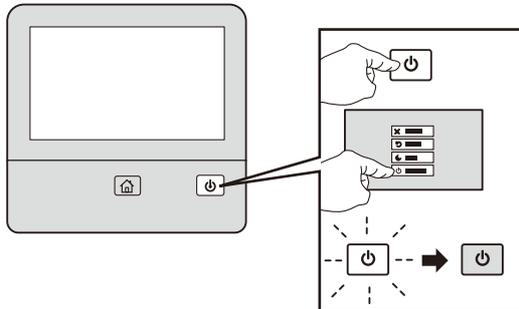


- 4 電源 / 節電ボタンを押して、電源を入れます。

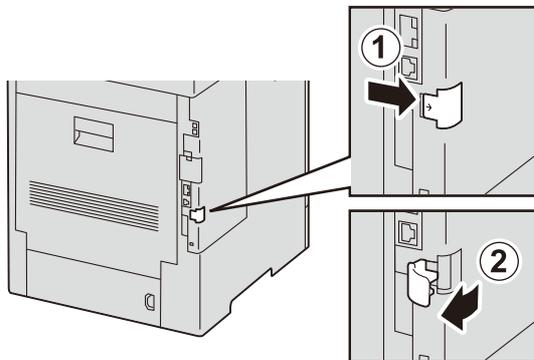
## 取り外し

- 1 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。

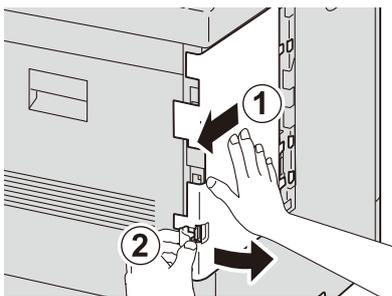
操作パネルのディスプレイおよび各ランプがすべて消えたことを確認して、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。



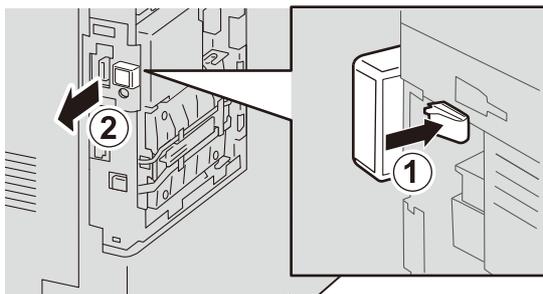
- 2 背面の左側にあるラッチを矢印の方向にスライドさせて、手前に起こします。



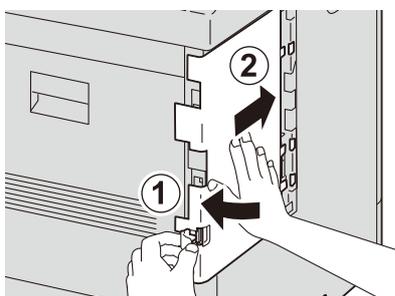
- 3 左側面のカバーを、本機の後ろ方向に向かってスライドさせて取り外します。



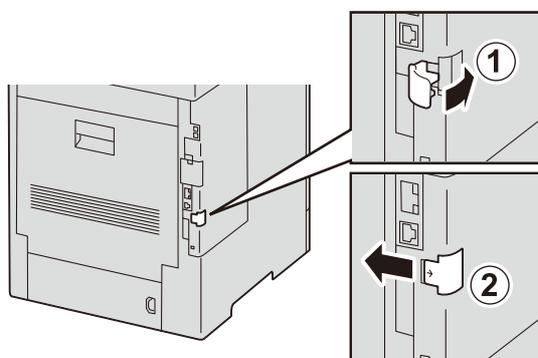
- 4 フックを解除して WiFi アダプターのコネクターを取り外します。



- 5 左側面のカバーを、本機の前方向にスライドさせ、突起を本体側の穴に差し込みます。



- 6 ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。



- 7 WiFi アダプターソケットのカバーを取り付けます。

## Wi-Fi で接続する

### Wi-Fi 接続の設定方法

Wi-Fi 接続には、次の設定方法があります。

- 本機の操作パネルから、自動設定で接続する
- 本機の操作パネルから、手動設定で接続する

自動設定には、WPS（プッシュボタン方式）および WPS（PIN コード方式）があり、本機はどちらにも対応しています。

- WPS（プッシュボタン方式）

操作パネルから本機を設定したあと、無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押して設定します。

- WPS（PIN コード方式）

本機に割り当てられている PIN コードを、無線 LAN アクセスポイントに入力して設定します。

ただし、これらの方法で設定する場合は、無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している必要があります。

#### 参照

- 無線 LAN アクセスポイント側の WPS 操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

### 本機に Wi-Fi 接続の設定をする

#### 補足

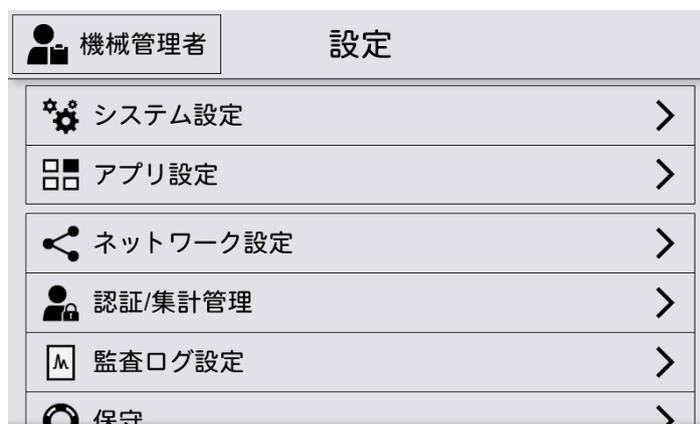
- 設定内容によっては、本機の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。

- 1 機械管理者モードにログインし、ホーム画面で [設定] をタップします。

#### 参照

- 詳しくは、「認証モードへのログイン」(P.60) を参照してください。

- 2 [ネットワーク設定] をタップします。

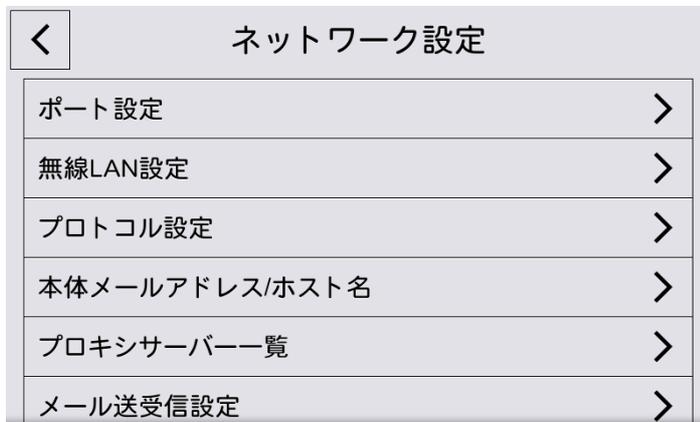


**3** [無線 LAN 設定] をタップします。**補足**

- [無線 LAN 設定]が表示されない場合は、本機に正しく WiFi アダプターが取り付けられていません。正しく WiFi アダプターが取り付けられているか確認してください。

**参照**

- 詳しくは、「WiFi アダプターの取り付け・取り外し」(P.32)を参照してください。

**4** [基本設定] をタップします。**5** [有効] を選択し、[OK] をタップします。

- 6 RADIUSサーバ認証(IEEE802.1X認証)を使用する無線LANアクセスポイントに接続する場合は、CentreWare Internet Services で証明書を設定する必要があります。「CentreWare Internet Services を使って高度なセキュリティ環境に接続する」(P.40)に進みます。  
証明書が不要な接続先に接続する場合は、手順7に進みます。
- 7 [Wi-Fi 接続設定] をタップします。



- 8 次のどれかの方法で、無線ネットワークに接続します。

補足

- Wi-Fi についての本機の設定値は、機能設定リストをプリントすることで確認できます。



方法	設定内容	手順の参照先
一覧から選択して接続する* <sup>1</sup>	表示されている無線 LAN アクセスポイントの一覧から SSID (無線ネットワークを識別する名前) を選択して接続します。	(P.38)
手動設定で接続する* <sup>1</sup>	接続する無線 LAN アクセスポイントが一覧に表示されていない場合は、SSID を指定して無線ネットワークに接続します。	(P.38)
WPS (プッシュボタン) で接続する* <sup>2</sup>	本機の操作パネルで接続指示をしたあと、2 分以内に、お使いの無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押して接続します。	(P.39)
WPS (PIN コード) で接続する* <sup>2</sup>	本機に割り当てられる PIN コードを、2 分以内に無線 LAN アクセスポイントに入力して設定します。	(P.40)

\*<sup>1</sup> :無線 LAN アクセスポイントの SSID と、認証情報 (WEP キー、パスフレーズなど) が必要になります。無線 LAN アクセスポイントの情報については、機械管理者またはネットワーク管理者に確認してください。

\*2 :無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している必要があります。無線 LAN アクセスポイント側の WPS 操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

## ■ 一覧から選択して接続する

- 1 [Wi-Fi 接続設定]画面に表示されている一覧から、接続する無線 LAN アクセスポイントの SSID をタップします。

### 補足

- アクセスポイントにセキュリティが設定されていない場合は、これで設定は完了です。
- 一覧に表示される無線 LAN アクセスポイントは、電波が強いものから順に 5 台までです。



- 2 アクセスポイントにセキュリティが設定されている場合は、認証情報画面が表示されます。必要な情報を入力して、[OK] をタップします。

### 補足

- アクセスポイントを選択したとき、すでに他のアクセスポイントと接続中だった場合は、接続解除の確認画面が表示されます。[はい (解除する)] をタップします。

- 3 設定が更新されたことを確認できたら [確認] をタップします。本機が再起動し、設定が有効になります。

## ■ 手動設定で接続する

- 1 [Wi-Fi 接続設定] 画面で [手動設定] をタップします。
- 2 使用環境にあわせて各項目を設定し、[OK] をタップします。

無線LAN設定-手動設定	
SSID:	wireless_device
通信モード	Infrastructure
暗号化設定	暗号化なし

設定項目		設定内容
SSID		無線ネットワークを識別する名前を設定します。32文字以内の英数字を入力できます。
通信モード		[Infrastructure] または [Ad-hoc] * <sup>1</sup> のどちらかに設定します
暗号化設定	暗号化なし	暗号化を設定しません。
	WEP	WEP キーは、4 つまで登録できます。[送信キー] で、その中から使用する WEP キーを選択します。
	WPA2 Personal* <sup>2</sup>	パスフレーズを設定します。
	Mixed mode Personal(AES/TKIP)* <sup>2</sup>	
	WPA2 Enterprise* <sup>2</sup>	認証方式を設定します。
	Mixed mode Enterprise(AES/TKIP)* <sup>2</sup>	PEAP を選択した場合は、さらに [Identity]、[ユーザー名]、[パスワード] を設定します。 EAP-TLS や EAP-TTLS を使用する場合は、CentreWare Internet Services で証明書を設定したり、認証方式の詳細設定をする必要があります。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>CentreWare Internet Services での設定方法については、「CentreWare Internet Services を使って高度なセキュリティ環境に接続する」(P.40) を参照してください。</li> </ul>

\*1 :Wi-Fi Direct 接続が有効の場合は、使用できません。

\*2 :[通信モード] を [Ad-hoc] に設定した場合は、使用できません。

- 3 設定が更新されたことを確認できたら [確認] をタップします。  
本機が再起動し、設定が有効になります。

#### ■ WPS (プッシュボタン) で接続する

- 1 [Wi-Fi 接続設定] 画面で [WPS 設定 (PIN コード)] をタップします。
- 2 [開始] をタップしてから 2 分以内に、無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンをタップします。



- 3 本機の画面で、設定が更新されたことを確認できたら [確認] をタップします。  
本機が再起動し、設定が有効になります。

## ■ WPS (PIN コード) で接続する

- 1 [Wi-Fi 接続設定] 画面で [WPS 設定 (PIN コード)] をタップします。
- 2 [開始] をタップしてから 2 分以内に、表示された PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。



- 3 本機の画面で、設定が更新されたことを確認できたら [確認] をタップします。本機が再起動し、設定が有効になります。

## CentreWare Internet Services を使って高度なセキュリティ環境に接続する

本機の Wi-Fi 接続では、IEEE802.1X 認証を使用できます。IEEE802.1X 認証方式を使用する場合は、認証局に証明書の発行を依頼し、発行された証明書を CentreWare Internet Services で本機にインポートします。

各 IEEE802.1X 認証方式と必要な証明書は、以下のとおりです。

項目	EAP-TLS	EAP-TTLS	PEAP
CA 証明書	必須	必須	任意*
クライアント証明書	必須	-	-

\*:サーバー証明書検証を行う場合に必要です。サーバー証明書検証は CA 証明書が登録されている場合に行われます。インポートできる証明書の規格は、以下のとおりです。

- X.509 証明書 (DER/PEM) (ルート CA 証明書)
- PKCS#7 (DER) (ルート CA 証明書)
- PKCS#12 (DER) (デバイス証明書 (=クライアント証明書) / ルート CA 証明書)

### 補足

- CentreWare Internet Services で証明書をインポートするには、HTTP の通信を暗号化する設定がされている必要があります。CentreWare Internet Services の操作、および HTTP 通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.181) を参照してください。
- 証明書の種類については、「暗号化と署名機能の概要」(P.178) を参照してください。

- 1 Web ブラウザーのアドレス入力欄に「https:// (本機の IP アドレス)」を入力して <Enter> キーを押し、CentreWare Internet Services を起動します。
- 2 証明書をインポートします。
  - 1) ログインをクリックします。

- 2) 表示された画面で機械管理者 ID とパスワードを入力して [OK] をクリックします。  
確認画面が表示されるので、2 回続けて [確認] をクリックします。
- 3) [システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] をクリックします。
- 4) [インポート] をクリックします。
- 5) [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。
- 6) [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
- 7) [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
- 8) [実行] をクリックします。
- 9) Web ブラウザーの再読み込みを行います。

### 3 Wi-Fi 接続の設定をします。

- 1) [ネットワーク] をクリックします。
- 2) [インターフェイス設定] > [Wi-Fi] をクリックします。  
[Wi-Fi] 画面が表示されます。
- 3) [SSID] に接続先の SSID を入力します。
- 4) [通信モード] を選択します。

### 4 セキュリティの設定をします。お使いの環境の認証方式によって、設定方法が異なります。

- 1) [システム] > [セキュリティ設定] をクリックします。
- 2) [暗号化設定] で、[WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise(AES/TKIP)] を選択します。
- 3) [認証方式] を選択します。
- 4) [Identity] に EAP-Identity の値を入力します。  
認証方式が EAP-TLS の場合は、手順 9) に進みます。

#### 補足

- EAP-Identity については、RADIUS サーバー管理者に確認してください。

- 5) 認証方式が PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TTLS/PAP、EAP-TTLS/CHAP、EAP-TTLS/MS-CHAPv2 の場合は、[ユーザー名] および [パスワード] に WPA-Enterprise 認証用のログインユーザー名およびパスワードを設定します。
- 6) [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
- 7) [ルート証明書] で、インポートした CA 証明書を選択します。
- 8) 認証方式が EAP-TLS の場合は、[クライアント証明書] で、インポートしたクライアント証明書を選択します。
- 9) [保存] をクリックします。
- 10) [再起動] をクリックします。  
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

## Wi-Fi Direct で接続する

### 本機に Wi-Fi Direct 接続の設定をする

#### 補足

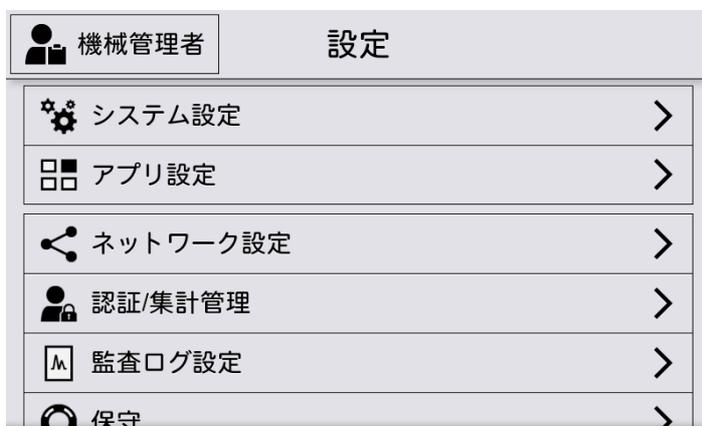
- 設定内容によっては、本機の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。
- CentreWare Internet Services を使って設定することもできます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

- 1 機械管理者モードにログインし、ホーム画面で [設定] をタップします。

#### 参照

- 詳しくは、「認証モードへのログイン」(P.60) を参照してください。

- 2 [ネットワーク設定] をタップします。



- 3 [無線 LAN 設定] をタップします。

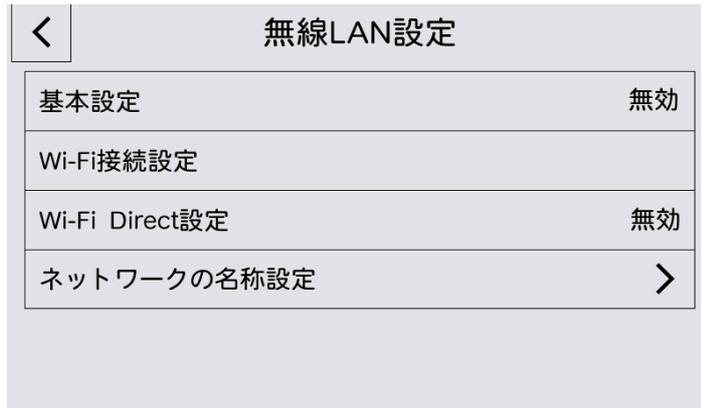
#### 補足

- [無線 LAN 設定]が表示されない場合は、本機に正しく WiFi アダプターが取り付けられていません。正しく WiFi アダプターが取り付けられているか確認してください。

#### 参照

- 詳しくは、「WiFi アダプターの取り付け・取り外し」(P.32) を参照してください。



**4** [基本設定] をタップします。**5** [有効] を選択し、[OK] をタップします。**6** [Wi-Fi Direct 設定] をタップします。

## 7 [有効] を選択し、[OK] をタップします。

×	無線LAN設定-Wi-Fi Direct設定	✓ OK
無効		
有効		
グループ設定	グループオーナー	
SSIDサフィックス	6113F4	
パスフレーズ	設定済み	

## ■グループ設定について

[グループ設定] では、次の項目が設定できます。初期設定はグループオーナーです。必要に応じて、変更してください。

設定項目	設定内容
自動	本機をグループオーナーに固定しない場合に選択します。
デバイス名	Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名前を、32 文字以内の英数字で入力します。モバイル機器から接続先を選択するときは、ここで指定した名前が表示されます。
グループオーナー	本機を Wi-Fi ネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントと同様に、モバイル機器から本機を検出できるようになります。
SSID サフィックス	Wi-Fi Direct で識別するネットワークの名前を表示します。「DIRECT-」に続く部分を 23 文字以内の英数字で入力できます。モバイル機器から接続先のネットワークを選択するときは、ここで指定した名前が表示されます。
パスフレーズ	パスフレーズとして 8 ～ 63 文字の英数字を入力できます。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。

## 注記

- iOS 端末など、Wi-Fi Direct に対応していない機器を接続する場合は、[グループオーナー] に設定されている必要があります。

## 8 ホームボタンを押します。

9 [はい (再起動する)] をタップします。  
本機が再起動し、設定が更新されます。

## 補足

- Wi-Fi Direct についての本機の設定値は、機能設定リストをプリントすることで確認できます。

## モバイル機器と接続する

モバイル機器から本機に Wi-Fi Direct で接続する方法には、「自動接続」と「手動接続」があり、お使いのモバイル機器によって異なります。

## 補足

- 操作方法は、モバイル機器によって異なります。詳しくはお使いのモバイル機器の取扱説明書を参照してください。

## ■ 自動接続する (Android OS)

- 1 モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、Wi-Fi を [ON] にします。
- 2 [⋮] (メニュー) をタップし、[Wi-Fi Direct] を選択します。
- 3 一覧から接続する本機を選択します。

### 補足

- 本機に設定されているデバイス名が表示されます。本機のデバイス名は、機能設定リストをプリントすることで確認できます。

- 4 本機の操作パネルに表示される画面で、接続するモバイル機器名を確認し、[はい (開始する)] をタップします。

## ■ 手動接続する (Android OS/iOS)

### 補足

- 手動接続する場合は、本機で機械管理者モードに入り、[設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi Direct 設定] の [グループ設定] が [グループオーナー] に設定されている必要があります。

- 1 ホーム画面で [設定] > [機械確認 / レポート] をタップします。
- 2 [無線 LAN の接続状態] をタップします。

機械確認	
ネットワーク	
ホスト名:	192.168.0.1
IPv4:	192.168.0.1
IPv6:	FE80::...
無線LANの接続状態	接続中(良好)
アプリの情報	
プリンターモード:	オフライン

- 3 [Wi-Fi Direct 接続状況] の [SSID] と [パスワード] を確認します。
- 4 モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、Wi-Fi を [ON] にします。
- 5 一覧から、手順 3 で確認した本機の SSID を選択します。
- 6 手順 3 で確認した本機のパスワードを入力し、接続します。

## Wi-Fi Direct の接続を切断する

グループオーナー動作時の Wi-Fi Direct が接続台数の上限 (3 台) に達してしまい、ほかの端末が接続できない場合は、次のように接続を切断できます。

### 本機のメニューからモバイル機器との接続を解除する方法

- 1 [設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] の [Wi-Fi Direct 設定] メニューで、[SSID サフィックス] または [パスフレーズ] を変更します。

新しい SSID、パスフレーズで Wi-Fi Direct のグループが再構築されるため、モバイル機器との接続が解除されます。

#### 補足

- 接続解除されたモバイル機器と本機を再接続する場合は、改めてモバイル機器の Wi-Fi 設定画面で新しい SSID の選択とパスフレーズの入力が必要となります。

### 接続中のモバイル機器の Wi-Fi 設定画面から本機との接続を解除する方法

- 1 モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、Wi-Fi の接続を解除します。

- モバイル機器の自動接続が有効の場合：  
Wi-Fi の接続を解除しても、モバイル機器は自動で本機の Wi-Fi Direct と再接続します。そのため、新たなモバイル機器の接続の前に自動接続してしまい、再び接続上限になってしまう可能性があります。その場合は、モバイル機器の自動接続を無効に設定するか、手順 2 の設定削除を実行してください。
- モバイル機器の自動接続が無効の場合：  
Wi-Fi 接続を解除すると、モバイル機器の Wi-Fi 設定画面から再接続を実行するまで接続が解除されます。

#### 補足

- モバイル機器によっては、自動接続の切り替えができない場合があります。

- 2 モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、接続中の本機の SSID を選択し、モバイル端末に保存された Wi-Fi 接続設定情報を削除します。

#### 補足

- 接続解除されたモバイル機器と本機を再接続する場合は、改めてモバイル機器の Wi-Fi 設定画面で新しい SSID の選択とパスフレーズの入力が必要となります。

# メール機能の設定

利用するには、次の設定が必要です。

- メールポート
- TCP/IP アドレス
- サブネットマスク（必要に応じて設定）
- ゲートウェイアドレス（必要に応じて設定）
- DNS サーバーアドレス（必要に応じて設定）
- 本体メールアドレス
- メール受信プロトコル
- SMTP サーバーアドレス
- SMTP AUTH ログイン名、パスワード（必要に応じて設定）
- POP3 サーバーアドレス（必要に応じて設定）
- POP3 ログイン名、パスワード（必要に応じて設定）

## 参照

- TCP/IP アドレスの設定については、「IP アドレスを設定する」(P.25) を参照してください。

## 1 機械管理者モードにログインします。

### 参照

- 詳しくは、「認証モードへのログイン」(P.60) を参照してください。

## 2 ホーム画面で、[設定] をタップします。

## 3 メールポートを起動します。

1) [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [メール受信] > [メール受信 - ポート] をタップします。

2) [起動] をタップします。

### 補足

- メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合は、同様に [メール通知サービス] の [メール通知サービス - ポート] を [起動] に設定します。

3) [<] をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

## 4 受信プロトコルを設定します。

1) [その他の設定] > [メール受信プロトコル] をタップします。

2) [SMTP] または [POP3] をタップします。

3) [<] をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

## 5 本機のメールアドレスを設定します。

1) [本体メールアドレス / ホスト名] をタップします。

2) メールアドレスやホスト名を設定します。

**参照**

- 詳しくは、「[本体メールアドレス / ホスト名]」(P.152) を参照してください。

3) [ < ] をタップして、[ネットワーク設定] 画面まで戻ります。

## 6 受信の設定をします。

1) [メール送受信設定] をタップします。

- [メール受信プロトコル] で [SMTP] を選んだ場合 SMTP サーバーの設定をします。

**参照**

- SMTP サーバーの設定については、「[SMTP サーバー設定]」(P.154) を参照してください。
- SMTP受信をする場合の本体メールアドレスの設定については、「[本体メールアドレス/ホスト名]」(P.152) を参照してください。
- [メール受信プロトコル] で [POP3] を選んだ場合 POP3 サーバーの設定をします。

**参照**

- POP3 サーバーの設定については、「[POP3 サーバー設定]」(P.154) を参照してください。
- POP3受信をする場合の本体メールアドレスの設定については、「[本体メールアドレス/ホスト名]」(P.152) を参照してください。

**補足**

- POP3 サーバー設定で POP over SSL を ON にすると、メールの受信が暗号化されます。POP over SSL は CentreWare Internet Services を使用して設定できます。

## 7 送信の設定をします。

**補足**

- メール送信には、SMTP サーバーの設定が必要です。[メール受信プロトコル] で [POP3] を選択した場合は、[メール送受信設定] で SMTP サーバーを設定してください。詳しくは、「[SMTP サーバー設定]」(P.154) を参照してください。

## 8 ホームボタンを押します。

**補足**

- 設定を有効にするには、再起動が必要です。画面の表示に従って再起動してください。

# 3

## 本機の基本操作

## 節電機能について

節電機能を利用すると、電力消費量を抑えることができます。

節電機能には、低電力モードとスリープモードがあります。本機は一定時間使用しないと低電力モードに入ります。そのあと、設定時間が経過すると、スリープモードに移行します。

### 補足

- 暖機モード動作中は、スリープモードに移行しません。

### 参照

- 節電モードに関する設定については、「[節電モードの設定]」(P.130)を参照してください。

## 節電状態に移行する

次の場合に節電状態になります。節電状態になると操作パネルの電源 / 節電ボタンが点滅します。

- 操作パネルの電源 / 節電ボタンを押して、[節電モードに移行する]をタップする
- 節電状態に移行する時間まで、本機を操作しなかったとき、ジョブが実行されなかったとき、プリントデータを受信しなかったとき

### 補足

- 用紙詰まりや、消耗品交換などエラー表示中は、節電状態に移行しません。
- 暖機モード動作中は、スリープモードに移行しません。
- タッチパネルディスプレイが消灯してすぐに電源 / 節電ボタンを押した場合や、本機が節電状態に完全に移行していない場合は、節電解除に時間がかかることがあります。本機が節電解除の操作を受け付ける状態になるまで待ってから、再度電源 / 節電ボタンを押してください。

### 参照

- 節電モードに移行するまでの時間を変更するには、「[節電モード移行時間]」(P.130)を参照してください。

## 節電状態から復帰する

節電状態からは、次の操作または状況により復帰します。

- 操作パネルの電源 / 節電ボタンを押す
- プリントジョブを受信する
- CentreWare Internet Services の [保存] をクリックする
- 正面カバーを開ける（低電力モード時のみ復帰）

### 補足

- オプション製品や別売品を操作することで、自動復帰する場合があります。

## 使用する部分のみ節電を解除する

本機には、節電状態から復帰する場合、使用する機能に必要な電力だけを供給して、消費電力を節約する機能が搭載されています。

### 参照

- 使用する部分のみ節電を解除するかどうかの設定は、「[節電解除の制御]」(P.130)を参照してください。

電源 / 節電ボタンを押しても、タッチパネルディスプレイは点灯しますが、出力部は節電状態から復帰しません。その後、タッチパネルディスプレイで機能を選択することで、機能の実行に必要な部分に電力を供給します。

**注記**

- 節電状態での用紙セットや消耗品交換では、本機は用紙や新しい消耗品の情報を取得できません。電源 / 節電ボタンを押し、ホーム画面で [設定] > [用紙トレイ] または [消耗品確認] をタップしてから、用紙のセットや消耗品の交換を行ってください。

**補足**

- プリントジョブを受信した場合は、タッチパネルディスプレイは点灯せず、出力部のみ節電状態から復帰してプリントを開始します。
- 蓄積プリントジョブ（セキュリティープリント、時刻指定プリント、課金認証プリント、プライベートプリント）を受信した場合は、タッチパネルディスプレイは点灯せず、ストレージのみ節電状態から復帰します。

## 暖機モードについて

使用環境によっては、スリープモードから復帰するときに、本機内の温度が上昇し、結露が発生する場合があります。暖機モードとは、結露の発生を防止または軽減する機能です。

季節の変わり目などに設定することをお勧めします。

### 補足

- 暖機モード動作中は、スリープモードに移行しません。
- お使いの環境によっては、消費電力が上がる場合があります。

## 暖機モード動作を設定する

- 1 機械管理者モードにログインします。

### 参照

- 詳しくは、「認証モードへのログイン」(P.60)を参照してください。

- 2 [設定] > [システム設定] > [システム時計 / タイマー設定] > [暖機モード動作] をタップします。

- 3 必要に応じて設定します。

### 参照

- 詳しくは、「[暖機モード動作]」(P.130)を参照してください。

- 4 [OK] をタップします。

# タッチパネルディスプレイについて

## ホーム画面の説明

ホーム画面に表示されているアプリをタップして、機能を利用できます。よく利用するアプリだけを表示させたり、配置を変更したりできます。

次のホーム画面は、表示例です。利用状況に応じたホーム画面にカスタマイズしてご利用ください。

### 参照

- カスタマイズ機能については、「カスタマイズ機能について」(P.61)を参照してください。



### ■ 認証情報の表示エリア

画面左上の認証情報の表示エリアをタップすると、ユーザー ID の入力画面が表示されます。

認証されると、認証ユーザーが表示されます。

### 補足

- 認証状態からログアウトするには、認証情報の表示エリアをタップします。

### ■ [リセット]

操作中のすべてのアプリ設定をリセットします。

### ■ [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ]

ホーム画面に配置しているアプリの表示 / 非表示を変更したり、表示位置を変更したりします。

### 参照

- 詳しくは、「カスタマイズ機能について」(P.61)を参照してください。

## アプリの説明

ホーム画面に表示されるアプリについて説明します。

### ■ [設定]

本機の設定を変更したり、状態を確認したりできます。

### 参照

- 詳しくは、「基本設定」(P.107) および「詳細設定」(P.127)を参照してください。

#### ■ [ジョブ情報]

実行中や実行待ちのジョブや、完了したジョブなどを確認できます。また、プリントを中止したり、プリント待ちや操作待ちのジョブをプリントしたりできます。

参照

- 詳しくは、「ジョブ情報」(P.101)を参照してください。

#### ■ [文書プリント]

USB メモリーに保存されている文書をプリントします。

参照

- 詳しくは、「文書プリント」(P.92)を参照してください。

#### ■ [デジカメプリント]

デジタルカメラで撮影された画像データ (DCF1.0) を取り込んでプリントします。

参照

- 詳しくは、「デジカメプリント」(P.93)を参照してください。

#### ■ [プライベートプリント]

プライベートプリントに保存された文書をプリントまたは削除します。

参照

- 詳しくは、「プライベートプリント」(P.90)を参照してください。

#### ■ [セキュリティープリント]

セキュリティープリントに保存された文書をプリントまたは削除できます。

参照

- 詳しくは、「セキュリティープリント」(P.88)を参照してください。

#### ■ [サンプルプリント]

サンプルプリントに保存された文書をプリントまたは削除します。

参照

- 詳しくは、「サンプルプリント」(P.86)を参照してください。

#### ■ [時刻指定プリント]

時刻指定プリントに保存された文書をプリントまたは削除します。

参照

- 詳しくは、「時刻指定プリント」(P.87)を参照してください。

#### ■ [認証プリント]

認証プリントに保存された文書をプリントまたは削除します。

参照

- 詳しくは、「認証プリント」(P.88)を参照してください。

#### ■ [画面輝度調整]

画面の明るさを調整します。

**■ [階調補正]**

プリントの濃度を補正します。

**参照**

- 詳しくは、「階調を補正する」(P.220)を参照してください。

**■ [プリンターモード]**

オンライン/オフラインの切り替え、ESC/P などのエミュレーション設定を行います。

本機の設定変更やメンテナンスをするときなど、コンピューターからのプリントデータを受信しない状態にしたい場合に [オフライン] にします。なお、データ受信中に切り替えた場合は、データ受信が中断され、プリントされません。

**参照**

- エミュレーション設定については、「エミュレーションについて」(P.338)を参照してください。

**■ [カラーレジ補正]**

カラーレジ補正画面を表示します。

**参照**

- 詳しくは、「[カラーレジ補正]」(P.124)を参照してください。

**■ [メーター確認]**

メーター確認画面を表示します。

**参照**

- 詳しくは、「[メーター確認]」(P.119)を参照してください。

**■ [レポート / リストの出力]**

レポートまたはリストをプリントします。

**参照**

- 詳しくは、「[レポート / リストの出力]」(P.110)を参照してください。

**■ [保守レポートの出力]**

保守レポート画面を表示します。

**参照**

- 詳しくは、「[保守レポートの出力]」(P.121)を参照してください。

## 基本の操作方法

### ■ドラッグ

タッチパネルディスプレイに軽く触れたままで、目的の位置まで指を移動させます。上下にドラッグすると画面のスクロールができます。



### ■フリック操作

タッチパネルディスプレイをはらうように指を動かします。上下にフリック操作すると画面やリストのスクロールができます。

#### 補足

- フリック操作の場合は、指を離れたあとでも少しの間スクロールが継続します。



## ■ タップ / ダブルタップ

タッチパネルディスプレイに軽く触れ、すぐに指を離します。2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



## ■ ロングタッチ

タッチパネルディスプレイ上のアプリやアイコンに指を触れたまま長押しすることをロングタッチと呼びます。

アプリや機能リストの配置を変更するときに使用します。



## 共通の操作ボタンの説明

各機能で表示される共通の操作ボタンについて説明します。

補足

- 機能によっては、操作ボタンの色が異なります。

操作ボタン	説明
 *	操作中のすべてのアプリの設定値をリセットして、ホーム画面に戻ります。
	ひとつ前の画面に戻ります。
	表示中の画面を閉じます。
	データや項目などを削除します。
	最新の情報に表示を更新します。
	リスト形式で表示します。
	サムネイル形式で表示します。
	ファイル、フォルダー、機能の詳細を表示します。
	選択しているすべての項目を解除します。
	すべての項目を選択します。
	登録または更新日時の新しい順で表示します。
	登録または更新日時の古い順で表示します。
	名称の昇順で表示します。
	名称の降順で表示します。

\*:ボタン表示については、「[リセットボタンの表示]」(P.133)を参照してください。

## 文字の入力方法

### キーボードを使って文字を入力する

各種設定などで文字を入力するときは、タッチパネルディスプレイに表示されるキーボードを使います。



ボタン	説明
	入力方法、入力言語を変更できます。
	入力文字に対する予測候補が表示されます。
	入力文字に対する変換候補が表示されます。
	スペースを入力できます。
	アルファベットを入力します。
	アルファベットの大文字小文字を切り替えます。
	数字を入力できます。
	記号を入力できます。
	カタカナを入力できます。
	ひらがなを入力できます。
	カーソルを1文字ずつ移動できます。
	小さいひらがなやカタカナを入力できます。
	1文字ずつ消去できます。
	すべての文字を削除します。
確定	入力文字を確定します。
次へ	入力文字を確定して、次の入力ボックスにカーソルを移動します。
	全角で入力できます。
	半角で入力できます。
	キーボードを非表示にします。

### 補足

- 入力画面、入力言語によって、表示されるボタンおよびボタンの色は異なります。
- 入力できる漢字は、JISの第一水準と第二水準です。

## 認証モードへのログイン

認証モードにログインすると、認証情報の表示エリアに認証ユーザー名が表示されます。

機械管理者権限でログインすると [機械管理者] と表示されます。

認証機能を利用していないときは、[一般ユーザー] と表示されます。

### 参照

- 機械管理者のログイン情報については、「[認証・セキュリティ設定]」(P.166)を参照してください。

## タッチパネルディスプレイで認証モードにログインする

- 1 認証情報の表示エリアをタップします。
- 2 ユーザー ID を入力して、[OK] をタップします。

### 補足

- パスワードの入力が必要な場合は、[次へ]をタップしてパスワードを入力し、[OK]をタップします。
- ユーザー ID の指定方法は、[一覧から選択] と [キーボードで入力] があります。[一覧から選択] に設定されている場合は、[アカウント選択] 画面からユーザー ID を指定できます。指定方法の変更については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- 認証を解除する場合は、認証情報の表示エリア > [ログアウト] をタップします。

## IC カード利用時に認証モードにログインする

- 1 IC カードリーダー（オプション）に IC カードを確実にタッチします。

### 補足

- 認証を解除する場合の操作は、[非接触型 IC カード設定] に従います。詳しくは、「[非接触型 IC カード設定]」(P.169)を参照してください。

# カスタマイズ機能について

ホーム画面のアプリや、各機能の機能リストの項目の表示 / 非表示を切り替えたり、並び順を変更したりしてカスタマイズできます。認証機能を使用している場合は、それぞれのユーザーごとにカスタマイズできます。

カスタマイズ機能を利用できる画面には、画面下部に [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] が表示されます。

## 補足

- 認証機能を利用していない場合は [カスタマイズ]、認証機能を利用している場合は [個人用カスタマイズ] が表示されます。
- 機械管理者モードにログインした場合は、認証機能の利用の有無に関わらず、[カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] が表示されます。

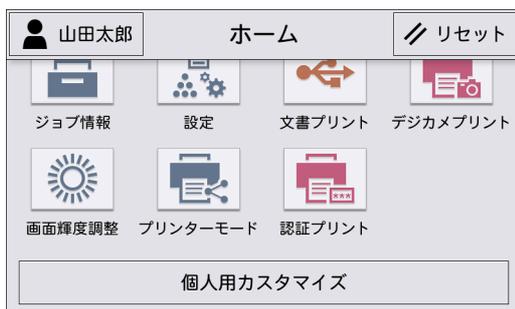
[個人用カスタマイズ] > [ホームの編集] では、機械管理者モードにログインしたときに表示されるホーム画面をカスタマイズできます。[カスタマイズ] > [ホームの編集] では、カスタマイズしていないすべてのユーザーのホーム画面に反映されます。

ホーム画面の目的に応じて、個人モードまたは共用モードに切り替えてください。

## ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に表示するアプリを変更します。

- 1 ホーム画面の下部にある [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] をタップします。



- 2 次の操作をします。

### ■アプリを非表示にする場合

- 1) 非表示にするアプリの × をタップします。



### ■アプリを表示させる場合

- 1) [追加] をタップします。
- 2) 追加するアプリをタップします。

#### 補足

- 複数のアプリを表示させる場合は、手順 1)、2) を繰り返します。

### ■アプリの位置を変更する場合

- 1) アプリをロングタッチしたまま移動させます。



- 3) [完了] をタップします。

## 機能リストのカスタマイズ

機能リストとは、文書プリントなどの操作画面で設定できる機能のことです。利用できるカスタマイズ機能は次のとおりです。

#### 補足

- 機械管理者モードにログインした場合は、認証機能の利用の有無に関わらず、[カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] が表示されます。

[個人用カスタマイズ] では、機械管理者モードにログインしたときに表示される機能リストのカスタマイズができます。[カスタマイズ] では、カスタマイズしていないすべてのユーザーの機能リストに反映されます。

機能リストの利用目的に応じて、個人モードまたは共用モードに切り替えてください。

カスタマイズ機能	説明
[プリセットとして保存]	現在の設定をプリセットとして保存します。頻繁に使用する設定を保存しておくことで、必要に応じて設定を呼び出すことができます。
[プリセットを上書き保存]	プリセットを選んでから設定を変更したときに、プリセットを上書き保存します。
[初期値として保存]	現在の設定を起動時の初期値として保存します。
[機能リスト編集]	機能リストの表示 / 非表示を設定します。表示順も変更できます。
[プリセット削除]	プリセットとして保存した設定を削除します。
[すべてのカスタマイズをクリア]	すべてのカスタマイズの設定を削除します。

#### 補足

- 機能画面によって、利用できるカスタマイズ機能は異なります。

## プリセットとして保存する

- 1 機能リストを設定します。
- 2 画面下部の [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] をタップします。
- 3 [プリセットとして保存] をタップします。
- 4 プリセット名を入力します。
- 5 [次へ] をタップします。
- 6 表示アイコンをタップします。
- 7 [確定] をタップします。  
機能リストの先頭に [プリセット] とプリセット名が表示されます。

## 保存したプリセットを上書きする

- 1 機能リストで設定を変更します。
- 2 画面下部の [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] をタップします。
- 3 [プリセットを上書き保存 : XXX] をタップします。(XXX は、プリセット名)

## 初期値として保存する

- 1 機能リストで保存したい初期値を設定します。
- 2 画面下部の [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] をタップします。
- 3 [初期値として保存] をタップします。

## 機能リストを編集する

- 1 画面下部の [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] をタップします。
- 2 [機能リスト編集] をタップします。

### ■表示 / 非表示を設定する

- 1) 機能リスト編集画面で  または  をタップします。

#### 補足

- 表示されている機能は 、非表示の機能は  のアイコンが表示されます。

### ■表示位置を変更する

1) 移動したい機能をロングタッチして、希望の位置まで移動します。



3 [確定] をタップします。

### 保存したプリセットを削除する

- 1 画面下部の [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] をタップします。
- 2 [プリセット削除] をタップします。
- 3 削除するプリセットの  をタップします。
- 4 [はい (削除する)] をタップします。
- 5 [完了] をタップします。

### カスタマイズで保存 / 編集した設定を削除する

- 1 画面下部の [カスタマイズ] または [個人用カスタマイズ] をタップします。
- 2 [すべてのカスタマイズをクリア] をタップします。
- 3 [はい (削除する)] をタップします。

# CentreWare Internet Services を使う

CentreWare Internet Services は、Web ブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP 環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。

メニュー名	主な機能
[ホーム]	用紙トレイ、排出トレイ、および消耗品の状態、サポート情報、通知などを確認できます。
[アプリ]	アプリの設定ができます。
[ジョブ]	ジョブ一覧やジョブ履歴を確認できます。
[ネットワーク] *	ネットワーク通信に必要な設定ができます。
[認証 / 集計 / 権限] *	ユーザーごとに認証、集計管理、権限の設定ができます。
[システム] *	セキュリティーと機械管理者の設定ができます。

\*: CentreWare Internet Services の管理者モードが有効の場合は機械管理者としてログインすると、メニューが表示されます。

## 補足

- 項目によっては、再起動後に有効になるものがあります。
- 操作パネルの操作中は、CentreWare Internet Services で設定を変更できません。

## 参照

- CentreWare Internet Services から設定できる項目については、CentreWare Internet Services ヘルプを参照してください。

## Web ブラウザーの設定

Internet Explorer 11 を例に説明します。

### インターネット一時ファイルの設定をする

- 1 [ツール] > [インターネット オプション] をクリックします。
- 2 [全般] タブで、[閲覧の履歴] の [設定] をクリックします。
- 3 [インターネット一時ファイル] タブで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] から、[Web サイトを表示するたびに確認する] または [Internet Explorer を開始するたびに確認する] を選びます。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 [インターネット オプション] 画面で、[OK] をクリックします。

### 本機の IP アドレスについて、プロキシサーバーを使用しないように設定する

- 1 [ツール] > [インターネット オプション] をクリックします。
- 2 [接続] タブで、[ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定] の [LAN の設定] をクリックします。

- 3 [プロキシサーバー] を、次のどちらかに設定します。
  - [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークを外す。
  - [詳細設定] をクリックし、[例外] に本機の IP アドレスを入力して [OK] をクリックする。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 [インターネット オプション] 画面で、[OK] をクリックします。

### JavaScript を有効にする

- 1 [ツール] > [インターネット オプション] をクリックします。
- 2 [セキュリティ] タブで、[ローカル イントラネット] をクリックして、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。
- 3 [スクリプト] までスクロールし、[アクティブ スクリプト] が有効化されていることを確認します。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 [インターネット オプション] 画面で [OK] をクリックします。

## CentreWare Internet Services を起動する

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
  - IP アドレスの入力例  
https://192.0.2.1/ (IPv4 の場合)  
https:// [2001:DB8::1234] (IPv6 の場合)
  - インターネットアドレスの入力例 (本機のインターネットアドレスが、myhost.example.com の場合)  
https://myhost.example.com/

#### 補足

- お使いのネットワークが DNS (Domain Name System) を使用していて、DNS のネームサーバーに本機のホスト名が登録されている場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせたインターネットアドレスを使って本機にアクセスできます。ホスト名が「myhost」、ドメイン名が「example.com」の場合、インターネットアドレスは「myhost.example.com」となります。
- ポート番号を指定する場合は、IP アドレスまたはインターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 本機で認証機能を使用している場合は、[ユーザー名] と [パスワード] にユーザー ID とパスワードを入力してください。ユーザー ID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。ユーザーに与えられている機械管理の権限によって、操作できる機能が異なります。

#### 参照

- CentreWare Internet Services が表示されない場合は、「CentreWare Internet Services を使用したときのトラブル」(P.240) を参照してください。

## 認証モードへのログイン

認証機能を利用している場合は、次の操作で認証モードにログインしてください。

- 1 CentreWare Internet Services を起動します。
- 2 画面右上の [ログイン] をクリックします。
- 3 [ユーザー ID] を入力して、[ログイン] をクリックします。

### 補足

- パスワードの入力が必要な場合は、パスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。
- 認証を解除する場合は、画面右上の認証ユーザー名 > [ログアウト] をクリックします。

# 用紙をセットする

## 弊社が推奨する用紙

### ⚠ 警告

電気を通しやすい紙(折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など)を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

用紙名	用紙トレイに設定する用紙種類	用紙種類別画質処理	用紙質量 (g/m <sup>2</sup> )
P	普通紙	普通紙 (A)	64
C <sup>2</sup>	普通紙	普通紙 (A)	70

その他の用紙については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

### 補足

- 用紙を用紙トレイにセットするときには、セットした用紙に合わせて、用紙種類を設定してください。詳しくは、「用紙の設定を変更する」(P.79)を参照してください。
- 用紙の種類ごとに画質処理を設定すると、用紙に合った画質でプリントできます。詳しくは、「[用紙種類別画質処理]」(P.114)を参照してください。
- 富士ゼロックス社製の用紙です。

## 再生紙の利用について

本機で利用できる再生紙は次のとおりです。

用紙名	用紙トレイに設定する用紙種類	用紙種類別画質処理	用紙質量 (g/m <sup>2</sup> )	古紙パルプ配合率
C <sup>2r</sup>	再生紙	再生紙 (A)	70	70%
G70	再生紙	再生紙 (A)	67	70%
FR	再生紙	再生紙 (A)	64	50%

### 補足

- 富士ゼロックス社製の用紙です。

## 使用できる用紙

### 質量と枚数

用紙トレイ	対应用紙質量 (g/m <sup>2</sup> )	セット可能枚数
用紙トレイ 1、2～4 (オプション)	60～220 g/m <sup>2</sup>	550 枚
用紙トレイ 5 (手差しトレイ)	60～220 g/m <sup>2</sup>	150 枚

### 補足

- セット可能枚数は、富士ゼロックス社製の推奨用紙を使用した場合です。

## 用紙種類

用紙種類	用紙質量 (g/m <sup>2</sup> )	用紙トレイ 1	用紙トレイ 2~4 (オプション)	用紙トレイ 5 (手差し)	自動両面
上質紙	60-105	○	○	○	○
再生紙	60-105	○	○	○	○
ユーザー定義用紙 1	60-105	○	○	○	○
ユーザー定義用紙 2	60-105	○	○	○	○
ユーザー定義用紙 3	60-105	○	○	○	○
ユーザー定義用紙 4	60-105	○	○	○	○
ユーザー定義用紙 5	60-105	○	○	○	○
穴あき紙	60-105	○	○	○	○
厚紙 1	106-176	○	○	○	○
厚紙 1 (うら面)	106-176	○	○	○	○
厚紙 2	177-220	○	○	○	×
厚紙 2 (うら面)	177-220	○	○	○	×
封筒	—	○	×	○	×
はがき	190	○	×	○	×
はがき (うら面)	190	○	×	○	×
コート紙 1	105	○	○	○	○
コート紙 1 (うら面)	105	○	○	○	○
コート紙 2	106-176	○	○	○	○
コート紙 2 (うら面)	106-176	○	○	○	○
コート紙 3	177-220	○	○	○	×
コート紙 3 (うら面)	177-220	○	○	○	×
ラベル紙	—	○	○	○	×

## 補足

- 自動両面機能は質量が 60 ~ 176 g/m<sup>2</sup> の用紙で使用できます。
- コート紙を使用する場合、全体を黒で塗りつぶすようにプリントすると、白もやが発生することがあります。

## 用紙サイズ

- 定型サイズ (プリンタードライバーの項目で設定できるサイズ)

用紙サイズ	幅 × 長さ (mm)	向き	用紙トレイ 1	用紙トレイ 2~4 (オプション)	用紙トレイ 5 (手差し)	自動両面
A5	148x210	たて	○	○	○	○
A5	210x148	よこ	× <sup>*1*2</sup>	×	○	×
A4	210x297	たて	○	○	○	○
B5 (JIS)	182x257	たて	○	○	○	○

用紙サイズ	幅×長さ (mm)	向き	用紙トレイ 1	用紙トレイ 2～4 (オプション)	用紙トレイ 5 (手差し)	自動両面
5.5×8.5"	139.7×215.9	たて	×	×	○	○
7.25×10.5"	184.2×266.7	たて	○	○	○	○
8.5×11" (レター)	215.9×279.4	たて	○	○	○	○
8.5×13"	215.9×330.2	たて	○	○	○	○
8.5×14" (リーガル)	215.9×355.6	たて	○	○	○	○
郵便はがき	100×148	たて	× <sup>*1*2</sup>	×	○	×
往復はがき	148×200	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×
封筒長形 3 号	120×235	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×
封筒長形 4 号	90×205	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×
封筒角形 6 号	162×229	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×
封筒洋長形3号	120×235	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×
封筒洋形 2 号	114×162	たて	×	×	○	×
封筒洋形 3 号	98×148	たて	×	×	○	×
封筒洋形 4 号	105×235	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×
封筒 #10	104.8×241.3	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×
封筒モナーク	98.4×190.5	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×
封筒 DL	110×220	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×
封筒 ISO-C5	162×229	たて	× <sup>*2</sup>	×	○	×

\*1 :A5 対応用紙ガイド (オプション) を使用するとセットできます。

\*2 :用紙トレイ 1 にセットする場合は、プリンタードライバーでユーザー定義用紙を選択して、サイズを指定してください。

#### • ユーザー定義サイズ

用紙トレイ 5 (手差し)	よこ : 76.2 ~ 215.9 mm たて : 127.0 ~ 355.6 mm
用紙トレイ 1	よこ : 76.2 ~ 215.9 mm たて : 148.0 ~ 355.6 mm
用紙トレイ 2 ~ 4 (オプション)	よこ : 76.2 ~ 215.9 mm たて : 190.5 ~ 355.6 mm

自動両面機能は次の用紙サイズと用紙質量のときに利用できます。

- よこ : 139.7 ~ 215.9 mm
- たて : 203.2 ~ 355.6 mm
- 用紙質量 : 60 ~ 176 g/m<sup>2</sup>

## 使用できない用紙

故障の原因となるので、次の用紙は使用しないでください。

- 折り目やしわが入った用紙
- 湿気を含んだ用紙、湿気で波打った用紙
- カールした用紙
- 使用後（一部のラベルを剥がした後）のラベル紙
- 本機以外のプリンターやコピー機で一度プリントした用紙
- OHP フィルム
- バックライトフィルム（電飾フィルム）
- 水転写紙
- インクジェット用紙
- 布地転写用紙
- ベタ塗りの裏紙
- ノーカーボン紙
- 横目用紙のような、コシの弱い用紙
- 凹凸処理を施した紙（エンボス紙）
- ミシン目のある用紙

そのほかにも、使用できない用紙があります。詳しくはお買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

## 用紙の保管と取り扱い

### 用紙の保管

- 用紙はキャビネットの中や、湿気が少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、用紙づまりや画質不良の原因になります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は、折れや曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

### 用紙の取り扱い

- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。

### 用紙トレイにセットする用紙の種類について

用紙トレイ 1～4 にセットした用紙のサイズと向きは、本機が自動的に検知しますが、用紙の種類は設定が必要です。通常、各トレイは、普通紙が設定されています。ほかの種類用紙をセットする場合は、設定を変更してください。また、用紙に名前を付けて、ユーザー定義用紙として設定することもできます。ユーザー定義用紙は 5 種類まで設定できます。

#### 注記

- 1 つのトレイに異なるサイズの用紙を重ねてセットしないでください。

**補足**

- 用紙トレイ 5（手差し）は、用紙のサイズや向きを検知できません。

**参照**

- 用紙種類の設定については、「用紙の設定を変更する」(P.79) を参照してください。
- 対応する用紙サイズについては、「[サイズ検知切り替え]」(P.136) を参照してください。

**用紙補給について**

プリント中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給するとプリントが再開されます。

**注記**

- 紙づまりや用紙セットの間違いをしないために、用紙トレイに残っている用紙の上に用紙を補給しないでください。

**補足**

- 紙づまりを起こしたり、複数枚が同時に送られたりすることがあるので、用紙トレイにセットする前に、用紙をよくさばいてください。

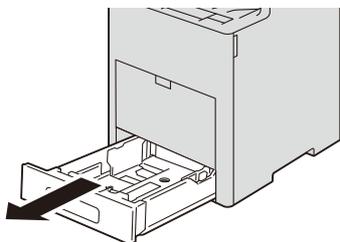
**用紙トレイ 1～4 に用紙をセットする**

用紙トレイ 1～4 に用紙をセットする手順について説明します。

**補足**

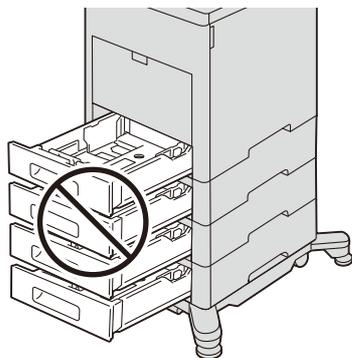
- 用紙トレイの長さを、A4、A5、B5、8.5×11"（レター）、8.5×14"（リーガル）、7.25×10.5" の範囲で調整できます。リーガルサイズの長さをお使いの場合、用紙トレイがプリンターの正面からはみ出します。

- 1** 用紙トレイが止まるまで引き出し、用紙トレイの手前を少し持ち上げます。用紙トレイを本体から取り外します。

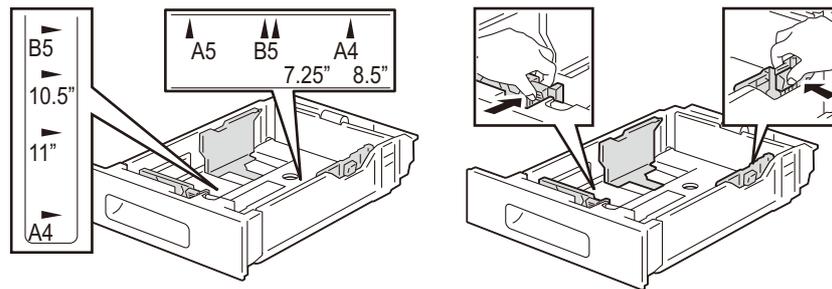


**注記**

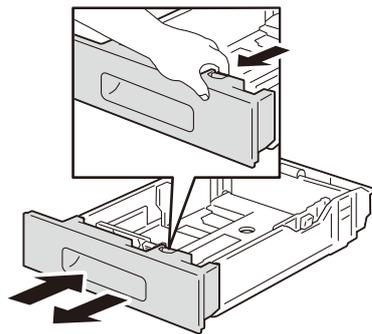
- 複数の用紙トレイを同時に引き出すと、機械全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



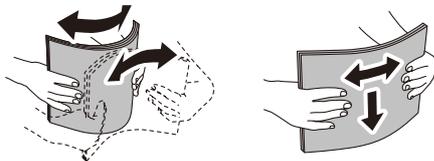
## 2 用紙ガイドレバーを用紙サイズに合った位置まで移動します。



リーガルサイズ用の紙をセットする場合は、トレイ前面のレバーをつまんで手前に引きます。



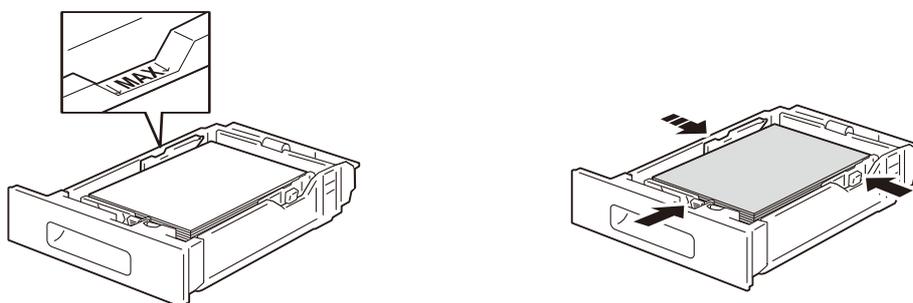
## 3 セットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。



## 4 プリントする面を上にして、用紙トレイに用紙をセットします。

### 補足

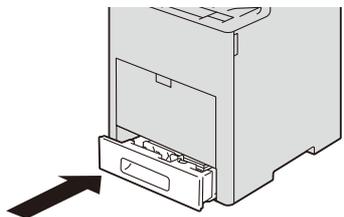
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。



**5** 用紙トレイを本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。

**補足**

- リーガルサイズ用紙をセットするためにトレイ前面を引き出している場合は、トレイが突き出した状態になります。



## 手差しトレイに用紙をセットする

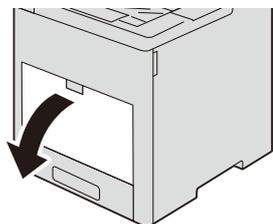
**注記**

- 手差しトレイからプリントをしているときに、手差しトレイに用紙を追加したり、用紙を取り除いたりしないでください。紙詰まりの原因となります。
- 手差しトレイの上に物を置かないでください。
- 手差しトレイに強い力をかけたり、下に押したりしないでください。

**補足**

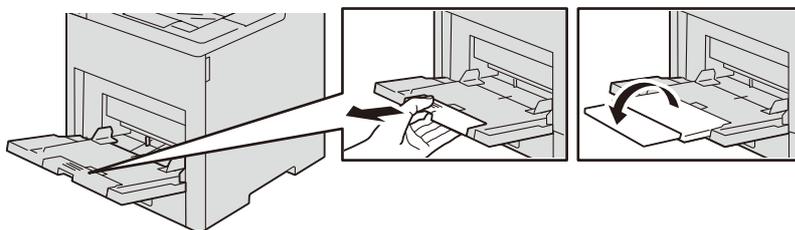
- 用紙が詰まる場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。

**1** 手差しトレイを開きます。

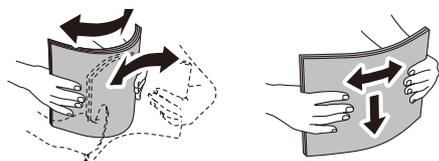


**補足**

- 必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。



**2** セットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。



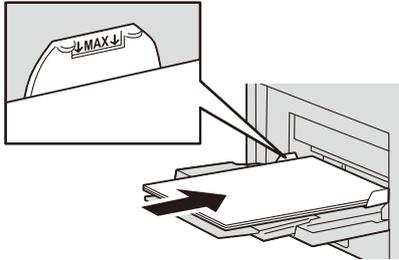
**補足**

- 使用するまで用紙を開封しないでください。

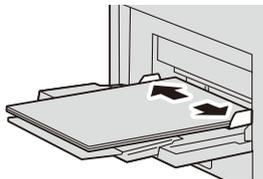
- 3** プリントする面を上にして、用紙をそろえた状態で先端が軽く突き当たるまで差し込みます。

**補足**

- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。



- 4** 用紙ガイドレバーをセットした用紙のサイズに合わせます。



## はがき、往復はがきをセットする

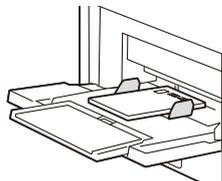
はがき、往復はがきは、手差しトレイとトレイ 1 にセットできます。

**注記**

- はがきや往復はがきの種類によっては、用紙送りローラーに汚れが付着し、紙詰まりを起こしたり斜めに印字されたりする場合があります。
- はがきは、幅が同一のものをセットしてください。幅が不揃いのはがきが混在すると、斜めに印字されることがあります。
- 折り目が大きい往復はがきの場合は、斜めに印字されることがあります。

### はがきをセットする

手差しトレイにセットする場合は、はがきをよくさばいてから、プリントする面を上にして、はがきの上辺が先に本機に入るようにセットします。



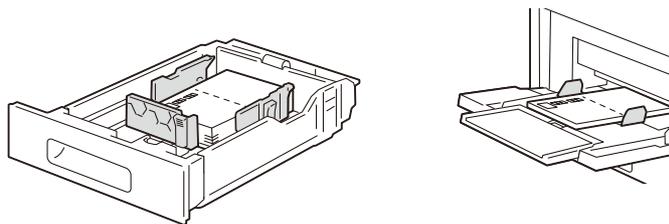
トレイ 1 にセットする場合は、A5 対応用紙ガイド（オプション）を装着しはがきをセットした後、プリンタードライバーでユーザー定義用紙を選択し、サイズを指定してください。

**参照**

- A5 対応用紙ガイド（オプション）の装着については、「A5 対応用紙ガイド（オプション）を使用する」（P.78）を参照してください。

### 往復はがきをセットする

往復はがきをよくさばいてから、プリントする面を上にして、往復はがきの右辺が先に本機に入るようにセットします。



### 両面にプリントするときには

はがきや往復はがきの両面にプリントするときは、片面にプリントしたあと、はがきや往復はがきの端にできた反りを平らにならしてからうら面をセットします。反りを直さずにセットすると、はがきや往復はがきが正しく給紙されない場合があります。



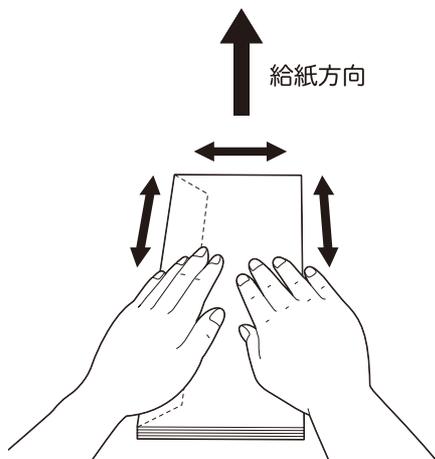
### 封筒をセットする

封筒は、手差しトレイとトレイ 1 にセットできます。

#### 補足

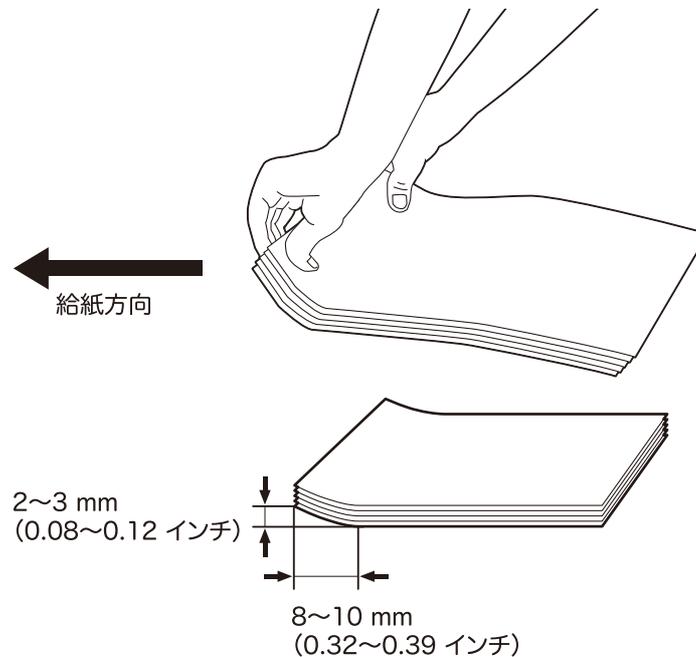
- トレイ 1 にセットする場合は、プリンタードライバーでユーザー定義用紙を選択し、サイズを指定してください。
- 開封したての新しい封筒を使用してください。

封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙詰まりを防止するため、セットするときには、次のように封筒全体をしっかり押さえて平らにしてください。



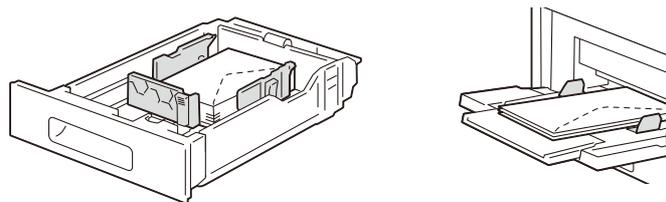
## 補足

- 異なるサイズの封筒を同時にセットしないでください。
- トレイに設定できる封筒の高さ（枚数）は、次のとおりです。
  - トレイ 1：約 45 mm 以下、かつ 50 枚以下
  - 手差しトレイ：約 16.5 mm 以下（10 枚程度）
- 封筒が正しく給紙されない場合は、封筒の端を図のようにカールさせてください。カール幅は 2～3 mm（0.08～0.12 インチ）をおすすめします。カールさせる領域は、封筒の先端から 8～10 mm（0.32～0.39 インチ）です。カールをつけすぎたり、しわをつけたりしないようにしてください。



## 洋封筒（#10、モナーク、DL、ISO-C5）

プリントする面を上にして封筒のフラップを閉じます。フラップを、給紙方向に向かって右側にセットします。



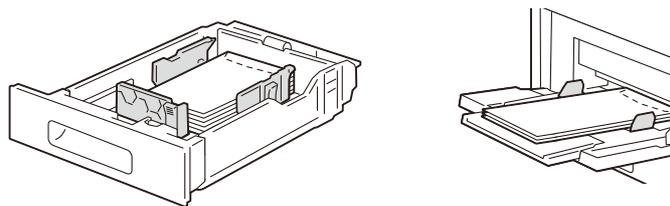
## 和封筒（長形 3/4 号、洋長形 3 号、角形 6 号、洋形 2/3/4 号）

プリントする面を上にして封筒をセットします。フラップにのりが付いているか付いていないかで、セット方法が異なります。

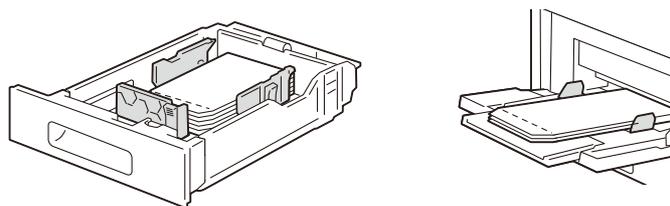
## 補足

- プリントするときに、プリンタードライバーの [用紙設定ガイド] で封筒の向きと印字方向を設定できます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 角形6号の封筒を使用する場合、続けてプリントすると排出トレイから封筒が押し出されることがあります。排出トレイからプリント済みの封筒を取り出してから、次のプリントを実行してください。

- のりが付いている場合  
フラップを閉じて、フラップがある側を給紙方向に向けてセットします。

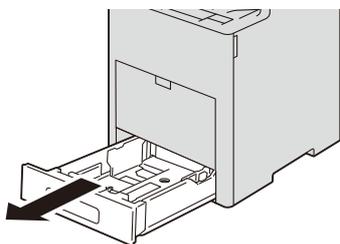


- のりが付いていない場合  
フラップを開いた状態で、封筒の底辺（フラップがない側）を給紙方向に向けてセットします。

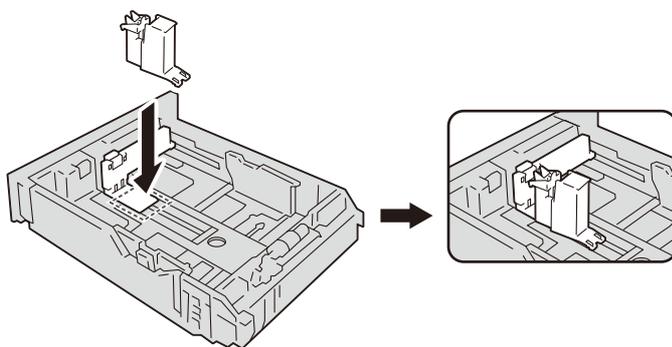


## A5 対応用紙ガイド（オプション）を使用する

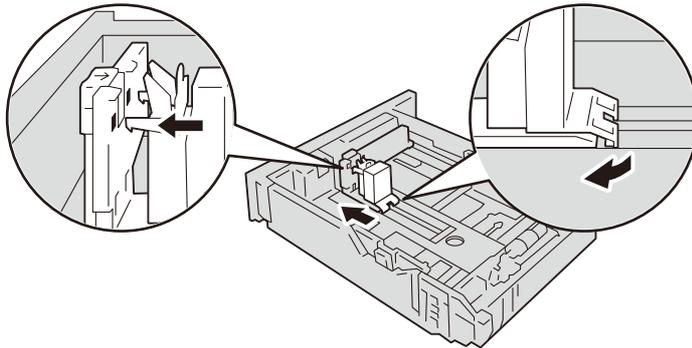
- 1 用紙トレイが止まるまで引き出し、手前を少し持ち上げて本体から取り外します。



- 2 トレイの用紙ガイドの上に、A5 対応用紙ガイドを置きます。



- 3** A5 対応用紙ガイドをスライドさせて、下側のツメを用紙ガイドの端に、上側のツメを上部の穴にはめ込みます。  
上側のツメが、「カチッ」と音がするまではめ込んでください。

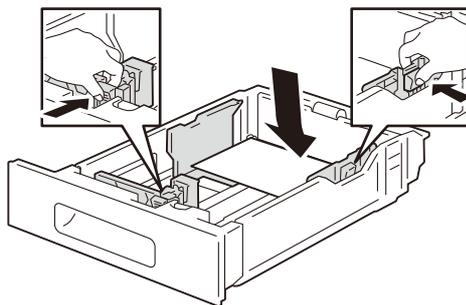


- 4** 用紙を取り出して、よくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。  
**5** プリントする面を上にして、用紙トレイに用紙をセットします。

**補足**

- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

- 6** 用紙の長辺をトレイの奥に合わせて、用紙がトレイの中央に位置するように用紙ガイドレバーを移動します。



- 7** 用紙トレイを本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。

**補足**

- プリントする場合は、プリンタードライバーのユーザー定義サイズで、A5 よこのサイズ (148 mm × 210 mm) を指定します。

## 用紙の設定を変更する

用紙トレイの用紙を変更したら、セットした用紙の種類、用紙の色などを設定してください。また、非定形サイズ of 用紙をセットした場合は、用紙サイズも設定してください。

**補足**

- [自動トレイ切り替え]、[トレイの優先順位]、[自動選択条件]、および [定形サイズボタン設定] は、機械管理者モードで設定できます。

**参照**

- [共通設定] については、「[共通設定]」(P.114) を参照してください。

- 1** ホーム画面で、[設定] > [用紙トレイ] をタップします。

**2** 用紙設定を変更するトレイをタップします。

**3** 用紙サイズをタップします。

**補足**

- 非定形サイズの用紙をセットした場合は、[サイズ入力] をタップして、用紙サイズを設定します。
- [自動サイズ検知] を設定すると、用紙を自動的に認識します。

**4** 用紙の種類を変更する場合は、用紙の種類をタップして設定します。

**5** 用紙の色を変更する場合は、用紙の色をタップして設定します。

**6** 選択しているトレイの用紙がなくなったときに、自動的にトレイを切り替える場合は、[自動トレイ切り替え] をタップしてチェックマークを付けます。

**7** 自動トレイ選択時に同様の用紙設定で複数のトレイがセットされている場合、[トレイの優先順位] で優先順位を設定します。

**8** [自動選択条件] をタップして条件を設定します。

**補足**

- 設定した条件のときは、自動トレイ選択の対象になります。

**9** トレイ 5 (手差し) の場合は、[定形サイズボタン設定] が表示されます。用紙サイズを変更する場合に、頻繁に使用する用紙を上位に設定しておくこと、より使いやすくなります。

**10** [OK] をタップします。

4

プリント

## 機能の紹介

プリント機能の概要について説明します。

本機では、次のようなプリント機能を利用できます。

### ■ コンピューターからの指示でプリント

- プリンタードライバーを使ってプリント
- メールに添付した文書をプリント（メール受信プリント）
- CentreWare Internet Services を使ってプリント

### ■ 本機に蓄積したデータのプリント

- サンプルプリント
- 時刻指定プリント
- セキュリティプリント
- 認証プリント
- プライベートプリント

### ■ USB メモリーに保存されたデータのプリント

- 文書プリント
- デジカメプリント

### ■ その他のプリントサービス

- モバイル機器からのプリント
- AirPrint
- Google クラウドプリント

## 最新ソフトウェアの入手方法について

プリンタードライバー、ユーティリティなどの、最新版のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次の URL にアクセスして、ダウンロードしてください。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/index.html>

# コンピューターからの指示でプリント

## プリンタードライバーを使ってプリント

### 参照

- プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

### プリントする

ここでは代表的なプリント手順を説明します。

### 補足

- プリンタードライバー画面の [用紙設定ガイド] をクリックすると、ナビゲーション画面が表示され、印刷する用紙に応じて必要な項目を設定できます。

- 1 プリントするファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
- 3 本機を選び、必要に応じて設定を変更し、[OK] をクリックします。
- 4 [印刷] をクリックします。

### プリントを中止する

実行中のプリントジョブを中止する方法を説明します。

- 1 ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
- 2 中止するプリントジョブをタップします。
- 3 [ストップ] をタップします。
- 4 [中止] をタップします。

## メールに添付した文書をプリント（メール受信プリント）

コンピューターや携帯電話などから文書を添付したメールを本機に送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的にプリントされます。

### 補足

- 本機が認証モードに設定されている場合は、自動的にプリントされません。
- 本機能を利用するには、メールアドレスの登録およびメール機能の設定が必要です。

## コンピューターからメールを送信する

### 1 お使いのメールソフトで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

#### 補足

- メール本文がテキスト形式でも HTML 形式でも受信できます。ただし、HTML 形式で本文がプリントされるのは、HTML とテキストの両方の形式のデータを持つメール（マルチパートメール）だけです。テキスト形式のデータがない場合、本文はプリントされません。
- 添付ファイルの拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jfif」、「.xps」、「.oxps」、「.xdw」、「.xbd」の場合は、プリントされます。
- 添付ファイルの拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset が指定されている場合のみ、プリントされます。

#### 参照

- 本機がサポートする Web メールであっても、送信方法によっては正しくプリントされないことがあります。詳しくは、「メール受信プリントのトラブル」(P.247) を参照してください。

### 2 宛先に本機のメールアドレスを入力します。

### 3 メールを送信します。

## ジョブ属性を指定してメールプリントする

ジョブ属性を指定すると、カラーモードや用紙サイズなどを設定してメールプリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は、次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
カラーモード	モノクロ	mono
両面 / 片面	片面	simp
	両面（長辺とじ）	dup
	両面（短辺とじ）	tumble
N-up <sup>*1*2</sup> （まとめて一枚）	1 アップ <sup>*3</sup>	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up
用紙サイズ <sup>*2</sup>	A4	a4
	B5	b5
	A5	a5
	レター（8.5 × 11"）	letter
	リーガル	legal

\*1 : 添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、[PDF エミュレーション設定] の [プリント処理モード] を [PS] に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップでプリントされます。

\*2 : メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。

\*3 : [1 アップ] を指定した場合は、出力サイズに印刷内容が収まるように、原稿を自動的に拡大縮小して印刷されます。

#### 補足

- 本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従ってプリントされます。
- 原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付ファイルの種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

**1** お使いのメールソフトで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

**2** メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。

ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ (,) で区切り、「@@ ジョブ属性 (, ジョブ属性) (, ジョブ属性) @@」と入力します。

例) 件名が「参考資料」で、モノクロ、両面 (長辺とじ)、2 アップでプリントする場合

@@mono,dup,2up@@ 参考資料

**補足**

- ジョブ属性を指定するときに、大文字、小文字の区別はありません。
- ジョブ属性、カンマ (,)、およびアットマーク (@) は、半角で入力してください。

**参照**

- メール本文のプリントは、CentreWare Internet Services の [受信メールシートのプリント] でも設定できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

**3** メールの件名を確認し、送信します。

## CentreWare Internet Services を使ってプリント

ファイルをプリンタードライバーを使用せずにプリントできます。

**補足**

- CMYK の TIFF ファイルと JPEG (JFIF) ファイルには対応していません。

**参照**

- 詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

**1** CentreWare Internet Services を起動します。

**2** ホーム画面下部の [プリント] をクリックします。

**3** [選択] をクリックして、ファイルを指定します。

**4** 必要に応じて [プリント設定] を設定します。

**5** [プリント実行] をクリックします。

# 本機に蓄積したデータのプリント

## サンプルプリント

複数の部数をプリントする場合、試しに1部だけプリントして内容を確認したあと、残りの部数を本機側からプリントできます。

ここでは、保存された文書のプリント、および削除方法について説明します。

### 補足

- プリント指示はプリンタードライバーから行います。プリント方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- サンプルプリントは、[認証/プライベートプリントの設定]の[受信制御]の設定によっては利用できません。詳しくは、「[受信制御]」(P.171)を参照してください。

### 1 ホーム画面で、[ジョブ情報]をタップします。

#### 補足

- カスタマイズ機能を利用して、[サンプルプリント]をホーム画面に表示させることもできます。詳しくは、「カスタマイズ機能について」(P.61)を参照してください。

### 2 画面下部の[サンプルプリント]をタップします。

#### 補足

- [サンプル/時刻指定プリント]と表示されている場合は、[サンプル/時刻指定プリント]>[サンプルプリント]をタップしてください。
- [その他の文書]の表示がある場合は、[その他の文書]>[サンプルプリント]をタップしてください。

### 3 文書が保存されているフォルダーをタップします。

### 4 プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。

#### 補足

- 文書を削除する場合は、文書を選んで[削除]をタップします。
- 複数の文書を選択した場合、文書は選択順にプリントされます。

#### 参照

- ボタン操作については、「共通の操作ボタンの説明」(P.58)を参照してください。

### 5 必要に応じて、部数を変更します。

#### 補足

- 表示されている部数は、プリンタードライバーで設定した部数から1部差し引かれた部数です。

### 6 [プリント]をタップします。

サンプルプリント文書をプリントします。残り部数をプリントしたあと、文書は削除されます。

#### 補足

- [プリント時の確認画面表示]が[しない]に設定されている場合は、確認画面は表示されずに、プリント後に文書は自動的に削除されます。詳しくは、「[プリント時の確認画面表示]」(P.140)を参照してください。

## 時刻指定プリント

指定された時刻に自動的に印刷を開始します。印刷待機中（指定したプリント時刻より前）に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後に自動的に印刷が開始されます。

ここでは、保存された文書を指定時間前にプリント、および削除方法について説明します。

### 補足

- プリント指示はプリンタードライバーから行います。プリント方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 時刻指定プリントは、[認証 / プライベートプリントの設定] の [受信制御] の設定によっては利用できません。詳しくは、「[受信制御]」(P.171) を参照してください。

### 1 ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。

#### 補足

- カスタマイズ機能を利用して、[時刻指定プリント] をホーム画面に表示させることもできます。詳しくは、「カスタマイズ機能について」(P.61) を参照してください。

### 2 画面下部の [時刻指定プリント] をタップします。

#### 補足

- [サンプル / 時刻指定プリント] と表示されている場合は、[サンプル / 時刻指定プリント] > [時刻指定プリント] をタップしてください。
- [その他の文書] の表示がある場合は、[その他の文書] > [時刻指定プリント] をタップしてください。

### 3 プリントする文書をタップします。

#### 補足

- 文書を削除する場合は、文書を選んで [削除] をタップします。

#### 参照

- ボタン操作については、「共通の操作ボタンの説明」(P.58) を参照してください。

### 4 [プリント] をタップします。

時刻指定プリントで保存されている文書をプリントします。プリントしたあと、文書は削除されます。また、手動でプリント指示をすると、予定時刻になってもプリントされません。

#### 補足

- [プリント時の確認画面表示] が [しない] に設定されている場合は、確認画面は表示されずに、プリント後に文書は自動的に削除されます。詳しくは、「[プリント時の確認画面表示]」(P.140) を参照してください。

## セキュリティープリント

プリント文書に暗証番号を設定して本機に保存します。操作パネルで暗証番号を入力したときだけプリントできるので、機密文書をプリントする場合に便利です。

ここでは、保存された文書のプリント、および削除方法について説明します。

### 補足

- プリント指示はプリンタードライバーから行います。プリント方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- セキュリティープリントは、[認証 / プライベートプリントの設定] の [受信制御] の設定によっては利用できません。詳しくは、「[受信制御]」(P.171) を参照してください。

- 1 ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。

### 補足

- カスタマイズ機能を利用して、[セキュリティープリント] をホーム画面に表示させることもできます。詳しくは、「カスタマイズ機能について」(P.61) を参照してください。

- 2 画面下部の [セキュリティープリント] をタップします。

- 3 対象のユーザーをタップします。

### 補足

- ユーザーに  が表示されている場合は、プリンタードライバーで指定した暗証番号の入力が必要です。暗証番号を入力して、[OK] をタップしてください。

- 4 プリントする文書をタップして、チェックマークを付けます。

### 補足

- 文書を削除する場合は、文書を選んで [削除] をタップします。
- 複数の文書を選択した場合、文書は選択順にプリントされます。

### 参照

- ボタン操作については、「共通の操作ボタンの説明」(P.58) を参照してください。

- 5 プリントするときは、部数を入力します。

- 6 [プリント] をタップします。

プリントしたあとの文書処理の選択画面が表示されます。

### 補足

- [プリント時の確認画面表示] が [しない] に設定されている場合は、確認画面は表示されずに、プリント後に文書は自動的に削除されます。詳しくは、「[プリント時の確認画面表示]」(P.140) を参照してください。

## 認証プリント

認証プリントは、本機にユーザーを認証させることにより、不正なプリントをさせない機能です。

プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID を設定したジョブは、蓄積用ユーザー ID ごとに保存されます。プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID が設定されていないジョブは、[(ユーザー ID なし)] に保存されます。

ここでは、保存された文書のプリント、および削除方法について説明します。

**補足**

- プライベートプリントには保存できない、ユーザーIDなしのジョブ (ContentsBridge、CentreWare Internet Services を使用したプリント、メールプリントなど) も認証してプリントできます。
- プリント指示はプリンタードライバーから行います。プリント方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 認証プリントは、[認証 / プライベート プrint の設定] の [受信制御] の設定によっては利用できません。詳しくは、「[受信制御]」(P.171) を参照してください。

**参照**

- 本機でユーザー ID を設定するには、「[ユーザー登録 / 集計確認]」(P.163) を参照してください。
- 認証プリントの設定方法は、「[認証 / プライベートプリントの設定]」(P.170) を参照してください。

**1** 認証モードにログインします。**2** ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。**補足**

- カスタマイズ機能を利用して、[認証プリント] をホーム画面に表示させることもできます。詳しくは、「カスタマイズ機能について」(P.61) を参照してください。

**3** 画面下部の [認証プリント] をタップします。**補足**

- [その他の文書] の表示がある場合は、[その他の文書] > [認証プリント] をタップします。

**4** 対象のユーザーをタップします。**補足**

- ユーザーに  が表示されている場合は、暗証番号の入力が必要です。暗証番号を入力して、[OK] をタップしてください。

**5** プリントする文書を選びます。**補足**

- 文書を削除する場合は、文書を選んで [削除] をタップします。
- 複数の文書を選択した場合、文書は選択順にプリントされます。

**参照**

- ボタン操作については、「共通の操作ボタンの説明」(P.58) を参照してください。

**6** プリントするときは、部数を入力します。**7** [プリント] をタップします。

プリントしたあとの文書処理の選択画面が表示されます。

**補足**

- [プリント時の確認画面表示] が [しない] に設定されている場合は、確認画面は表示されずに、プリント後に文書は自動的に削除されます。詳しくは、「[プリント時の確認画面表示]」(P.140) を参照してください。

## プライベートプリント

プリントを指示したデータを一時的に認証用ユーザー ID ごとに蓄積させ、プリントしたいときに本機側の指示でプリントできます。必要な文書だけ選択してプリントできるため、無駄な出力を抑えることができます。また、認証されたユーザーの文書およびユーザーに関連づけられたサブユーザーの文書しか本機に表示されないため、プライバシーの保護を図ることができます。機械管理者によって管理されている特定ユーザーの認証 / 集計管理に向いています。

ここでは、保存された文書のプリント、および削除方法について説明します。

### 補足

- プリント指示はプリンタードライバーから行います。プリント方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- プライベートプリントは、ユーザー ID 認証のほかに、カード認証や、カード認証とユーザー ID 認証の併用でも使用できます。詳しくは、「認証の種類について」(P.187)を参照してください。

- 1 認証モードにログインします。
- 2 ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
- 3 画面下部の [プライベートプリント] をタップします。
- 4 プリントする文書を選びます。

### 補足

- 文書を削除する場合は、文書を選んで [削除] をタップします。
- 複数の文書を選択した場合、文書は選択順にプリントされます。

### 参照

- ボタン操作については、「共通の操作ボタンの説明」(P.58)を参照してください。

- 5 プリントするときは、部数を入力します。
- 6 [プリント] をタップします。

プリントしたあとの文書処理の選択画面が表示されます。

### 補足

- [プリント時の確認画面表示] が [しない] に設定されている場合は、確認画面は表示されずに、プリント後に文書は自動的に削除されます。詳しくは、「[プリント時の確認画面表示]」(P.140)を参照してください。

# USB メモリーに保存されたデータのプリント

USB メモリーを本機に接続して、USB メモリーに保存されたデータをプリントします。この機能をメディアプリントと呼びます。

## 注記

- USB メモリー内のデータは、次のような理由により消失、破損するおそれがありますので、必ず内部のデータをバックアップしてからご使用ください。なお、お客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  - マニュアルに記載された方法以外で USB メモリーの抜き差しをしたとき
  - 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
  - 故障、修理などのとき
  - 天災による被害を受けたとき
- 著作権保護機能付きの音楽データなどのバックアップできないデータが保存されたメディアは使用しないでください。データの破損・消失による直接・間接の損害につき、弊社は一切の責任を負いかねます。

## 補足

- 文書プリント、デジカメプリントでは、市販のシングルスロットタイプのメモリーカードリーダーを使用できますが、動作保証はできません。マルチスロットのメモリーカードリーダーでは、特定の1つのスロットだけしか使用できません。どのスロットを使用できるかはリーダーの機種ごとに異なり、お客様が使いたいメディア / メモリーカードのスロットを複合機では使えない場合があります。また、動作保証はできません。
- CentreWare Internet Services での設定によっては、本機能を使用できないことがあります。

## 参照

- USB メモリーの取り外しについては、「USB メモリーの取り外し」(P.93) を参照してください。

メディアプリント機能には、デジタルカメラの標準フォーマットで格納されたデータをプリントするデジカメプリントモード、文書フォーマットで格納されたデータをプリントする文書プリントモードがあります。また、デジカメプリントモードで読み込まれたファイルの一覧をプリントするインデックスプリントがあります。

## 対応ファイル

対応ファイルは次のとおりです。

デジカメプリント	文書プリント
<ul style="list-style-type: none"> <li>• JPEG ファイル</li> <li>• TIFF ファイル</li> </ul> DCF1.0 (Exif2.0、Exif2.1、Exif2.2) の JPEG/TIFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PDF ファイル 拡張子：pdf、PDF1.3 以上</li> <li>• TIFF ファイル 拡張子：tif、MH/MMR 圧縮、8 ビットグレースケール (非圧縮、PackBits 圧縮、JPEG 圧縮)、8 ビット RGB インデックスカラー (非圧縮、PackBits 圧縮)、24 ビット RGB カラー (非圧縮、PackBits 圧縮、JPEG 圧縮)</li> <li>• XPS ファイル 拡張子：xps、oxps</li> <li>• DocuWorks 文書 拡張子：xdw</li> <li>• DocuWorks バインダー文書 拡張子：xbd</li> <li>• JPEG (JFIF) ファイル 拡張子：jpg、グレースケール (8 ビット)、カラー (24 ビット、sRGB 色空間)</li> </ul>

**注記**

- デジタルカメラで使われる DCF (Design rule for Camera File system) 規格のフォルダーは表示されません。
- フォルダーの数が 900 個を超えるメディアは、正しく認識されないことがあります。
- ファイルのフルパス (すべての階層のフォルダー名、およびファイル名を含んだ文字列) が 257 文字を超える場合は、表示されません。
- ファイル名に、本機でサポートしていない文字が含まれる場合は、画面に表示されないことがあります。
- デジタルカメラのファイルを USB メモリーに保存しプリントする場合は、デジタルカメラの DCIM フォルダーごと保存してください。
- Exif フォーマットでない画像ファイル (コンピューターで作成された JPEG/TIFF ファイル) はプリントできません。

**補足**

- 認識できるファイル名は、デジカメプリントでは、8 文字以内、文書プリントでは、半角で 255 文字、全角で 83 文字以内です。
- メディアプリントで処理できるファイル数は、900 ファイルです。
- メディア内のファイル数や容量によっては、プリントに数分から数十分かかることがあります。
- メディアプリントで PDF ファイルをプリントする場合、[PDF エミュレーション設定] の [プリント処理モード] の設定にかかわらず、[PDF Bridge] が使用されます。
- メディアは、コンピューターでフォーマットしたものを使用してください。対応しているフォーマットは FAT12、FAT16、FAT32 だけです。NTFS、exFAT フォーマットには対応していません。
- メディアは、最大容量が 128 GB までのものを使用してください。
- ファイル名に機種依存コードを使用している場合は、ファイル認識や画面表示が正しく行われな場合があります。
- CMYK の TIFF ファイルと JPEG (JFIF) ファイルには対応していません。
- 次の USB メモリーは対象外です。
  - USB メモリーのコンテンツにアクセスするために別途ユーティリティが必要なメディアパーティションが複数ある USB メモリー
  - 外付けのハブを介して接続した USB メモリー

## 文書プリント

### 1 USB メモリー差込口に、USB メモリーを差し込みます。

**補足**

- 節電中の場合は、節電状態を解除してから USB メモリーを差し込んでください。
- USB メモリーを差し込んだ状態のときは、ホーム画面で、[USB] をタップして、手順 3 へ進みます。

### 2 [確認] をタップします。

### 3 [文書プリント] をタップします。

### 4 対象フォルダーからプリントする文書をタップします。

**補足**

- [文書プリント] 画面が表示されたら、[文書を追加する] をタップしてください。
- 複数の文書をプリントまたは削除する場合は、チェックボックスにチェックマークを付けます。

### 5 必要に応じて、各機能を設定します。

**参照**

- 詳しくは、「機能リスト」(P.94) を参照してください。

- 6 [プリント] をタップします。

## デジカメプリント

- 1 USB メモリー差込口に、USB メモリーを差し込みます。

### 補足

- 節電中の場合は、節電状態を解除してから USB メモリーを差し込んでください。
- USB メモリーを差し込んだ状態のときは、ホーム画面で、[デジカメプリント] をタップして、手順 4 に進みます。

- 2 [確認] をタップします。

- 3 [デジカメプリント] をタップします。

- 4 該当するフォルダーからプリントする文書または写真をタップします。

### 補足

- [デジカメプリント] 画面が表示されたら、[写真を追加する] をタップしてください。
- 複数の写真をプリントまたは削除する場合は、チェックボックスにチェックマークを付けます。

- 5 必要に応じて、各機能を設定します。

### 参照

- 詳しくは、「機能リスト」(P.94) を参照してください。

- 6 [プリント] をタップします。

## USB メモリーの取り外し

### 注記

- USB メモリー内のデータへのアクセス中やプリント中に USB メモリーを取り外すと、USB メモリー内のデータを破壊する場合があります。
- 本機の電源を切るときには、メディアを取り出してから行ってください。

USB メモリーは、次の手順で取り外してください。

- 1 設定画面の  または  をタップします。

- 2 [はい (取り出す)] をタップします。

- 3 USB メモリーを取り外します。

## 機能リスト

### 補足

- 機能によって、表示される項目が異なります。

### [部数]

部数を入力します。

### [インデックスプリント]

インデックスプリントを有効にします。縮小画像の一覧とインデックス番号、ファイル名、メディアへの書き込み日時がプリントできます。

### [カラーモード]

フルカラーまたは白黒を設定します。

### [用紙選択]

用紙トレイを選びます。[自動] を選ぶと、適切な用紙トレイが選択されます。

### [両面プリント]

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。

### [出力写真サイズ]

出力写真サイズを設定します。

### [まとめて1枚 (Nアップ)]

2枚、4枚、8枚の原稿を1枚にまとめてプリントします。プリント時のレイアウトや原稿のセット向きを指定します。

### [スムージング]

イメージにスムージング処理をして、滑らかに見せるかどうかを設定します。

# その他のプリントサービス

## モバイル機器からのプリント

Print Utility (Android OS/iOS) や AirPrint (iOS) で、モバイル機器から本機にプリントできます。ここでは、Android 端末から Print Utility を使って、プリントする例を説明します。

### 補足

- Print Utility for AndroidはGoogle Playから、Print Utility for iOSはApp Storeから無料でダウンロードできます。
- モバイル機器の操作方法については、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。
- Print Utility については、弊社公式サイトをご覧ください。

- 1 [Print Utility] を起動します。
- 2 [プリント] をタップし、プリントしたい項目を選択します。
- 3 [印刷設定] をタップします。
- 4 [プリンター未登録] をタップし、本機を選択し、[閉じる] をタップします。
- 5 [プリント] をタップします。

### 補足

- 本機が表示されない場合は、[IP アドレス指定に切り替える] をタップして、本機の Wi-Fi Direct の IP アドレスを設定してください。IP アドレスは、「手動接続する (Android OS/iOS)」(P.45) の手順を参照して確認してください。

## NFC 機能でプリントする

モバイル機器が NFC タッチプリントに対応している場合は、操作パネルの NFC タッチエリアにタッチするだけで自動的にプリントできます。

本機の NFC 機能を利用するには、CentreWare Internet Services の設定が必要です。

### ■ NFC の設定を有効にする

- 1 CentreWare Internet Services を起動して、機械管理者モードにログインします。
- 2 左側のメニューから [ネットワーク] をクリックします。
- 3 [インターフェイス設定] の [NFC] をクリックします。
- 4 [有効] にチェックマークを付けます。
- 5 [保存] をクリックします。

### 補足

- 設定を反映するには再起動が必要です。画面の指示に従って、再起動してください。

## AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供する印刷サービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad/iPhone などの iOS 搭載端末や macOS/OS X のコンピューターから指示した文書を、お使いの機械でプリントできます。

### 補足

- AirPrint の最新の情報については、Apple Inc. の公式サイトを参照してください。

### iBeacon for Printers を有効にする

AirPrint を使ってプリントする際に、iOS 端末の [アクション] > [プリント] > [プリンタ] で近くにある本機を選択できるようにします。PIN の入力などは必要ありません。

iBeacon for Printers 機能を使用すると、異なるサブネットに接続されているために Bonjour で見つけることのできない本機を検索できます。

- 1 CentreWare Internet Services を起動して、機械管理者モードにログインします。
- 2 [ネットワーク] > [Bluetooth] をクリックします。  
[Bluetooth low energy] 画面が表示されます。
- 3 [ポート (Bluetooth low energy)] にチェックマークを付けます。
- 4 [iBeacon for Printers] にチェックマークを選択します。
- 5 [保存] をクリックします。

### 補足

- 設定を反映するには再起動が必要です。画面の指示に従って、再起動してください。

### AirPrint の設定を有効にする

- 1 CentreWare Internet Services を起動して、機械管理者モードにログインします。
- 2 左側のメニューから [ネットワーク] をクリックします。
- 3 [モバイルプリント設定] の [AirPrint™] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。

### 補足

- USB で接続しているときは、[AirPrint] の [USB 接続] にもチェックマークを付けます。

- 4 必要に応じて、各機能を設定します。
- 5 [保存] をクリックします。

### 補足

- 設定を反映するには再起動が必要です。画面の指示に従って、再起動してください。

## ■ コンピューター側の設定 (macOS/OS X のみ)

AirPrint を使用する場合は、あらかじめお使いの機械をコンピューターに登録しておく必要があります。

### 補足

- USB 接続を経由して AirPrint を使用する場合は、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続すると自動的に登録されるため、この設定は不要です。

- 1 ネットワークに接続されたコンピューターで、[Apple] メニュー > [システム環境設定] をクリックします。
- 2 [プリンタとスキャナ] をクリックします。
- 3 [+] (追加) をクリックします。

### 補足

- [+] (追加) をクリックしたときにドロップダウンメニューが表示された場合は、[プリンタまたはスキャナを追加] を選択してください。

- 4 [名前] の一覧から本機を選択します。

### 補足

- ネットワーク内のプリンターが自動的に検出されて [名前] の一覧に表示されます。表示されない場合は、本機とコンピューターのネットワーク設定を確認してください。

- 5 [ドライバ] > [Secure AirPrint] または [AirPrint] > [追加] をクリックします。  
[プリンタとスキャナ] 画面の [プリンタ] の項目に本機が追加されます。

## プリントする

### ■ iOS からプリントする

ここでは iPad を例に、iOS からプリント指示する手順を説明します。

- 1 プリントする文書を開きます。
- 2 メニューから [プリント] をタップします。
- 3 [プリンタを選択] をタップします。
- 4 本機を選び、プリント設定をします。
- 5 [プリント] をタップします。

### ■ macOS/OS X からプリントする

- 1 プリントする文書を表示します。
- 2 [ファイル] メニュー > [プリント] をクリックします。
- 3 [プリンタ] で本機を選択し、プリント設定を確認して、[プリント] をクリックします。

### 補足

- 本機で対応していないプリント設定は選択できません。

## Google クラウドプリント

Google クラウドプリントは、Google Inc. が提供するプリントサービスです。本機を Google クラウドプリントに登録すると、Google クラウドプリントに対応したアプリケーションからプリントできます。

Google クラウドプリントに本機を登録するには、あらかじめ利用するユーザーの Google アカウント（メールアドレス）を作成しておく必要があります。

### 補足

- Google クラウドプリントは IPv4 接続にだけ対応しています。
- 本機をプロキシサーバー経由でネットワークに接続している場合は、CentreWare Internet Services から [プロキシサーバー] を設定する必要があります。詳しくは、CentreWare Internet Services ヘルプを参照してください。
- 認証 / 集計管理機能を有効にしているときは、CentreWare Internet Services の [認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] > [ユーザー指定なしプリント] を [制限しない] に設定する必要があります。

### 参照

- Google クラウドプリントについては、次の URL を参照してください。  
<https://www.google.com/cloudprint/learn/>
- アカウントの作成方法については、Google Inc. のウェブサイトを参照してください。

## 本機で Google クラウドプリントを使うために必要な作業

Google クラウドプリントを使用するには、Google アカウントを取得する必要があります。

### ■ Google クラウドプリントポートの起動

- 1 CentreWare Internet Services を起動して、機械管理者モードにログインします。
- 2 左側のメニューから [ネットワーク] をクリックします。
- 3 [モバイルプリント設定] の [Google Cloud Print™] をクリックして、[有効] にチェックマークを付けます。
- 4 [保存] をクリックします。

### 補足

- 設定を反映するには再起動が必要です。画面の指示に従って、再起動してください。

## Google クラウドプリントに本機を登録する

CentreWare Internet Services または Google Chrome を使って Google クラウドプリントに本機を登録します。

### ■ CentreWare Internet Services を使って登録する場合

- 1 CentreWare Internet Services を起動して、機械管理者モードにログインします。
- 2 左側のメニューから [ネットワーク] をクリックします。
- 3 [モバイルプリント設定] の [Google Cloud Print™] > [プリンター登録] をクリックします。

### 補足

- WiFi アダプターが装着されている場合は、使用するインターフェースを選択できます。

- 4 [登録] > [開始] をクリックします。  
Google クラウド プリント登録サイトの URL が記載された用紙がプリントされます。
- 5 用紙に記載されたURLをWebブラウザに入力し、Google クラウド プリントの登録サイトにアクセスします。  
**補足**
  - 用紙に記載された QR コードを読み取って登録サイトにアクセスすることもできます。
- 6 ログイン画面で、お使いの Google アカウントを入力してログインします。
- 7 利用するユーザーの Google アカウント名とパスワードを入力してログインします。
- 8 [プリンタ登録を完了] をクリックします。
- 9 [Manage your printers] をクリックします。
- 10 本機がリストに表示されていることを確認します。  
**補足**
  - オーナー以外のアカウントで利用したい場合は、共有の設定をしてください。

#### ■ Google Chrome を使って登録する場合

- 補足**
  - Bonjour が有効になっていることを確認します。
- 1 Google Chrome を起動します。
- 2 画面右上にある  > [設定] をクリックします。
- 3 [詳細設定] > [印刷] > [Google クラウドプリント] をクリックします。
- 4 [クラウドプリントデバイスを管理] をクリックします。  
**補足**
  - [新しいデバイス] の下に Chrome へのログインを促すメッセージが表示されたら、[ログイン] をクリックして Chrome にログインします。
- 5 [プリンタを追加] をクリックします。
- 6 登録するプリンターにチェックマークを付けて、[プリンタを追加] をクリックします。
- 7 機械管理者として、本機の認証モードに入ります。
- 8 本機のホーム画面で、[設定] > [ネットワーク設定] > [Google クラウドプリント登録] を選択します。
- 9 確認画面で [はい (登録する)] をタップします。
- 10 Google Chrome の [マイデバイス] に本機の名前が表示されることを確認します。  
登録が完了すると、オーナーのアカウントでログインすることで、本機からプリントできます。

### Google クラウドプリントへの登録を解除する

Google クラウドプリントのプリンター管理画面からお使いの機械の登録を解除しても、機械側には設定が反映されません。必ず CentreWare Internet Services から、次の手順で登録の解除を行ってください。

- 1 CentreWare Internet Services を起動して、機械管理者モードにログインします。
- 2 左側のメニューから [ネットワーク] をクリックします。
- 3 [モバイルプリント設定] の [Google Cloud Print™] > [プリンター登録] > [登録を解除] をクリックします。  
メッセージが [登録済み] から [未登録] に変わります。

### Google クラウド プリントでプリントする

#### 参照

- Google クラウド プリントを使ってプリントできるアプリケーションや、プリントの手順については、次の URL を参照してください。  
<https://www.google.com/cloudprint/learn/>

# 5

## ジョブ情報

## ジョブ情報の概要

ジョブ情報では、実行中や実行待ちのジョブや、完了したジョブなどを確認できます。また、プリントを中止したり、プリント待ちや操作待ちのジョブをプリントしたりできます。

# 実行完了 / 実行中 / 実行待ちジョブの確認

ジョブの状況を確認できます。

- 1 ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。  
すべてのジョブが表示されます。

## ジョブ単位で表示

- 1 [すべてのジョブ] をタップします。
- 2 表示させるジョブをタップします。

## 実行中 / 実行待ちジョブの中止

- 1 ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
- 2 [すべてのジョブ] > [実行中 / 待ちジョブ] をタップします。
- 3 中止するジョブをタップします。
- 4 [中止] をタップします。

### 補足

- 機能によって、表示が異なります。画面の表示に従って操作してください。

## 実行待ちジョブを優先実行

- 1 ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
- 2 [すべてのジョブ] > [実行中 / 待ちジョブ] をタップします。
- 3 優先で実行するジョブをタップします。
- 4 [優先] をタップします。

## 実行待ちジョブのプリント

[プリント起動] で設定されている時間まで、プリント待ちになっているジョブを強制的にプリントできません。

また、プリント中に中断されているジョブがある場合は、プリントを再開します。

### 参照

- プリント起動については、「[プリント起動]」(P.129)を参照してください。

- 1 ホーム画面で、[ジョブ情報] をタップします。
- 2 [すべてのジョブ] > [実行中 / 待ちジョブ] をタップします。
- 3 実行するジョブをタップします。
- 4 [スタート] をタップします。

### 補足

- 機能によって、表示が異なります。画面の表示に従って操作してください。

# 6

## 基本設定

## 概要

本機の設定を変更したり、設定内容を確認したりできるメニューについて説明します。

ホーム画面で [設定] をタップしてください。

### 補足

- この章では、機械管理者モードでのみ操作できる項目も含めて記載しています。また、お使いの機種やほかの設定によって、表示されない項目もあります。

## [言語切り替え]

タッチパネルディスプレイに表示される言語を切り替えます。

### [キーボード]

文字入力時に表示されるキーボードのレイアウトを設定します。

### [ホームに [言語切り替え] ボタンを表示]

ホーム画面に言語切り替えボタンを表示するかどうかを設定します。

## [機械確認 / レポート]

シリアル番号やプリントページ数、IP アドレスなどの本機のままさまざまな情報を画面で確認できます。また、レポート / リストをプリントして、ジョブの履歴や設定 / 登録内容などを確認できます。

### [機械構成]

本機の構成を確認できます。

### [ソフトウェアバージョン]

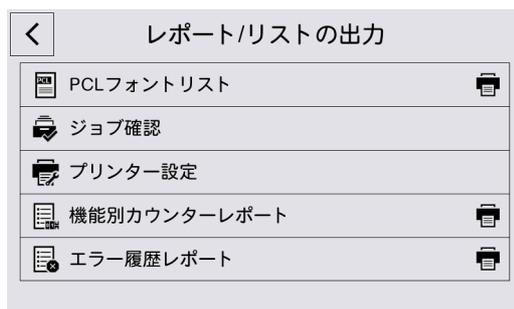
本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。

### [無線 LAN の接続状態]

Wi-Fi 接続状況と Wi-Fi Direct 接続情報が表示されます。

### [レポート / リストの出力]

 をタップすると、レポートまたはリストをプリントできます。



### [ジョブ確認]

#### ■ [ジョブ履歴レポート]

ジョブの実行結果について確認できます。最新の 200 件までのジョブがプリントされます。ジョブの種類ごとのレポートをプリントすることもできます。

##### 参照

- [ジョブ履歴レポート] は、50 件を超えるごとに自動的にプリントさせることもできます。自動プリントについては、「[レポート設定]」(P.134) を参照してください。自動プリントの場合は、すべてのジョブの実行結果が印字されます。

#### ■ [エラー履歴レポート]

##### 参照

- 詳しくは、「[エラー履歴レポート]」(P.112) を参照してください。

### [プリンター設定]

#### ■ [機能設定リスト (共通項目)]

本機のハードウェア構成やネットワーク情報、プリント機能の設定状態が確認できます。

**■ [ART EX フォーム登録リスト]**

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧がプリントされます。

補足

- ART EX フォーム登録については、ART EX プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

**■ [PCL 設定リスト]**

PCL の各設定がプリントされます。

**■ [PCL マクロ登録リスト]**

PCL 用に登録したフォームの一覧がプリントされます。

**■ [PDF 設定リスト]**

PDF プリンターモードでの各設定がプリントされます。

**■ [TIFF/JPEG 設定リスト]**

TIFF および JPEG プリンターモードでの各設定がプリントされます。

**■ [TIFF/JPEG 論理プリンター登録リスト]**

TIFF および JPEG プリンターモードで作成した論理プリンターの一覧がプリントされます。

参照

- TIFF および JPEG 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

**■ [PostScript 論理プリンター登録リスト]**

PostScript<sup>®</sup> で作成した論理プリンターの一覧がプリントされます。

参照

- PostScript 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

**■ [ESC/P 設定リスト]**

ESC/P エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

**■ [ESC/P メモリー登録リスト]**

ESC/P エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

**■ [ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト]**

ART IV、ESC/P、PC-PR201H で利用できるフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントされます。

参照

- ART IV のユーザー定義については『リファレンスマニュアル (ART IV 対応)』を、ESC/P のユーザー定義については『リファレンスマニュアル (ESC/P 対応)』を、PC-PR201H のユーザー定義については『リファレンスマニュアル (PC-PR201H 対応)』を、それぞれ参照してください。

**■ [HP-GL/2 設定リスト]**

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

■ [HP-GL/2 メモリー登録リスト]

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

■ [HP-GL/2 パレットリスト]

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションのペン属性で設定できる 256 色の見本リストをプリントします。

■ [PC-PR201H 設定リスト]

PR201H エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

■ [PC-PR201H メモリー登録リスト]

PR201H エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

■ [フォントリスト]

本機で使用できるフォントの一覧がプリントされます。

補足

- プリントされる内容は、取り付けられているオプションによって異なります。

■ [PCL フォントリスト]

PCL で使用できるフォントがプリントされます。

■ [PostScript フォントリスト]

PostScript で使用できるフォントがプリントされます。

■ [DocuWorks プリント設定リスト]

DocuWorks ダイレクトプリントのための設定がプリントされます。

[機能別カウンターレポート]

機能別のカウンターレポートをプリントします。機能別のカウンターレポートでは、各機能別に実際に利用した内訳（プリント枚数や使用回数など）や利用していない時間（待機時間、低電力モード時間、スリープモード時間、電源オフ時間など）の累計を分単位で確認できます。

[エラー履歴レポート]

本機に発生したエラーに関する情報を確認できます。

エラー履歴レポートには、最新の 50 件までのエラーがプリントされます。

補足

- [エラー履歴レポート] は、[レポート / リストの出力] 画面の [ジョブ確認] から指示できます。
- [レポート設定] の [レポート出力の許可] のチェックマークを外している場合は、[エラー履歴レポート] は表示されません。詳しくは、「[レポート設定]」(P.134) を参照してください。

## [通知]

障害の状態、交換時期やその他の重要なメッセージなどの本機からの通知を重要度順に表示します。

通知を選ぶと、詳細や関連するページを確認できます。

## [用紙トレイ]

本機に設定されている用紙トレイを、一覧で確認できます。

### 参照

- 各トレイの設定は、「用紙の設定を変更する」(P.79)を参照してください。

## [共通設定]

### [ユーザー用紙属性の名称設定]

[ユーザー用紙種類 1] ~ [ユーザー用紙種類 5]、および [ユーザー用紙色 1] ~ [ユーザー用紙色 5] に名称を付けられます。

たとえば、色付きの用紙に「色紙」と付けたり、上質紙に「表紙用」と付けるなど、用途に応じた名称を付けることもできます。

### [トレイセット時の用紙変更画面表示]

用紙トレイを出し入れしたときに、対象トレイの設定変更画面を表示するかどうかを設定します。

### 補足

- トレイ 5 (手差し) は設定できません。

### [用紙種類の優先順位]

自動トレイ選択時に同一サイズ、同一方向の用紙が複数セットされている場合に、使用する用紙種類がセットされた用紙トレイの優先順位を設定します。

[トレイの優先順位] よりも、用紙種類の設定が優先されます。

ただし、異なる用紙種類に同じ優先順位を設定した場合は、[トレイの優先順位] によって、選択される用紙が決まります。また、[自動トレイ選択しない] に設定した用紙種類がセットされているトレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。

### 補足

- 自動トレイ選択とは、適切な用紙がセットされたトレイを、機械が自動的に選択してプリントすることです。

### [自動トレイ動作制御]

選択しているトレイの用紙がなくなったときに、切り替える対象を設定します。

### [自動トレイ切り替え]

自動切り替えの条件を設定します。[[ 自動 ] 選択時に切り替える] に設定すると、用紙トレイの [自動トレイ切り替え] の設定に応じて切り替えます。[同一用紙種類 / 色で切り替える] に設定すると、用紙種類と色が同じトレイを切り替え対象とします。

### [用紙種類別画質処理]

用紙種類ごとに、画質の処理方法が設定できます。

本機は、プリントをするとき、[用紙種類別画質処理] で設定している用紙の種類と、その用紙種類に設定されている画質処理によって、画質をコントロールします。

設定できる項目は、次の表を参照してください。

### 参照

- 用紙の特長と使用上の注意は、「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。

用紙種類	設定値	内 容
[普通紙の画質処理]	[普通紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (D)]	海外の 91 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[再生紙 (A)]	G70 など 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の再生紙を使うときに設定します。
	[うら紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
[上質紙の画質処理]	[普通紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (D)]	海外の 91 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[再生紙 (A)]	G70 など 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の再生紙を使うときに設定します。
	[うら紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。

用紙種類	設定値	内 容
[再生紙の画質処理]	[普通紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (D)]	海外の 91 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[再生紙 (A)]	G70 など 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の再生紙を使うときに設定します。
	[うら紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
[穴あき紙の画質処理]	[普通紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (D)]	海外の 91 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[再生紙 (A)]	G70 など 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の再生紙を使うときに設定します。
	[うら紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
[厚紙 2 の画質処理]	[厚紙 2(A)]	177 ~ 220 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[厚紙 2(R)]	177 ~ 220 g/m <sup>2</sup> の粗目の用紙を使うときに設定します。
[厚紙 2(うら面)の画質処理]	[厚紙 2(A)(うら)]	177 ~ 220 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[厚紙 2(R)(うら)]	177 ~ 220 g/m <sup>2</sup> の粗目の用紙のうら面を使うときに設定します。
[ラベル紙の画質処理]	[ラベル紙 1 (A)]	国内のラベル紙を使うときに設定します。
	[ラベル紙 1 (B)]	海外のラベル紙を使うときに設定します。

用紙種類	設定値	内 容
[ユーザー用紙 1 の画質処理] ~ [ユーザー用紙 5 の画質処理]	[普通紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (D)]	海外の 91 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙を使うときに設定します。
	[普通紙 (S)]	通常は使いません。
	[再生紙 (A)]	G70 など 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の再生紙を使うときに設定します。
	[うら紙 (A)]	P 紙、C <sup>2</sup> 紙など国内の 60 ~ 80 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (B)]	XC4200 など海外の 60 ~ 90 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (C)]	国内の 81 ~ 105 g/m <sup>2</sup> の用紙のうら面を使うときに設定します。
	[うら紙 (S)]	通常は使いません。

## [消耗品確認]

消耗品の状態は、[消耗品確認] 画面で確認できます。

消耗品確認		
Y	イエロートナー (Y)	100%
M	マゼンタトナー (M)	100%
C	シアントナー (C)	100%
K	ブラックトナー (K)	100%
	ドラムカートリッジ (Y)	100%

### 注記

- 使いかけのトナーカートリッジ（同じ機種のほかの製品から取り出したトナーカートリッジなど）を使用した場合、残量表示と実際の残量が合わないことがあります。トナーカートリッジを交換するときは、なるべく新品を使用することをお勧めします。

# [メーター確認]

メーター別にプリントページ数を確認できます。

メーター確認	
シリアル番号:	[REDACTED]
	現在のカウント
メーター1	0
メーター2	0
メーター3	0
機能別カウンターのリセット	

## 注記

- コンピューター上で作成したドキュメント・画像をプリンターした場合のメーターは、次のようにカウントされます。ただし、お客様が選択されたコンピューターやソフトウェアとの組み合わせにおいて、次のとおりカウントされない場合もあります。
- コンピューターから「白黒」での出力を指示してプリントした場合、メーター1（白黒モード）がカウントされます。
- コンピューターから「カラー」での出力を指示してプリントした場合、メーター3（フルカラーモード）がカウントされます。
- プリンターの白黒・カラー自動判定機能を用いた場合、コンピューターから白黒の信号を受け取ったときは、メーター1（白黒モード）がカウントされ、コンピューターからカラーの信号を受け取ったときはメーター3（フルカラーモード）がカウントされます。ただし、カラーモードで自動を選んだ場合、特定の条件下において、コンピューターで作成したディスプレイ上の画像では白黒に見えるデータをプリンターの自動判定機能がカラーと認識することがあります。

## [シリアル番号]

本機のシリアル番号が表示されます。

## [メーター 1]

白黒プリントの合計ページ数が表示されます。

- カラーモードを「自動」に設定して白黒原稿をプリントした場合
- カラーモードを「白黒」に設定してプリントした場合

## [メーター 2]

通常は使用されません。

## [メーター 3]

カラープリントの合計ページ数が表示されます。

## [ユーザー別メーター確認]

ユーザー別のページ数を確認できます。

集計管理機能が有効に設定されている場合に、現在認証されているユーザー ID のメーターを確認できます。

メーターを確認したい認証ユーザーで認証してから、この機能を使用してください。

ユーザー別メーター確認		
	カラー	白黒
今回のカウント	0	0
これまでの総合計	0	0
上限ページ数	9999999	9999999
残りページ数	9999999	9999999

### 補足

- [ユーザー別メーター確認] は、[集計管理機能の運用] が [本体集計管理] のときだけ表示されます。
- 集計管理機能で [集計する] に設定しているサービスのメーターを確認できます。
- 機械管理者モードのときには、[ユーザー別メーター確認] は表示されません。

### 参照

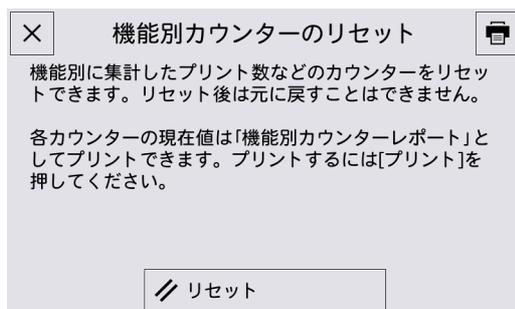
- 集計管理機能については、「[集計管理]」(P.163) を参照してください。

## [機能別カウンターのリセット]

機能別に集計したプリント数や稼動状況の累積時間などのカウントをリセットできます。

### 補足

- [機能別カウンターのリセット] は、集計管理の権限を持つユーザーまたは機械管理者で認証しているときに表示されます。



各カウンターの現在の値を、機能別カウンターレポートとしてプリントできます。

### ■ [リセット]

機能別に集計した値をリセットできます。リセットする場合は、表示された確認画面で、[はい (リセットする)] を選びます。

### 注記

- リセットすると元に戻すことはできません。

# [保守]

点検または修理の依頼、その他の調整をします。

## [保守レポートの出力]

### [機能別カウンターレポート]

#### 参照

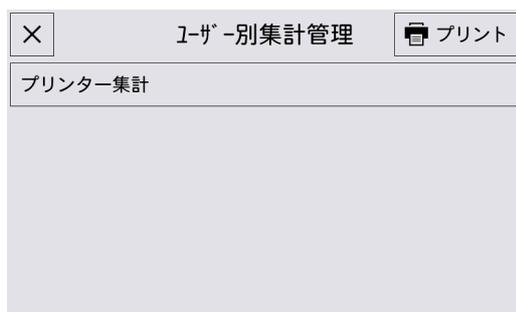
- 詳しくは、「[機能別カウンターレポート]」(P.112)を参照してください。

### [ユーザー別集計管理]

ユーザー別の集計管理レポートをプリントできます。なお、ユーザー別集計管理レポートは、集計管理機能を有効にしているかどうかで、表示される画面が異なります。

#### ■ [集計管理機能の運用] が [本体集計管理] 以外に設定されている場合

[集計管理機能の運用] が [本体集計管理] 以外に設定されている場合は、次の画面が表示され、プリンター集計レポートをプリントできます。



#### ◆ [プリンター集計]

クライアント別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。[プリンター集計] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

#### ■ [集計管理機能の運用] が [本体集計管理] に設定されている場合

[集計管理機能の運用] が [本体集計管理] に設定されている場合は、[ユーザー別集計管理] 画面が表示されます。集計管理機能を [集計する] に設定している機能の、ユーザー別の集計管理レポートを、機能ごとにプリントできます。

#### 参照

- 各機能の集計管理機能の設定は、「[集計管理]」(P.163)を参照してください。

集計管理レポートをプリントするには、各集計管理レポートを選び、ユーザー番号の範囲を指定します。



**補足**

- [すべて選択] を選ぶと、すべてのユーザーが選択されます。

**◆[プリンター集計管理]**

クライアント別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。[プリンター集計管理] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

**注記**

- [集計管理機能の運用] の [各機能の集計] で [プリンター] を [集計しない] に設定している場合は、[プリンター集計管理レポート] ではなく、[プリンター集計] が表示されます。プリンター集計レポートについては、「[プリンター集計]」(P.121) を参照してください。

**補足**

- レポートに表示される [No.] は、[集計管理]、[認証・セキュリティ設定] で、ユーザー登録した No. (ユーザー管理番号) です。

**[GS1-128 バーコードサンプル]**

GS1-128 バーコードサンプルを出力できます。

バーコードモードを有効にした場合と無効にした場合のバーコードの印刷状態を確認することができます。

**[初期設定項目]**

本機を使うための初期設定が完了しているかどうかを確認できます。初期設定されていない項目は、ここから設定画面を起動できます。

**[ソフトウェアオプションの設定]**

この機能は、使用しません。

**[ソフトウェアオプションの設定 -USB]**

USB ドングルを取り付けてオプション機能を使えるようにします。

**[機械起動時のプログラム診断]**

本機の電源を入れたときに、プログラム診断をするかどうかを設定します。

プログラム診断で意図的なプログラムの書き換えなどの異常が見つかった場合は、起動を停止し、監査ログに記録します。

**補足**

- プログラム異常の状態によっては、監査ログに記録されないことがあります。

**[IC カード情報の確認]**

[IC カード情報の確認] を選び、ご利用の IC カードを IC カードリーダー（オプション）にタッチすると、IC カードの情報がタッチパネルディスプレイに表示されます。

**補足**

- 認証に使用する情報は、CentreWare Internet Services で設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

## [証明書の一括削除 / 初期化]

証明書を一括削除し、初期化します。[ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] の [SSL/TLS 設定] で証明書を使用するように設定しているにもかかわらず、証明書ファイルの異常などが原因で、証明書データが使用できなくなった場合に使用します。

## [カスタムトナー / ドラム]

カスタムモードでプリンターを使用したい場合に設定します。

対応したトナー / ドラムでご使用ください。

### 注記

- 本設定による使用は、本来の本機の機能、性能が保たれないことがあり、当社推奨品における品質保証の範囲外となります。そのまま使い続けると、本機が故障する原因となることがあります。本機の故障となった場合は、有償修理となります。
- [使用する] に設定したときは、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

## [画質調整]

### [アライメント調整]

用紙にプリントする出カイメージの位置を調整します。

### 参照

- 手順については、「アライメント調整を行う」(P.225)を参照してください。

### [階調補正]

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正します。補正することによって、本機のプリント画質を一定の品質に保てます。

### 参照

- 詳しくは、「階調を補正する」(P.220)を参照してください。

## [機械の詳細設定]

本機の動作を調整します。

## [標高設定]

本機の設置場所の標高を設定します。

高度を正しく設定することで印字品質が維持され、トナー残量が正しく表示されます。

## [定着温度調整]

用紙種類ごとに定着温度を調整します。

用紙や使用環境によって、画像の剥がれや用紙のカールが生じる場合に、定着温度を調整すると改善されることがあります。

## [濃度補正]

トナーの濃度を自動的に補正します。

トナーの濃度が気になるときや、より正確なプリントが必要なときなどに実施します。

## [ブロッキング対策]

用紙のブロッキング（用紙同士がくっついてしまう状態）を防止するための処理を行うかどうかを設定します。

## [コート紙の印刷モード]

コート紙の印刷において、画質を優先するかプリント速度を優先するかを選択します。

## [現像器と転写ユニットのクリーニング]

本機の電源を入れたままプリントを行わない状態が続いた場合、プリント結果の背景に意図しない色が付くことがあります。これを軽減するために、現像器と転写ユニットのクリーニングを行います。

## [目標濃度の設定]

プリント時に使用するトナーの量を調整します。濃度を下げるとトナーの節約になり、濃度を上げるとはっきりとしたプリント結果になります。

## [トナーリフレッシュ]

トナーの濃度と現像器の電圧を再調整します。トナーのリフレッシュによってプリント品質が最適化されます。

補足

- トナーリフレッシュは必要以上に行わないでください。トナーリフレッシュを繰り返し行くと、トナーの減りが速くなります。

## [転写ベルトクリーニング]

転写ベルトにゴミが付いている場合、プリント結果に黒またはカラーの縦筋や線が現れることがあります。これを解消するために、転写ベルトのクリーニングを行います。

## [1次転写電流オフセット調整]

用紙や使用環境によって、転写不良で画像の欠落が生じる場合に、ブラックトナーおよびカラートナーの転写出力を調整します。

## [カラーレジ補正]

印刷結果に色版のずれが発生した場合は、カラーレジを補正します。

注記

- 本機の性能に影響が出るおそれがありますので、カラーレジ補正を連続して実行しないでください。

## [転写出力調整]

トナー画像が用紙に最適な状態で転写されない場合に、用紙種類ごとに最適な転写出力値を設定できます。

### 参照

- 詳しくは、「転写出力調整」(P.228)を参照してください。



# 7

## 詳細設定

## 概要

本機の動作を制御するための項目について説明します。本章の機能は、おもに機械管理者が設定します。

ホーム画面で [設定] をタップしてください。

### 補足

- お使いの機種やほかの設定によって、表示されない項目があります。

# [システム設定]

## [システム時計 / タイマー設定]

時刻をセットしたり、リセットなどの機能が働くまでの時間を設定したりします。

### [日付]

本機のシステム時計の日付を指定します。

### [時刻]

本機のシステム時計の時刻を指定します。

### [時刻サーバー (NTP) と同期]

時刻サーバー (NTP) の時刻と同じになるように、サーバーから時刻を取得し、本機の時間を合わせます。

### [時刻サーバーの接続間隔]

時刻サーバーに何時間ごとに接続するかを指定します。

### [時刻サーバーアドレス]

時刻サーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

### [自動リセット]

何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、リセットされる時間を指定します。

#### 補足

- [しない] に設定しても、原稿を読み込んでジョブに対する操作待ちになっている画面の状態、操作を 1 分間しないと、操作待ちを解除し、読み込み済みの原稿の処理を開始します。

### [ジョブ自動解除]

エラー（用紙の補給、用紙づまりなど）が発生したとき、現在のジョブを解除して、次のジョブを実行できるまでの時間を指定します。

### [プリント起動]

操作パネル（[スタート] は除きます）の操作後、プリントができるようになるまでの時間を設定します。

### [タイムゾーン]

GMT を基準に、-12 時間から +12 時間の範囲で設定します。

### [サマータイム]

夏時間（サマータイム）を設定します。夏時間（サマータイム）として設定した期間は、現在の時間に 1 時間加えた時刻になります。

## [暖機モード動作]

本機内の結露を防止または軽減する暖機モードに移行するかどうかを設定します。

- [する] を選択して、[開始時刻] と [継続時間] を指定すると、[開始時刻] から [継続時間] まで暖機モードに移行します。
- [自動的に動作する] にチェックマークを付けると、[しない] / [する] にかかわらず、結露状況を予測して自動的に暖機モード動作が有効になります。指定した [開始時刻] になると、暖機モードに移行します。
- [自動的に停止する] にチェックマークを付けると、結露しない状態が一定期間続いたときに、暖機モード動作が自動的に無効になります。
- [結露注意の表示] にチェックマークを付けると、本機が結露発生の可能性を感知したときに、メッセージを表示します。

### 補足

- 暖機モード動作中は、スリープモードに移行しません。

## [節電モードの設定]

### [節電モード移行時間]

節電モードには、「低電力モード」と「スリープモード」があり、設定時間が経過すると次のように移行し、消費電力を下げます。

「本機を最後に操作」 → 「低電力モード」 → 「スリープモード」

### 補足

- 低電力モードおよびスリープモードに移行しないように設定することはできません。
- スリープモードに移行するまでの時間は、低電力モードに移行するまでの時間と同じか、それより大きくなるように指定してください。
- スリープモードに移行するまでの時間が低電力モードに移行するまでの時間と同じときは、低電力モードには移行せずにスリープモードに移行します。

### [自動プリント後の節電モード移行]

コンピューターからのプリントが完了したあとに、節電モードへ移行するタイミングを設定します。

### [スリープモード設定]

スリープモード中の動作を、省電力優先にするか復帰時間優先にするかを設定します。

### 補足

- [省電力優先] に設定されている場合でも、本機の構成や機能設定によっては、本機の内部で [復帰時間優先] として動作することがあります。

### [節電解除の制御]

節電状態を解除するときに、使用する部分のみを解除するかどうかを設定します。

### [電源の自動制御]

設定した時刻になると電源が切れるように設定します。

### 補足

- [自動的に電源を切る] が設定されていても、本機に紙づまりなどの異常が発生している場合や、ジョブなどの処理を行っている場合には、電源は切れません。

## [音の設定]

ジョブの終了や機械の異常などを知らせる音を、鳴らすかどうかを設定します。

### [正常入力音]

操作パネル上のボタンを正しくタップしたときに鳴る音量を設定します。

### [異常入力音]

選べないボタンをタップしたときや、エラーが発生しているときに操作をしたときに鳴る音量を設定します。

### [準備完了音]

電源を入れたときなど、本機がプリントできる状態になったときに鳴る音量を設定します。

### [正常終了音]

ジョブが正常に終了したときに鳴る音量を設定します。

対象ジョブごとに鳴らすかどうかを設定します。

### [異常終了音]

ジョブが異常終了したときに鳴る音量を設定します。

対象ジョブごとに鳴らすかどうかを設定します。

### [自動リセット事前通知音]

自動リセット機能を設定している場合に、自動的に初期画面に戻る 5 秒前に鳴る音量を設定します。

#### 参照

- 自動リセットについては、「[自動リセット]」(P.129)を参照してください。

### [異常警告音]

用紙が詰まるなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音量を設定します。

### [用紙切れ警告音]

用紙トレイの用紙切れによって、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音量を設定します。

### [トナー残量警告音]

トナーカートリッジが交換時期になったときに鳴る音量を設定します。

### [エラー解除通知音]

エラーが解除され、操作が可能になったときに鳴る音量を設定します。

### [ログイン音]

機械管理者や認証ユーザーとして本機にログインしたときに鳴る音量を設定します。

### [電源オフ音]

本機の電源を切ったときに鳴る音量を設定します。

### [モバイル端末の接続音]

本機がモバイル端末からの接続を検知したときに鳴る音量を設定します。

### [画面の設定]

補足

- [初期表示言語]、[通知バナーの抑制] は、最新のソフトウェアの場合に表示されます。

### [初期表示画面]

電源を入れたり、節電状態を解除したときに表示する画面を設定します。

### [自動リセット後の画面]

自動リセット後の画面を設定します。

### [認証画面の自動表示]

認証機能を利用している場合、電源を入れたり、節電状態を解除したときに、認証画面を自動的に表示するかどうかを設定します。

### [画面輝度調整]

タッチパネルディスプレイの明るさを調整します。

補足

- 調整スライダーの下側にある画面パーツは、表示サンプルです。

### [消耗品情報画面の表示]

交換が必要な消耗品がある場合に、消耗品の状態を自動的に表示させるかどうかを設定します。

### [USB メモリー検出時の画面表示]

USB メモリー差込口に USB メモリーを挿入したときに、画面表示を切り替えるかどうかと、切り替える場合の画面を設定します。

補足

- [機能選択画面] に設定すると、USB メモリー挿入時に [文書プリント]、[デジカメプリント] のどちらかを選ぶ画面を表示できます。
- USB メモリーを挿入した状態で、電源を入れたときは、機能選択画面は表示されずにホーム画面が表示されます。
- 節電中は、USB メモリー差込口に USB メモリーを差し込んでも、タッチパネルディスプレイは点灯しません。節電状態を解除してから、USB メモリーを差し込み直すか、ホーム画面から利用する機能ボタンをタップしてください。
- 市販のメモリーカードリーダーを本機の USB メモリー差込口に常時差し込んである場合、そのメモリーカードリーダーにメディアを挿入しても、画面は切り替わりません。

### [USB メモリー検出時の警告画面表示]

USB メモリー差込口に USB メモリーを挿入したときに、確認画面を表示させるかどうかを設定します。

### [キーボード入力制限]

本機で表示されるキーボードの入力可能文字を ASCII のみに制限するかどうかを設定します。

**[アップダウンボタンの操作]**

スクロールボタンを長押ししたときに、スクロール動作を実施するかどうかを設定します。

**[ダブルタップの間隔]**

本機の操作パネルでダブルタップ操作をしたときに、ダブルタップとして認識される間隔を設定します。

**[リセットボタンの表示]**

アプリ画面の上部に、リセットボタンを表示させるかどうかを設定します。

**[セキュリティ警告 - 機械管理者設定]**

機械管理者のユーザー ID とパスワードが初期値のまま、本機または CentreWare Internet Services で機械管理者モードに入ったとき、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

**[セキュリティ警告 -SNMP 設定]**

SNMP プロトコルの設定で、コミュニティ名や認証用パスワードが初期値のまま、本機または CentreWare Internet Services で機械管理者モードに入ったとき、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

**補足**

- SNMP プロトコルの設定は、CentreWare Internet Services で設定します。  
詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

**[セキュリティ警告 - グローバル IP アドレス]**

本機にグローバル IP アドレスが設定され、かつ [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている状態で、本機または CentreWare Internet Services で機械管理者モードに入ったとき、セキュリティ警告画面を表示するかどうかを設定します。

**[アプリ起動時の設定継続確認画面表示]**

ホーム画面の各機能をタップしたときに、前回の設定を引き継ぐかどうかの確認画面を表示するかどうかを設定します。

**[通知バナーの表示時間]**

メッセージの表示時間を選びます。

**[ジョブ確認バナーの表示設定]**

自動リセット後に実行中のジョブに関するメッセージを表示するかどうかを設定します。

**[ラン画面の表示形式]**

ジョブを実行したときに、実行中画面とメッセージのどちらを表示するかを設定します。

## [レポート設定]

### [レポート出力の許可]

チェックマークを外すと、[機械確認 / レポート] > [レポート / リストの出力] の内容が、機械管理者モード以外の際に表示されなくなります。

#### 参照

- [レポート / リストの出力] の詳細は、「[レポート / リストの出力]」(P.110) を参照してください。

### [ジョブ履歴レポート]

処理を行ったジョブの合計が 50 件になったときに、ジョブ履歴レポートを自動的にプリントさせるかどうかを設定できます。

#### 参照

- ジョブ履歴レポートを手動でプリントする方法は、「[ジョブ履歴レポート]」(P.110) を参照してください。

### [レポートの両面プリント]

レポート / リストをプリントするときに、片面でプリントするか両面でプリントするかを設定します。

## [強制アノテーション]

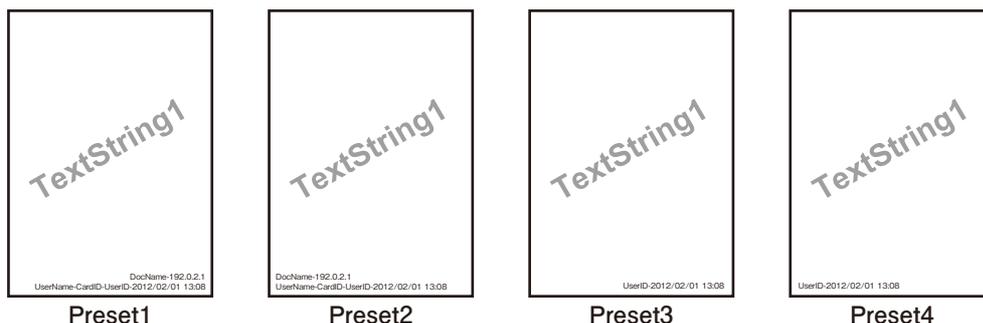
ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、ユーザー名や日付などの文字列（アノテーション）が強制印字されます。

#### 補足

- UUID 印字が同時に指定されている場合は、重なって印字されます。

本機にはあらかじめ [preset1] ~ [preset4] のレイアウトテンプレートが用意されています。これらのテンプレートで印字される項目は次のとおりです。

- [preset1]、[preset2]
  - [文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。用紙の右下 ([preset1] の場合)、または左下 ([preset2] の場合) に、次の項目が印字されます。
    - 上段：文書名、印字を指示したコンピューターの IP アドレス
    - 下段：ユーザー名、カード ID、ユーザー ID、年月日時
- [preset3]、[preset4]
  - [文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。用紙の右下 ([preset3] の場合)、または左下 ([preset4] の場合) に、次の項目が印字されます。
    - ユーザー ID、年月日時



**補足**

- ジョブの種類や実行形態によっては、印字されない項目があります。
- 本機が作成した白紙ページには、強制アノテーションは印字されません。
- 強制アノテーションで印字される時刻は、本機の状況や設定、出力内容によって、出力を指示した時刻と異なることがあります。印字される時刻は、出力を開始した時刻になります。

**参照**

- 文字列の登録は、「[文字列の登録]」(P.135)を参照してください。

**[レイアウトテンプレートの関連付け]**

レイアウトテンプレートとの関連づけを設定します。

**補足**

- クライアントプリントは、コンピューターからプリント指示をした場合です。
- メディアプリントは、USB メモリーに保存されたデータをプリント指示した場合です。

**[レイアウトテンプレートの削除]**

レイアウトテンプレートを削除します。

**補足**

- あらかじめ用意されているテンプレートは削除できません。

**[文字列の登録]**

強制アノテーションで使用する文字列を登録します。

**補足**

- あらかじめ用意されているテンプレートで使用できる文字列は、[文字列登録 1] だけです。

**[UUID 印字]**

印刷ジョブごとにジョブを特定できるように、識別 ID (UUID) を印字できます。

**補足**

- ユーザーに強制印字を一時的に解除する権限を与えることもできます。詳しくは、「権限グループ」(P.187)を参照してください。
- [強制アノテーション] の [レイアウトテンプレートの関連付け] でレイアウトテンプレートを設定している場合は、設定しているテンプレートの上に、ここで設定する文字が印字されます。

**参照**

- 強制アノテーションについては、「[強制アノテーション]」(P.134)を参照してください。

**[UUID 印字]**

UUID 印字をするかどうかを設定します。

**[印字位置]**

印字する位置を設定します。

**[印字位置の微調整]**

印字する位置を調整します。

**補足**

- 微調整値は、用紙の端を 0 mm として、値を大きくすると用紙中央方向に移動します。ただし、印字位置で [中央上] または [中央下] を選んだ場合、よこ方向の調整値は用紙の中央を 100 mm としています。印字位置で [中央上] または [中央下] を選ぶ場合は、微調整値をいったん 100 mm に設定してから調整をしてください。

### [うら面の印字位置]

両面にプリントするときに、うら面に印字する UUID の位置を設定します。

### [プラグイン設定]

プラグインの一覧を表示したり、切り替えの設定をしたりできます。

#### 補足

- 電子署名の検証の設定は、CentreWare Internet Services で行います。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

### [組み込みプラグイン機能]

組み込まれているプラグイン機能を使用するかどうかを設定します。

### [組み込みプラグイン一覧]

本機に組み込まれているプラグインの名称、および状態を一覧表示します。

### [その他の設定]

#### [プリントジョブの追い越し]

本機が何らかの原因で実行開始できない（プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを許可するかどうかを設定します。

#### 補足

- セキュリティプリントやサンプルプリントなどの蓄積文書は、追い越し許可の対象外です。

#### [プリント用紙サイズ初期値]

レポート / リストをプリントするときに使う用紙サイズを設定します。

#### [奇数ページ文書の両面処理]

文書のページ数が奇数のときに、最終ページを両面処理するかどうかを設定します。

#### [サイズ検知切り替え]

用紙を検知するときの用紙サイズグループを設定します。

#### [ミリ / インチ切り替え]

画面に表示される単位を設定します。

#### [データの暗号化]

本機に記録されるデータを暗号化するかどうかを設定します。

本機からの情報漏えいを抑止するため、本機に保存されている認証情報、蓄積文書などのデータを暗号化します。また、プリントしたデータを本機に書き込むときに、暗号化されます。

機能ごとに暗号化をするかしないかを設定することはできません。

#### ■ データ暗号化機能の利用開始と設定変更について

データの暗号化の設定 / 解除、および暗号化キーを変更した場合、本機を再起動する必要があります。対応する記憶領域（ストレージ）は、再起動時に初期化されます。このとき、切り替え前のデータは保証されません。

記憶領域には、次のようなデータが保存されます。

- スプールされるプリントデータ
- セキュリティープリント、サンプルプリントなどのプリントデータ
- フォームオーバーレイ機能のフォーム
- デジタル証明書

#### 注記

- データの暗号化機能の利用開始と設定変更は、必ず、必要な設定や文書を保存してから行ってください。
- 現在接続されているストレージが、暗号化の設定と一致しない場合は、エラーとなります。エラーメッセージと処置は、「エラーコード」(P.256)を参照してください。

### [秘密情報の暗号化キー]

機械管理者のパスワードなどの秘密情報を暗号化するための暗号化キーを設定します。秘密情報を暗号化することで、ネットワーク上の盗聴や秘密情報の所有者以外からの参照を抑止します。

#### 注記

- 暗号化キーを変更すると、バックアップした秘密情報を復元できなくなることがあります。

### [サービス担当者の操作制限]

サービス担当者のなりすましによって、本機のセキュリティーの設定が変更されないように、サービス担当者の操作を制限するかどうかを設定します。

サービス担当者は、次の項目が変更できなくなります。

- 「[その他の設定]」(P.136)
- 「[データの暗号化]」(P.136)
- 「[秘密情報の暗号化キー]」(P.137)
- 「[サービス担当者の操作制限]」(P.137)
- 「[SSL/TLS 設定]」(P.158)
- 「[IPsec 設定]」(P.159)
- 「[機械管理者情報の設定]」(P.166)
- 「[不正使用防止の設定]」(P.170)
- 機械管理の権限を与えられたユーザーの作成 / 変更
- SNMP v 3 の設定変更

サービス担当者が本機の保守作業をするときには、保守パスワードの入力が必要になります。保守パスワードを 4 ～ 12 桁の英数字で設定してください。

#### 注記

- [サービス担当者の操作制限] を設定した場合、次のことにご注意ください。
  - 機械管理者のユーザーID とパスワードを忘れると、サービス担当者に制限されている項目の変更ができなくなります。
  - 保守パスワードを忘れると、本機でトラブルが発生したときにサービス担当者による保守作業ができなくなります。
  - 制限項目の変更や保守作業をするには、電子基板の交換が必要になります。電子基板の交換には、代金ならびに交換手数料が必要になりますので、機械管理者のユーザーID とパスワード、および保守パスワードは忘れないようにご注意ください。

#### 参照

- 機械管理の権限は、「管理の権限」(P.186)を参照してください。

### [ソフトウェアダウンロード]

ソフトウェアダウンロードを許可するかどうかを設定します。この機能は、サービス担当者が設定します。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

### [データランプの点灯パターン]

データランプの点灯パターンを設定します。

### [ジョブ一時停止後の処理]

起動したジョブの操作を途中で止め、[自動リセット]で指定した時間が経過するまで放置した場合に、そのジョブを自動的に継続するか、自動的に中止するか、ユーザーが操作を再開するまで一時停止したままにするかどうかを設定します。

#### 参照

- 自動リセットについては、「[自動リセット]」(P.129)を参照してください。

### [転写装置の待機状態]

カラープリントと白黒プリントのどちらの状態でも待機しておくかを設定します。よく使うカラーモードに合わせておくと、プリント速度が向上します。

# [アプリ設定]

## [プリンター設定]

[プリンター設定] では、プリンター機能に関する仕様を設定します。

## [メモリー設定]

インターフェイスごとに、受信バッファ（クライアントから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。

受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するクライアントの解放が早くなる場合があります。

### 注記

- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。

### 補足

- ポートが [停止] に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。
- クライアントから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもクライアントの解放時間が変わらないことがあります。

### ■ [PostScript 使用メモリー]

PostScript の使用メモリー容量を指定します。

### ■ [ART EX フォームメモリー]

ART EX でフォームを使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージが取り付けられているときは、ストレージが指定され、変更できません。ストレージが取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

### ■ [ART IV, ESC/P, 201H フォームメモリー]

ART IV、ESC/P、201H でフォームを使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージが取り付けられているときは、ストレージが指定され、変更できません。ストレージが取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

### ■ [ART IV ユーザー定義用メモリー]

ART IV のユーザーが定義するデータ（外字、フォーム、線パターンフォームなど）を格納するメモリー容量を指定します。

### ■ [HP-GL/2 オートレイアウト用メモリー]

HP-GL/2 のオートレイアウト機能を使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージが取り付けられているときは、ストレージが指定され、変更できません。ストレージが取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

### ■ [ジョブチケット用メモリー]

ジョブチケット（ジョブの出力部数や後処理などを記述したもの）の処理に使用するメモリー容量を指定します。

### ■ [受信バッファ - LPD]

スプール処理するかどうかを設定します。スプール処理用の受信バッファは、ストレージが使用されます。

#### 補足

- [スプールしない] に設定すると、LPD プリント処理をしている間は、同じインターフェイスで別のクライアントからのデータを受信できません。
- [LPD のプリント順序] の設定により、[受信バッファ -LPD] が変更できないことがあります。詳しくは、「[LPD のプリント順序]」(P.144) を参照してください。

### ■ [受信バッファ -IPP]

スプール処理するかどうかを設定します。スプール処理用の受信バッファは、ストレージが使用されます。

#### 補足

- [スプールしない] に設定すると、IPP プリント処理をしている間は、同じインターフェイスで別のクライアントからのデータを受信できません。

### [フォーム削除]

登録されたフォームを個別に削除します。プリンターモードごとのフォーム番号を指定して、表示されたフォーム名称を確認してから削除してください。

### [蓄積プリント文書の保存設定]

蓄積されているプリント文書（認証プリント、プライベートプリント、セキュリティプリント、サンプルプリントの文書）を保存期間が経過したときに削除するかどうかを設定します。

### [プリント時の確認画面表示]

蓄積プリント文書をプリントするときに、プリント後の文書削除に関する確認画面を表示するかどうかを設定します。[しない] に設定すると、プリント後に文書は自動的に削除されます。

### [蓄積時の暗証番号最小桁数]

セキュリティプリント文書や認証プリント文書を蓄積したり、プリントしたりするときに必要な暗証番号の最小桁数を設定します。

#### 補足

- 最小桁数を指定しない場合や、暗証番号を入力しない場合は、[0] に設定します。

### [全文書選択時のプリント順]

保存文書の全文書を選んだ場合のプリントの順番を設定できます。

### [その他の設定]

プリンターで使用する用紙に関する設定をします。

### ■ [プリント可能領域]

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。

#### 参照

- プリント可能領域は、「プリント可能領域」(P.333) を参照してください。
- 拡張した場合の印字領域は、「拡張印字領域」(P.333) を参照してください。

## ■ [用紙の置き換え]

自動トレイ選択で選択された用紙サイズ用の用紙がセットされたトレイがない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えてプリントをするかどうかを設定します。

### 補足

- ART IV、PC-PR201H、ESC/P、HP-GL/2などのエミュレーションを使用してプリントする場合は、ここでの設定にかかわらず、用紙補給のメッセージが表示されます。
- クライアント側から指定があった場合は、クライアント側の指定が優先されます。

### ◆ [用紙補給を表示]

置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。

### ◆ [大きいサイズを選択]

選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍でプリントします。

### ◆ [近いサイズを選択]

選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えてプリントします。置き換える用紙の長さ、または幅が画像のサイズに足りないときは、自動的に縮小してプリントされます。

### ◆ [近いサイズを選択 (等倍)]

選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えてプリントします。画像が収まらない場合でも縮小は行われません。

### ◆ [トレイ 5 (手差し) を選択]

選択されている用紙サイズでトレイ 5 (手差し) からプリントします。サイズが異なる用紙がセットされていた場合は、選択されているサイズの用紙をセットするようにメッセージが表示されます。

### ◆ [AB 系 / インチ系置き換え]

AB 系サイズの用紙と、インチ系サイズの用紙を置き換えてプリントします。置き換え可能な組み合わせは以下の通りです。

- A5 と 5.5×8.5"
- A4 と レター (8.5×11")

## ■ [用紙種類不一致時の処理]

プリンタードライバーなどでプリント時に指定された用紙種類と、用紙トレイにセットされている用紙種類が一致しない場合の処理を設定します。

### ◆ [プリントする]

用紙トレイに設定されている用紙の種類でプリントされます。

### ◆ [確認画面を表示する]

プリントするかどうかの確認画面が表示されます。

プリントする場合は、プリンタードライバーなどでプリント時に指定された用紙種類の指定は無効となり、[トレイの優先順位] や用紙サイズ、[用紙の置き換え] の設定に従ってプリントされます。

### ◆ [設定変更画面を表示する]

ディスプレイに表示されたメッセージに従って、用紙トレイの用紙を入れ替えたあと、[スタート] をタップすると、用紙トレイに設定されていた用紙種類が、ディスプレイに表示された用紙種類の設定に変更されて、プリントされます。

**注記**

- 用紙種類が変更された用紙トレイは、プリントが終了したあとも、変更後の用紙種類の設定が保持されます。
- 用紙を入れ替えずに [スタート] をタップした場合、用紙トレイの用紙種類の設定が、ディスプレイに表示された用紙種類に変更されてプリントされますが、実際にセットされている用紙の種類とプリンタードライバーなどで指定した用紙種類が異なるため、印字品質は保証されません。

**■ [手差しトレイの優先選択]**

プリンタードライバーで [用紙トレイ選択] を [自動] に指定しているときに、トレイ 5 (手差し) を最優先で選ぶかどうかを設定します。

**補足**

- プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類がセットされている用紙と一致するときに、トレイ 5 (手差し) から給紙されます。

**■ [手差しプリントの確認]**

トレイ 5 (手差し) の用紙にプリントするときに、セットされている用紙を確認する画面を表示するかどうかを設定します。

**■ [未登録フォーム指定時の処理]**

フォームデータファイル (オーバーレイ印字) にプリント指示されたフォームが、プリンター側で未登録だった場合に、ジョブをプリントするかどうかを設定します。 [プリントする] に設定した場合、指定したフォームがないため、データだけがプリントされます。

**■ [異常終了後のプリント処理]**

エラーなどでプリントジョブがキャンセルされるときに、そのジョブを自動的にキャンセルするかどうかを設定します。

**補足**

- 本機は後続のプリントジョブを制限するため、オフライン状態になります。

**◆ [自動的に再開する]**

そのジョブを自動的にキャンセルし、以降のジョブを連続してプリントします。

**◆ [ユーザー操作で再開する]**

そのジョブをキャンセルする前に、確認画面を表示します。ジョブをキャンセルしてオンラインに戻すと、以降のジョブのプリントが再開されます。

**■ [紙づまり発生時のプリント処理]**

プリント実行中に紙づまりなどのエラーが発生した場合、紙づまりの処置が終了したあとのプリント処理方法を設定します。

**◆ [紙づまり除去後再開する]**

紙づまりの処置が終了すると、正常に排出された次のページから、自動的にプリントを再開します。

**◆ [プリントを中止する]**

プリントを中止して、そのプリントジョブを削除します。

**補足**

- 蓄積されているプリント文書 (認証プリント、プライベートプリント、セキュリティープリント、サンプルプリントの文書) は、 [プリントを中止する] を設定していても、紙づまりの処置が終了するとプリントを再開します。

## ■ [ID 印字]

プリンタードライバーを使ってプリントする場合、ユーザーを区別するために、プリントする用紙にプリンタードライバーに設定されたユーザー ID を印字するかどうかを設定します。プリンタードライバーに設定されたユーザー ID のうち、先頭の 64 文字まで印字されます。

### 補足

- ID 印字機能を使用するには、あらかじめプリンタードライバーで、ユーザー ID の設定が必要です。設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- プリンタードライバーに設定されたユーザー ID が取得できない場合は、「UnknownUser」と印字されます。

## ■ [バナーシート出力]

本機を複数のユーザーで使用している場合など、ユーザーごとのジョブを区分けして、印刷物が混在しないようにバナーシートを出力します。ジョブの前や後ろに出力できます。

バナーシートには、日付、時間、ユーザー名、ファイル名などが印刷されます。

### 補足

- macOS/OS X からのプリントジョブのバナーシートには、文書名は表示されません。
- バナーシートをプリントした場合は、メーターに加算されます。

## ■ [バナーシートトレイ]

仕分け用の用紙（バナーシート）を給紙するトレイを設定します。

トレイ 5（手差し）は設定できません。

## ■ [PostScript のカラーモード初期値]

PostScript のカラーモードの初期値を設定します。

## ■ [PostScript の用紙選択]

用紙選択時に、PostScript の遅延媒体選択（Deferred Media Selection）機能を有効にするかどうかを設定します。遅延媒体選択機能を有効にする場合は [自動] に、無効にする場合は [用紙トレイから選択] に設定します。

プリンタードライバー以外が生成する PostScript データを印刷するときに、PostScript データの記述方法によっては、意図どおりにトレイが選択されないことがあります。その場合は [用紙トレイから選択] に設定してください。

### 補足

- [自動] に設定していても、[用紙の置き換え] で [大きいサイズを選択] または [近いサイズを選択] を選んで、PostScript データを印字すると、自動的に [用紙トレイから選択] に切り換わります。

## ■ [PS フォント未搭載時の処理]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。[フォントを置換えてプリントする] に設定したときに、指定されたフォントがなかった場合は、Courier に置き換えられます。

置き換えられたフォントが日本語の場合は正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は [PostScript のフォント置き換え] を [ATCx を使用する] に設定してください。

## ■ [PostScript のフォント置き換え]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。

ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えてプリントする機能です。

## ■ [XPS PrintTicket 処理]

XPS (XML Paper Specification) 文書内に記述された印刷設定 (PrintTicket) を読み込むときの本機の動作を設定します。

### ◆ [無効]

PrintTicket 処理をしません。

### ◆ [標準モード]

PrintTicket 処理を標準モードで行います。

### ◆ [準拠モード]

PrintTicket で記述された印刷設定を Microsoft の仕様に準拠した動作で行います。

## ■ [LPD のプリント順序]

LPD のプリントの順番を設定します。

### 補足

- [LPD のプリント順序] の変更により、[受信バッファ - LPD] が自動的に変更されることがあります。詳しくは、「[受信バッファ - LPD]」(P.140) を参照してください。

### ◆ [受け付けと同時にプリント]

印刷データを受信後すぐに印刷されます。

### 注記

- 本設定は LPD の受信バッファが [スプールする] 設定のときのみ有効です。ほかの設定のときは [データ処理順] で印刷されます。

### ◆ [データ処理順]

印刷データを受信後、出力可能な状態になった順序で印刷されます。

複数の文書を連続して印刷要求した場合、データ処理に時間がかかる印刷データを先に印刷要求しても、データ処理が終了した印刷データが先に印刷されることがあります。

### ◆ [受け付け順]

lpr の印刷要求を受け付けた順番で印刷されます。

### 注記

- 本設定は LPD の受信バッファが [スプールする] 設定のときのみ有効です。ほかの設定のときは [データ処理順] で印刷されます。

## ■ [OCR フォントのグリフ (0x5C)]

OCR フォントを使用するときに、「0x5C」の文字をバックスラッシュ (\) と円記号 (¥) のどちらで印字するかを設定します。

## [ジョブ情報設定]

### [蓄積プリント文書の保存設定]

蓄積されているプリント文書（認証プリント、プライベートプリント、セキュリティープリント、サンプルプリントの文書）を保存期間が経過したときに削除するかどうかを設定します。

### [プリント時の確認画面表示]

蓄積プリント文書をプリントするときに、プリント後の文書削除に関する確認画面を表示するかどうかを設定します。[しない] に設定すると、プリント後に文書は自動的に削除されます。

### [蓄積時の暗証番号最小桁数]

セキュリティープリント文書や認証プリント文書を蓄積したり、プリントしたりするときに必要な暗証番号の最小桁数を設定します。

#### 補足

- 最小桁数を指定しない場合や、暗証番号を入力しない場合は、[0] に設定します。

### [全文書選択時のプリント順]

保存文書の全文書を選んだ場合のプリントの順番を設定できます。

## [ネットワーク設定]

### 参照

- ネットワーク設定については、「本機をコンピューターに接続する」(P.24)、「メール機能の設定」(P.47)も参照してください。

## [ポート設定]

クライアントに接続されている本機のインターフェイスの設定をします。

### 注記

- LPD、Port9100、HTTP-SSL/TLS 通信は、ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、LPD、Port9100、HTTP-SSL/TLS 通信のポート番号と同じ番号を使用しないでください。

また上記のどれも、次のポート番号を設定した場合、ポートの設定状況によっては正常に動作しなくなることがあります。

25、139、427、445、631、15000

### 参照

- HTTP-SSL/TLS 通信ポートについては、「[HTTP - SSL/TLS 通信ポート番号]」(P.159)を参照してください。

## [USB]

### ■ [USB- ポート]

USB を使用するときは [起動] に設定します。

### ■ [USB- プリントモード指定]

使用するプリント言語の種類を設定します。[自動] に設定すると、ホスト装置から受信したデータが、どの言語で記述されているかを自動的に判断し、データに合わせて適切にプリント処理します。

### ■ [USB-JCL]

JCL (Job Control Language) コマンドとは、実際のプリントジョブの先頭に付加されたデータです。通常は、[有効] のままで使用します。

### ■ [USB- 自動排出時間]

本機にデータが送られなくなってから、用紙を自動的に排出するまでの時間を設定します。

#### ◆ [PS 印刷待ちタイムアウト]

本機ではデータを一定時間受信しないと、接続を自動的に切断します。[USB- Adobe 通信プロトコル] を [RAW] に設定して、データを印刷しているときに、接続を切断するまでの時間を [USB- 自動排出時間] に従う場合は [無効]、PostScript のタイムアウトに従う場合は [有効] に設定します。

### ■ [USB - Adobe 通信プロトコル]

#### ◆ [標準]

プリンタードライバーの出力プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。

#### ◆ [バイナリー]

プリンタードライバーの出力プロトコルが BCP 形式のときに設定します。

**◆ [TBCP]**

プリンタードライバーの出力プロトコルが TBCP 形式のときに設定します。

**◆ [RAW]**

プリンタードライバーの出力プロトコルが ASCII 形式またはバイナリ形式のときに設定します。

Adobe® 通信プロトコルの制御を受けないで、データをそのまま出力します。

**[LPD]****■ [LPD- ポート]**

LPD を使用するときは [起動] に設定します。

**■ [LPD- ポート番号]**

LPD のポート番号を設定します。

**注記**

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

**■ [LPD- セッション数]**

本機に LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を設定します。

**[IPP]****■ [IPP- ポート]**

IPP を使用するときは [起動] に設定します。

IPP (Internet Printing Protocol) を使って、インターネット経由でプリントするときに設定します。

**■ [IPP- 追加ポート番号]**

標準のポート番号以外で IPP を受け付けるかどうかを設定します。

**注記**

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

**補足**

- [IPP- ポート] が [停止] に設定されているときは、[IPP- 追加ポート番号] は設定できません。[IPP- ポート] を [起動] に設定し、ホームボタンを押して [はい (再起動する)] をタップして本機が再起動したあとに、[IPP- 追加ポート番号] を設定してください。

**[Bonjour]****■ [Bonjour- ポート]**

Bonjour を使用するときは [起動] に設定します。

**補足**

- Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするためには、LPD ポートを起動しておく必要があります。

## [Port9100]

### ■ [Port9100- ポート]

Port9100 を使用するときは [起動] に設定します。

Windows の標準 TCP/IP ポートモニターで Raw プロトコルを使用する場合に設定します。

### ■ [Port9100- ポート番号]

Port9100 のポート番号を設定します。

#### 注記

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

## [SNMP]

### ■ [SNMP- ポート]

SNMP を使用するときは [起動] に設定します。

## [メール受信]

### ■ [メール受信 - ポート]

メールを受信するときは [起動] に設定します。

## [メール通知サービス]

### ■ [メール通知サービス - ポート]

メール通知サービスを使用するときは [起動] に設定します。メール通知サービスとは、本機の状態やプリントジョブの実行終了をメールで通知する機能です。

#### 補足

- 通知される本機の状態は、[消耗品の状態]、[交換部品の状態]、[用紙の状態]、[排出先の状態]、[ジャム状態]、[インターロック状態]、[フォルトの通知] です。
- メール通知サービスの設定は CentreWare Internet Services で行います。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

## [UPnP ディスカバリー]

### ■ [UPnP ディスカバリー - ポート]

UPnP を使用するときは [起動] に設定します。

### ■ [UPnP ディスカバリー - ポート番号]

UPnP の通信で使用するポート番号を設定します。

#### 注記

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

## [WSD]

### ■ [WSD プリント - ポート]

WSD プリントを使用するときは [起動] に設定します。

Windows OS からネットワーク内の機器を検索するときに設定します。

## ■ [WSD- ポート番号]

WSD の通信で使用するポート番号を設定します。

### 注記

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

## [インターネットサービス (HTTP)]

### ■ [インターネットサービス - ポート]

CentreWare Internet Services を使用するときには [起動] に設定します。

### 参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を使う」(P.65) を参照してください。

### ■ [インターネットサービス - ポート番号]

インターネットサービスで使用するポート番号を設定します。

### 注記

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

### 補足

- [インターネットサービス - ポート] が [停止] に設定されているときは、[インターネットサービス - ポート番号] は設定できません。[インターネットサービス - ポート] を [起動] に設定し、ホームボタンを押して [はい (再起動する)] をタップしてください。本機が再起動したあとに、[インターネットサービス - ポート番号] を設定してください。

## [SOAP]

### ■ [SOAP- ポート]

Device Setup (デバイス設定ツール) などのアプリケーションを使用する場合など、SOAP ポートを使用するときには [起動] に設定します。

### ■ [SOAP- ポート番号]

SOAP で使用するポート番号を設定します。

### 注記

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート (IPP、インターネットサービス (HTTP)、UPnP ディスカバリー、SOAP、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

## [ThinPrint]

### ■ [ThinPrint- ポート]

本機は、ThinPrint .print 環境での印刷に対応しています。サーバー (Windows Server) から圧縮して送られた印刷データを解凍して印刷します。

### ■ [ThinPrint- ポート番号]

ThinPrint で使用するポート番号を設定します。

### 注記

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

### 補足

- 通信プロトコルが IPv4 で動作しているときに利用できます。
- 同時に接続できる最大接続数は、3 です。

## [無線 LAN 設定]

無線 LAN 通信を行う際の基本設定をします。

### 参照

- 設定手順については、「WiFi アダプターの接続」(P.31)を参照してください。

## [プロトコル設定]

通信に必要な条件を設定します。

### [Ethernet 設定]

#### ■ [Ethernet1- ネットワークの名称]

Ethernet インターフェ이스の名称を設定します。

### 補足

- WiFi アダプターを取り付けている場合に設定できます。

#### ■ [Ethernet- 速度設定] / [Ethernet1- 速度設定]

Ethernet インターフェ이스の通信速度を設定します。接続するネットワーク環境に合わせて、自動検知または固定の速度を選びます。

#### ■ [Energy Efficient Ethernet]

Ethernet インターフェ이스の省電力機能を有効にするかどうかを設定します。

### [TCP/IP - 共通設定]

#### ■ [プライマリーネットワーク]

複数のインターフェースを使用している場合、プライマリーネットワークとして動作するネットワークの名称が表示されます。

### 補足

- プライマリーネットワークの設定は、CentreWare Internet Services で行います。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

#### ■ [IP 動作モード]

TCP/IP の動作モードを設定します。

### [TCP/IP - ネットワーク設定] / [TCP/IP 設定 (Ethernet1)]、[TCP/IP 設定 (Wi-Fi)]

### 注記

- [TCP/IP 設定 (Ethernet1)]、[TCP/IP 設定 (Wi-Fi)] に同じ IP アドレスを設定することはできません。同一 IP アドレスを設定したい場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

### 補足

- 本設定のタイトルはインターフェースが 1 回線のと看 [TCP/IP - ネットワーク設定] のみ表示されます。WiFi アダプターを取り付けている場合は、[TCP/IP 設定 (Ethernet1)] および [TCP/IP 設定 (Wi-Fi)] が表示されます。
- [TCP/IP 設定 (Ethernet1)]、[TCP/IP 設定 (Wi-Fi)] には [TCP/IP - ネットワーク設定] と同じ設定項目が表示されます。インターフェースごとに独立した TCP/IP のネットワーク設定ができます。
- [Ethernet1- ネットワークの名称] で任意の名称を設定した場合、[TCP/IP 設定 (Ethernet1)] の「Ethernet1」に設定した名称が表示されます。

#### ■ [IPv4 - IP アドレス取得方法]

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの取得方法を指定します。

## ■ [IPv4 - IP アドレス]

[IPv4-IP アドレス取得方法] で [手動で設定] を選んだ場合に、IP アドレスを指定します。

## ■ [IPv4 - サブネットマスク]

[IPv4-IP アドレス取得方法] で [手動で設定] を選んだ場合に、サブネットマスクを指定します。

## ■ [IPv4 - ゲートウェイアドレス]

[IPv4-IP アドレス取得方法] で [手動で設定] を選んだ場合に、ゲートウェイアドレスを指定します。

## ■ [IPv4 - DNS 設定]

DNS サーバーを設定します。

### ◆ [DHCP からのアドレス取得]

DNS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを設定します。

### ◆ [DNS サーバーアドレス 1] ~ [DNS サーバーアドレス 3]

[DHCP からのアドレス取得] のチェックマークを外したときは、DNS サーバーのアドレスを手動で設定します。DNS サーバーアドレス 2 と 3 には代替 DNS サーバーのアドレスを設定できます。

## ■ [IPv4 - 受付 IP アドレス制限]

本機への接続を IPv4 アドレスで制限するかどうかを設定します。

### 補足

- 接続を受け付ける IPv4 アドレスの登録は、CentreWare Internet Services の [受付 IP アドレス制限] で行います。設定方法は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。また、使用方法は、「CentreWare Internet Services を使う」(P.65) を参照してください。

## ■ [IPv6 - アドレスの手動設定]

IPv6 アドレスを手動で設定するかどうかを設定します。

## ■ [IPv6 - 手動設定 IP アドレス]

[IPv6- アドレスの手動設定] にチェックマークを付けたときに、本体の IPv6 アドレスを設定します。

## ■ [IPv6 - 手動 IP アドレスプレフィクス]

[IPv6- 手動設定 IP アドレス] を設定した場合に、プレフィクス長を設定します。

## ■ [IPv6 - 手動設定ゲートウェイ]

[IPv6- 手動設定 IP アドレス] を設定した場合に、ゲートウェイアドレスを設定します。

## ■ [IPv6 - DNS 設定]

DNS サーバーを設定します。

### ◆ [DHCP からのアドレス取得]

DNS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを設定します。

**◆ [DNS サーバーアドレス 1] ~ [DNS サーバーアドレス 3]**

[DHCP からのアドレス取得] のチェックマークを外したときは、DNS サーバーのアドレスを手動で設定します。DNS サーバーアドレス 2 と 3 には代替 DNS サーバーのアドレスを設定できます。

**■ [IPv6 - 自動設定アドレス]**

自動的に設定された IP アドレスを表示します。

**補足**

- 手動で IP アドレスを設定している場合、ステートレス自動設定で割り当て可能なアドレスは 2 つまでです。

**■ [IPv6 - 受付 IP アドレス制限]**

本機への接続を IPv6 アドレスで制限するかどうかを設定します。

**補足**

- [IPv6- 受付 IP アドレス制限] は、TCP/IP を使用する全機能が対象となります。たとえば、プリンター、CentreWare Internet Services などです。
- 接続を受け付ける IPv6 アドレスの登録は、CentreWare Internet Services の [受付 IP アドレス制限] で行います。設定方法は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。また、使用方法は、「CentreWare Internet Services を使う」(P.65) を参照してください。

**[Ping 接続確認]**

設定した条件で本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかを確認できます。

**[ネットワークプロトコルレポート出力]**

プライマリーインターフェイスのプロトコル設定をレポート出力します。

**[本体メールアドレス / ホスト名]****[メールアドレス]**

本機のメールアドレスを、128 文字以内で入力します。

**■ SMTP 受信の場合**

アカウント (@マークの左側) は、任意の名称を設定できます。アドレス部 (@マークの右側) には、ホスト名とドメイン名を組み合わせたものを設定します。エイリアスは設定できません。

たとえば、

- アカウント名：mymail
- ホスト名：myhost
- ドメイン名：example.com

の場合、メールアドレスは、mymail@myhost.example.com となります。

**■ POP3 受信の場合**

アカウント (@マークの左側) には POP ユーザー名を、アドレス部 (@マークの右側) には受信用 POP3 メールサーバー名を設定します。mymail@example.com のようなエイリアスも設定できます。

たとえば、

- アカウント名：mymail

の場合、メールアドレスは、mymail@myhost.example.com となります。

**[名前]**

本機の名前を 32 文字以内で入力します。

**[ホスト名]**

ホスト名を半角 32 文字以内で入力します。

**注記**

- SMB で通信する場合、先頭から半角 15 文字までをホスト名として使用します。本機を正しく識別するためには、ホスト名を半角 15 文字以内で設定してください。

**[ドメイン名]**

ドメイン名を 64 文字以内で入力します。

**[プロキシサーバー一覧]**

プロキシ設定が必要なサービスを使う場合だけ、設定を変更してください。

**[プロキシサーバー設定] / [プロキシサーバー設定 -Ethernet1]、[プロキシサーバー設定 -Wi-Fi]**

お使いのネットワーク環境に応じて、インターフェイスごとのプロキシサーバー設定ができます。

**■ [プロキシサーバーの使用]**

プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

**■ [プロキシサーバー指定方法]**

プロキシサーバーの指定方法を設定します。

**■ [PAC ファイルの URL]**

[プロキシサーバー指定方法] を [PAC ファイルを指定] に設定した場合に、URL を指定します。

**■ [プロキシを使用しないアドレス]**

プロキシサーバーを使用しないアドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。また、「\*」（ワイルドカード）を使った指定もできます。

**■ [HTTP プロキシサーバー - サーバー名]**

HTTP プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

**■ [HTTP プロキシサーバー - ポート番号]**

HTTP プロキシサーバーのポート番号を指定します。

**注記**

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

**■ [HTTP プロキシサーバー - 認証]**

HTTP プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

**■ [HTTP プロキシサーバー - ログイン名]**

HTTP プロキシサーバーのログイン名を入力します。

**■ [HTTP プロキシサーバー - パスワード]**

HTTP プロキシサーバーのパスワードを入力します。

**■ [HTTPS プロキシサーバー - サーバー名]**

HTTPS プロキシサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレスおよび FQDN 形式で指定できます。

**■ [HTTPS プロキシサーバー - ポート番号]**

HTTPS プロキシサーバーのポート番号を指定します。

**注記**

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

**■ [HTTPS プロキシサーバー - 認証]**

HTTPS プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合は、[有効] に設定します。

**■ [HTTPS プロキシサーバー - ログイン名]**

HTTPS プロキシサーバーのログイン名を入力します。

**■ [HTTPS プロキシサーバー - パスワード]**

HTTPS プロキシサーバーのパスワードを入力します。

## [メール送受信設定]

### [POP3 サーバー設定]

**■ [POP3 サーバー - サーバー名 / アドレス]**

POP3 サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

**■ [POP3 サーバー - ポート番号]**

POP3 サーバーのポート番号を設定します。

**■ [POP3 サーバー - 受信間隔]**

POP3 サーバーへのメールの確認間隔を設定します。

**■ [POP3 サーバー - ログイン名]**

POP3 サーバーにログインするための名前を入力します。

**■ [POP3 サーバー - パスワード]**

POP 受信用のパスワードを設定します。

**■ [POP 受信パスワードの暗号化]**

パスワードを暗号化するかどうかを設定します。

### [SMTP サーバー設定]

[接続確認] をタップし、本機から指定したメールアドレスにテストメールを送信することで、本機と SMTP サーバーとの接続状況を確認できます。また、[接続確認] > [SMTP 通信レポート出力] を選ぶと、本機が送信 / 受信した SMTP 通信のプロトコルの内容を表すレポートが出力されます。

**■ [SMTP サーバー - サーバー名 / アドレス]**

SMTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

**■ [SMTP サーバー - ポート番号]**

SMTP サーバーのポート番号を設定します。

**■ [送信時の認証方式]**

SMTP 送信時の認証方法を設定します。

補足

- 認証方式は、AUTH GSSAPI (Kerberos 指定時のみ)、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTH PLAIN、AUTH LOGIN、AUTH CRAM-MD5 に対応しています。

**■ [送信時の認証ユーザー]**

送信時の認証ユーザーを設定します。

[外部認証のユーザー] に設定した場合、ジョブの実行前に本機で外部認証していれば、外部認証のユーザー名 / パスワードで SMTP サーバーに認証します。また、認証に失敗した場合の動作を選ぶことができます。外部認証を利用しない場合は、本体設定のユーザー名 / パスワードが使用されます。

**■ [SMTP AUTH - ログイン名]**

SMTP サーバーのログイン名を設定します。

**■ [SMTP AUTH - パスワード]**

SMTP サーバーの認証用パスワードを設定します。

## [外部認証サーバー設定]

### [認証システムの設定]

**■ [認証システム]**

認証するためのシステムを選びます。

**■ [認証応答待ち時間の上限]**

認証の応答の待ち時間の上限を設定します。

**■ [ユーザー情報検索時間の上限]**

ユーザー情報の検索の待ち時間の上限を設定します。

### [Kerberos サーバー設定]

**■ [Kerberos サーバー 1 (標準)] ~ [Kerberos サーバー 5]**

Kerberos サーバー 1 ~ 5 それぞれに、次の設定をします。

Kerberos サーバー 1 に設定した内容が、認証時の初期値として使用されます。

**◆ [プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]**

プライマリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

**◆ [プライマリーサーバー - ポート番号]**

プライマリーサーバーのポート番号を指定します。

注記

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

**◆ [セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]**

セカンダリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

**◆ [セカンダリーサーバー - ポート番号]**

セカンダリーサーバーのポート番号を指定します。

**注記**

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

**◆ [認証先 (レルム名)]**

サーバーとして、Windows Server のアクティブディレクトリーを使用する場合は、アクティブディレクトリーのドメイン名を認証先に指定します。

**注記**

- 認証先名は、必ず大文字で設定してください。小文字で設定すると認証エラーになります。

**■ [サーバー証明書の検証]**

サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。

**[LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定]**

LDAP 認証を行うための、サーバーや認証方式について設定します。

[接続確認] をタップすることで、サーバーとの接続を確認できます。

[接続確認] > [LDAP 通信レポート出力] を選ぶと、本機が送信 / 受信した LDAP 通信のプロトコルの内容を表すレポートが出力されます。

**■ [プライマリーサーバー - 名前 / アドレス]**

プライマリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

**■ [プライマリーサーバー - ポート番号]**

プライマリーサーバーのポート番号を指定します。

**注記**

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

**■ [セカンダリーサーバー - 名前 / アドレス]**

セカンダリーサーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

**■ [セカンダリーサーバー - ポート番号]**

セカンダリーサーバーのポート番号を指定します。

**注記**

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

**■ [認証方式]****◆ [直接認証]**

入力したユーザー ID とパスワードで、LDAP サーバーに認証します。

**◆ [ユーザー属性認証]**

入力したユーザー ID は、[入力ユーザー名の属性] に設定された属性の値として、LDAP サーバーで検索するために使用されます。見つかったユーザーの、[認証用ユーザー名の属性] に設定された属性の値は、ジョブのユーザー ID として使用されます。

### ■ [入力ユーザー名の属性]

LDAP 認証の認証方式が [ユーザー属性認証] の場合に、入力されたユーザー ID のユーザー名の属性を設定します。

操作パネルからユーザー名として入力する値に対応して、LDAP サーバーに登録されている UserAttribute 情報の属性を設定します。たとえば、メールアドレスを入力させる場合は「mail」を設定します。

### ■ [認証用ユーザー名の属性]

LDAP サーバーに登録されている UserAttribute 情報の中から実際に認証に使用する属性を入力します。

### ■ [ユーザー名追加文字列の使用]

操作パネルから認証情報を入力するときに、[ユーザー名の追加文字列] で入力した情報を自動で付加するかどうかを設定します。

### ■ [ユーザー名の追加文字列]

ユーザー名追加文字列を使用する場合の、追加する文字列を設定します。

[ユーザー名追加文字列の使用] で [使用する] を設定した場合にその固定文字列を入力します。

例)

[入力ユーザー名の属性] に「mail」を設定し、その対象ユーザーの登録情報が「mail@myhost.example.com」だった場合、通常は「mail@myhost.example.com」と入力する必要があります。

[ユーザー名追加文字列の使用] を [使用する] に設定し、[ユーザー名の追加文字列] で「@myhost.example.com」と指定すれば、操作パネルから入力するデータは「mail」だけで後ろの「@myhost.example.com」は本機が付加するので、入力の手間を簡略化できます。

### ■ [IC カード認証に使用する属性]

IC カードを使用して LDAP 認証する場合に、カード ID の検索属性を設定します。

### ■ [ネットワーク用ユーザー ID 属性]

IC カードを使用して LDAP 認証する場合に、IC カードのカード ID で検索するユーザー名の属性を設定します。取得したユーザー名は、外部サービスに通知する認証情報として使用されます。

### ■ [検索用の認証ユーザー]

検索のときに使用するユーザーを設定します。

### ■ [検索用ログイン名]

[ユーザー属性認証] 方式の LDAP 認証で、ディレクトリーサーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。ディレクトリーサービス認証が必要なときだけ設定してください。

### ■ [検索用パスワード]

[検索用ログイン名] で指定したユーザーのログインパスワードを設定します。

### ■ [検索起点エントリー (DN)]

検索の起点となる文字列を入力できます。

**■ [起点からの検索範囲]**

起点からの検索範囲を設定します。

**■ [検索対象のオブジェクトクラス]**

検索のためのオブジェクトクラスを入力できます。

**■ [リフェラルの使用]**

接続した LDAP サーバーから、別の LDAP サーバーへの接続を指示された場合に、指示されたサーバーに再接続するかどうかを設定します。

**■ [リフェラルのホップ数上限]**

リフェラル機能を使用する場合に、接続するサーバーの切り替えを何回まで許可するかを設定します。

**[SMB サーバー設定]**

外部認証サーバーとして SMB サーバーを利用するときに設定します。

**■ [SMB サーバー指定方法]**

サーバーの指定方法を、[ドメイン名で指定]、[ドメイン名とサーバー名 / アドレス] から設定できます。

ここで設定した指定方法に合わせて、SMB サーバー 1 ~ 5 それぞれに、次の設定をします。

SMB サーバー 1 に設定した内容が、認証時の初期値として使用されます。

**■ [SMB サーバー 1 (標準)] ~ [SMB サーバー 5]****◆ [サーバー - ドメイン名]**

サーバーのドメイン名を設定できます。

[SMB サーバー指定方法] で設定している SMB サーバーの指定方法にかかわらず、ドメイン名の設定は必須です。

**注記**

- ドメイン名は NetBIOS ドメイン名、またはアクティブディレクトリーのドメイン名を指定してください。

**◆ [サーバー - サーバー名 / アドレス]**

サーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

**注記**

- サーバー名は NetBIOS コンピューター名、または DNS サフィックス付きのフルコンピューター名を指定してください。

**[セキュリティ設定]****[SSL/TLS 設定]**

サーバーやクライアント PC と本機との通信を暗号化するときに設定します。SSL/TLS を設定するとネットワーク上で不正アクセスをしようとしても、経路が暗号化されているため、情報の漏えいやデータの改ざんを抑止できます。

**■ [本体の証明書 - サーバー]**

SSL/TLS 通信するための、サーバー証明書を設定します。

**■ [HTTP - SSL/TLS 通信]**

SSL/TLS 通信のみを使用可能にするかどうかを設定します。

**■ [HTTP - SSL/TLS 通信ポート番号]**

SSL/TLS 通信のポート番号を指定します。

**注記**

- ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

**■ [SMTP-SSL/TLS 通信]**

SSL/TLS 通信について設定します。

**◆ [無効]**

SSL/TLS 通信しません。

**◆ [STARTTLS 接続 (利用可能時)]**

証明書を検証して、SSL/TLS 通信します。検証できない場合は、SSL/TLS 通信しません。

**◆ [STARTTLS 接続]**

証明書を検証して、SSL/TLS 通信します。検証できない場合は、通信できません。

**◆ [SSL/TLS 接続]**

SSL/TLS 通信します。

**■ [ThinPrint-SSL/TLS 通信]**

SSL/TLS 通信を有効にするかどうかを設定します。

**■ [本体の証明書 - クライアント]**

SSL/TLS 通信するための、クライアント証明書を設定します。

**■ [相手サーバーの証明書の検証]**

本機を SSL クライアントとして動作させるときに、相手サーバーの証明書を検証するかどうかを設定します。

**[IPsec 設定]****■ [IPsec 設定]**

ネットワークをパケット単位で暗号化して安全に通信するように設定します。

**補足**

- WiFi アダプターを取り付けている場合、この項目は 1 回線にのみ指定できます。
- [IKE 認証方式]、[事前共有鍵]、[DH グループ]、[PFS 設定] についてはネットワーク管理者に確認してください。
- [IKE 認証方式]  
IKE 認証方式を設定します。
- [事前共有鍵]  
事前共有鍵を入力します。  
[IKE 認証方式] が [事前共有鍵による認証] の場合に設定します。

- [本体の証明書]  
IPsec 通信で使用する証明書を設定します。  
[IKE 認証方式] が [デジタル署名による認証] の場合に設定します。  
ここでは、CentreWare Internet Services で作成した自己証明書は使用できません。

**参照**

- 詳しくは、「証明書の種類」(P.178) を参照してください。

- [IPsec 通信]  
IPSec 通信を有効にするかどうかを設定します。
- [IKE SA のライフタイム]  
IKE SA の有効期間を設定します。

**補足**

- [IPsec SA のライフタイム] より長くなるように設定してください。

- [IPsec SA のライフタイム]  
IPsec SA の有効期間を設定します。

**補足**

- [IKE SA のライフタイム] より短くなるように設定してください。

- [DH グループ]  
DH グループを設定します。
- [PFS 設定]  
PFS を有効にするかどうかを設定します。
- [相手アドレス - IPv4]  
通信を許可する相手先の IPv4 アドレスまたは範囲を設定します。
- [相手アドレス - IPv6]  
通信を許可する相手先の IPv6 アドレスまたは範囲を設定します。
- [非 IPsec 通信]  
相手アドレスで設定した以外のアドレスの、IPsec に対応していない機器に対して、通信をするかどうかを設定します。

**[IEEE802.1x 設定]****■ [IEEE 802.1x 設定] / [IEEE 802.1x 設定 (Ethernet1)]**

- [IEEE 802.1x 認証の使用]  
IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。
- [認証方式]  
IEEE 802.1x の認証方式を設定します。
- [認証ユーザー名]  
認証ユーザー名を 128 文字以内で入力します。
- [認証パスワード]  
認証パスワードを 1 ~ 128 バイト以内で入力します。
- [サーバー証明書の検証]  
[認証方式] が [PEAP/MS-CHAPv2] の場合に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。

## [証明書失効確認の設定]

証明書失効確認の設定をします。

### ■ [証明書検証レベル]

証明書の検証レベルを設定します。

[低] の場合、証明書の失効確認を行いません。

[中] の場合、証明書の失効確認まで行います。ネットワークエラーなどで失効確認できなかったときも有効な証明書として扱います。

[高] の場合、失効していないと確認された証明書だけを有効な証明書として扱います。

### ■ [証明書失効確認方式]

証明書失効確認の方式を設定します。

本機が検証局から失効リスト (CRL) を取得して照合する場合は、[失効リスト (CRL) を取得する] に設定します。証明書の有効性を確認できる OCSP (Online Certificate Status Protocol) を使って認証局や検証局に問い合わせる場合は、[OCSP で問い合わせる] に設定します。

### ■ [失効リスト (CRL) の自動取得]

失効リスト (CRL) を自動取得するかどうかを設定します。

### ■ [失効リスト (CRL) 取得時間上限]

失効リスト (CRL) を取得する時間の上限を設定します。

### ■ [OCSP レスポンド指定方法]

OCSP レスポンダーの指定方法を指定します。

[証明書に記載の URL を使用]、[本体で設定した URL を使用] から設定できます。

### ■ [OCSP レスポンド]

[OCSP レスポンド指定方法] で [本体で設定した URL を使用] を選んだ場合は、問い合わせ先の URL を設定します。

### ■ [OCSP 通信時間上限]

OCSP レスポンダーとの通信時間の上限を設定します。

## [その他の設定]

### ■ [FIPS140 認定モード]

FIPS140 (Federal Information Processing Standard 140) とは、暗号モジュールに関するセキュリティー要件の仕様を規定する米国連邦標準規格です。

FIPS140-2 認定モードを [有効] に設定することによって、セキュリティーをより強化できます。

#### 補足

- 以下の機能はFIPS140認定されていない暗号アルゴリズムで動作します。FIPS140に対応した環境での運用をおすすめします。

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| • SMB 認証              | • LDAP 認証             |
| • SMTP 認証             | • Kerberos 認証         |
| • HTTP 認証             | • 802.1x 認証           |
| • DocuWorks ダイレクトプリント | • メール送信 <sup>*1</sup> |
|                       | • PDF ダイレクトプリント       |

<sup>\*1</sup>: SMTP AUTH を使用した場合に該当します。

## [Google クラウドプリント登録]

Google クラウドプリントに本機を登録するときに表示されます。

#### 参照

- 詳しくは、「Google クラウドプリント」(P.98) を参照してください。

## [その他の設定]

ネットワークに関するそのほかの設定をします。

### [メール受信プロトコル]

使用環境に合わせて設定します。

### [認証ユーザー名へのドメイン付加]

ユーザー名にドメイン名を付加するかどうかを設定します。

### [USB ポート ID 固定機能]

USB インターフェースで通知する ID としてシリアル番号を使用するか固定値を使用するかを設定します。

# [認証 / 集計管理]

## [ユーザー情報の設定]

### [パスワード変更]

認証ユーザーが自分のパスワードを変更できます。

#### 参照

- 変更方法については、「パスワードの変更」(P.202)を参照してください。

## [集計管理]

本機を利用するユーザーの登録や集計管理機能の運用設定ができます。

#### 参照

- 機能については、「認証と集計管理機能について」(P.185)を参照してください。

### [ユーザー登録 / 集計確認]

集計管理を有効にする場合、登録したユーザーの認証を行うために、ユーザー ID、およびユーザー名を登録します。

本機を利用するユーザーごとに、使用枚数の上限を設定できます。また、登録したユーザーごとの累積ページの確認などができます。

[認証・セキュリティ設定] の [認証の設定] の [ユーザー登録 / 集計確認] と同じ内容です。

#### 注記

- ユーザー登録は、「[集計管理機能の運用]」(P.164) で、使用する集計管理モードを設定してから、行ってください。

#### 補足

- この項目は、「[集計管理機能の運用]」(P.164) を [ネット集計管理] に設定しているときは表示されません。

#### 参照

- 詳しくは、「ユーザーを登録する (本体認証)」(P.193)を参照してください。

### [登録内容の削除 / 集計リセット]

全登録ユーザーに対して、一括で登録内容を削除したり、集計データをリセットしたりできます。削除 / リセットする前に、レポートを出力して、削除 / リセットされる内容を事前に確認することもできます。

[認証・セキュリティ設定] の [認証の設定] の [登録内容の削除 / 集計リセット] と同じ内容です。

#### 補足

- この項目は、「[集計管理機能の運用]」(P.164) を [ネット集計管理] に設定しているときは表示されません。

#### ■ [全ユーザーの登録内容]

ユーザーごとに登録している設定内容をすべて削除します。また、上限ページ数、累積ページ数、プリンター集計データなどのデータもすべて削除します。

#### ■ [全ユーザーの機能制限]

全ユーザーの機能制限をすべて削除します。

**■ [全ユーザーの上限ページ数]**

全ユーザーの上限ページ数を初期値にリセットします。

**■ [全ユーザーの集計管理データ]**

機械管理者を含む、全ユーザーのすべての集計管理データをリセットします。ページ数も、「0」にリセットされます。

**■ [全ユーザーの権限グループ]**

全ユーザーのすべての権限グループをリセットします。

**■ [プリンター集計データ]**

すべてのプリンター集計データをリセットし、自動登録されたジョブオーナー名を削除します。プリントした集計枚数も、「0」にリセットされます。

**補足**

- [プリンター集計データ] は、プリンターを集計しない設定の場合に表示されます。

**■ [全機能の集計管理レポート]**

全機能の集計データのレポートをプリントできます。削除 / リセットする内容を、事前に確認する場合に使用します。

**■ [プリンター集計レポート]**

プリントの集計データのレポートをプリントできます。削除 / リセットする内容を、事前に確認する場合に使用します。

**補足**

- [プリンター集計レポート] は、プリンターを集計しない設定の場合に表示されます。

**■ [削除 / リセット]**

選んだ項目のデータを削除 / リセットします。

**[集計管理機能の運用]**

集計管理機能を使用するかどうかを設定します。

**■ [運用しない]**

本機で操作するときに、集計管理は行いません。

**■ [本体集計管理]**

集計管理します。

**■ [ネット集計管理]**

外部サービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理します。ユーザー情報は、外部サービスから登録します。

**補足**

- [ネット集計管理] に設定すると、集計が必要なサービスを利用しようとしたときに表示される認証画面で、「Account ID」を入力できるようになります。

**参照**

- 詳しくは、「集計管理モードの種類」(P.188)を参照してください。

## ■ [各機能の集計]

サービスごとに集計管理機能を使用するかどうかを設定します。設定できるサービスは次のとおりです。

- [文書プリント]
- [デジカメプリント]
- [プリンター]

### 補足

- 表示される項目は、搭載しているサービスによって異なります。
- サービスを [集計する] に設定すると、ホーム画面の該当するサービスに  が表示されます。認証すると表示は消えます。
- 「[受信制御]」(P.171) の設定によっては、ジョブが中止されることがあります。

## ■ [入力情報の照合]

入力するときに、入力情報を照合するかどうかを設定します。  
[する] を選ぶと、[プリントの照合] も選ぶことができます。

## ■ [ユーザー入力項目]

認証するために、ユーザーが入力する項目を設定します。

### 補足

- Account ID は集計のための ID です。

## [集計管理情報の設定]

### ■ [User ID の代替表記]

タッチパネルディスプレイの認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「ユーザー ID」と表示されている表記を、「UserName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。

### 補足

- 設定した値は、レポート / リストの表示にも反映されます。

### ■ [User ID の入力表示]

ユーザー ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。

### ■ [Account ID の代替表記]

タッチパネルディスプレイの認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「Account ID」と表示されている表記を、「AccountName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。

### 補足

- この項目は、「[集計管理機能の運用]」(P.164) を [ネット集計管理] に設定しているときに表示されます。
- 設定した値は、レポート / リストの表示にも反映されます。

### ■ [Account ID の入力表示]

Account ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。

### 補足

- この項目は、「[集計管理機能の運用]」(P.164) を [ネット集計管理] に設定しているときに表示されます。

### ■ [認証時の集計情報表示]

認証直後に、ユーザー別の集計情報を表示するかどうかを設定します。チェックマークを付けると、認証中のユーザーの [累積ページ数]、[上限ページ数]、[残りページ数] を確認できます。

#### 補足

- この項目は、[認証方式の設定] が [本体認証] に設定されていて、さらに [集計管理機能の運用] が [本体集計管理] に設定されているときに表示されます。
- 利用を制限されている機能は表示されません。
- 機械管理者で認証したときには、表示されません。

## [認証・セキュリティ設定]

本機を利用するユーザーの登録や認証およびセキュリティーの設定ができます。

#### 参照

- 機能については、「認証と集計管理機能について」(P.185) を参照してください。

### [機械管理者情報の設定]

設定変更の抑止やセキュリティー確保のために、本機を設置したあと、すぐに機械管理者 ID の変更、およびパスワードの設定をお勧めします。

#### ■ [機械管理者 ID]

機械管理者のユーザー ID を設定します。

#### 補足

- 機械管理者のユーザー ID の初期値については、本機に付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクに収録されている『ユーザーズガイド』を参照してください。

#### ■ [機械管理者パスワード]

機械管理者のパスワードを指定します。

セキュリティーを強化するためにも、パスワードの設定をお勧めします。

#### 補足

- 機械管理者のパスワードの初期値については、本機に付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクに収録されている『ユーザーズガイド』を参照してください。
- パスワードなしに設定する場合は、空欄にします。

### [認証の設定]

#### ■ [認証方式の設定]

##### ◆ [認証しない]

認証機能を利用しません。

##### ◆ [本体認証]

本機に登録されたユーザー情報を、認証に使用します。

#### 注記

- [本体認証] から、[認証しない] または [外部認証] に変更した場合、本機に登録されているユーザー情報がすべて削除されます。

##### ◆ [外部認証]

外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を、認証に使用します。

**注記**

- 外部認証を行うと、ユーザー情報が本機に保存され、外部認証時に外部認証サーバーが起動していても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。
- 外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存させたくない場合は、[認証情報の設定] の [外部認証情報の本体保存] を [しない] に設定してください。詳しくは、「[外部認証情報の本体保存]」(P.169) を参照してください。
- 本機に保存された外部認証のユーザー情報を自動的に削除できます。詳しくは、「[保存済み外部認証情報削除]」(P.169) を参照してください。

**■ [アクセス制御]**

認証モードでは、本機自体および各サービスの利用を制限できます。利用するには、ユーザー認証が必要になります。

**補足**

- 外部認証時にゲストユーザーを使用する場合、ゲストユーザーにアクセス制御は設定できません。本機を使用できるゲストユーザーを制限する場合は、「[ゲストの使用]」(P.169) を参照してください。

**◆ [仕様設定へのアクセス]**

機械管理者以外の本機の設定変更を制限するかどうかを設定します。

**注記**

- [制限しない] に設定すると、誰でも本機の設定を変更できる状態になります。

**◆ [デバイスへのアクセス]**

本機の操作パネルのボタンの操作を制限するかどうかを設定します。

**◆ [サービスへのアクセス]**

本機の各サービスについて、制限するかどうかを設定します。

**補足**

- サービスを [制限する (表示)] に設定すると、ホーム画面の該当するサービスに  が表示されます。認証すると  の表示は消えます。
- サービスを [制限する (非表示)] に設定すると、ホーム画面に該当するサービスは表示されません。認証すると該当するサービスも表示されます。

**■ [ユーザー登録 / 集計確認]**

認証を有効にする場合、登録したユーザーの認証を行うために、ユーザー ID、およびユーザー名を登録します。

本機を利用するユーザーごとに、使用枚数の上限を設定できます。また、登録したユーザーごとの累積ページの確認などができます。ユーザーデータは、1,000 件まで登録できます。

[集計管理] の [ユーザー登録 / 集計確認] と同じ内容です。

**参照**

- 詳しくは、「[ユーザー登録 / 集計確認]」(P.163) を参照してください。

**■ [登録内容の削除 / 集計リセット]**

全登録ユーザーに対して、一括で登録内容を削除したり、集計データをリセットしたりできます。削除 / リセットする前に、レポートを出力して、削除 / リセットされる内容を事前に確認することもできます。

[集計管理] の [登録内容の削除 / 集計リセット] と同じ内容です。

**参照**

- 詳しくは、「[登録内容の削除 / 集計リセット]」(P.163) を参照してください。

## ■ [権限グループ登録]

機械管理者は認証ユーザーに対して、本来利用できない機能を利用できるようにする「権限」を与えることができます。権限グループを登録しておくことで、ユーザーを権限ごとにグループ化して管理できます。

## ■ [認証情報の設定]

認証するときに必要な情報を設定します。

### ◆ [User ID の代替表記]

タッチパネルディスプレイの認証情報の表示エリアをタップしたときに表示される認証画面の、「User ID」と表示されている表記を、「UserName」や「Number」のように必要に応じて変更できます。

補足

- 設定した値は、レポート / リストの表示にも反映されます。

### ◆ [User ID の入力表示]

ユーザー ID を入力したときの文字列の表示方法を設定できます。セキュリティの強化など、必要に応じて設定してください。

[そのまま表示する] に設定すると、ユーザー ID を入力したときに、入力した文字列で表示します。[隠す] に設定すると、[\*\*\*\*] のように表示します。

### ◆ [認証失敗の記録]

不正なアクセスを検知するための、認証回数を設定します。所定時間（10分）以内に、ここで設定した回数の認証に失敗したときに、エラーとして記録します。

### ◆ [認証解除時の確認画面表示]

認証解除時に確認画面を表示するかどうかを設定します。

### ◆ [認証時の User ID 文字種]

認証時、ユーザー ID の文字種を設定します。

[大文字小文字を区別する] に設定すると、登録したまま（大文字小文字を含む）のユーザー ID で認証します。[大文字小文字を区別しない] に設定すると、ユーザー ID に大文字小文字が混在していても、大文字小文字を区別しないで認証します。

注記

- プライベートプリントに文書が保存された状態で設定を切り替えないでください。プリントできないなど、問題が発生することがあります。保存された文書をすべてプリントしたあと、設定を切り替えてください。
- “ABC” と “abc” のように、[大文字小文字を区別しない] に設定すると同一になるユーザー ID が登録されているときは、設定を切り替えないでください。設定を切り替えると、一部のユーザーが表示されないなど、問題が発生することがあります。大文字小文字を区別しなくても同一にならないユーザー ID に変更してから設定を切り替えてください。

### ◆ [IC カード接続時の認証]

本体認証の場合、本機に IC カードリーダー（オプション）が接続されているときに、ユーザー ID 認証を有効にするかどうかを設定します。

[IC カードのみ] に設定すると、ユーザー ID 認証は使用できません。[IC カードまたはパネル入力] に設定すると、IC カード認証とユーザー ID 認証の両方が使用できます。

### ◆ [IC カード認証時のユーザー登録]

本体認証の場合、登録されていないユーザーが IC カードリーダー（オプション）に IC カードをかざしたときに、ユーザーを登録するかどうかを設定します。

[しない] に設定すると、ユーザー登録はされません。[自動登録する] に設定すると、ユーザーが登録されます。

**補足**

- [自動登録する] を選ぶと、[ユーザー名]、[利用制限]、[権限の追加設定] の項目が表示されます。
- [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [パスワードの運用] > [パスワード使用 -IC カード認証時] が [する] に設定されている場合、ユーザー登録時にパスワードを2回入力します。

**◆ [ゲストの使用]**

外部認証の場合、ゲストのユーザーを使用するかどうかを設定します。

**◆ [IC カードの使用]**

本機に IC カードリーダー（オプション）が接続されているときに、IC カードを使用するかどうかを設定します。

[する] に設定すると、IC カードでジョブを制御するかしないかを、機能ごとに設定できます。

[する（PKI のみ）] は、認証やジョブ制御には IC カードを使用せず、セキュリティ機能だけを制御する場合に設定します。

**補足**

- この項目は、カスタマイズ拡張機能をご利用されている場合に表示されます。

**◆ [IC カード連携モード]**

外部認証の場合、IC カード認証時に、パスワードの入力を要求するかどうかを設定します。

**◆ [IC カードの証明書検証]**

IC カードを使用する場合に、IC カードの証明書を検証するかどうかを設定します。

チェックマークを付けると、IC カードの所有者を、PIN コードによる照合だけでなく、IC カード内の証明書の検証と秘密鍵との鍵の一致を検証します。この場合、IC カードの証明書の上位 CA 証明書を本機にインポートしておく必要があります。

チェックマークを外すと、IC カードの所有者を、PIN コードによる照合で検証します。

**◆ [非接触型 IC カード設定]**

非接触型 IC カード認証時に、認証の解除方法を設定します。

[カードが離れると認証解除] に設定すると、IC カードをカードリーダーから離すことで、認証が解除されます。[パネル指示で認証解除] に設定すると、タッチパネルディスプレイの操作で認証が解除されます。

**◆ [外部認証情報の本体保存]**

外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存するかどうかを設定します。保存に設定して外部認証を行うと、ユーザー情報が本機に保存され、外部認証時に外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。

**補足**

- IC カードで認証したユーザーだけが対象です。
- 本体保存されたユーザー情報を利用して認証されたユーザーは、[(保存済み外部認証情報での動作時の権限)] に設定されます。

**◆ [保存済み外部認証情報削除]**

本機に保存した外部認証のユーザー情報を、削除するかどうかを設定します。

**補足**

- IC カードで認証したユーザーだけが対象です。

## ■ [不正使用防止の設定]

なりすましによる不正な操作が行われないようするための機能です。同一のユーザー ID の認証に連続して失敗した場合にアクセスを拒否するように、その失敗回数を設定します。

[認証回数制限 - 機械管理者]、または [認証回数制限 - 一般ユーザー] で [する] を選び、[連続失敗回数] にアクセスを拒否するまでの回数を入力します。

### 補足

- 本機を再起動すると、失敗した回数はリセットされます。
- アクセス拒否状態を解除するときは、本機の電源を切って、入れ直して、本機を再起動してください。
- 一般ユーザーの認証回数制限は、本体認証の場合に設定できます。

## ■ [パスワードの運用]

### ◆ [パスワード使用 - パネル入力時]

ユーザーが本機を使用するときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。

[する] に設定すると、[ユーザー登録 / 集計確認] の [パスワード] が有効になります。

[しない] に設定すると、上記の設定でパスワードが指定されていてもパスワードの入力は要求されません。

### 注記

- [パスワード使用 - パネル入力時] の設定は、操作パネルで認証するときに適用されます。CentreWare Internet Services などの外部からのアクセス時には、パスワードの使用の有無にかかわらず、常にパスワードの入力が必要です。また、認証の方法によっても常にパスワードの入力が必要なことがあります。

### ◆ [パスワード使用 - IC カード認証時]

本体認証の場合、機械管理者およびユーザーが IC カード認証をするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。

### ◆ [パスワードの最小桁数]

パスワードの最小桁数を指定します。

### ◆ [パスワードの最大桁数]

パスワードの最大桁数を指定します。

## ■ [認証 / プライベートプリントの設定]

受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

プリントジョブを直接プリントしたり、保管文書の認証プリントやプライベートプリントに一時的に保存したりできます。

認証プリントは、認証されたユーザーのジョブをプリントする機能ですが、本機に一時的に保存することもできます。プリントするときに、本機からの操作でプリントします。本機を不特定ユーザーが使う場合に、出力紙を不用意に見られることを防止できます。認証プリントへの保存が設定されている場合、受信したプリントジョブはプリンタードライバー設定の蓄積用ユーザー ID ごとに保存されます。

プライベートプリントは、プリント指示の際に認証用ユーザー ID やサブユーザー ID を使って、本機にジョブを保存します。プリントするときは、本機の操作でプリントしますが、本機のパネルには、認証されたユーザーと関連づけられたサブユーザーの文書のみ表示されるため、プリント放置に限らず、プライバシーの保護を図ることができます。

**参照**

- 認証プリント、プライベートプリントについては、「認証プリント」(P.88)、および「プライベートプリント」(P.90)を参照してください。
- 認証プリント、プライベートプリントをするには、[受信制御]の設定が必要です。詳しくは、「[受信制御]」(P.171)を参照してください。

**◆ [受信時の PJI 命令制御]**

外部機器からのプリント受信を制御できます。コンピューターからプリント指示された認証プリントまたはプライベートプリントジョブを、指示どおりに [ジョブ情報] 画面に表示される [認証プリント] または [プライベートプリント] に保存する場合は、[する] に設定します。

[しない] に設定したときは、後述の [受信制御] の設定に従います。

**補足**

- PJI とは、プリントジョブを制御するコマンドです。

**◆ [出力時の PJI 命令制御]**

外部機器からのプリントジョブのプリントを制御できます。[ジョブ情報] 画面に表示される [認証プリント] または [プライベートプリント] に保存された文書をプリントするときに、出力用紙、両面プリントなどのプリントモードをジョブの指示どおりに行う場合に、[する] に設定します。

**補足**

- PJI とは、プリントジョブを制御するコマンドです。

**◆ [受信制御]**

受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

**参照**

- プリンタードライバーからのプリント方法は、「プリント」(P.81)を参照してください。
- 保存されたプリントジョブをプリントおよび削除する方法は、「本機に蓄積したデータのプリント」(P.86)を参照してください。

**• [プリンターの認証に従う]**

認証 / 集計機能を利用し、[サービスへのアクセス] の [プリンター] を [制限する] に設定しているときに、[認証成功のジョブ]、[認証が不正のジョブ]、[User ID なしのジョブ]、それぞれについてジョブの扱いを設定できます。

**補足**

- 認証 / 集計機能を利用しない場合、および [サービスへのアクセス] の [プリンター] を [制限しない] に設定している場合は、プリンタードライバーの指示に従います。
- [プライベートプリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
- CentreWare Internet Services の [認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] > [ユーザー指定なしプリント] を [制限しない] に設定すると、本機側では、[User ID なしのジョブ] は自動的に [プリント] に設定されます。本機側で [認証プリントに保存] または [ジョブを中止] に設定すると、CentreWare Internet Services の [ユーザー指定なしプリント] が自動的に [制限する] に変わります。

**• [プライベートプリントに保存]**

認証機能を利用しているにかかわらず、ユーザー ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントに保存します。また、[User ID なしのジョブ]、[PJI 命令なしのジョブ]、それぞれについてジョブの扱いを設定できます。

**注記**

- [プライベートプリントに保存] に設定すると、認証に成功してもしなくても、ユーザー ID が付いたプリントジョブはすべて保存されます。不要なプリントジョブを増やさないためには、保存期間を設定して保存期間を過ぎたプリントジョブを自動的に削除するように設定するか、機械管理者が手動で削除してください。保存期間を設定する方法は、「[蓄積プリント文書の保存設定]」(P.140)を参照してください。

**補足**

- [プライベートプリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
- CentreWare Internet Services の [認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] > [ユーザー指定なしプリント] を [制限しない] に設定すると、本機側では、[User ID なしのジョブ] は自動的に [プリント] に設定されます。本機側で [認証プリントに保存] または [ジョブを中止] に設定すると、CentreWare Internet Services の [ユーザー指定なしプリント] が自動的に [制限する] に変わります。

**• [認証プリントに保存]**

認証機能を利用しているいないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントに保存します。

**注記**

- [認証プリントに保存] に設定すると、認証に成功してもしなくても、プリントジョブはすべて保存されます。不要なプリントジョブを増やさないためには、保存期間を設定して保存期間を過ぎたプリントジョブを自動的に削除するように設定するか、手動で削除してください。保存期間を設定する方法は、「[蓄積プリント文書の保存設定]」(P.140) を参照してください。

**補足**

- [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。

**[強制印字一時解除]**

本機能は、基本的には強制印字をしたいが、特定の出力物のみ強制印字なしで出力したいといった場合に使用します。

UUID 印字、強制アノテーションなどの強制印字が設定されていても、一時的に強制印字を解除できます。

本機能を [する] に設定した状態で実行した、文書プリント、デジカメプリントが一時解除の対象となります (通常のプリント、レポート / リストは対象となりません)。

この設定は、認証ユーザーの属する権限グループの [強制印字の一時解除] が [許可する] に設定されている場合のみ表示されます。

**補足**

- 実行中のジョブに関しては反映されません。
- 管理者権限のユーザーは権限グループにかかわらず設定可能です。
- TrustMarkingBasic (別売) でユーザーが指定した複製管理に関しては解除対象となりません。

**参照**

- UUID 印字については、「[UUID 印字]」(P.135) を参照してください。
- 権限グループの設定は、「権限グループ」(P.187) を参照してください。

**[ジョブ操作の設定]**

実行中や実行待ちジョブやログの表示制限ができます。認証していないユーザーやジョブオーナーでないユーザーに対して、プライバシー保護、情報漏えいの抑止になります。

**補足**

- ジョブを表示しない設定にした場合、自分が実行したジョブを止めたり、削除したりできなくなります。

**■ [実行中 / 待ちジョブの表示設定]**

実行中 / 実行待ちジョブの情報表示を制限するかどうかを設定します。

## ■ [実行完了ジョブの表示設定]

### ◆ [常に表示する]

認証に関わらず、すべての完了ジョブを確認できます。ジョブの詳細情報の表示を制限するかどうかを設定します。

### ◆ [認証中は表示する]

本機に認証中のユーザーのみが完了ジョブを確認できます。確認できるジョブを認証ユーザーのジョブのみにするかどうか、ジョブの詳細情報の表示を制限するかどうかを設定します。

### ◆ [表示しない]

認証に関わらず、すべての完了ジョブを非表示にします。

## ■ [ジョブ操作の制限]

操作の種類ごとに、ジョブ操作を許可するユーザーの範囲を設定します。

## [ダイレクトプリント機能の禁止]

本機能を [する] に設定した場合、デジカメプリント、文書プリント、メール受信プリント、モバイルプリントなどのダイレクトプリント機能が使用できなくなります。

## [稼働時の改ざん防止]

本機の稼働時に、許可されていないファイルへのアクセスおよび実行を検知するかどうかを設定します。

- [する] に設定すると、ファイルの書き込みや実行を拒否して、アクセス内容を監査ログに記録します。
- [ログ記録のみ] に設定すると、監査ログには記録しますが、ファイルへのアクセスは拒否されません。

### 補足

- 監査ログに記録するには、監査ログ機能を有効に設定する必要があります。詳しくは、「[監査ログ設定]」(P.174)を参照してください。

## [監査ログ設定]

監査ログの設定と Syslog 送信 (Syslog プロトコルを使って監査ログをネットワーク上の他のコンピューターに送信) に関する設定をします。

監査ログとは、いつ、誰が、どのような作業を本体で行ったかを記録したものです。監査ログ機能を使用すると、本体の不正使用や不正使用の試みを監視できます。

### 補足

- 監査ログを取り出すには、CentreWare Internet Services を使用します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

### [監査ログの記録]

監査ログを記録するかどうか設定します。

監査ログ機能が有効になると、本体に監査ログが記録されます。

ログは最大で 15,000 件まで記録され、15,000 件を超えると日付の古いログから削除されます。

### [監査ログの Syslog 送信]

監査ログを Syslog サーバーに送信するかどうか設定します。

### [Syslog- サーバー名 / アドレス]

Syslog サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。

### [Syslog-UDP/TCP ポート番号]

Syslog サーバーの UDP または TCP のポート番号を入力します。

### [Syslog-TLS ポート番号]

Syslog サーバーの TLS ポート番号を入力します。

### [Syslog- トランスポートプロトコル]

Syslog に送信する際のトランスポートプロトコルを設定します。

### [Syslog- ファシリティ]

Syslog に送信する監査ログのファシリティ番号を入力します。

### [Syslog- タイムアウト値]

Syslog 送信時の送信タイムアウト値を入力します。

### [送信エラー時の対応方式]

デバイス内の監査ログが Syslog 未送信のまま最大記録件数に達したときの動作を設定します。

#### ■ [稼働優先]

日付の古いログから上書きされます。上書きされた監査ログは、Syslog 送信できません。

#### ■ [監査優先]

システムエラーとなり、本機が停止します。本体と Syslog サーバーを接続できる状態にしてから、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯したら、もう一度電源を入れてください。

## [リセット]

### [IPsec と 802.1x の設定をリセット]

[ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] の [IPsec 設定] および [IEEE802.1x 設定] を無効にし、設定を初期化します。

### [フォントとフォーム、マクロを消去]

本体内にダウンロードされたフォントデータ、フォームデータ、マクロデータをすべて消去します。

### [工場出荷時の設定に戻す]

本機のすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。



# 8

## 暗号化と署名機能の設定

# 暗号化と署名機能の概要

## 証明書の種類

本機で暗号化と署名機能を利用するには、証明書が必要です。

### 補足

- 本機で利用できる電子証明書は次のとおりです。
  - CentreWare Internet Services を使って作成した自己証明書
  - 認証局 (CA) によって署名された証明書
- 本機にインポートできる電子証明書の規格は次のとおりです。
  - X.509 (DER/PEM 形式)
  - PKCS#12 (DER/PEM 形式)
  - PKCS#7 (DER/PEM 形式)

### 参照

- 証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

## 暗号化の種類により使用できるデバイス証明書

- : 使用できる
- △: 必要に応じて使用する
- ×: 使用できない

	自己証明書	ほかの認証局で作成された証明書
クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)	○	○
本機から外部サーバーへの HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)	×	○
IPsec を使用して暗号化する	×	△*

\*: [IKE 認証方式] が [デジタル署名による認証] の場合に使用します。

## 暗号化の種類により設定できる証明書の条件

	鍵用途 (V3 拡張領域に本項目がある場合のみ)		拡張鍵用途 (V3 拡張領域に本項目がある場合のみ)			メールアドレス
	鍵暗号	デジタル署名	サーバー認証	クライアント認証	電子メール保護	
クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)	○	○	○	-	-	-

	鍵用途 (V3 拡張領域に本項目がある場合のみ)		拡張鍵用途 (V3 拡張領域に本項目がある場合のみ)			メールアドレス
	鍵暗号	デジタル署名	サーバー認証	クライアント認証	電子メール保護	
本機から外部サーバーへの HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)	○	○	-	○	-	-
IPsec を使用して暗号化する	-	○	-	-	-	-

## 証明書の状態

証明書を使用するには、証明書の状態が有効である必要があります。証明書の状態を確認するには、CentreWare Internet Services の [システム] > [セキュリティ設定] > [証明書設定] 画面から、[証明書の状態] を確認してください。

## 通信の暗号化機能

### クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)

クライアントから本機への HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

#### 補足

- SSL サーバー用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (KeyUsage) がある場合には、鍵暗号のビットがオンに設定されている必要があります。

通信を暗号化するには、デバイス証明書として、自己証明書またはほかの認証局で作成された証明書を使用します。

#### 参照

- 設定の手順については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.181) を参照してください。

#### 補足

- HTTP の通信を暗号化することによって、IPP でプリントするときに通信データを暗号化 (SSL 暗号化通信) できます。

### 本機から外部サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)

本機から外部サーバーへの HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、外部サーバーが SSL クライアント証明を要求する設定の場合には、ほかの認証局で作成された証明書を使用できます。

また、サーバー証明書の検証を有効にして外部サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証する場合には、その証明書パスに含まれる上位の認証局の証明書を CentreWare Internet Services を使用して本機にインポートしてください。

#### 補足

- SSL クライアント用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (KeyUsage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

## IPsec を使用し暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。アプリケーションに関係なく、IP レベルでの暗号化が行われます。

[IKE 認証方式] が [デジタル署名] の場合は、ほかの認証局で作成されたデバイス証明書が必要です。

[IKE 認証方式] が [事前共有鍵] の場合は、デバイス証明書は必要ありません。

### 補足

- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (Key-Usage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

### 参照

- IKE 認証方式については、「[IPsec 設定]」(P.159) を参照してください。
- 設定の手順については、「IPsec を使用して暗号化するための設定」(P.183) を参照してください。

また、通信相手装置を検証する場合には、相手側のほかの認証局で作成された証明書 (上位の CA 証明書) を本機にインポートしておく必要があります。

# HTTP の通信を暗号化するための設定

## Step1 証明書の準備

HTTP の通信を暗号化するための証明書を用意します。自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する方法と、ほかの認証局で作成された証明書をインポートする方法があります。

### 補足

- [デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

### ■自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する場合

- 1 CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者モードにログインします。

#### 参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.66) を参照してください。

- 2 左側のメニューから [システム] をクリックします。
- 3 [セキュリティ設定] > [証明書設定] をクリックします。
- 4 [新規作成] > [自己署名証明書の作成] をクリックします。
- 5 必要に応じて、項目を設定します。
- 6 [実行] をクリックします。
- 7 生成が終了したら、[閉じる] をクリックします。

### ■ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートする場合

ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートする前に、自己証明書を生成し、HTTP 通信を暗号化するよう設定してください。

- 1 CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者モードにログインします。

#### 参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.66) を参照してください。

- 2 左側のメニューから [システム] をクリックします。
- 3 [セキュリティ設定] > [証明書設定] > [インポート] をクリックします。
- 4 [参照] をクリックして表示されるダイアログボックスでインポートするファイルを選び、[保存] をクリックします。

### 補足

- インポートするファイルのパスを直接入力することもできます。

- 5 [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
- 6 [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。

- 7 [実行] をクリックします。
- 8 インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

## Step2 証明書の設定

サーバー用の証明書を本機に設定します。

### 補足

- 本項目の設定を行っていない状態では、自己生成した証明書がサーバー用として自動的に設定されます。

- 1 CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者モードにログインします。

### 参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.66) を参照してください。

- 2 左側のメニューから [システム] をクリックします。
- 3 [セキュリティー設定] > [SSL/TLS 設定] をクリックします。
- 4 [本体の証明書 - サーバー] で証明書を選びます。

### 注記

- 証明書を選べないときは、[システム] > [セキュリティー設定] > [証明書設定] にデバイス証明書が登録されていることを確認してください。

- 5 [HTTP - SSL/TLS 通信ポート番号] を必要に応じて設定します。

### 注記

- ほかのポートと同じポート番号にしないでください。

- 6 [保存] をクリックします。
- 7 本機を再起動する表示に変わったら、[今すぐ再起動] をクリックします。

## Step3 コンピューターから本機へのアクセス方法

Web ブラウザーと本機の通信を暗号化する場合には、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

- IP アドレスの入力例  
https://192.0.2.1/ (IPv4 の場合)  
https://[2001:DB8::1234]/ (IPv6 の場合)
- インターネットアドレスの入力例  
https://myhost.example.com/

IPP の通信 (インターネット印刷) を暗号化する場合は、コンピューターでプリンターを追加するときに、プリンターの URL に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

# IPsec を使用して暗号化するための設定

IPsec 通信で IKE 認証方式を「デジタル署名」にするときは、本機に証明書を設定しません。証明書は、本体出荷時には、本機にインポートされていません。IPsec 用証明書をインポートします。インポート後、IPsec の設定をします。

IKE 認証方式が事前共有鍵の場合には、Step1 の「証明書の準備」は不要です。Step2 の「IPsec の設定」を行ってください。

## 参照

- IKE 認証方式は、「[IPsec 設定]」(P.159) を参照してください。

## 注記

- [デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

## 補足

- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (KeyUsage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

## Step1 証明書の準備

CentreWare Internet Services で証明書を設定するには、HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

## 補足

- 本機にインポートできる証明書の公開鍵は、RSA<sup>®</sup> 公開鍵 4096 ビットまで、または ECC 公開鍵の P-256/P-384/P-521 のどれかとなります。
- IPsec 用には、CentreWare Internet Services で作成した自己証明書は使用できません。

## 参照

- HTTP の通信を暗号化する設定方法は、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.181) を参照してください。

- 1 CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者モードにログインします。

## 参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.66) を参照してください。

- 2 左側のメニューから [システム] をクリックします。
- 3 [セキュリティー設定] > [証明書設定] > [インポート] をクリックします。
- 4 [参照] をクリックして表示されるダイアログボックスでインポートするファイルを選び、[保存] をクリックします。

## 補足

- インポートするファイルのパスを直接入力することもできます。

- 5 [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
- 6 [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
- 7 [実行] をクリックします。

- 8 インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

## Step2 IPsec の設定

本機の操作パネルを使用して、IPsec の設定をする手順について説明します。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] をタップします。
- 3 [IPsec 設定] > [IPsec 設定] をタップします。
- 4 [IKE 認証方式] をタップし、IKE 認証方式を設定します。

### ■デジタル署名方式の場合

- 1) [デジタル署名による認証] を選びます。
- 2) [本体の証明書] をタップします。
- 3) 認証に使う証明書を選び、[OK] をタップします。

### ■事前共有鍵方式の場合

- 1) [事前共有鍵による認証] を選びます。
  - 2) [事前共有鍵] をタップします。
  - 3) 事前共有鍵にする文字列を入力し、[OK] をタップします。
- 5 [IPsec 通信] をタップし、[有効] を選びます。
  - 6 その他の必要な設定をします。

#### 参照

- 詳しくは、「[IPsec 設定]」(P.159) を参照してください。

## Step3 通信先機器の設定

通信する相手機器の設定について説明します。

通信先機器では次の設定を行う必要があります。

- IP セキュリティポリシーの作成
- ポリシーの割り当て

#### 参照

- 設定方法は、通信先機器のヘルプを参照してください。

# 9

## 認証と集計管理機能について

## 認証機能と集計管理機能の概要

認証機能を利用すると、本機自体の利用を制限したり、サービスごとに利用を制限したりできます。また、サービスの使用状況をユーザーごとに集計して管理することもできます。

### ユーザーの種類について

認証機能を利用しているときは、次のユーザーに分けられます。

#### 補足

- 認証機能を利用していないときは、機械管理者と一般ユーザーに分けられます。

#### ■ 機械管理者

使用環境に合わせてシステムの設定値を登録 / 変更できるユーザーです。

機械管理者は、機械管理者 ID という特別に定義されたユーザー ID を使用します。

#### ■ 認証ユーザー

本機または外部のサーバーに登録されているユーザーです。それぞれのユーザー ID を使って認証します。

認証ユーザーのユーザー ID には、使用目的に応じてサブユーザーを関連づけできます。ひとつのユーザー ID には、最大 10 個のサブユーザー ID を関連づけできます。

#### ■ 認証未登録ユーザー

登録されていないユーザーです。

認証未登録ユーザーは、利用が制限されているサービスを利用できません。

### 管理の権限と権限グループについて

本機でユーザーごとに管理の権限や権限グループを設定できます。

外部サーバーを利用しているユーザーの場合は、LDAP で設定します。LDAP を利用する場合は、CentreWare Internet Services で設定します。

#### 注記

- 本体認証でネット集計管理の場合、ユーザーに権限グループを指定できないため、権限グループに設定した機能を使用できません。

#### 管理の権限

認証ユーザーごとに管理の権限を設定できます。指定したユーザーに機械管理や集計管理の権限を持たせることができます。

#### ■ 機械管理の権限

機械管理者と同じ権限が与えられます。ただし、次の操作はできません。

- 機械管理者パスワードの変更

## ■集計管理の権限

次の権限が与えられます。

- ユーザー情報の登録、削除、変更（パスワードのみ変更不可）、参照（設定により操作できないことがあります）
- 集計管理の登録、削除、変更、参照
- Account ID の代替表記 /Account ID の入力表示の変更
- ユーザー別集計管理レポートのプリント

## 権限グループ

利用制限に対する操作を許可する権限をグループ分けして、認証ユーザーを登録できます。権限グループに属したユーザーは、機械管理者と同様に操作を実行できます。

### 参照

- 詳しくは、「[権限グループ登録]」(P.168)を参照してください。

## 利用制限について

### 全体での利用制限

認証モードでは、本機自体および各サービスの利用を制限できます。利用するには、ユーザー認証が必要です。

### 参照

- 詳しくは、「[アクセス制御]」(P.167)を参照してください。

### ■デバイスへのアクセス

本機の操作パネルのボタン操作を制限できます。

### ■サービスのアクセス

プリント機能の利用を制限するかどうかを設定できます。

### ユーザーごとの利用制限

ユーザーごとに、サービスの利用制限、上限ページ数を制限できます。

### 参照

- 詳しくは、「認証機能を使ったサービスの利用制限」(P.190)を参照してください。

## 認証の種類について

### 認証の種類

#### ■本体認証

本機に登録したユーザー情報を使用して認証管理します。

#### 補足

- コンピューターから直接送信されたプリントデータは、あらかじめクライアント側のプリンタードライバで設定した認証情報と、本機側に登録されている認証情報を照合することによって認証され、本機で受信できます。

#### 参照

- プリンタードライバの設定については、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

## ■ 外部認証

外部の認証サーバー（LDAP、Kerberos、SMB が使用できます）で管理されているユーザー情報を使用して認証します。本機にユーザー情報は登録しません。

### 注記

- 外部認証時は、外部認証サーバーから取得したアクセス許可情報に基づき、本機の操作パネルから利用可能なサービスを利用できます。
- 本体認証から外部認証に変更した場合、本機に登録されたユーザー情報、およびプライベートプリントジョブは削除されます。
- 外部認証サーバーに登録するユーザーIDは32文字以内、パスワードは128文字以内で設定してください。ただし、SMB 認証の場合、パスワードは 32 文字以内で設定してください。

## 認証方法

### ■ ユーザー ID 認証

ユーザー ID やパスワードなどのユーザー情報を、本機または外部の認証サーバーにあらかじめ登録しておき、本機の操作パネルから直接ユーザー ID やパスワードを入力して認証します。

### ■ カード認証

カードに登録されているカード番号、またはユーザー ID やパスワードなどのユーザー情報を、本機または外部の認証サーバーにあらかじめ登録しておき、カードを使って認証します。

### 補足

- IC カードリーダー（オプション）のカードを利用して認証します。

### ■ カード認証とユーザー ID 認証の併用

本機では、ユーザー ID 認証とカード認証の両方を併用できます。ただし、本体認証で併用する場合は、ユーザー ID 認証を有効にする必要があります。

### 参照

- ユーザー ID 認証を有効にするには、「[IC カード接続時の認証]」(P.168) を参照してください。

## 集計管理機能について

### 集計管理モードの種類

### 補足

- 認証モードにより選ぶことができない集計管理モードがあります。詳しくは、「認証モードと集計管理モードの関係」(P.189) を参照してください。

### ■ 本体集計管理

本機にあらかじめ登録されている認証ユーザー情報を利用して、ユーザー別に集計管理します。

### 補足

- ユーザー別集計管理レポートは、機械管理者、機械管理の権限が設定されているユーザー、または集計管理の権限が設定されているユーザーで認証して出力できます。レポートの出力手順は、「[レポート / リストの出力]」(P.110) を参照してください。

### 参照

- 集計できるジョブは、「本体集計管理で集計できるサービス」(P.189) を参照してください。

### ■ ネット集計管理

外部サービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理します。

外部のサーバーが本機に保存されているジョブデータを収集し、ユーザー別に集計します。

補足

- 外部サービスで管理されているユーザー情報は、外部サービスから本機に送られてきて、本機に登録されます。外部サービスで管理されているユーザー情報が更新された場合は、外部サービスからユーザー情報を本機に送信する必要があります。

■ 認証サーバーによる集計管理

認証サーバーを使って集計管理します。

外部のサーバーが本機に保存されているジョブデータを収集し、ユーザー別に集計します。

認証モードと集計管理モードの関係

認証モードと集計管理モードは別々に設定できます。設定できる組み合わせは、次のとおりです。

		集計管理モード			
		運用しない	本体集計管理	ネット集計管理	認証サーバー
認証モード	認証しない	○	×	○	×
	本体認証	×	○	○	×
	外部認証	○ <sup>*1</sup>	×	×	○ <sup>*2</sup>

○：できる、×：できない

\*1 :認証モードが [外部認証] で、[認証システム] が [Authentication Agent] 以外の場合、集計管理モードは「運用しない」になります。

\*2 :認証モードが [外部認証] で、[認証システム] が [Authentication Agent] の場合、集計管理モードは「認証サーバー」になります。

本体集計管理で集計できるサービス

サービスごとのジョブについて、集計管理できる情報について説明します。

■ プリント

対象サービス (ジョブ)		集計対象ユーザー	管理項目
通常プリント	本機用プリンタードライバー	認証ユーザー	プリント面数 / 枚数
	本機用プリンタードライバー以外 (モバイル機器からのプリントなど) *	認証未登録ユーザー	
セキュリティプリント	文書のプリント	認証ユーザー	
サンプルプリント			
時刻指定プリント			
認証プリント			
プライベートプリント			
メール受信プリント *		認証未登録ユーザー	

\* :CentreWare Internet Services で、[認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] > [ユーザー指定なしプリント] を [制限しない] にした場合にプリントできます。

## 認証機能を使ったサービスの利用制限

制限できる機能は、本機の利用形態によって異なります。

### 利用制限できるサービス

利用制限には、ユーザーごとに設定できるものと、ユーザーにかかわらず機能に設定できるものがあります。

#### 参照

- ユーザーごとの設定は、「ユーザーを登録する（本体認証）」(P.193) を、機能への設定は、「[サービスへのアクセス]」(P.167) を参照してください。

### 認証モードと集計管理モードの組み合わせ

認証モードと集計管理モードの組み合わせによる、利用制限できるサービスおよび集計管理できるサービスは次のとおりです。

#### 参照

- 認証方法については、「ユーザー認証機能を有効にする」(P.191) を参照してください。

#### 補足

- 本体認証でユーザーID 認証とカード認証を併用して利用する場合は、ユーザーID 認証を有効にしてください。設定方法は、「[IC カード接続時の認証]」(P.168) を参照してください。

認証モードが「本体認証」で、集計管理モードが「本体集計管理」のとき

対象サービス	ユーザーごとの利用制限		ユーザー別の集計
	機能別利用制限*	上限ページ数*	
プリント	○	○	○

○：できる、×：できない

\*:ユーザーごとの設定は、「ユーザーを登録する（本体認証）」(P.193) を参照してください。

認証モードが「本体認証」で、集計管理モードが「ネット集計管理」のとき

対象サービス	ユーザーごとの利用制限		ユーザー別の集計*2
	機能別利用制限*1	上限ページ数	
プリント	○	×	○

○：できる、×：できない

\*1 :別売りのオプション製品を使用することで利用制限できます。

\*2 :別売りのオプション製品を使用することで集計できます。

認証モードが「外部認証」のとき

対象サービス	ユーザーごとの利用制限		ユーザー別の集計*2
	機能別利用制限*1	上限ページ数*1	
プリント	○	○	○

○：できる、×：できない

\*1 :別売りのオプション製品を使用することで利用制限できます。

\*2 :別売りのオプション製品を使用することで集計できます。

# ユーザー認証機能を有効にする

本体認証をする場合は、認証方式とアクセス制御を設定したあとにユーザーを本機に登録します。外部認証をする場合は、認証方式とアクセス制御を設定したあとに認証サーバーを設定します。

## 補足

- 本体認証に設定する場合、必要に応じて権限グループを先に登録しておきます。
- 認証時にパスワードの入力を必須にするには、[パスワード使用 - パネル入力時] または [パスワード使用 - IC カード認証時] を [する] に設定します。詳しくは、「[パスワードの運用]」(P.170) を参照してください。
- 文字の入力方法については、「文字の入力方法」(P.59) を参照してください。

## 認証方式を設定する

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
- 3 [認証の設定] をタップします。
- 4 [認証方式の設定] をタップします。
- 5 [本体認証] または [外部認証] を選び、[OK] をタップします。

## 参照

- 認証方式については、「認証の種類」(P.187) を参照してください。

## アクセス制御を設定する

本機の操作に認証が必要かどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
- 3 [認証の設定] > [アクセス制御] をタップします。
- 4 [デバイスへのアクセス] で [制限しない] または [制限する] を選びます。

## 補足

- [制限する] に設定すると、本機の操作パネルですべての操作に認証が必要になります。

- 5 [サービスへのアクセス] をタップします。

## 6 操作に認証が必要かどうかをサービスごとに設定します。

サービスへのアクセス	
文書プリント	制限する(表示)
デジカメプリント	制限する(表示)
プリンター	制限する
ジョブ情報	制限しない

1) 変更したいサービスをタップします。

2) 設定を選びます。

### 補足

- [制限する (表示)] に設定すると、ホーム画面の該当する機能ボタンに  が表示されます。サービスの利用には認証が必要になります。
- [制限する (非表示)] に設定すると、認証していない状態ではホーム画面に該当する機能ボタンが表示されません。

## 権限グループを設定する (本体認証)

本体認証のユーザーに割り当てる権限グループを登録します。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
- 3 [認証の設定] > [権限グループ登録] をタップします。
- 4 登録したい権限グループ No. を選び、[登録 / 変更] をタップします。

権限グループ登録	
No.	グループ名
00	DefaultGroup(標準)
01	(名称未設定)
02	(名称未設定)
03	(名称未設定)

登録/変更

### 補足

- No.00 の [DefaultGroup (標準)] は、ユーザーを新規作成したときのデフォルト権限グループです。認証していないユーザーもデフォルト権限グループに属します。
- デフォルト権限グループも他の権限グループと同様に変更できます。

5 [グループ名] をタップし、名称を入力して [OK] をタップします。

6 変更したい権限をタップし、設定を選びます。

### 補足

- お使いの機種またはオプションの取り付け状況によって、表示されない項目があります。

### ■[強制印字の一時解除]

UUID 印字、強制アノテーションなどの強制印字が設定されていても、一時的に強制印字を解除できます。

## ユーザーを登録する（本体認証）

本体認証を設定したときの認証ユーザーを本機に登録します。

ユーザーごとに管理権限、サービスの利用制限や上限ページ数を設定できます。

#### 補足

- [集計管理] の [ユーザー登録 / 集計確認] でも同様にユーザーを登録できます。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
- 3 [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] をタップします。
- 4 ユーザーを登録する [No.] をタップします。

#### 補足

- [No.] はユーザー管理番号です。

- 5 ユーザー ID を入力し、[OK] をタップします。
- 6 [ユーザー名] をタップします。
- 7 ユーザーの表示名を入力し、[OK] をタップします。
- 8 パスワードがあるときは、パスワードを設定します。
  - 1) [パスワード] をタップします。
  - 2) [新しいパスワード] を選び、パスワードを入力します。
  - 3) [次へ] をタップし、同じパスワードを入力します。
  - 4) [OK] をタップします。

#### 補足

- 認証ユーザーが自分のパスワードを変更する方法は、「ユーザー自身でパスワードを変更する」(P.202) を参照してください。

- 9 必要に応じてメールアドレスを設定します。
  - 1) [メールアドレス] をタップします。
  - 2) メールアドレスを入力し、[OK] をタップします。
- 10 必要に応じて利用制限や権限を設定します。

### ■[デバイス利用許可]

本機の利用を許可するかどうかを設定します。

#### 補足

- IC カードリーダー（オプション）が接続されている場合、許可するかどうかを認証方法ごとに設定できます。

### ■[サービスの利用制限]

サービスごとに利用制限や上限ページ数を指定します。サービスを選んでから [機能制限] または [上限ページ数] を設定し、[OK] をタップします。

### ■[ユーザーの権限]

ユーザーに権限を与えることができます。権限グループは [権限の追加設定] で設定します。

- [一般ユーザーの権限]

管理権限を持たない通常のユーザー権限です。

- [機械管理の権限]

機械管理者と同じ権限が与えられます。ただし、機械管理者のパスワード変更はできません。

- [集計管理の権限]

集計管理に関する以下の権限が与えられます。

- ユーザー情報の登録 / 変更 (一部) / 削除
- 集計管理の登録 / 変更 / 削除
- Account ID の代替表記 / Account ID の入力表示の変更
- ユーザー別集計管理レポートのプリント

## 登録ユーザーを削除するとき

### ■ユーザーを個別に削除する

[ユーザー登録 / 集計確認] 画面で削除するユーザー登録番号を選び、[すべての登録内容を削除] > [はい (削除する)] をタップします。

### ■すべてのユーザーを削除する

[認証の設定] 画面で、[登録内容の削除 / 集計リセット] をタップし、[全ユーザーの登録内容] を選んでから [削除 / リセット] > [はい (削除する)] の順にタップします。

## デフォルト権限グループを設定する (外部認証)

外部認証に設定したときのデフォルト権限グループの権限を設定します。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
- 3 [認証の設定] > [権限グループ登録] をタップします。
- 4 [DefaultGroup (標準)] を選び、[登録 / 変更] をタップします。
- 5 変更したい権限をタップし、設定を選びます。

#### 補足

- お使いの機種またはオプションの取り付け状況によって、表示されない項目があります。

### ■[強制印字の一時解除]

UUID 印字、強制アノテーションなどの強制印字が設定されていても、一時的に強制印字を解除できます。

## 認証システムを設定する（外部認証）

外部認証サーバーを本機に登録します。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] をタップします。
- 3 [認証システムの設定] > [認証システム] をタップします。
- 4 外部認証サーバーの種類を選び、[OK] をタップします。
- 5 [Authentication Agent] 以外を選んだ場合は、[<] をタップしてから認証サーバーの情報を登録します。

#### 参照

- 詳しくは、「[Kerberos サーバー設定]」(P.155)、「[LDAP サーバー/ディレクトリサービス設定]」(P.156)、「[SMB サーバー設定]」(P.158) を参照してください。

## 外部認証の LDAP サーバーを設定する

[認証システム] を [LDAP] に設定したときは、LDAP サーバーの情報を本機に登録します。

#### 補足

- 本機が対応する LDAP サーバーは、Active Directory および OpenLDAP です。
- 手順で説明している Active Directory での DN 形式や属性値の確認方法、グループにアカウントを追加する方法については、Microsoft 社の公式サイトを参照してください。
- 属性名などで操作パネルから入力できない文字列を使っている場合は、CentreWare Internet Services から設定してください。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] をタップします。
- 3 [LDAP サーバー/ディレクトリサービス設定] > [プライマリーサーバー- 名前 / アドレス] をタップします。

LDAPサーバー設定	
プライマリーサーバー-名前/アドレス	(未設定)
プライマリーサーバー-ポート番号	389
セカンダリーサーバー-名前/アドレス	(未設定)
セカンダリーサーバー-ポート番号	389
認証方式	直接認証
接続確認	

- 4** LDAP サーバーの IP アドレス（またはホスト名）を入力し、[OK] をタップします。
- 補足**
- LDAP サーバーのポート番号を変更するには、[プライマリーサーバー- ポート番号] で設定します。
  - [セカンダリーサーバー- 名前 / アドレス]、[セカンダリーサーバー- ポート番号] を設定しておくこと、サーバーがメンテナンス中などで通信不能の場合に、自動的に代替サーバーに接続します。
- 5** [認証方式] をタップし、LDAP サーバーへの認証方式を設定します。
- [直接認証]
- ユーザー ID を使って、LDAP サーバーに認証を行います。
- [ユーザー属性認証]
- 特定の属性情報を基に、LDAP サーバーに認証を行います。たとえば、「mail」属性を設定しているときは、メールアドレスを入力してログインします。
- [ユーザー属性認証] にするときは、[入力ユーザー名の属性] に属性名を設定します。
- 補足**
- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
- 6** [認証用ユーザー名の属性] をタップし、ユーザーの表示名や識別子とする属性名を入力して [OK] をタップします。
- 補足**
- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
  - 設定した属性が LDAP サーバーから取得できない場合は、ログインできません。
  - 認証方式が [直接認証] の場合、操作パネルから認証時に入力するユーザー ID の属性と同じものを設定してください。
- 7** ログインするときの入力文字列に、補完情報を付与するかどうかを設定します。
- たとえば、メールアドレス (user@myhost.example.com) を使って認証する場合、「@myhost.example.com」を追加する設定にしておくこと、「user」のみの入力でもログインできるようになります。
- [ユーザー名追加文字列の使用] を [使用する] にして、[ユーザー名の追加文字列] に追加する文字列を設定します。
- 8** ディレクトリツリー上の検索範囲を設定します。
- 補足**
- ここで指定したエントリーがユーザー検索の基準になります。ログインするユーザーが含まれる階層のエントリーを指定してください。ただし、エントリー以下の階層に含まれるユーザーやグループの数が多すぎると、本機へのログインに時間がかかることがあります。適切な検索範囲を設定してください。
- 1) [検索起点エントリー (DN)] をタップし、検索の起点とするエントリーを DN 形式で入力して [OK] をタップします。
  - 2) [起点からの検索範囲] で検索範囲を選びます。
  - 3) 必要に応じて、[検索対象のオブジェクトクラス] をタップし、オブジェクトクラス名を入力して、[OK] をタップします。
- 9** ホームボタンを押し、[はい (再起動する)] をタップします。

## その他の設定事例（LDAP）

### 本機と LDAP サーバー間の通信を暗号化したい

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] をタップします。
- 3 [LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定] > [プライマリーサーバー - ポート番号] をタップします。

LDAPサーバー設定	
プライマリーサーバー名前/アドレス	(未設定)
プライマリーサーバーポート番号	389
セカンダリーサーバー名前/アドレス	(未設定)
セカンダリーサーバーポート番号	389
認証方式	直接認証
接続確認	

- 4 LDAPS が稼働するポート番号を入力し、[OK] をタップします。

#### 補足

- 通常は 636 番ポートが使われますが、確認のうえ設定してください。

- 5 ホームボタンを押し、[はい（再起動する）] をタップします。

### Active Directory で信頼関係を構築した LDAP サーバーのユーザーでログインしたい

次の条件を満たしている場合を例に、信頼関係先のドメインサーバー上のユーザーで本機にログインするための手順を説明します。

- ドメイン名に “w2k8adtest.local” が設定されている。
- [Active Directory ドメインと信頼関係] で信頼関係が構築されている。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] をタップします。
- 3 [LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定] をタップします。
- 4 [リフェラルの使用] を [使用する] に設定します。

LDAPサーバー設定	
検索起点エントリ(DN)	(未設定)
起点からの検索範囲	起点から下の階層すべて
検索対象のオブジェクト	(未設定)
リフェラルの使用	使用しない
リフェラルのホップ数上限	5
接続確認	

- 5 必要に応じて、[リフェラルのホップ数上限] を設定します。

**注記**

- 接続するサーバー数の上限は [リフェラルのホップ数上限] で設定された数値までですので、この場合は5つの信頼関係先まで接続します。5つを越える信頼関係先には接続しません。
- [検索用の認証ユーザー] について、信頼関係先の LDAP サーバーにもアクセス資格が必要になります。
- セキュリティー機能の観点から、LDAPS が設定されている場合、非暗号の信頼関係先には接続しません。

- 6 ホームボタンを押し、[はい (再起動する)] をタップします。

**ログインに時間がかかり、同じユーザーでログインに成功したり失敗したりする場合**

LDAP サーバーやネットワークに負荷がかかっている可能性が高いため、基本的には使用環境の調査と見直しが必要です。

LDAP サーバーの検索範囲が大きすぎる場合、または検索範囲に含まれるエントリー数が多すぎることで時間がかかっている場合は、[ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] > [LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定] の [検索起点エントリー (DN)] を見直してください。

本機の LDAP サーバーへの通信時の待ち時間を十分長い時間に設定することでログインの失敗を回避できることがあります。ただし、ログインにかかる時間は短縮されないため、あくまでも暫定的な回避方法です。

次の手順で通信時の待ち時間を設定できます。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] をタップします。
- 3 [認証システムの設定] をタップします。
- 4 以下の設定を確認し、必要に応じて変更します。

認証システムの設定	
認証システム	LDAP
認証応答待ち時間の上限	30秒
ユーザー情報検索時間の上限	30秒

**■ [認証応答待ち時間の上限]**

LDAP サーバーに認証要求を行った場合の、サーバーからの応答に対する待ち時間の上限を設定します。

ネットワークへの負荷が疑われる場合には、この値を変更してください。

**■ [ユーザー情報検索時間の上限]**

LDAP サーバーに検索要求を行った場合の、サーバーからの応答に対する待ち時間の上限を設定します。

LDAP サーバーへの負荷が疑われる場合には、この値を変更してください。

- 5 ホームボタンを押し、[はい (再起動する)] をタップします。

# IC カードリーダー（オプション）で認証するための設定

IC カードに登録した情報によって認証したり、IC カードに登録した情報と本機に登録したユーザー情報を照合したりして、本機の利用制限やジョブなどの集計管理を行うことができます。

## ⚠ 警告

- 埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライタ部（アンテナ部）から 12 cm 以上離れて携行および使用してください。電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。
- 埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本装置（Color MultiWriter 7700C）の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

## Step1 事前準備

使用できる IC カードの種類は、機種によって異なります。使用できる IC カードについては、お使いの IC カードリーダー（オプション）に付属のマニュアルを参照してください。

## Step2 IC カードとパスワードの併用の設定

外部認証で、IC カードを使って本機にログインするときに、パスワードの入力を求めるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
- 3 [認証の設定] > [認証情報の設定] をタップします。
- 4 [IC カード連携モード] でパスワード入力が必要かどうかを設定します。
- 5 ホームボタンを押し、[はい（再起動する）] をタップします。

## Step3 IC カード使用時の認証解除の設定

IC カード使用時の認証解除方法を設定します。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] をタップします。
- 3 [認証の設定] > [認証情報の設定] をタップします。

- 4 [非接触型 IC カード設定] をタップします。
  - 5 認証の解除方法を選び、[OK] をタップします。
- 参照
- 詳しくは、「[非接触型 IC カード設定]」(P.169) を参照してください。
- 6 ホームボタンを押し、[はい (再起動する)] をタップします。

## Step4 IC カード情報の登録

機械管理者は、CentreWare Internet Services を使用して、IC カード情報と認証に使用する情報を設定します。

### 参照

- 詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

## Step5 外部認証に LDAP サーバーを使うときの設定

IC カードの ID と対応させる属性と、認証後にユーザーの識別に使われる属性を設定します。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [ネットワーク設定] > [外部認証サーバー設定] をタップします。
- 3 [LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定] > [IC カード認証に使用する属性] をタップします。

LDAPサーバー設定	
ユーザー名の追加文字列	(未設定)
ICカード 認証に使用する属性	(未設定)
ネットワーク用ユーザー ID 属性	sAMAccountName
検索用の認証ユーザー	本体設定
検索用ログイン名	(未設定)
接続確認	

- 4 IC カードの ID と対応させる属性名を入力し、[OK] をタップします。
- 補足
- 属性にはあらかじめカード ID が登録されている必要があります。
  - ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
- 5 [ネットワーク用ユーザー ID 属性] をタップします。
  - 6 IC カードで認証したときに、ユーザーの表示名や識別子とする属性名を入力し、[OK] をタップします。
- 補足
- ユーザーごとに一意な値であることが保証される属性を設定してください。
  - 設定した属性が LDAP サーバーから取得できない場合は、ログインできません。
- 7 ホームボタンを押し、[はい (再起動する)] をタップします。

# 集計管理するための設定

## 参照

- 認証モードと集計管理モードの関係については、「認証モードと集計管理モードの関係」(P.189)を参照してください。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [認証 / 集計管理] > [集計管理] をタップします。
- 3 [集計管理機能の運用] をタップします。
- 4 集計管理モードを選び、[OK] をタップします。

## 参照

- 集計管理機能については、「集計管理モードの種類」(P.188)を参照してください。

# ユーザー認証の操作

本機には、利用できるサービスを制限するための、認証機能があります。  
制限されたサービスを利用するための認証とパスワードの変更について説明します。

## 登録ユーザーの認証

登録ユーザーを認証するには、本機の操作パネルを操作して認証する方法と、ICカードをICカードリーダー（オプション）にタッチして認証する方法があります。

### 補足

- 本機への認証方法は、「認証モードへのログイン」(P.60)を参照してください。

## パスワードの変更

### ユーザー自身でパスワードを変更する

ユーザーが認証されているときは、ユーザー自身のパスワードを変更できます。

- 1 ホーム画面で、[設定] をタップします。
- 2 [認証 / 集計管理] > [ユーザー情報の設定] をタップします。
- 3 [パスワード変更] をタップします。
- 4 現在のパスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 5 [新しいパスワードを入力してください。] をタップします。
- 6 新しいパスワードを入力し、[次へ] をタップします。
- 7 同じパスワードを入力し、[OK] をタップします。

### 機械管理者がパスワードを設定 / 変更する

機械管理者は、CentreWare Internet Services を使用して、パスワードの設定や変更ができます。

### 参照

- タッチパネルディスプレイからのパスワードの設定 / 変更方法については、「[ユーザー登録 / 集計確認]」(P.163)を参照してください。

- 1 CentreWare Internet Services を起動し、機械管理者モードにログインします。

### 参照

- 詳しくは、「CentreWare Internet Services を起動する」(P.66)を参照してください。

- 2 左側のメニューから [認証 / 集計 / 権限] をクリックします。
- 3 [アカウント一覧] から設定 / 変更するユーザーをクリックします。
- 4 [パスワード変更] をクリックします。
- 5 [新しいパスワード] に新しいパスワードを入力します。

- 6 [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
- 7 [保存] をクリックします。



# 10

## 日常の管理

## 消耗品を交換する

本機には、消耗品が用意されています。

型番	品名	交換の目安
PR-L7700C-11	トナーカートリッジ (イエロー)	約 6,000 頁印刷可能 <sup>*1</sup>
PR-L7700C-12	トナーカートリッジ (マゼンタ)	約 6,000 頁印刷可能 <sup>*1</sup>
PR-L7700C-13	トナーカートリッジ (シアン)	約 6,000 頁印刷可能 <sup>*1</sup>
PR-L7700C-14	トナーカートリッジ (ブラック)	約 6,000 頁印刷可能 <sup>*1</sup>
PR-L7700C-16	大容量トナーカートリッジ (イエロー)	約 11,000 頁印刷可能 <sup>*1</sup>
PR-L7700C-17	大容量トナーカートリッジ (マゼンタ)	約 11,000 頁印刷可能 <sup>*1</sup>
PR-L7700C-18	大容量トナーカートリッジ (シアン)	約 11,000 頁印刷可能 <sup>*1</sup>
PR-L7700C-19	大容量トナーカートリッジ (ブラック)	約 11,000 頁印刷可能 <sup>*1</sup>
PR-L7700C-31Y	ドラムカートリッジ (イエロー)	約 60,000 頁印刷可能 <sup>*2</sup> (一度に印刷する頁数平均 3 頁)
PR-L7700C-31M	ドラムカートリッジ (マゼンタ)	約 60,000 頁印刷可能 <sup>*2</sup> (一度に印刷する頁数平均 3 頁)
PR-L7700C-31C	ドラムカートリッジ (シアン)	約 60,000 頁印刷可能 <sup>*2</sup> (一度に印刷する頁数平均 3 頁)
PR-L7700C-31K	ドラムカートリッジ (ブラック)	約 60,000 頁印刷可能 <sup>*2</sup> (一度に印刷する頁数平均 3 頁)
PR-L5800C-33	トナー回収ボトル	約 30,000 頁印刷可能 <sup>*2</sup> (黒 : カラー = 5:5)

\*1 :印刷可能頁数は、JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) に基づき、A4 用紙に片面連続印刷した場合の公表値です。実際の印刷可能頁数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。

\*2 :印刷可能頁数は、A4 用紙・画像面積比 5 % で連続印刷したときの参考値です。実際の印刷可能頁数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、間隔をあけた印刷などにより、印刷品質を保持する調整動作が入り、参考値と大きく異なることがあります。

### ⚠ 警告

- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、必ず弊社のサービス窓口または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。
- 消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

**⚠ 注意**

- トナーカートリッジやドラムカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
  - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
  - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
  - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

**消耗品の取り扱いについて**

- 消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品は、使用するまでは開封しないで、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温多湿の場所
  - 火気がある場所
  - 直射日光が当たる場所
  - ほこりが多い場所
- 消耗品を使用するときは、取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。取り扱い上の注意は、消耗品に同梱されているか、消耗品の箱や容器に記載されています。
- 消耗品は、予備を用意することをお勧めします。
- 消耗品を発注するときは、商品コードを確認のうえ、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご注文ください。
- 弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。
- 本機が節電状態になっている場合は、トナーカートリッジを交換する前に、電源 / 節電ボタンを長押しして節電状態を解除し、消耗品の状態を確認してください。

**消耗品の状態確認**

消耗品の状態は、[消耗品確認] 画面で参照できます。

**参照**

- 消耗品確認については、「[消耗品確認]」(P.118) を参照してください。

## トナーカートリッジを交換する

トナーの残量によって、次のようなメッセージが操作パネルのディスプレイに表示されます。メッセージに従って、処置してください。

### 注記

- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをご使用ください。

メッセージ <sup>*1</sup>	処置
予備を用意（イエロートナー（Y））	トナーカートリッジを交換する必要はありません。表示されたトナーカートリッジの予備を用意してください。  補足 <ul style="list-style-type: none"> <li>• メッセージが表示されてから、プリントできる残りページ数<sup>*2</sup>は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ブラック（容量 60,000 頁）：約 1,200 頁</li> <li>- ブラック（容量 11,000 頁）：約 2,200 頁</li> <li>- ブラック以外（容量 6,000 頁）：約 1,200 頁</li> <li>- ブラック以外（容量 11,000 頁）：約 2,200 頁</li> </ul> </li> </ul>
交換時期（イエロートナー（Y））	表示されたトナーカートリッジを交換してください。  補足 <ul style="list-style-type: none"> <li>• メッセージが表示されてから、プリントできる残りページ数<sup>*2</sup>は約 50 ～ 150 ページです。</li> </ul>
要交換（イエロートナー（Y））	本機が停止します。表示されたトナーカートリッジを交換してください。

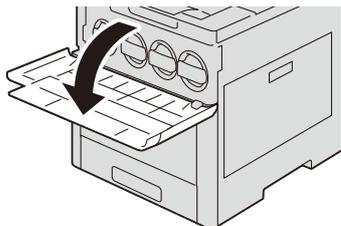
\*1 : 上記のメッセージは、イエロートナーが対象の場合です。対象となるトナーの色や数によって「イエロートナー（Y）」の部分は変わります。

\*2 : 印刷可能頁数は、JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) に基づき、A4 用紙に片面連続印刷した場合の公表値です。実際の印刷可能頁数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。

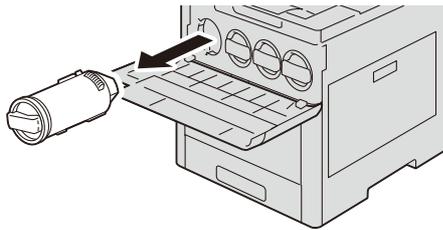
### 注記

- トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- トナー残量が少なくなっている場合、プリント中に本機が停止してメッセージが表示されることがあります。その場合は、トナーカートリッジを交換すると、プリントが継続されます。
- トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。
- 操作パネルのディスプレイに、予備のトナーを用意するようにとメッセージが表示されたあとは、プリント濃度が低下することがあります。

- 1 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。



- 2 トナーカートリッジの取っ手を持って、ゆっくりと手前に取り出します。



**⚠ 警告**

- トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

**注記**

- トナーカートリッジはゆっくりと引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。
- 使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

**補足**

- 「Y」はイエロー、「M」はマゼンタ、「C」はシアン、「K」はブラックです。

- 3 新しいトナーカートリッジを箱から取り出し、上下左右に5、6回振ります。



- 4 トナーカートリッジの矢印(↑)部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込みます。



- 5 フロントカバーを閉じます。

## トナー回収ボトルを交換する

トナー回収ボトルとは、使用済みのトナーを回収するボトルです。トナー回収ボトルの状態によって、次のメッセージがディスプレイに表示されます。メッセージに従って、処置を行ってください。

メッセージ	処置
予備を用意（トナー回収ボトル）	トナー回収ボトルを交換する必要はありません。トナー回収ボトルの予備を用意してください。  補足 ・メッセージが表示されてから、プリントできる残りページ数*は、約 3,000 頁です。
交換時期（トナー回収ボトル）	トナー回収ボトルを交換してください。  補足 ・メッセージが表示されてから、プリントできる残りページ数*は、約 700 頁です。
要交換（トナー回収ボトル）	本機が停止します。トナー回収ボトルを交換してください。

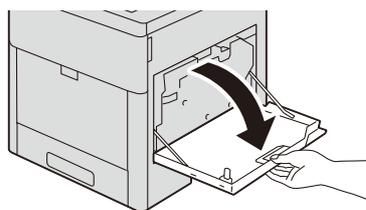
\*:印刷可能頁数は、A4 用紙・画像面積比 5 % で連続印刷したときの参考値です。実際の印刷可能頁数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、間隔をあげた印刷などにより、印刷品質を保持する調整動作が入り、参考値と大きく異なることがあります。

トナー回収ボトルを交換するときには、濃度ムラや色ムラが発生するのを防ぐため、付属の清掃棒を使用して LED プリントヘッド部を清掃してください。

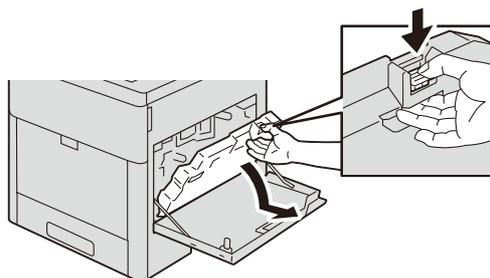
### 注記

- ・トナー回収ボトルの開口部には触れないでください。トナーが指に付着するおそれがあります。
- ・トナー回収ボトルを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- ・トナー回収ボトルを交換するときは、タッチパネルディスプレイが点灯している場合もホーム画面の[設定]をタップして、[消耗品確認]でトナー回収ボトルの状態を確認してから交換してください。

### 1 本機が停止していることを確認し、サイドカバーを開けます。

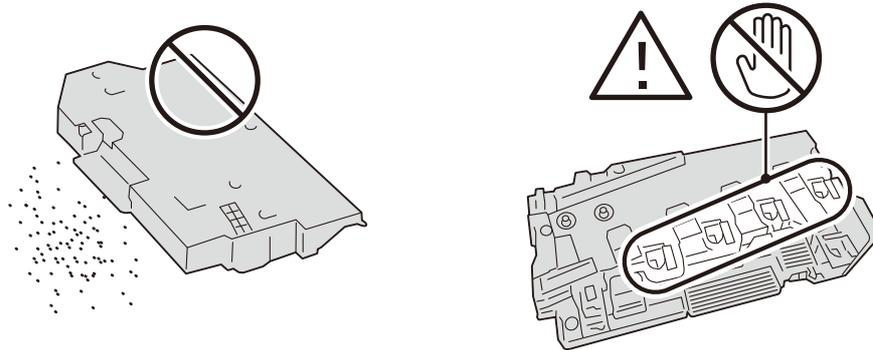


### 2 トナー回収ボトルの上の部分にあるツメを下に押しながら、ゆっくりと倒すようにして引き抜きます。



**補足**

- トナーの飛散を防ぐために、開口部は上に向けてください。
- トナー回収ボトルを引き抜いたら、図で示した位置に触れないでください。



**3** 取り出したトナー回収ボトルの開口部を上に向けて、平らな場所に置きます。

**4** LED プリントヘッド部を清掃します。

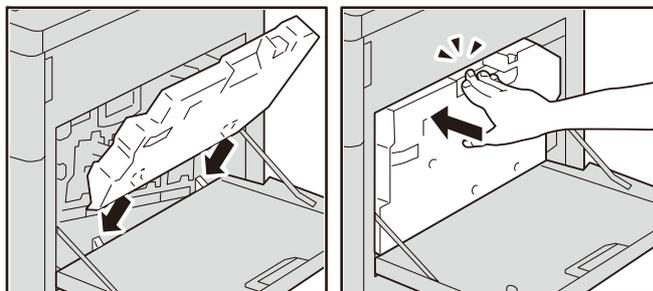
**補足**

- 清掃方法については、「本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃」(P.216)を参照してください。

**5** 新しいトナー回収ボトルを準備します。

**6** トナー回収ボトルの下の部分にある穴を本体のツメに合わせ、上部を押して「カチッ」と音がするまではめ込みます。

トナー回収ボトルが確実に取り付けられていることを確認してください。



**7** 使用済みのトナー回収ボトルをビニール袋に入れ、ファスナーを閉めます。

**8** 使用済みのトナー回収ボトルを、空箱に収納します。

**注記**

- 使い終わった不要なトナー回収ボトルは弊社にて回収いたしますので、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

**9** サイドカバーを閉じます。

## ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジが寿命に近付くと予備のドラムカートリッジを用意することを促すメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。

表示されたドラムカートリッジの位置 ([R1]、[R2]、[R3]、[R4]) を確認し、該当するドラムカートリッジを交換してください。

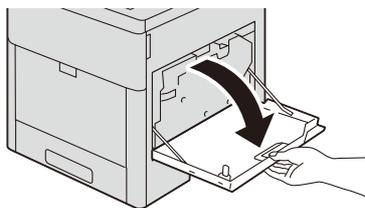
交換しないで使い続けると、メッセージが表示されたあと約 12,000 ページプリントしたときに本機が停止します。

ドラムカートリッジを交換するときには、濃度ムラや色ムラが発生するのを防ぐため、付属の清掃棒を使用して、LED プリントヘッド部を清掃してください。

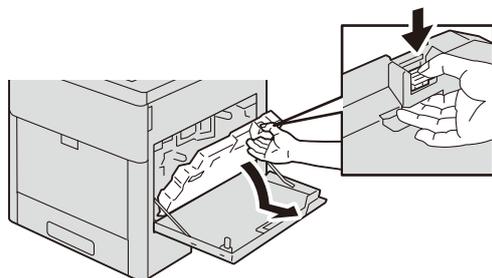
### 補足

- ドラムカートリッジを、直射日光や室内蛍光灯の強い光に当てないでください。また、ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいなプリントができなくなることがあります。
- 印刷可能頁数は、A4 用紙・画像面積比 5 % で連続印刷したときの参考値です。実際の印刷可能頁数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、間隔をあけた印刷などにより、印刷品質を保持する調整動作が入り、参考値と大きく異なることがあります。
- 操作パネルのタッチパネルディスプレイに、メッセージが表示されたあとは、画像汚れが発生することがあります。
- 状態表示ランプが点滅していても、ドラムカートリッジの状態を確認してから交換してください。ドラムカートリッジの状態は、ホーム画面の [設定] > [消耗品確認] で確認できます。

- 1 本機が停止していることを確認し、サイドカバーを開けます。

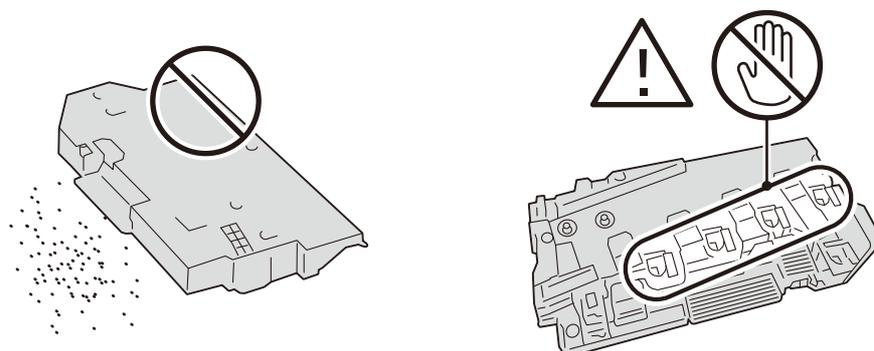


- 2 トナー回収ボトルの上の部分にあるツメを下に押しながら、ゆっくりと倒すようにして引き抜きます。

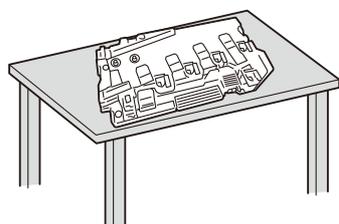


補足

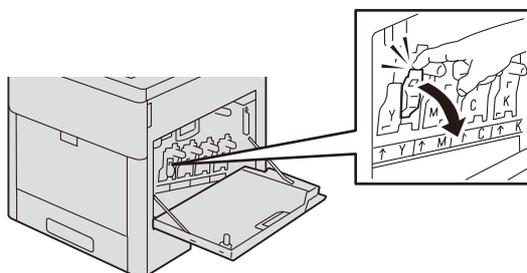
- トナーの飛散を防ぐために、開口部は上に向けてください。
- トナー回収ボトルを引き抜いたら、図で示した位置に触れないでください。



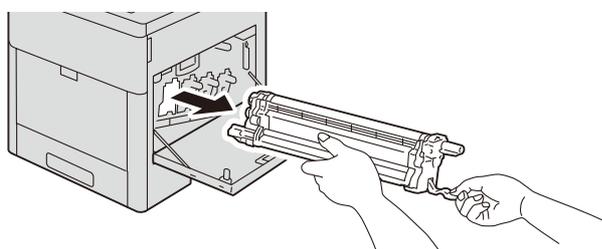
- 3 取り出したトナー回収ボトルの開口部を上に向けて、平らな場所に置きます。



- 4 交換対象のドラムカートリッジのストッパーを下ろします。



- 5 ドラムカートリッジの下側を支えて、ドラムカートリッジを静かに引き抜きます。



注記

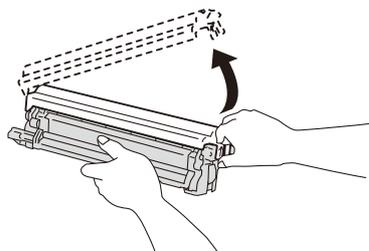
- ドラムカートリッジを引き出すとき、床に落とさないように注意してください。
- ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。

- 6** 新しいドラムカートリッジを箱から取り出し、同梱されているポリ袋に使用済みドラムカートリッジを入れてその箱にしまします。

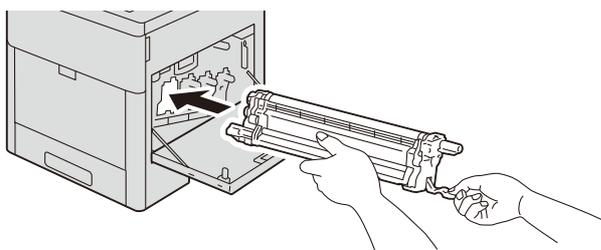
**注記**

- 新しいドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。
- 使い終わった不要なドラムカートリッジは弊社にて回収いたしますので、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

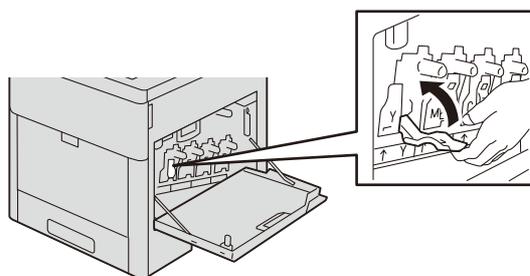
- 7** ドラムカートリッジの保護カバーを外します。



- 8** ドラムカートリッジが奥に突き当たるまで、まっすぐに押し込みます。



- 9** ドラムカートリッジを少し持ち上げるようにしながら、ストッパーを上に戻します。



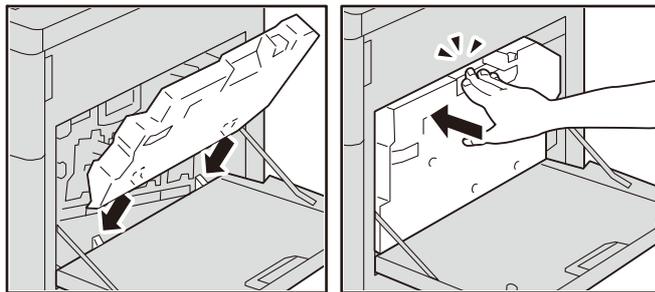
- 10** LED プリントヘッド部を清掃します。

**参照**

- 清掃方法については、「本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃」(P.216)を参照してください。

- 11** トナー回収ボトルの下の部分にある穴を本体のツメに合わせ、上部を押して「カチッ」と音がするまではめ込みます。

トナー回収ボトルが確実に取り付けられていることを確認してください。



- 12** サイドカバーを閉じます。

## 本体を清掃する

### ⚠ 警告

プリンターの性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

### ⚠ 注意

プリンターの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

## 本体外部の清掃

### 注記

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 本機を水でぬらしすぎると、故障したり用紙が破れたりするおそれがあるので注意してください。

- 1 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。

### 注記

- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

### 補足

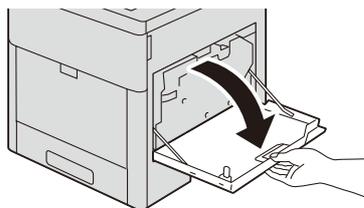
- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

- 2 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

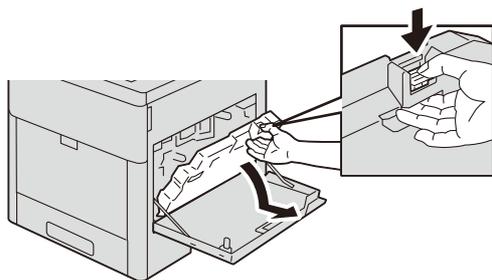
## 本体内部 (LED プリントヘッド部) の清掃

LED プリントヘッド部の清掃は、通常、ドラムカートリッジの交換時、およびトナー回収ボックスの交換時に行います。ただし、白筋や色筋がでるなど画質に影響がある場合は、LED プリントヘッド部を清掃してください。

- 1 本機が停止していることを確認し、サイドカバーを開けます。

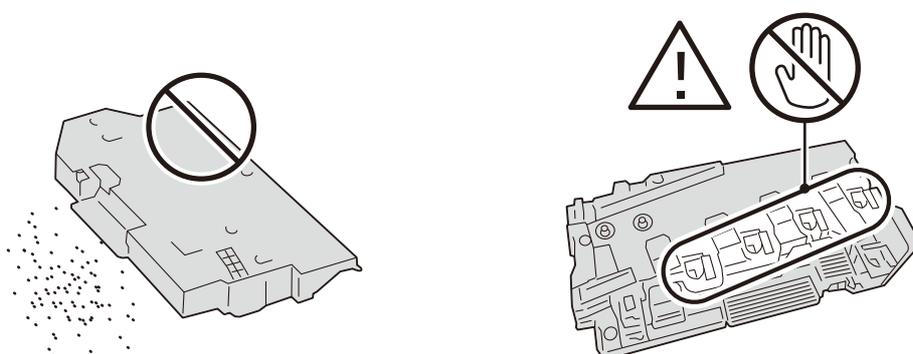


- 2 トナー回収ボトルの上の部分にあるツメを下に押しながら、ゆっくりと倒すようにして引き抜きます。



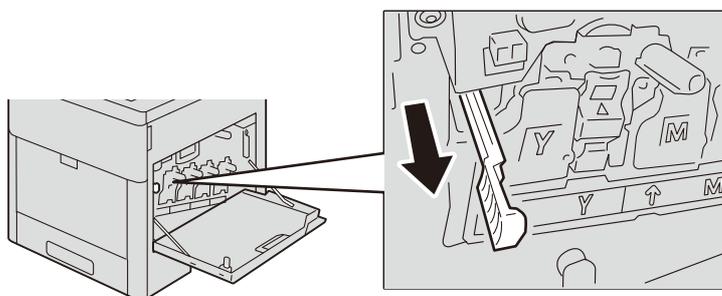
補足

- トナーの飛散を防ぐために、開口部は上に向けてください。
- トナー回収ボトルを引き抜いたら、図で示した位置に触れないでください。

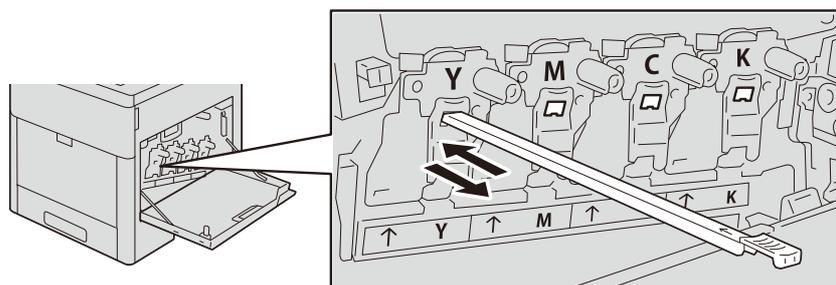


- 3 取り出したトナー回収ボトルの開口部を上に向けて、平らな場所に置きます。

- 4 ドラムカートリッジの横に付属している清掃棒を取り出します。



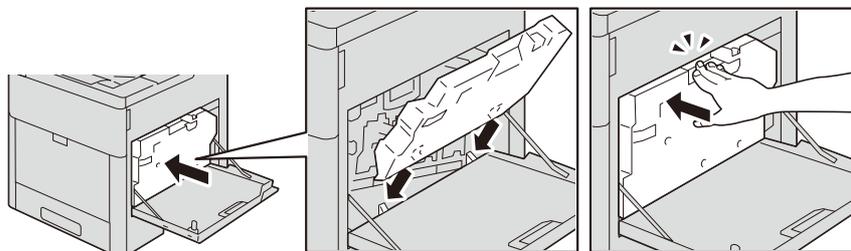
- 5 清掃棒の矢印（↑）部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込み、ゆっくりと引き抜きます。  
これを3回繰り返します。  
すべてのドラムカートリッジに対して、同じ手順を繰り返してください。



## 補足

- Y,M,C,K すべてを、往復 2～3 回ずつ清掃してください。

- 6 清掃棒を元の場所に戻します。
- 7 トナー回収ボトルの下の部分にある穴を本体のツメに合わせ、上部を押して「カチッ」と音がするまではめ込みます。  
トナー回収ボトルが確実に取り付けられていることを確認してください。

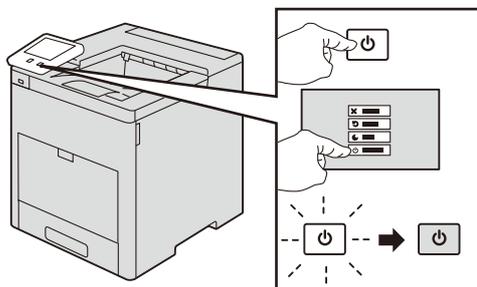


- 8 サイドカバーを閉じます。

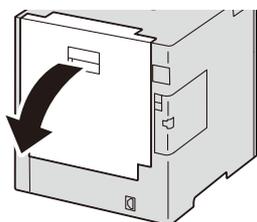
## 色濃度センサーの清掃

プリント密度や色の濃さが適切でなかったり、像が欠けたり、背景がぼやけたり、画質に問題がある場合は、色濃度センサーを清掃してください。

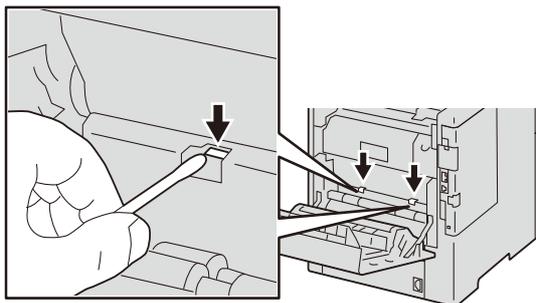
- 1 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。



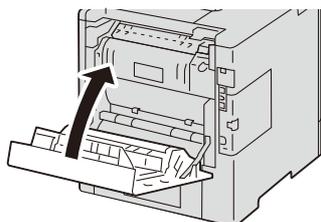
- 2 リリースレバーを持ち上げて、背面カバーを開けます。



- 3 乾いた綿棒で、色濃度センサー（2か所）を清掃します。



- 4 背面カバーを閉じます。



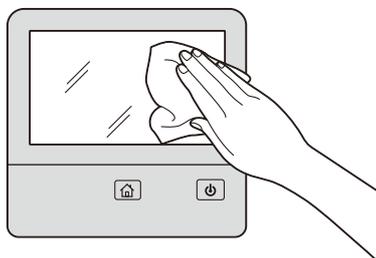
## タッチパネルの清掃

1か月に1回をめぐりに、タッチパネルを清掃してください。

- 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、タッチパネルを拭いてください。
- 清掃後、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

### 注記

- ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。タッチパネル表面のコーティングを傷めることがあります。
- かたい布で拭いたり、強くこすりすぎると、タッチパネル表面に傷がつくことがあります。
- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。



## 階調を補正する

プリント画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正できます。補正することによって、本機のプリント画質を一定の品質に保てます。

補正は、階調補正チャートをプリントして、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、本機に設定値を入力して行います。

イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) 各色の低濃度 (Low) / 中濃度 (Mid) / 高濃度 (High) を調整できます。

階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値 (工場出荷時の値) に戻すときは、すべての値を [0] に設定してください。[0] にするとプリント時に階調補正は働きません。

### 注記

- 階調補正をしてもたびたび色階調がずれる場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値 (すべて [0]) にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、プリンターの経時変化、環境変化、プリント枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

## 階調補正チャートをプリントする

階調補正チャートには、解像度優先と階調優先の2種類があります。

解像度優先は、テキストのように精細度を重視する部分に対する補正をするためのシートです。階調優先は、グラデーションなどを含むグラフィックスや、写真イメージのように階調の滑らかさに対する補正をするためのシートです。

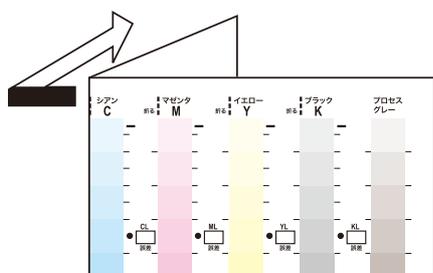
- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [保守] > [画質調整] をタップします。
- 3 [階調補正] をタップします。
- 4 [補正種別] をタップし、プリントする階調補正チャートを選びます。
- 5 [用紙選択] をタップします。
- 6 プリントする用紙のサイズと種類を選び、[OK] をタップします。
- 7 トレイ 5 (手差し) に用紙をセットし、[補正用チャート出力] をタップします。

## 濃度設定値を決める

濃度設定値は、プリントした階調補正チャートと、本機に付属の階調補正用色見本の濃度を比較して求めます。

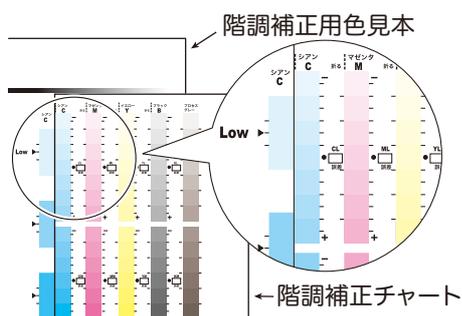
階調補正チャートの補正パッチとそれぞれの中間から、階調補正用色見本の濃度に近いものを探します。

- 1 プリントした階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにします。



- 2 階調補正チャートで補正したい濃度を、階調補正用色見本の同じ濃度の場所に合わせます。

例：低濃度の補正をする場合は、階調補正用色見本の Low と階調補正チャートの Low の●印を合わせます。

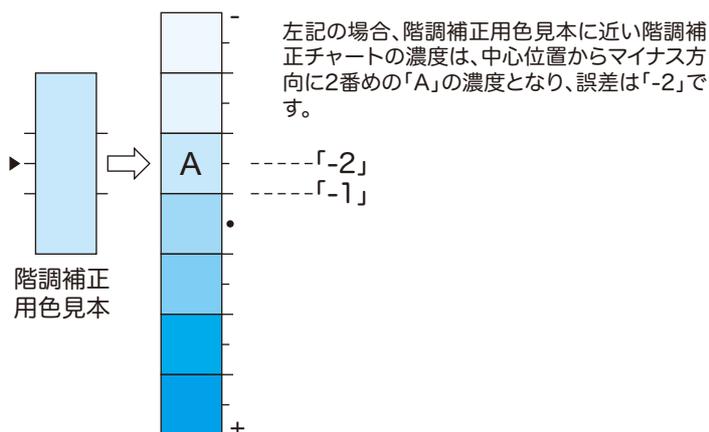
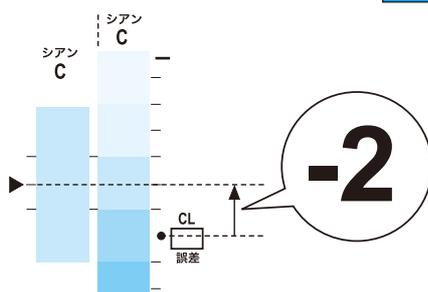
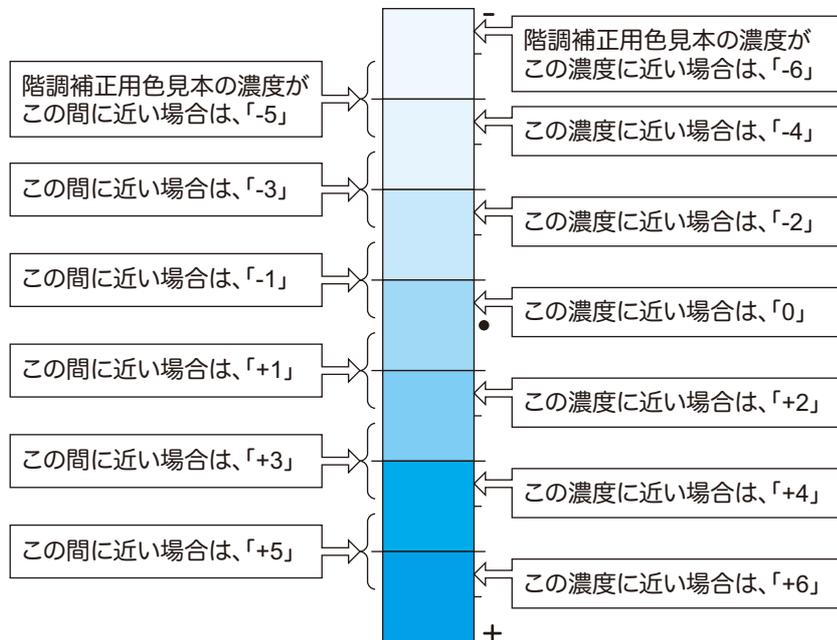


- 3 階調補正チャートの●印を起点に階調補正チャートを上下にずらして、階調補正用色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

注記

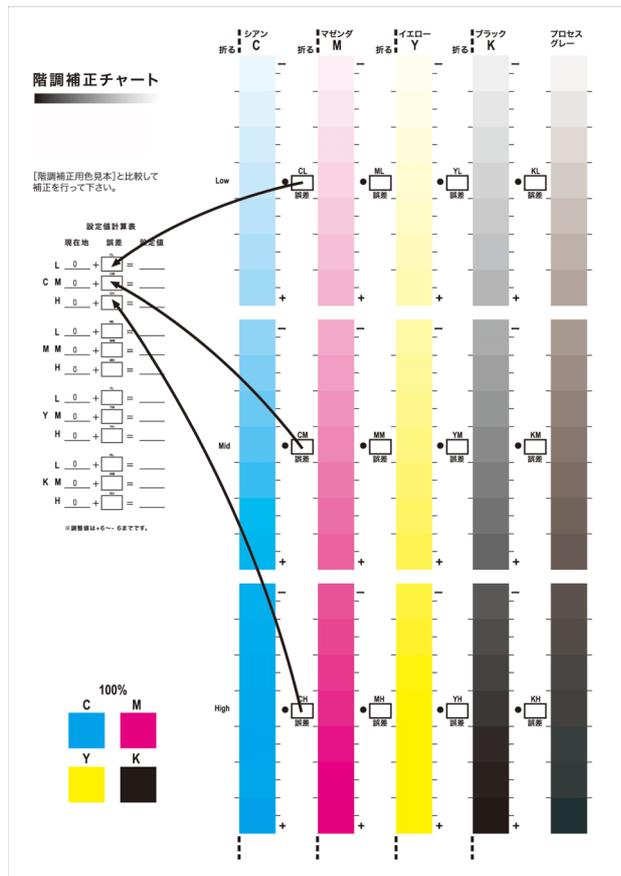
- マイナス (-) とプラス (+) の方向に注意して読み取ってください。

階調補正チャート測定部



- 4 階調補正チャートの該当する「誤差」欄に、誤差を記入します。
- 5 同じ色の、ほかの2つの濃度(中濃度/高濃度)も、同様に誤差を読み取って記入します。
- 6 同様にYMCKの残りの色に対して手順1~5を繰り返して、誤差を読み取って記入します。

- 7 すべての色の濃度誤差を記入したら、階調補正チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所書き写します。(例：シアン)



- 8 「現在値」と「誤差」を足し合わせて「設定値」を記入します。

#### 補足

- 「現在値」には前回の補正値が印字されています。

## 濃度設定値を入力する

階調補正チャートの「設定値計算表」の「設定値」に記入した濃度設定値を本機に設定します。

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [保守] > [画質調整] をタップします。
- 3 [階調補正] をタップします。
- 4 [濃度] をタップし、補正する濃度 (低 / 中 / 高) を選びます。
- 5 補正したい色 (イエロー / マゼンタ / シアン / ブラック) をタップします。
- 6 「設定値計算表」の「設定値」に合わせてスライダーを調整します。

**7** 同じ濃度のほかの色も同様に調整します。

補足

- 「誤差」が「0」の箇所は調整不要です。

**8** 同様に残りの濃度に対して手順 4～7 を繰り返して、調整します。

**9** すべての補正值が調整できたら、[調整値設定] をタップします。

**10** 階調補正チャートを出力して、補正結果を確認します。

補足

- [プロセスグレー] は、CMY を掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、プロセスグレーがブラックの色味に近づきます。プロセスグレーの中に、CMY のどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

# アライメント調整を行う

## 手動アライメント調整

出力イメージの位置がずれている場合などに、調整値を入力してずれを調整します。

### 補足

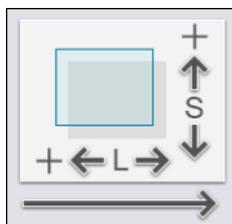
- 調整可能範囲以上の調整が必要な場合は、プリンタードライバーの [基本] タブの [とじしろ / プリント位置] でプリント位置の調整機能を使用してください。

### 調整可能項目

調整は次の順に行います。

#### ■ リード / サイドレジ

副走査方向（用紙送り方向）、主走査方向（用紙送り方向に対して垂直方向）の出力イメージの位置を調整します。



### 調整手順

- 調整したいトレイに、調整したい用紙をセットします。

### 補足

- 調整のためのサンプルチャートを出力したいときは、以下のどれかの用紙をセットしてください。
  - A4 、8.5x11

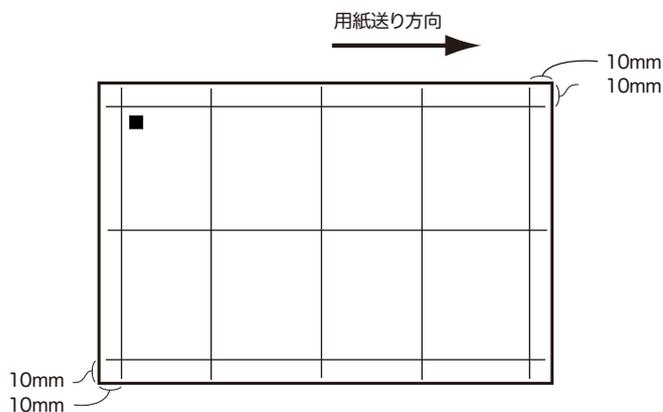
- ホーム画面で [設定] をタップします。
- [保守] > [画質調整] をタップします。
- [アライメント調整] をタップします。
- 手順 1 で用紙をセットしたトレイを、[用紙選択] で選びます。

×	アライメント調整	調整値設定
用紙選択	<input type="checkbox"/> 8.5x11",普通紙	
調整面	おもて面	
リード/サイドレジ	リード:0.0mm	サイド:0.0mm
プリント設定		サンプル出力

- [調整面] で調整する印刷面を選びます。

**7** [プリント設定] でサンプルのプリント枚数を指定します。**補足**

- 出力ばらつきも考慮するため、サンプルは3枚程度プリントすることをお勧めします。

**8** [サンプル出力] をタップします。**9** 出力されたサンプルを確認し、調整値を入力します。**補足**

- 出力イメージの位置が正しい場合には、用紙の端から10mmの位置に線がプリントされます。ただし、手順1でサンプルチャート出力に対応していないサイズ of 用紙をセットしたときは、この限りではありません。
- 用紙送り方向を示すため、用紙の後端には■（黒い四角マーク）がプリントされます。おもて面には■が1つ、うら面には■が2つプリントされます。

**参照**

- 調整項目ごとの詳細は、次を参照してください。
- リード / サイドレジの調整については「リード / サイドレジの調整」(P.226)

**10** [調整値設定] をタップします。

調整値が反映されます。

**11** [サンプル出力] をタップして、出力されたサンプルの調整結果を確認します。**12** 必要があれば、もう一度、調整し直します。**リード / サイドレジの調整****1** [リード / サイドレジ] をタップします。

× アライメント調整		調整値設定
用紙選択	<input type="checkbox"/> 8.5×11",普通紙	⌵
調整面	おもて面	
リード/サイドレジ	リード:0.0mm	サイド:0.0mm
プリント設定		サンプル出力



# 転写出力調整

本機で転写不良が発生した場合などに、転写出力値を手動で調整できます。

## 転写出力調整の設定

用紙種類ごとに、転写出力値を調整します。

### 転写出力値を手動で調整する

- 1 ホーム画面で [設定] をタップします。
- 2 [保守] > [転写出力調整] をタップします。
- 3 [用紙種類] で調整する用紙種類を選びます。



- 4 [調整値] の数値を変更します。
- 5 [調整値設定] をタップします。  
以降のプリントでは、ここで設定した転写出力値が反映されます。

11

困ったときは

## トラブルを解決する

本機にトラブルが発生した場合の処置について説明します。

# 機械本体のトラブル

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	電源が切れていませんか？	電源を入れてください。  参照 • 「本機のセットアップ」(P.21) を参照してください。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源をいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源を入れてください。
	本機側の電源コードのコネクターが抜けていませんか？	参照 • 「本機のセットアップ」(P.21) を参照してください。
	電源の電圧が適切ですか？	電源が 100 V、15 A であることを確認してください。本機の最大消費電力 (1.3 kW) に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。  参照 • 『はじめに読む本』を参照してください。
状態表示ランプがオレンジ色で点滅している	本機のシステムや付属機器にトラブルが発生しているおそれがあります。	本機の電源を切って、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
	用紙づまりが発生していませんか？	詰まった用紙を取り除いてください。  参照 • 用紙が詰まった場合「用紙が詰まった場合」(P.251) を参照してください。
	ディスプレイに消耗品の交換を促すメッセージが表示されていませんか？	メッセージに表示されている消耗品を交換してください。  参照 • 「消耗品を交換する」(P.206) を参照してください。
	ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	メッセージの内容を確認し、処置してください。また、メッセージの末尾に「016-450」などの番号が表示されている場合はエラーコードの表で内容を確認し、処置してください。  参照 • 「エラーコード」(P.256) を参照してください。
ディスプレイが暗い	節電状態に入っていないですか？	電源 / 節電ボタンを長押しして、節電状態を解除してください。  参照 • 「本機のセットアップ」(P.21) を参照してください。
プリントできない	操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。

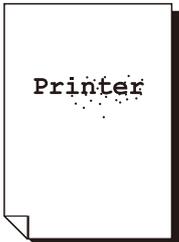
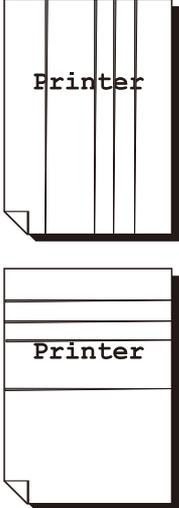
症 状	原 因	処 置
	メモリー容量が不足していませんか？	次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンタードライバーで [印刷モード] を [標準] にするか、[ページ印刷モード] を利用して再プリントする</li> <li>• 使用していないポートを [停止] に設定する</li> </ul>
	プリンターモードがオフラインになっていませんか？	ホーム画面で、[プリンターモード] を確認してください。[オフライン] になっていたら、[オンライン] を選択してください。
	プリンタードライバーがオフラインになっていませんか？	プリンターアイコンを開いて、プリンターメニューのオフライン使用のチェックを外してください。
プリントを指示したのにデータランプが点滅しない	インターフェイスクーブルが抜けていませんか？	インターフェイスクーブルの接続を確認してください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「本機をコンピュータに接続する」(P.24) を参照してください。</li> </ul>
	使用するポートが [起動] に設定されていますか？	使用するポートの状態を確認し、[起動] に設定してください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「[ポート設定]」(P.146) を参照してください。</li> </ul>
用紙トレイ 5 (手差し) にプリントを指示したのにプリントされない	指定したサイズの用紙がセットされていますか？	表示されたメッセージに従って、正しいサイズの用紙をセットして、もう一度プリントを指示してください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「手差しトレイに用紙をセットする」(P.74) を参照してください。</li> </ul>
正しい文字が印字されない (文字化けが起こる)	本機に標準で搭載されていないフォントを使用してプリントしています。	アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定を確認してください。 PostScript (オプション) を使用している場合は、必要なフォントを本機にダウンロードしてください。
用紙づまり、紙しわがたびたび発生する	用紙が用紙トレイに正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「用紙をセットする」(P.68) を参照してください。</li> </ul>
	用紙トレイが正しくセットされていますか？	用紙トレイを確実に奥まで押し込んで正しくセットしてください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「用紙をセットする」(P.68) を参照してください。</li> </ul>
	用紙が湿気を含んでいませんか？	未開封の用紙と交換してください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「用紙をセットする」(P.68) を参照してください。</li> </ul>
	用紙がカールしていませんか？	用紙トレイ内の用紙をうら返すか、未開封の用紙と交換してください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「用紙をセットする」(P.68) を参照してください。</li> </ul>

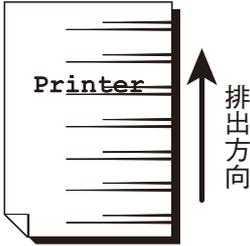
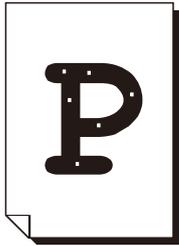
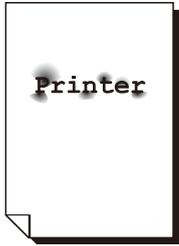
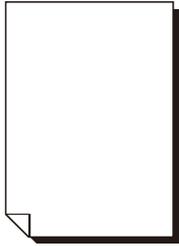
症 状	原 因	処 置
	用紙と用紙トレイの設定は正しいですか？	セットしている用紙に合わせて、正しく用紙と用紙トレイを設定してください。  参照 • 「[共通設定]」(P.114)を参照してください。
	機械の内部に詰まった用紙や紙片が残っていたり、異物が入っていませんか？	機械を開けるか、用紙トレイを引き出して、紙片や異物を取り除いてください。  参照 • 「用紙が詰まった場合」(P.251)、「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。
	規格外の用紙がトレイに入っていないですか？	使用基準内の用紙と交換してください。  参照 • 「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。
	用紙トレイ内の用紙上限線を超えて、用紙をセットしていませんか？	用紙トレイ内の用紙上限線を超えないように、用紙をセットしてください。  参照 • 「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。
	用紙ガイドが正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットして、用紙ガイドを用紙に軽く当てるように合わせてください。
	用紙いっぱい画像がありますか？	先端のわく消し量を増やしてください。  参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
	用紙がきれいに裁断されていますか？	用紙の種類によっては、きれいに裁断されていない場合があります。よくさばいてから用紙をセットしてください。
用紙トレイ 5 (手差し) に用紙をセットするとエラーメッセージが表示される	用紙トレイ 5 (手差し) の手前にある用紙ガイドの位置がずれていませんか？	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。  参照 • 「手差しトレイに用紙をセットする」(P.74)を参照してください。

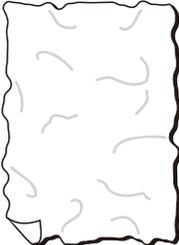
## 画質のトラブル

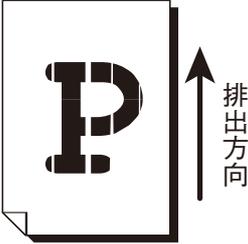
プリント結果の画質が悪い場合は、次の表から最も近いと思われる症状を選び、処置してください。

該当する処置をしても画質が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

症 状	処 置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明)  	用紙が湿気を含んでいることがあります。新しい用紙と交換してください。  <b>参照</b> ・「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。  ドラムカートリッジが劣化、または損傷していることがあります。新しいドラムカートリッジと交換してください。  <b>参照</b> ・「ドラムカートリッジを交換する」(P.212)を参照してください。  トナーカートリッジ内にトナーが残っていないことがあります。新しいトナーカートリッジと交換してください。  <b>参照</b> ・「トナーカートリッジを交換する」(P.208)を参照してください。
黒点がプリントされる  	ドラムカートリッジが劣化、または損傷していることがあります。新しいドラムカートリッジと交換してください。  <b>参照</b> ・「ドラムカートリッジを交換する」(P.212)を参照してください。
黒線または色線がプリントされる  	ドラムカートリッジが劣化、または損傷していることがあります。新しいドラムカートリッジと交換してください。  <b>参照</b> ・「ドラムカートリッジを交換する」(P.212)を参照してください。  本体内部を清掃してください。  <b>参照</b> ・「本体内部 (LED プリントヘッド部) の清掃」(P.216)を参照してください。

症 状	処 置
等間隔に汚れが起きる 	用紙搬送路に汚れが付着していることがあります。数枚プリントしてください。 ドラムカートリッジが劣化、または損傷していることがあります。新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P.212)を参照してください。
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる 	使用している用紙が適切かどうかを確認してください。 参照 ・「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。 使用している用紙種類に対して適切な転写出力調整がなされていません。 参照 ・「転写出力調整」(P.228)を参照してください。 ドラムカートリッジが劣化、または損傷していることがあります。新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P.212)を参照してください。
指でこするとかすれるトナーが定着しない用紙がトナーで汚れる 	用紙が湿気を含んでいることがあります。新しい用紙と交換してください。 参照 ・「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。 使用している用紙が適切かどうかを確認してください。 参照 ・「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷していることがあります。新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P.212)を参照してください。 高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています(重送)。用紙をよくさばいてからセットし直してください。 電源または高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

症 状	処 置
<p>白抜け、白筋、白もや、または色筋が出る</p> 	<p>用紙が湿気を含んでいることがあります。新しい用紙と交換してください。</p> <p>参照  <ul style="list-style-type: none"> <li>「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。</li> </ul> </p> <p>使用している用紙が適切かどうかを確認してください。</p> <p>参照  <ul style="list-style-type: none"> <li>「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。</li> </ul> </p> <p>本体内部を清掃してください。</p> <p>参照  <ul style="list-style-type: none"> <li>「本体内部 (LED プリントヘッド部) の清掃」(P.216)を参照してください。</li> </ul> </p>
<p>全体がうっすらとプリントされる</p> 	<p>用紙トレイ 5 (手差し) を使用してプリントしたときに、プリンタードライバーで指定した用紙と実際にセットされている用紙が異なります。</p> <p>用紙トレイ 5 (手差し) に、正しい種類とサイズ of 用紙をセットしてください。</p> <p>参照  <ul style="list-style-type: none"> <li>「手差しトレイに用紙をセットする」(P.74)を参照してください。</li> </ul> </p> <p>一度に複数枚の用紙が搬送されています (重送)。用紙をよくさばいてからセットし直してください。</p>
<p>用紙にしわが付く</p> 	<p>使用している用紙が適切かどうかを確認してください。</p> <p>参照  <ul style="list-style-type: none"> <li>「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。</li> </ul> </p> <p>トレイに残っている用紙の上に新しい用紙を補給しないでください。</p> <p>用紙が湿気を含んでいることがあります。新しい用紙と交換してください。</p> <p>参照  <ul style="list-style-type: none"> <li>「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。</li> </ul> </p>
<p>文字がにじむ</p> 	<p>使用している用紙が適切かどうかを確認してください。</p> <p>参照  <ul style="list-style-type: none"> <li>「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。</li> </ul> </p> <p>用紙が湿気を含んでいることがあります。新しい用紙と交換してください。</p> <p>参照  <ul style="list-style-type: none"> <li>「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。</li> </ul> </p>

症 状	処 置
<p data-bbox="339 208 655 271">たて長に白抜けまたは色抜けする</p> 	<p data-bbox="671 208 1437 271">ドラムカートリッジが劣化、または損傷していることがあります。新しいドラムカートリッジと交換してください。</p> <p data-bbox="671 293 1437 360">参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P.212)を参照してください。</p> <p data-bbox="671 371 1437 439">トナーカートリッジ内にトナーが残っていないことがあります。新しいトナーカートリッジと交換してください。</p> <p data-bbox="671 461 1437 528">参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P.208)を参照してください。</p> <p data-bbox="671 539 1437 573">本体内部を清掃してください。</p> <p data-bbox="671 595 1437 685">参照 ・「本体内部 (LED プリントヘッド部) の清掃」(P.216)を参照してください。</p>
<p data-bbox="339 710 608 743">斜めにプリントされる</p> 	<p data-bbox="671 710 1437 777">用紙カセットの用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。たてよこの用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。</p> <p data-bbox="671 799 1437 866">参照 ・「用紙をセットする」(P.68)を参照してください。</p>

# プリンターのトラブル

## プリントできない

症 状	処 置
コンピューターのプリンターアイコンにデータが残っている	本機の電源が入っていないときは、電源を入れてください。 参照 •「電源について」(P.22)を参照してください。
	コンピューターのネットワークケーブルが外れていないかを確認してください。
	本機のネットワークケーブルが外れていないかを確認してください。 参照 •「本機をコンピューターに接続する」(P.24)を参照してください。
	本機でエラーが発生している場合は、内容を確認して対処してください。
	正しいIPアドレスを設定してください。 参照 •「IPアドレスを設定する」(P.25)を参照してください。
	コンピューターと本機間のネットワークが正常ではないことがあります。ネットワーク管理者に相談してください。
	プリンタードライバーが利用しているポートを起動してください。 参照 •「[ポート設定]」(P.146)を参照してください。
	本機のストレージ容量が不足しています。蓄積されている文書(認証プリント、プライベートプリント、セキュリティープリントなど)で不要になったデータを削除し、空きスペースを増やしてください。 しばらく待ってから、再度プリントしてください。
指定枚数より多くプリントされて処理が終わらない、または、プリント結果が文字化けする	適切なプリンタードライバーを使用してください。プリンタードライバーのプロパティ画面で、[詳細設定] タブのドライバーが本機になっていることを確認してください。他社のプリンタードライバーを使った場合は、動作は保証されません。
データは本機に送られている	用紙がないときは、用紙を補給してください。
	指定した用紙サイズの内紙をセットしてください。
	本機でエラーが発生している場合は、内容を確認して対処してください。
	ジョブが一時停止になっているときは、キャンセルするかどうかを指定してください。
	本機で保存文書を確認してください。 参照 •「セキュリティープリント」(P.88)を参照してください。

## 思ったとおりのプリント結果にならない

症 状	処 置
両面でプリントされない	本機のメモリーが不足しています。使用していないポートを [停止] に設定してください。
異なった用紙サイズでプリントされる	トレイにセットされている用紙サイズを変更するか、指定した用紙サイズがあるトレイにプリントオプションを変更してください。
用紙の端にあるイメージが欠ける	本機の印刷エリアを拡張するか、ドキュメントの印字エリアを小さくしてください。
コンピューターで指定したフォントとプリント結果のフォントが異なる	プリンタードライバのフォントの置き換えテーブルを確認してください。  参照 ・プリンタードライバのヘルプを参照してください。
プリントスピードが遅い	写真などのイメージデータを高精細でプリントするとプリント速度が遅くなります。[印刷モード] で [標準] を選んでください。
プリントオプションで指定した内容が無効になる	適切なプリンタードライバを使用してください。プリンタードライバのプロパティ画面で、[詳細設定] タブのドライバーが本機になっていることを確認してください。  本機に取り付けられているオプションを確認して、プリンタードライバのプロパティ画面で、[プリンター構成] タブの [オプションの設定] を再度設定してください。
端が欠ける	本機の印刷エリアを拡張するか、ドキュメントの印字エリアを小さくしてください。
出力紙に黒線が出る	適切なプリンタードライバを使用してください。プリンタードライバのプロパティ画面で、[詳細設定] タブのドライバーが本機になっていることを確認してください。

# ネットワークのトラブル

## TCP/IP を使用したときのトラブル

### Windows OS の場合

症 状	処 置
プリントされない。	本機に正しい IP アドレスが設定されているかを確認してください。
	単一ファイルのデータサイズが受信バッファのメモリー容量の上限を超えている場合は、小さいサイズに分割してプリントしてください。
	複数ファイルのデータサイズの合計が受信バッファのメモリー容量の上限を超えている場合は、1 度にプリントするファイル数を減らしてください。
	操作パネルのディスプレイにエラーが表示されている場合は、本機の電源を切り、ディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
	プリンタードライバーが使用するプロトコルを [起動] に設定してください。  参照 • 「[ポート設定]」(P.146) を参照してください。
プリンタードライバーのプロパティ画面にある [デバイスの設定] タブで、CTRL-D を送信しない設定にしてください。	
プリント結果がおかしい。	プリントデータのプリント言語に一致するプリント言語を指定してください。
	適切なプリンタードライバーを使用してください。プリンタードライバーのプロパティ画面で、[詳細設定] タブのドライバーが本機になっていることを確認してください。他社のプリンタードライバーを使った場合は、動作は保証されません。

### macOS/OS X の場合

症 状	処 置
プリントされない。	Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントする場合は、LPD ポートを起動してください。

## CentreWare Internet Services を使用したときのトラブル

症 状	処 置
CentreWare Internet Services に接続できない。	本機の電源が入っているかを確認してください。
	「機能設定リスト」をプリントしてインターネットサービスが起動しているかを確認してください。
	インターネットアドレスをもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。

症 状	処 置
CentreWare Internet Services に接続できない。	プロキシサーバーによっては、接続できないことがあります。プロキシサーバーを使わないで、Web ブラウザーの設定を「プロキシサーバーを使用しない」にするか、使用するアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
最新の情報が表示されない。	Web ブラウザーの表示を更新してください。
[保存] をクリックしても設定が反映されない。	本体の操作パネルで操作中は、CentreWare Internet Services での設定は適用されません。また、自動リセット機能が設定されている場合、操作後であっても設定時間が経過するまで、CentreWare Internet Services での設定は無効になります。しばらくお待ちください。
[保存] をクリックすると、Web ブラウザーに「無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました」や「データがありません」などのメッセージが表示される。	パスワードの確認入力の内容が一致していません。正しいパスワードを入力してください。 本機を再起動してください。
ジョブを削除できない。	しばらく待ってから Web ブラウザーの表示を更新してください。

## メール機能のトラブル

メール通知（消耗品の状態通知）サービス、メール受信プリントを使用している場合のトラブルについて、処置方法を記載しています。

症 状	処 置
メール受信ができない（メール受信プリント）	本体メールアドレスを正しく設定しているかを確認してください。
	[メール受信] が [起動] になっているかを確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選んでいる場合）などを正しく設定しているかを確認してください。
	POP ユーザー名、およびパスワードを正しく設定しているかを確認してください。
	[送受信ドメインの制限] を設定しているときは、CentreWare Internet Services で、自分のドメインが送受信許可ドメインに含まれているかどうかを確認してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーが正常に動作しているかをネットワーク管理者に確認してください。
メール送信ができない（メール通知）	本体メールアドレスを正しく設定しているかを確認してください。
	[メール通知サービス] が [起動] になっているかを確認してください。（メール通知の場合）
	SMTP サーバーの IP アドレスなどを正しく設定しているかを確認してください。

症 状	処 置
メール送信ができない（メール通知）	メール通知の場合、通知項目が正しく設定されているかを CentreWare Internet Services のホーム画面にある [通知] の設定画面で確認してください。
	送信先メールアドレスが正しく入力されているかを確認してください。
	SMTP サーバーが正常に動作しているかをネットワーク管理者に確認してください。 SMTP サーバーが配送確認（DSN）に対応していないことが原因の可能性もあります。配送確認（DSN）の設定をしないで、メールを送信してください。

## インターネット / イン트라ネット接続のトラブル

症 状	処 置
インターネット / イン트라ネットに接続できない。	本機で対応している認証機能は、Basic 認証だけです。NTLM/digest には対応していません。外部サーバーで使用している認証機能が、本機に対応しているか確認してください。 セキュリティー上の問題を考慮する場合には、SSL を使った認証に変更してください。
	外部連携サービスを使用する場合は、該当する製品 / モデル / オプションを購入してください。
	IP アドレスの設定を確認してください。IP アドレスが正しく設定されていない場合は、IP アドレスを固定で指定するか、DHCP または AutoIP などを使用して、IP アドレスを解決してください。
	プロキシサーバーに接続する場合、または Web サーバーに接続するために IP ゲートウェイを経由する場合は、IP ゲートウェイアドレスを正しく入力してください。
	使用している環境に合わせてサブネットマスクを正しく設定してください。
	DNS サーバーのアドレスを確認してください。
	アドレスを解決できる DNS サーバーを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロキシサーバーを経由する場合 プロキシサーバーのアドレスを解決できる DNS サーバーのアドレスを設定してください。</li> <li>• プロキシサーバーを経由しない場合 宛先アドレスを解決できる DNS サーバーのアドレスを設定してください。</li> </ul>
	プロキシを経由しないアドレスの設定が正しいかを確認してください。 FQDN 形式でプロキシを経由しないアドレスを指定していても、IP アドレスを指定してアクセスしている場合には、除外対象にはなりません。プロキシを経由しないアドレスを IP アドレスでも指定してください。 同様に、IP アドレスでプロキシを経由しないアドレスを指定していても、FQDN 形式でアクセスする場合には、除外対象にはなりません。プロキシを経由しないアドレスを FQDN 形式でも指定してください。

症 状	処 置
インターネット/イントラネットに接続できない。	接続するサーバー、またはプロキシサーバーが正常に稼働しているかどうかを確認してください。
	ネットワークケーブルの接続を確認してください。ネットワークの切断に強い環境を構築するためには、スパンニングツリー環境を使用することをお勧めします。
	サーバーアプリケーションに負荷がかかっているため、通信できないことがあります。その場合はしばらく待ってから、もう一度アクセスしてください。
	本体にエラーが発生していることがあります。バックグラウンド処理を実行中は、操作パネルにはエラーが表示されません。[ジョブ情報] 画面を表示するか、ジョブ履歴レポートをプリントして、エラー有無を確認してください。
	次のアクセス制限によって接続できていないことがあります。設定されているアクセス制限を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• アドレス（ポート）制限</li> <li>• SSL 利用制限</li> <li>• ユーザーアクセス制限（アクセス権レベルも含む）</li> <li>• コンテンツブロック</li> <li>• 利用スキーム制限（HTTP 利用不可など）</li> <li>• 転送データサイズ制限</li> <li>• 利用メソッド制限（POST 利用不可など）</li> <li>• HTTP ヘッダー制限（特定ブラウザだけ受付など）</li> <li>• 時間制限（特定時間帯だけ利用可能など）</li> </ul>
	本機で有効な SSL/TLS バージョンは初期状態で TLS1.2 です。接続先が TLS1.2 をサポートしていない場合は、TLS1.1 を有効にしてください。
目的の Web サーバーに接続できない。	プロキシを経由する環境では、プロキシサーバーを使用するように設定されていないと、目的の Web サーバーに接続できません。プロキシサーバーを使用するように設定してください。
	イントラネットに接続する場合など、プロキシを経由する必要がない環境では、プロキシサーバーを使用する設定にはしないでください。
	プロキシサーバーを使用する設定になっている場合には、プロキシサーバーのアドレスが正しく設定されていないと、目的の Web サーバーに接続できません。プロキシサーバーのアドレスを正しく設定してください。
	プロキシサーバーに接続を許可されているユーザー名とパスワードを、本機に設定してください。
	本機で有効な SSL/TLS バージョンは初期状態で TLS1.2 です。接続先が TLS1.2 をサポートしていない場合は、TLS1.1 を有効にしてください。

## IPv4 または IPv6 接続のトラブル

症 状	処 置
IPv4 に接続できない。	IPv4 アドレス入力時、「192.0.2.010」のようにアドレス先頭に 0 を付加した場合、正しく動作しません。「192.0.2.10」のように 0 を付けずに入力してください。

症 状	処 置
IPv6 に接続できない。	<p>リンクローカルアドレスを指定するときに本機にアクセスできない場合は、リンクローカルアドレスにスコープ識別子を付加してください。</p> <p>たとえば Windows 7 の Internet Explorer 11 を利用して、「fe80::203:baff:fe48:9010」を指定してアクセスする場合には、Windows 7 のイーサネットアダプタローカルエリア接続の番号（例：8）をスコープ識別子として付加し、「fe80::203:baff:fe48:9010%8」と入力してください。</p> <p>IPv6 が利用できる Windows OS と通信できない場合は、Windows OS で固定アドレスを設定してください。通信を許可するホストアドレスとして、設定した IPv6 固定アドレスを本機に登録してください。</p> <p>ルーターを越える検索が正しく動作しないことがあります。</p> <p>SMB を使った検索でルーターを越える場合、宛先アドレスを直接入力してください。</p> <p>マルチキャストに応答するのは、ローカルリンク内でのマルチキャスト（FF02::1）のみです。</p> <p>SSL/TLS を有効に設定している場合、「https:// [IPv6 アドレス]」サイトを指定してください。</p>
IPv6 でプリントできない。	<p>DNS サーバーが存在しないと、IPv6 が利用できる Windows OS から Windows 共有プリンターが使用できません。</p> <p>Windows OS 上の hosts ファイルに本機のコンピューター名を登録してください。</p> <p>格納先例： C:¥Windows¥system32¥drivers¥etc の hosts ファイルに登録します。</p>
UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）で IPv6 機器を検索できない。	<p>IPv6 環境では Web Services on Devices (WSD) のディスカバリー機能を使用してください。</p>
SMB 認証の SMB サーバー設定にコンピューター名を指定すると認証に失敗する。	<p>DNS サーバーが存在しないことが原因と考えられます。認証サーバーのコンピューター名に、IPv6 アドレスを指定してください。</p>
出力されたジョブログに IPv6 アドレスが正しく記載されない。	<p>IPv4 で運用してください。</p>

## 文書プリントのトラブル

症 状	処 置
ホーム画面に [文書プリント] が表示されない。	USB メモリーキットのソフトウェアオプションが認識されていません。ソフトウェアオプションを正しく設定するか、USB メモリーをいったん抜いてから、もう一度コネクタの奥まで差し込んでください。 CentreWare Internet Services を起動し、[アプリ] > [USB] > [プリント機能の使用] にチェックマークを付けてください。

## デジカメプリントのトラブル

症 状	処 置
ホーム画面に [デジカメプリント] が表示されない。	USB メモリーが認識されていません。USB メモリーをいったん抜いてから、もう一度コネクタの奥まで差し込んでください。
白紙がプリントされる。	プリントを指示したファイルの中に、プリントできないファイル (DCF1.0 形式以外の画像ファイル) が含まれています。プリントできないファイルは、インデックスプリントではプリントされません。インデックスプリントで表示されない画像を除いて再度プリントを指示してください。 <b>補足</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• DCF1.0 形式の画像ファイルをコンピューターで編集、または保存すると、DCF1.0 形式ではなくなりますので、注意してください。</li></ul>

## メール受信プリントのトラブル

症 状	処 置
Yahoo メールを使用して、メール受信プリントすると、同一文書が何回もプリントされる。	メール送信画面で [添付ファイルとして転送] を選んでください。
Gmail などの Web メールを使用して、メール受信プリントすると、添付文書が印刷されない場合がある。	転送された Web メールがさらに転送されています。メール受信プリントでは、転送メールをさらに転送しないでください。

# AirPrint のトラブル対処

## プリンター選択時のトラブル

症状	処置
プリンターを選択画面で、本機が検出されない。	ネットワークに接続できませんでした。 本機と iOS/macOS/OS X のネットワーク設定を確認してください。
	Bonjour および IPP ポートが起動していません。 [設定] > [ネットワーク設定] で、ポートの設定を確認してください。
	AirPrint が有効になっていません。 CentreWare Internet Services を起動し、[ネットワーク] > [AirPrint] で、[有効] にチェックマークを付けてください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>本機で AirPrint を有効にする設定については、「AirPrint の設定を有効にする」(P.96) を参照してください。</li> </ul>
	macOS/OS X からプリント指示する場合に、本機とコンピューターが別のネットワークを使用しています。 本機とコンピューターで、同一のネットワークを使用してください。ルーターを超えてプリントする場合は、本機とコンピューターで、Wide-Area Bonjour を有効にしてください。  参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>本機で Wide-Area Bonjour を有効にする設定については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。</li> <li>macOS/OS X や DNS サーバー側での設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。</li> </ul>

## プリント時のトラブル

症状	処置
プリントされない。	本機で認証プリントまたはプライベートプリントの設定をしています。 認証プリントやプライベートプリントには対応していません。本機の設定を変更してください。

# Google クラウドプリントのトラブル対処

## 登録時のトラブル

症状	処置
CentreWare Internet Services の [ネットワーク] > [Google Cloud Print] > [プリンター登録] で [登録] をクリックしても、メッセージ表示が [登録済み] に変わらない。	インターネットに接続できませんでした。 ネットワーク設定を確認してください。
	ネットワーク環境でプロキシサーバーを使用しています。 [設定] > [ネットワーク設定] で、プロキシサーバーの設定をしてください。
	ネットワーク環境でプロキシサーバーを使用し、プロキシ認証を行っています。 本機能は、プロキシ認証には対応していません。 プロキシ認証を使用しない設定に変更してください。
	DNS が正しく設定されていません。 [設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] > [IPv4-DNS 設定] で、DNS の設定が正しいかどうかを確認してください。
	本機の証明書検証が有効に設定されています。 本機の証明書検証を無効にするか、正しいルート証明書をインポートしてください。
	ネットワーク通信が混み合っていたため、タイムアウトが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。
	ネットワーク環境にファイアウォールが設置されています。 "*.google.com" との通信を許可する必要があります。 ファイアウォール設定を確認してください。
	本機でエラーが発生しています。 CentreWare Internet Services のホーム画面にある [通知] の設定画面で [エラー履歴] をクリックし、エラーコードを確認してください。
Google クラウドプリントの登録手順書が出力されない。	本機で認証プリントまたはプライベートプリントが設定されています。 認証プリントやプライベートプリントには対応していません。本機の設定を変更してください。
	[登録を解除] をクリックした直後に、[登録] をクリックしたため、Google 側で、本機の解除処理が完了していないことがあります。 Google クラウドプリントのプリンター管理画面を表示し、本機がリストに表示されていないことを確認した上で、もう一度登録作業を行ってください。

## プリント時のトラブル

症状	処置
論理プリンターで設定したとおりに出力されない。	Google クラウドプリントの仕様により、論理プリンターで設定した内容は無効となり反映されません。Google クラウドプリントのプリント設定で出力されます。Google クラウドプリントで印刷項目を設定してください。
文字やイメージが崩れて出力される。	Google クラウドプリントの仕様により、プリント指示文書と出力結果が同一にならないことがあります。プリンターの選択画面で、[Google ドキュメントに保存]を選び、保存された PDF 文書の出力結果を確認してください。

## 用紙が詰まった場合

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。また、ディスプレイには、メッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

処置を終了しても紙づまりのメッセージが表示されるときは、ほかの箇所でも用紙が詰まっています。メッセージに従って処置してください。

紙づまりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態から自動的にプリントが再開されます。

### ⚠ 注意

#### 定着ユニットの安全性

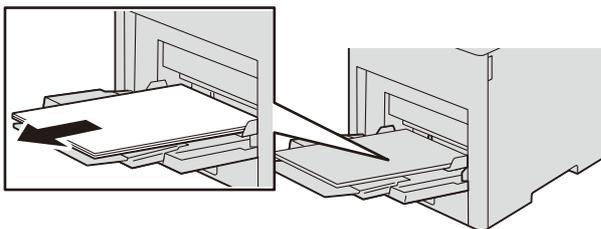
定着ユニットは取り外さないでください。定着ユニット内に詰まった紙を取り除く場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

### 注記

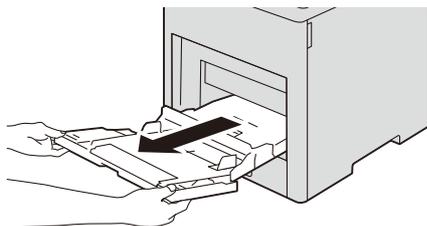
- 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから、処置をしてください。
- 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、本機のメモリー上に蓄積された情報が消去されます。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

## 用紙トレイ 1、手差しトレイでの紙づまり

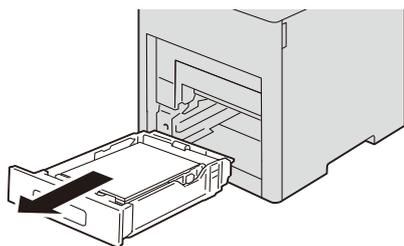
- 1 手差しトレイにセットされている用紙をすべて取り除きます。



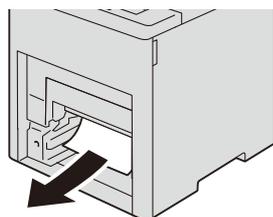
- 2 手差しトレイの両側を持ち、本体から真っ直ぐ引き抜きます。



- 3** 用紙トレイ 1 が止まるまで引き出し、手前を少し持ち上げて本体から取り外します。



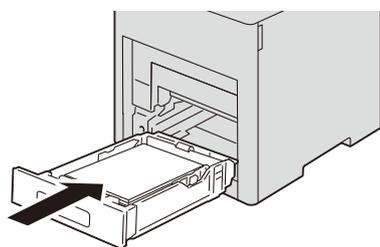
- 4** しわが入った用紙や、詰まっている用紙を取り除きます。



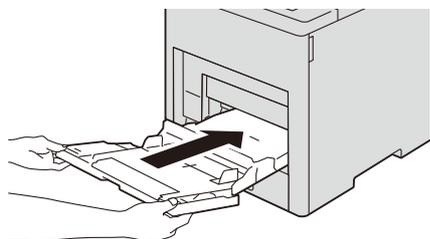
- 5** 用紙トレイ 1 を奥まで押し込みます。

**補足**

- リーガルサイズ用の紙をセットするためにトレイの前面を引き出している場合は、トレイが突き出した状態になります。



- 6** 手差しトレイを奥まで押し込みます。

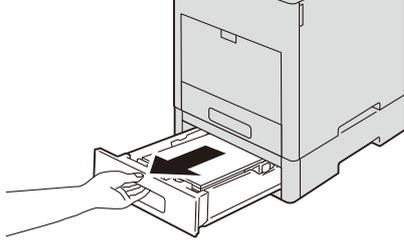


- 7** 手差しトレイから取り除いた用紙を、元のとおりセットします。

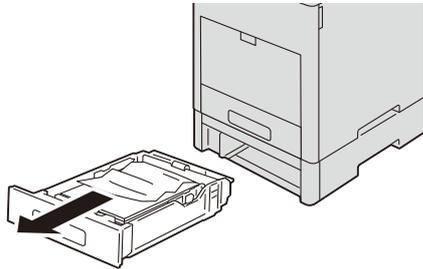
- 8** タッチパネルディスプレイに表示された [確認] をタップします。

## 用紙トレイ 2～4 での紙づまり

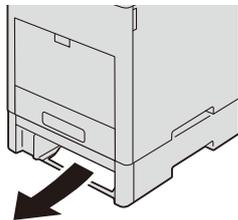
- 1 タッチパネルディスプレイに表示された用紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。



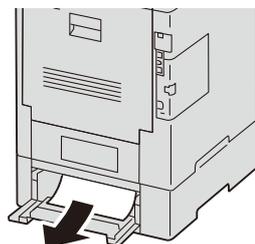
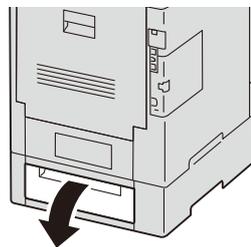
- 2 用紙トレイの手前を少し持ち上げて本体から取り外します。



- 3 しわが入った用紙や詰まっている用紙を、本体の前面から取り除きます。



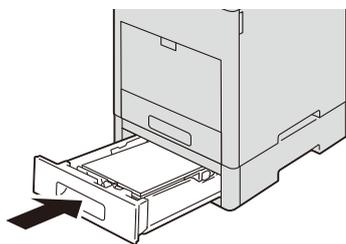
- 4 本体の背面にあるジャムアクセスカバーを開いて、詰まっている用紙を取り除きます。



**5** 用紙トレイを奥まで押し込みます。

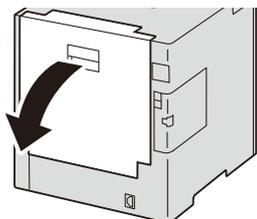
**補足**

- リーガルサイズ用の紙をセットするためにトレイの前面を引き出している場合は、トレイが突き出した状態になります。

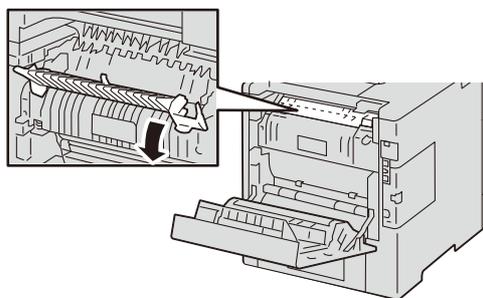


## 定着ユニットでの紙づまり

**1** リリースレバーを引きながら、背面カバーを開きます。



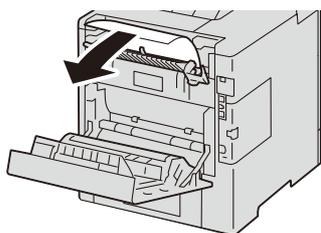
**2** 定着ユニットの緑色のつまみを開きます。



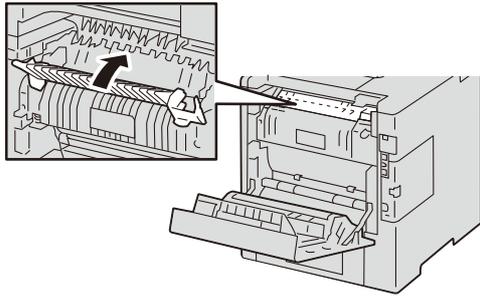
**3** 詰まっている用紙を取り除きます。

**補足**

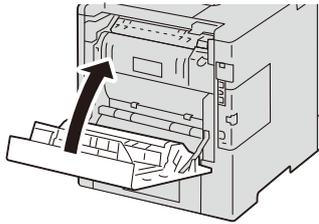
- 定着ユニットは高温になります。火傷のおそれがあるので、触らないでください。



**4** 緑色のつまみを元に戻します。



**5** 背面カバーを閉じます。



## エラーコード

エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、操作パネルのディスプレイにメッセージとエラーコード（\*\*\*-\*\*\*）が表示されます。

次の表でエラーコードを参照して、処置してください。

### 注記

- エラーコードが表示されたときは、本機内に残っているプリントデータや、本機のメモリーに蓄えられた情報は保証されません。

### 補足

- ホーム画面で、[ヘルプ] ボタンをタップし、[検索] > [エラーコード検索] を選択すると、エラーコードの詳細をタッチパネル上で確認できます。
- エラーコードの画面に [ヘルプ] ボタンが表示されている場合は、そのボタンをタップすると、該当するエラーコードの詳細を確認できます。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても正常に戻らないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、サービス担当者による保守が必要となる場合があります。

### "001-001" - "004-999"

エラーコード	原因 / 処置
002-500	<p><b>【原因】</b> スキャンジョブの処理中にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を実施してください。また、XSA (Xerox Standard Accounting) でスキャンの上限枚数が制限されていないか確認してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

### "005-001" - "011-999"

エラーコード	原因 / 処置
005-500	<p><b>【原因】</b> 原稿送り装置にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
010-321	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
010-331 010-332 010-333 010-334 010-335	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
010-338	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
010-339	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
010-340	<p><b>【原因】</b> 定着ユニットに異常があります。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
010-344 010-345 010-346	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "016-001" - "016-999"

エラーコード	原因 / 処置
016-210 016-211 016-212 016-213 016-214 016-215 016-217 016-218 016-219	<p><b>【原因】</b> ソフトウェアにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-230	<p><b>【原因】</b> ソフトウェアにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-233	<p><b>【原因】</b> ソフトウェアにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-234 016-235 016-236 016-237 016-238 016-239	<p><b>【原因】</b> 本機の認証機能でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
016-242	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-244	<p><b>【原因】</b> 自己署名証明書が自動更新できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-248	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-310 016-311 016-315 016-316 016-317 016-318 016-319	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-321 016-324 016-325 016-326 016-327	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-335 016-336 016-337	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-345 016-346 016-347 016-348 016-349 016-350 016-351	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
016-353 016-354 016-355 016-356 016-357 016-359 016-361 016-362 016-364 016-365 016-366 016-367 016-369 016-370 016-371	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-372 016-383	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-400	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。</p> <p><b>【処置】</b> Ethernet1 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。</p>
016-401	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。</p> <p><b>【処置】</b> Ethernet1 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。</p>
016-402	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 で、認証接続がタイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の Ethernet1 と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。</p>
016-403	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 側の設定ルート証明書が一致しませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。</p> <p>サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet1 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] のチェックマークを外してください。</p>
016-404	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 で 802.1x の認証エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を実行してください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-405	<p><b>【原因】</b> 本機に格納されている証明書にエラーがありました。</p> <p><b>【処置】</b> 証明書の初期化を実行してください。</p>
016-406	<p><b>【原因】</b> SSL クライアント証明書にエラーがありました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。</li> <li>2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選択する。</li> </ol>

エラーコード	原因 / 処置
016-407 016-408 016-409 016-410 016-411 016-412	<p><b>【原因】</b> 本機に登録したカスタマイズプログラムに問題があります。</p> <p><b>【処置】</b> カスタマイズプログラムを修正し、再度インストールしてください。</p>
016-421	<p><b>【原因】</b> 本機から給紙トレイが取り外されました。</p> <p><b>【処置】</b> 取り外した給紙トレイを本機に装着してください。</p>
016-422	<p><b>【原因】</b> オフライン状態です。</p> <p><b>【処置】</b> 以下を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ほかのメッセージが表示されている場合には、その処置をしてください。</li> <li>• メンテナンスモードになっているときは、メンテナンス作業を終了してください。</li> <li>• リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまで待ってください。</li> </ul> <p>それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-423	<p><b>【原因】</b> オフライン状態です。</p> <p><b>【処置】</b> 以下を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ほかのメッセージが表示されている場合には、その処置をしてください。</li> <li>• コントロールパネルを操作中の場合は、操作を完了してください。</li> <li>• リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまで待ってください。</li> </ul> <p>それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-424 016-425	<p><b>【原因】</b> 節電モード中です。</p> <p><b>【処置】</b> 節電モードを解除してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-427	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なります。</p> <p><b>【処置】</b> Ethernet2 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。</p>
016-428	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。</p> <p><b>【処置】</b> Ethernet2 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。</p>
016-429	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 で、認証接続がタイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機のEthernet2 と物理的ネット接続されている認証サーバーのスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-430	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側の設定ルート証明書が一致しませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet2 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] のチェックマークを外してください。</p>
016-431	<p><b>【原因】</b> 内部エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-432	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側の SSL クライアント証明書にエラーがありました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。</li> <li>2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAPTLS」以外のものを選択する。</li> </ol>
016-453	<p><b>【原因】</b> DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。</p>
016-454	<p><b>【原因】</b> DNS から、IP アドレスを取得できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> DNS の設定と IP アドレスの取得方法の設定を確認してください。</p>
016-455	<p><b>【原因】</b> SNTP サーバーへの接続がタイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> ネットワークケーブルが正しく接続されているか、SNTP サーバーの IP アドレスが合っているかを確認してください。</p>
016-456	<p><b>【原因】</b> SNTP サーバーから、標準時同期源と同期していないというメッセージを受けました。</p> <p><b>【処置】</b> SNTP サーバーの設定を確認してください。</p>
016-500 016-501	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-503	<p><b>【原因】</b> メール送信時に SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> CentreWare Internet Services から SMTP サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。</p>
016-504	<p><b>【原因】</b> メール送信時に POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> CentreWare Internet Services から POP3 サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。</p>
016-505	<p><b>【原因】</b> メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-506	<p><b>【原因】</b> 本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度、ジョブを実行してください。それでも同じエラーが発生する場合は、以下のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 不要なイメージログを削除する</li> <li>• イメージログの [作成保証レベル] を [低] に変更する</li> </ul> <p>この場合、作成されたイメージログの内容は保障されません。</p>
016-507 016-508	<p><b>【原因】</b> イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーへのイメージログの転送に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定するか、仕様設定の [イメージログ転送] の [転送機能] を [使用しない] に変更してください。</p>
016-509 016-510	<p><b>【原因】</b> イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーから本機へのイメージログの転送ルールが設定されていないため、イメージログの転送に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定してください。</p>
016-511 016-512	<p><b>【原因】</b> イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーから本機へのイメージログの転送ルールが正しく設定されていないため、イメージログの転送に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを確認してください。</p>
016-513	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーとの接続でエラーが発生しました。次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. SMTP サーバー、またはネットワークに負荷がかかっています。</li> <li>2. SMTP 送信ポート番号が正しくありません。</li> </ol> <p><b>【処置】</b> 1. については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。</p> <p>2. については、SMTP 送信ポート番号が正しく設定されているか確認してください。</p>
016-514	<p><b>【原因】</b> XPS 文書の処理中にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> XPS 対応ドライバーからの印刷でエラーが発生した場合には、アプリケーションから他のプリンタードライバー (ART EX、PCL など) を使用して印刷してください。</p> <p>XPS 文書をダイレクトプリント (ContentsBridge Utility、E メールプリント、文書プリントなど) した際にエラーが発生した場合には、XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ART EX、PCL など) を使用して印刷してください。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。</li> </ul>
016-515	<p><b>【原因】</b> XPS 文書の処理中にメモリーが不足しました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンタードライバーの [印刷モード] を [標準] にする</li> <li>• メモリーを増設する</li> <li>• XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ARTEX、PCL など) を使用して印刷する</li> </ul> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
016-516	<p><b>【原因】</b> XPS 文書内に含まれる PrintTicket に、不正な記述や、本機で対応していない印刷設定が含まれています。</p> <p><b>【処置】</b> プリントジョブを送信したアプリケーションの使用方法、印刷指示内容に問題がないかをご確認ください。</p> <p>問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーションを作成した会社に、アプリケーションの動作を確認してください。</p> <p>それでも解決しない場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。</li> </ul>
016-517	<p><b>【原因】</b> PostScript ファイルに記述されている内容に誤りがあります。</p> <p><b>【処置】</b> PostScript ドライバーでプリントしてください。または、PostScript ファイルに記述されている ProcessColorModel でカラーモードの切り替えをしないように変更してください。</p>
016-518	<p><b>【原因】</b> PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark を同時に指定しました。</p> <p><b>【処置】</b> PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark/UUID の指定は混在できません。どちらか一方を解除してください。</p>
016-519	<p><b>【原因】</b> 設定しておいた印字可能な面数に達したため、終了しました。</p> <p><b>【処置】</b> 機械管理者に相談して、印字可能な面数の制限値を変更してください。</p>
016-522	<p><b>【原因】</b> LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL クライアント証明書が取得できません。</p> <p><b>【処置】</b> LDAP サーバーから SSL クライアント証明書が要求されています。本機に SSL クライアント証明書を設定してください。</p>
016-523	<p><b>【原因】</b> LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。</p> <p><b>【処置】</b> 本機が LDAP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。LDAP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。</p>
016-524	<p><b>【原因】</b> LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。</p> <p><b>【処置】</b> LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>
016-525	<p><b>【原因】</b> LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。</p> <p><b>【処置】</b> LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>
016-526	<p><b>【原因】</b> LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。</p> <p><b>【処置】</b> 本機に設定してある LDAP サーバーのアドレスと LDAP サーバーの SSL 証明書に記載されているアドレスが一致するようにしてください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-527	<p><b>【原因】</b> LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL 認証内部エラーです。</p> <p><b>【処置】</b> ソフトウェアにエラーが発生しました。お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-533	<p><b>【原因】</b> Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。</p> <p><b>【処置】</b> 本機と Kerberos サーバーの時計の時間差が、Kerberos サーバー側のクロックスキューの制限値を超えています。本機の時計または Kerberos サーバーの時計が正しく設定されているかを確認してください。</p> <p>このとき、本機と Kerberos サーバーの時刻だけでなく、サマータイムの設定やタイムゾーンの設定も同じであることを確認してください。</p>
016-534	<p><b>【原因】</b> Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。</p> <p><b>【処置】</b> 本機に設定してある認証先が Kerberos サーバーに存在しない、または設定してある Kerberos サーバーのアドレスでは接続できません。本機の Kerberos サーバーの設定にある、認証先名、およびサーバーのアドレスが正しいことを確認してください。Windows Server と接続する場合は、認証先名は大文字にしてください。</p>
016-539	<p><b>【原因】</b> Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。</p> <p><b>【処置】</b> ソフトウェアにエラーが発生しました。お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-543	<p><b>【原因】</b> 指定された認証先やドメインが、ApeosWare Management Suite 2 (別売) から削除されました。</p> <p><b>【処置】</b> [認証先] 画面にある [保存] を押して、認証先情報を更新するか、ApeosWare Management Suite 2 (別売) にドメインを追加してください。</p>
016-545	<p><b>【原因】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) とアクティブディレクトリーの時間が、アクティブディレクトリーで設定された Kerberos サーバーのクロックスキューの上限からずれています。</p> <p><b>【処置】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) をインストールしたコンピューターとアクティブディレクトリーのコンピューターの時間を合わせてください。ApeosWare Management Suite 2 (別売) がインストールされたコンピューターの Windows のタイムサービスが停止している場合は、サービスを起動してください。</p>
016-546	<p><b>【原因】</b> 一般ユーザーが自分以外のユーザー情報を取得しようとした。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-548	<p><b>【原因】</b> 本機が ApeosWare Management Suite 2 (別売) に登録されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 本機を ApeosWare Management Suite 2 (別売) に登録してください。</p>
016-553	<p><b>【原因】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) が本機のインターフェイスのバージョンに対応していません。</p> <p><b>【処置】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) のバージョンを上げる必要があります。本機が、上げたバージョンに対応している商品であることを確認してください。</p>
016-554	<p><b>【原因】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名、または照会用パスワードが不正です。</p> <p><b>【処置】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名と照会用パスワードを正しく設定してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-555	<p><b>【原因】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) がデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できずにタイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) からデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できることを確認してください。</p>
016-556	<p><b>【原因】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) が接続するデータベースに負荷がかかりすぎているため、タイムアウトエラーになりました。</p> <p><b>【処置】</b> サービスに負荷がかかりすぎているので、時間をおいて、再度認証を実施してください。</p> <p>それでも改善されないときは、ApeosWare Management Suite 2 (別売) を確認してください。</p>
016-557	<p><b>【原因】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) の内部エラーです。</p> <p><b>【処置】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) を確認してください。</p>
016-558	<p><b>【原因】</b> 本機が ApeosWare Management Suite 2 (別売) から不明なエラーを受信しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-560	<p><b>【原因】</b> 本機と ApeosWare Management Suite 2 (別売) 間で通信エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> ネットワークケーブルの抜けや、ApeosWare Management Suite 2 (別売) の設定を確認してください。また、機能設定リストを出力して、「サーバー名 / IP アドレス」にサーバーの DNS アドレスが設定されている場合は、DNS が有効になっていることを確認してください。</p>
016-562	<p><b>【原因】</b> アクティブディレクトリーまたは ApeosWare Management Suite 2 (別売) の一時ユーザー用データベースに、同じ IC カードの情報を持つエントリーが複数見つかりました。</p> <p><b>【処置】</b> アクティブディレクトリーまたは ApeosWare Management Suite 2 (別売) の一時ユーザーエントリーを、同じ IC カード情報を持たないように修正してください。</p>
016-565	<p><b>【原因】</b> バックアップに失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> USB メモリーが正しく挿入されているかを確認してください。</p>
016-566	<p><b>【原因】</b> バックアップまたはリストアに失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> バックアップの場合には、USB メモリーの dwld フォルダにダウンロードファイルを格納して USB メモリーを挿入してください。リストアの場合には、ソフトウェアのバージョンがバックアップ時と同じかを確認してください。また、バックアップファイルが本機で作成されたものであるかを確認してください。</p>
016-567	<p><b>【原因】</b> バックアップ先の容量不足、またはバックアップ時のデータ暗号化用メモリ不足です。</p> <p><b>【処置】</b> バックアップファイル、その他不要なファイルを削除して容量を増やしてください。</p>
016-568	<p><b>【原因】</b> HDD アクセスエラー、USB メモリーアクセスエラー、またはリストア時にバックアップファイルが壊れていた可能性があります。</p> <p><b>【処置】</b> バックアップファイルを削除してください。USB によるバックアップまたはリストアの場合には、USB メモリーが正しく挿入されていることを確認してください。問題が解決しない場合には、USB メモリーをコンピューターで初期化してみてください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-569	<p><b>【原因】</b> ApeosWare Management Suite 2 (別売) のエラーです。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-570	<p><b>【原因】</b> ジョブチケット用メモリの容量が不足しているため、プリントできませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> [設定] &gt; [アプリ設定] &gt; [プリンター設定] &gt; [ジョブチケット用メモリ] でジョブチケット用メモリの容量を大きくし、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、再度プリントしてください。</p>
016-571	<p><b>【原因】</b> ジョブチケットの内容が正しくないため、プリントできませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> プリント設定に不整合がないかどうかを確認し、設定を修正して、再度プリントしてください。</p>
016-572	<p><b>【原因】</b> ジョブチケットで指定された用紙属性が、本機で使用できない用紙 (サイズ、紙質、紙色) になっているため、プリントできませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> プリント時に指定した用紙が本機で使用できる用紙かどうかを確認してください。</p>
016-573	<p><b>【原因】</b> ジョブチケットの内容が正しくないため、プリントできませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> プリントを指示したコンピューターにプリンタードライバーが正しくインストールできているか、動作条件が整っているか、本機で使用できるドライバーかどうかを確認してください。</p>
016-700	<p><b>【原因】</b> プリンタードライバーで設定した、セキュリティープリント、または認証プリントの暗証番号が、本機に設定してある [蓄積時の暗証番号最小桁数] よりも桁数が少なかったため、処理を中断しました。</p> <p><b>【処置】</b> プリンタードライバーで設定する暗証番号を、本機に設定してある [蓄積時の暗証番号最小桁数] よりも大きな桁数に設定してください。</p>
016-701	<p><b>【原因】</b> メモリーが不足したため、ART EX のプリントデータを処理できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> プリンタードライバーで解像度を低くしたり、両面プリントやNアップをしないで、もう一度プリントを指示してください。</p>
016-702	<p><b>【原因】</b> プリントページバッファが不足したため、プリントデータを処理できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンタードライバーで [印刷モード] を [標準] にする</li> <li>• プリンタードライバーで [ページ印刷モード] を利用する (ART EX のみ)</li> <li>• プリントページバッファを増やす</li> <li>• メモリーを増設する</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
016-705	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本機に対して、スキャン文書の親展ボックス登録を指示したが、スキャナーキット*が装着されていない</li> <li>2. 本機用のプリンタードライバーを使用していない</li> <li>3. ストレージが装着されていない状態で、セキュリティープリント、ボックス保存プリント、認証プリント、プライベートプリントのどれかのジョブを受信した</li> </ol> <p>*：お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> 1. の場合： ホームボタンを押して、[ボックス保存]が表示されるかを確認してください。表示される場合は、スキャンした文書を親展ボックスに蓄積できるかを確認してください。 親展ボックスに蓄積できない場合は、スキャナーキットを装着してください。</p> <p>2. の場合： 本機用のプリンタードライバーを使用してください。</p> <p>3. の場合： 本機にストレージが装着されているか確認してください。 ストレージが装着されていない場合：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 機能を利用しない場合は、プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ &gt; [オプションの設定] の [ストレージ] を [なし] に設定する</li> <li>• 機能を利用する場合は、ストレージを装着する</li> </ul>           ストレージが装着されている場合：  <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ &gt; [オプションの設定] の [ストレージ] を [あり] に設定する</li> </ul>           それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。           <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> </p>
016-706	<p><b>【原因】</b> セキュリティープリントの最大ユーザー数を超えたため、ハードディスクの容量が不足しています。</p> <p><b>【処置】</b> 本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーを削除してください。</p>
016-707	<p><b>【原因】</b> ハードディスクが故障しているため、サンプルプリントができませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。           <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> </p>
016-708	<p><b>【原因】</b> ハードディスクの領域が不足しているため、アノテーションができませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。</p>
016-709	<p><b>【原因】</b> ART EX 処理でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度プリントを指示してください。</p>
016-710	<p><b>【原因】</b> ハードディスクが故障しているため、時刻指定プリント文書が登録できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。           <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> </p>

エラーコード	原因 / 処置
016-715	<p><b>【原因】</b> ESCP フォーム用のパスワードが一致しないため、ESCP フォームにアクセスできませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> ESCP フォーム用の正しいパスワードを指定してください。</p>
016-716	<p><b>【原因】</b> 本機に蓄積できる容量を超えたため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 本機内に蓄積されている不要な文書や登録ユーザーを削除してください。</p> <p>ハードディスクがオプションの機種の場合は、ハードディスクを装着してください。ハードディスクの装着については、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-718	<p><b>【原因】</b> メモリーが不足したため、PCL プリントデータを処理できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 解像度を低くしたり、両面プリントや N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。</p>
016-719	<p><b>【原因】</b> プリントページバッファが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> プリントページバッファを増やしてください。</p>
016-720	<p><b>【原因】</b> PCL のプリントデータに処理できないコマンドが含まれています。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。</p>
016-721	<p><b>【原因】</b> プリント処理中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [設定] &gt; [用紙トレイ] &gt; [サイズ / 用紙種類 / 属性設定] &gt; [共通設定] がすべての用紙で [自動トレイ選択しない] に設定されているときに、自動トレイ選択でプリントを指示している</li> <li>2. ESC/P のコマンドエラー</li> </ol> <p><b>【処置】</b> 1. については、自動トレイ選択でプリントする場合は、[共通設定] で、用紙のどれかを [自動トレイ選択しない] 以外に設定してください。</p> <p>2. については、プリントデータを確認してください。</p>
016-726	<p><b>【原因】</b> プリントモード指定が [自動] の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。</p> <p>次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Adobe® PostScript® 3™* が装着されていない状態で、PostScript データを送信した</li> <li>2. エミュレーションキット* が装着されていない場合に、プリントモード指定を [自動] で、HP-GL/2、201H、PCL のデータを送信した</li> </ol> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> 1. については、Adobe® PostScript® 3™ の装着が必要です。</p> <p>2. については、エミュレーションキットの装着が必要です。</p>
016-728	<p><b>【原因】</b> TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認してください。</p>
016-729	<p><b>【原因】</b> TIFF ファイルの色数 / 解像度が有効範囲の上限を超えているためプリントできませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> TIFF ファイルの色数 / 解像度を変更して、もう一度プリントデータを指示してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-730	<p><b>【原因】</b> ART IV でサポートされていないコマンドを検知しました。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度プリントを指示してください。</p>
016-731	<p><b>【原因】</b> TIFF データが途切れてプリントできませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度プリントを指示してください。</p>
016-732	<p><b>【原因】</b> エミュレーションで指定したフォームが、ホスト側に登録されていませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> フォームデータを再送してください。</p>
016-738	<p><b>【原因】</b> PostScript* で製本を指定したが、出力できない用紙サイズが設定されています。</p> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> 製本が可能な用紙サイズを指定して、もう一度プリントを指示してください。</p>
016-739	<p><b>【原因】</b> PostScript* で製本を指定したが、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせが合っていないです。</p> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> 製本が可能な原稿サイズと用紙サイズの組み合わせを指定して、もう一度プリントを指示してください。</p>
016-740	<p><b>【原因】</b> PostScript* で製本を指定したが、製本ができない用紙トレイが設定されています。</p> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> 製本が可能な用紙トレイを指定して、もう一度プリントを指示してください。</p>
016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	<p><b>【原因】</b> 本体の更新処理にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-746	<p><b>【原因】</b> 受信した PDF には、サポートしていない機能が含まれています。</p> <p><b>【処置】</b> プリンタードライバーを使用してプリントしてください。</p>
016-747	<p><b>【原因】</b> コピーの画像繰り返し機能とアノテーション機能を同時に使用しているときに、メモリー不足が発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アノテーションのイメージのサイズを大きくする</li> <li>• 画像繰り返しの回数指定を少なくする</li> <li>• メモリーを増設する（オプションに増設メモリーがある機種のみ）</li> </ul>
016-748	<p><b>【原因】</b> ハードディスクの領域が不足しているため、プリントできません。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを分割する、複数部プリントしている場合は 1 部ずつプリントするなど、プリントデータのページ数を少なくしてください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-749	<p><b>【原因】</b> 1. プリントジョブで発生する場合： プリンタードライバーから受信したプリント言語が、本機で印刷できないプリント言語でした。</p> <p>2. インターネットファクス受信文書をプリントするときに発生する場合： 相手機からインターネットファクス送信されてきた文書が、本機で印刷できないプリント言語でした。</p> <p><b>【処置】</b> 1. については、本機用のプリンタードライバーを使用して印刷してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> <p>2. については、インターネットファクス送信側に本機で印刷可能なプリント言語で送信するように依頼してください。</p> <p><b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PostScript など印刷するプリント言語によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</li> </ul>
016-750	<p><b>【原因】</b> 「ContentsBridge Utility」など、ファイルを直接送信して印刷するアプリケーションを使用している場合、PDF、XPS、DocuWorks とともに送信されるプリントジョブチケットを本機が受信しましたが、プリントジョブチケットデータが本機で対応していない文法、または本機で対応していない印刷指示内容でした。</p> <p><b>【処置】</b> 「ContentsBridge」など、プリントジョブを送信しているアプリケーションの使用方法、印刷指示内容に問題がないかをご確認ください。</p> <p>問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーション作成会社にアプリケーションの動作を確認してください。</p> <p>それでも解決しない場合は、機能設定リスト（共通項目）、ジョブ履歴レポート、および送信しているプリントジョブチケット付きのプリントデータを取得の上、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> <p><b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。</li> </ul>
016-751	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、PDF ファイルの破損が発生しました。</li> <li>2. PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定しているときに、メモリー不足が発生しました。</li> <li>3. PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定して、OpenType フォントが含まれている PDF を処理しました。</li> </ol> <p><b>【処置】</b> 1. については、プリンタードライバーを使用してプリントしてください。</p> <p>2. については、次のどれかの方法で対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンタードライバーを使用してプリントする</li> <li>• PostScript 使用メモリーを増やす</li> </ul> <p>3. については、OpenType フォントを含まない PDF を作成してください。</p>
016-752	<p><b>【原因】</b> メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 印刷モードが「高画質」になっている場合は「標準」に、「標準」の場合は「高速」に変更してください。または、メモリーを増設してください。</p>
016-753	<p><b>【原因】</b> パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-755	<p><b>【原因】</b> 印刷禁止指定された PDF ファイルを処理しようとした。</p> <p><b>【処置】</b> Adobe Acrobat® を使用して、印刷禁止指定を解除して再プリントしてください。</p>
016-756	<p><b>【原因】</b> サービスの利用が許可されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 機械管理者に確認してください。</p>
016-757	<p><b>【原因】</b> アカウント情報が間違っています。</p> <p><b>【処置】</b> 入力したアカウント情報、または登録されているアカウント情報を確認して、再度やり直して下さい。</p>
016-758	<p><b>【原因】</b> サービスを利用できる部門として登録されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 集計管理者にご相談ください。</p>
016-759	<p><b>【原因】</b> サービスを利用できる上限ページ数に達しました。</p> <p><b>【処置】</b> 集計管理者にご相談ください。</p>
016-760	<p><b>【原因】</b> PostScript* の処理中にエラーが発生しました。</p> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンタードライバーで [印刷モード] を [標準] にする</li> <li>• PostScript 使用メモリーを増やす</li> </ul>
016-761	<p><b>【原因】</b> イメージ処理中にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機用のプリンタードライバーで、[印刷モード] を [標準] にして、もう一度プリントを指示してください。それでもプリントできない場合は、ページ印刷モードでプリントしてください。</p>
016-762	<p><b>【原因】</b> 実装されていないプリント言語が指定されました。</p> <p><b>【処置】</b> [ポート設定] で、使用するポートのプリントモードに正しいプリント言語を指定してください。</p>
016-790	<p><b>【原因】</b> メールの分割送信時に、分割数の上限を超えたため送信できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [画質 / ファイルサイズ] で、ファイルサイズを小さくする</li> <li>• [分割送信時の分割数上限] を大きな値に変更する</li> </ul>
016-792	<p><b>【原因】</b> 「ジョブ別集計レポート」をプリントする場合に、指定したジョブの履歴が取得できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 指定されたジョブの履歴は存在しません。</p>
016-794	<p><b>【原因】</b> メディアが正しく挿入されていません。</p> <p><b>【処置】</b> メディアが正しく挿入されているか確認してください。</p>
016-795 016-796 016-797	<p><b>【原因】</b> メディア内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> コンピューターで、メディアに記録されている内容を確認してください。</p>
016-798	<p><b>【原因】</b> ハードディスクが取り付けられていないため、指定されたプリントはできません。</p> <p><b>【処置】</b> ハードディスクの装着が必要です。ハードディスクの装着については、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
016-799	<p><b>【原因】</b> アプリケーション側のプリントデータそのものに不正なパラメーターが含まれている、もしくはプリントデータと印刷設定に不整合が生じている可能性があります。</p> <p><b>【処置】</b> アプリケーション側のプリントデータと印刷設定を確認し、もう一度プリントを指示してください。</p>
016-438	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> ネットワークケーブルが抜けていないか、シスログサーバが停止していないか、本機とシスログサーバ間の接続状況を確認してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-441	<p><b>【原因】</b> 画質調整中です。</p> <p><b>【処置】</b> 操作は必要ありません。しばらくお待ちください。</p>
016-442	<p><b>【原因】</b> 自動メンテナンス中です。</p> <p><b>【処置】</b> 操作は必要ありません。しばらくお待ちください。</p>
016-443	<p><b>【原因】</b> 結露が発生している可能性があります。</p> <p><b>【処置】</b> 表示されたメッセージに従って、操作を行ってください。</p>
016-384	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
016-613	<p><b>【原因】</b> 不正なアクセスを検知しました。</p> <p><b>【処置】</b> システム管理者に連絡し、監査ログで不正なアクセスが発生した時間を確認してください。</p> <p>ネットワークケーブルを外してから本機を再起動し、正常に起動することを確認してください。</p> <p>正常に起動しない場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "017-001" - "017-999"

エラーコード	原因 / 処置
017-501	<p><b>【原因】</b> プリントが許可されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 機械管理者に相談して、権限を変更してください。</p>
017-503	<p><b>【原因】</b> プリントジョブの暗証番号が最大桁数を超過しています。</p> <p><b>【処置】</b> プリントジョブの暗証番号の桁数を減らして、もう一度操作を実行してください。</p>
017-530	<p><b>【原因】</b> 選択されているネットワークインターフェイスで、指定した転送プロトコルが使用できないため、文書が転送されませんでした。</p> <p><b>【処置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 指定した転送プロトコルが正しいことを確認してください。</li> <li>• アクセスしようとしている親展ボックスが正しいことを確認してください。</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
017-538	<p><b>【原因】</b> Azure Active Directory から取得したアクセストークン、リフレッシュトークン、あるいは ID トークンのいずれかが、デバイス内で保持している領域のサイズをオーバーしているため、認証エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> Azure Active Directory のディレクトリ管理者にお問合せください。</p>
017-539	<p><b>【原因】</b> ユーザが入力した認証情報あるいは選択したドメインが誤っているため、Azure Active Directory 認証エラーで認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 入力情報を再確認してください。問題が解消しない場合は、機械管理者あるいは Azure Active Directory のディレクトリ管理者にお問合せください。</p>
017-540	<p><b>【原因】</b> ユーザが選択したドメインが誤っているため、Azure Active Directory 認証エラーで認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 別のドメインを選択するか、機械管理者にお問合せください。</p>
017-541	<p><b>【原因】</b> 複合機の Azure Active Directory 設定が誤っているため、Azure Active Directory 認証エラーで認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 機械管理者にお問合せください。</p>
017-542	<p><b>【原因】</b> Azure Active Directory あるいは Microsoft Graph への接続に失敗したため、Azure Active Directory 認証エラーで認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> ネットワーク管理者または機械管理者にお問合せください。</p>
017-543	<p><b>【原因】</b> Azure Active Directory 認証エラーで認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 機械管理者にお問合せください。</p>
017-544	<p><b>【原因】</b> Azure Active Directory と複合機の間でユーザー情報の不整合が発生し、認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 機械管理者が CWIS で「不整合ユーザーの削除可否」を " 削除可 " に設定した上で、本現象発生時と同一ユーザーで再度複合機にログインをお試しいただくと、ユーザー情報を削除するかどうかを確認するダイアログが表示されます。そこでユーザー情報を削除してください。その後、同ユーザーで改めてログインが可能となります。</p> <p>(Azure Active Directory 側の操作は不要です)</p>
017-700	<p><b>【原因】</b> ThinPrint .print Engine との接続がタイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。</p>
017-701	<p><b>【原因】</b> ThinPrint .print Engine との接続でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。</p>
017-702	<p><b>【原因】</b> ThinPrint .print Engine から送信されたデータが不正です。</p> <p><b>【処置】</b> ThinPrint .print Engine のエラーの可能性がります。再度印刷処理を行うと成功する場合があります。</p>
017-703	<p><b>【原因】</b> ThinPrint .print Engine から送信された印刷データが本機で扱える最大サイズを超えました。</p> <p><b>【処置】</b> ジョブを分割して、再度印刷処理をやり直してください。</p>
017-704	<p><b>【原因】</b> 内部エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 電源を入れ直して、もう一度送信してください。</p>
017-705 017-706 017-707 017-708	<p><b>【原因】</b> ThinPrint .print Engine の SSL 認証エラーです。</p> <p><b>【処置】</b> ThinPrint .print Engine に登録しているサーバー証明書の内容（有効期限、アドレスなど）を確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
017-709	<p><b>【原因】</b> ThinPrint .print Engine との SSL 通信エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の設定を確認してください。</p>
017-713	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーが [STARTTLS 接続] に対応していません。</p> <p><b>【処置】</b> SSL/TLS 通信の設定を [STARTTLS 接続] 以外に変更してください。</p>
017-714	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーとの SSL 接続に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> SMTP サーバーが SSL 接続に対応しているか確認ください。対応している場合、SMTP サーバーのポート番号を確認してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
017-715	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーの SSL サーバー認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。</p> <p><b>【処置】</b> 本機が SMTP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。SMTP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。</p>
017-716	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期間より前のものです。</p> <p><b>【処置】</b> SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>
017-717	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。</p> <p><b>【処置】</b> SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>
017-718	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。</p> <p><b>【処置】</b> SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>
017-719	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL 認証内部エラーです。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度、同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
017-723	<p><b>【原因】</b> DocuWorks ダイレクトプリントに対応していない文字が使用されています。</p> <p><b>【処置】</b> DocuWorks Viewer からプリンタードライバー (ART-EX など) を使用して印刷してください。</p>
017-724	<p><b>【原因】</b> Denshi-Pen からのプリント指示でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの機種が Denshi-Pen に対応しているかを確認してください。Denshi-Pen に対応している場合は、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
017-725	<p><b>【原因】</b> 強制アノテーションを印字する設定にしているときに、プリント指示でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 強制アノテーションのテンプレート名が正しくありません。 もう一度、本機に登録されている強制アノテーションのテンプレート名をご確認ください。</p>
017-731	<p><b>【原因】</b> POP サーバーとの接続に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 次の項目を確認してください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機に設定した、POP サーバーの IP アドレスが正しく設定されているか</li> <li>• ネットワークケーブルが接続されているか</li> </ul> </p>
017-734	<p><b>【原因】</b> AirPrint/Mopria® 等の処理中に、内部エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> IPP からのプリント以外の弊社製プリンタードライバーやソフトウェアを使用した別な手段で、もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> </p>
017-735	<p><b>【原因】</b> デバイスの利用が禁止されています。</p> <p><b>【処置】</b> 機械管理者に相談してください。</p>
017-755	<p><b>【原因】</b> ソフトウェアダウンロードに失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> CentreWare Internet Services の [システム] &gt; [ソフトウェアバージョンアップ設定] &gt; [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] で、[許可] が選択されているかを確認してください。</p>
017-756	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本体の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善しないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> </p>
017-759	<p><b>【原因】</b> 本機のファームウェアを更新中にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> </p>
017-760	<p><b>【原因】</b> POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。 次の原因が考えられます。  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. TLS 通信で POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。</li> <li>2. それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。</li> </ol> <p><b>【処置】</b> 1. については、POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 2. については、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> </p> </p>
017-761	<p><b>【原因】</b> POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機に正しい POP3 サーバーのサーバー証明書を登録してください。</p>
017-762	<p><b>【原因】</b> 有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。</p> <p><b>【処置】</b> POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
017-763	<p><b>【原因】</b> 有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。</p> <p><b>【処置】</b> POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。</p>
017-764	<p><b>【原因】</b> POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。</p> <p><b>【処置】</b> 正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。</p>
017-765	<p><b>【原因】</b> POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
017-766	<p><b>【原因】</b> POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。</p> <p>次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. TLS 通信で POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。</li> <li>2. それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。</li> </ol> <p><b>【処置】</b> 1. については、POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。</p> <p>2. については、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
017-767	<p><b>【原因】</b> POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機に POP3 サーバーの正しいサーバー証明書を登録してください。</p>
017-768	<p><b>【原因】</b> 有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。</p> <p><b>【処置】</b> POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。</p>
017-769	<p><b>【原因】</b> 有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。</p> <p><b>【処置】</b> POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。</p>
017-770	<p><b>【原因】</b> POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。</p> <p><b>【処置】</b> 正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。</p>
017-771	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
017-780	<p><b>【原因】</b> プリントジョブの追い越しを [許可] に設定した場合、追い越されたプリントジョブが一定時間を経過して自動解除されました。</p> <p><b>【処置】</b> 特に処置は必要ありません。追い越されたプリントジョブの自動解除設定が有効になっている場合にこの機能が働きます。</p> <p>運用上不都合がある場合は、[追い越されたジョブの自動解除] のチェックマークを外すか、自動解除までの時間を適切な値 (1 分～120 時間) に設定し直してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
017-537	<p><b>【原因】</b> セキュリティ設定によって利用を禁止されているプリント記述言語 (PDL) が使用されたためプリントを中止しました。</p> <p><b>【処置】</b> 1) 機械管理者にセキュリティ設定が適切に運用されているかを確認してください。</p> <p>2) 適切に運用されている場合は制限されていないプリント手段 (プリンタードライバ ART-EX/PCLXL/PostScript など) を使用してください。</p>
017-531 017-532 017-533 017-534 017-535	<p><b>【原因】</b> 本体の更新処理にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
017-546	<p><b>【原因】</b> ジョブが実行できません。</p> <p><b>【処置】</b> 機械管理者が CentreWare Internet Services を使用し、[システム] &gt; [初期設定] &gt; [PJL ファイルシステムコマンド] が [禁止] になっているかを確認してください。</p>

## "018-001" - "020-999"

エラーコード	原因 / 処置
018-400	<p><b>【原因】</b> IPsec が有効になっているが、IPsec 設定に不整合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [IKE 認証方式] に [事前共有鍵] が設定されているがパスワード設定されていない</li> <li>• [IKE 認証方式] に [デジタル署名による認証] が設定されているが IPsec 証明書が設定されていない</li> </ul> <p><b>【処置】</b> IPsec 設定の不整合を解消して、再度 IPsec を有効にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [IKE 認証方式] に [事前共有鍵] が設定されている場合、パスワードを設定する</li> <li>• [IKE 認証方式] に [デジタル署名による認証] が設定されている場合、IPsec 証明書を設定する</li> </ul>
018-405	<p><b>【原因】</b> LDAP 認証エラーで認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 認証先のアクティブディレクトリーでアカウントが無効に設定されています。または、サーバー側でアクセス禁止の設定になっています。サーバー管理者にお問い合わせください。</p>
018-406	<p><b>【原因】</b> 各 IF を独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv4 アドレスが設定されたことを検知しました。</p> <p><b>【処置】</b> 各 IF に別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
018-407	<p><b>【原因】</b> 各 IF を独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv6 アドレスが設定されたことを検知しました。</p> <p><b>【処置】</b> 各 IF に別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
018-408	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> Ethernet2 側の IPv4 アドレスを変更して IP アドレスの重複を解消してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
018-409	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-410	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。</p>
018-411	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。</p>
018-412 018-413	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-414	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。</p> <p><b>【処置】</b> 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。</p>
018-415	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。</p> <p><b>【処置】</b> 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-416	<p><b>【原因】</b> Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-424	<p><b>【原因】</b> WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が本機に登録されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 本機に WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。</p> <p>WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。</p>
018-425	<p><b>【原因】</b> WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が不正です。</p> <p><b>【処置】</b> 証明書の内容を確認して、本機に有効な WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。</p> <p>WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。</p>
018-426	<p><b>【原因】</b> WPA-Enterprise 認証のサーバー証明書が不正です。</p> <p><b>【処置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバー証明書の内容（有効期限、証明書の形式、署名アルゴリズムなど）を確認してください。</li> <li>• 有効なサーバー証明書を入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。</li> </ul>
018-427	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi IP アドレスと Wi-Fi Direct IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> Wi-Fi Direct DHCP サーバーの IP アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-428	<p><b>【原因】</b> 無線 LAN モジュールが正しく接続されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、無線 LAN モジュールが取り付けられていることを確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
018-429	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。</p>
018-430	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi Direct 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。</p>
018-431	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 1 または DHCPv6 自動設定アドレス）が重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-432	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 2）が重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-433	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 3）が重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-434	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。</p> <p><b>【処置】</b> 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。</p>
018-435	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-436	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（リンクローカルアドレス）が重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-439	<p><b>【原因】</b> [通信モード] が [Ad-hoc] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。</p> <p><b>【処置】</b> [通信モード] を [Infrastructure] に変更してください。</p>
018-440	<p><b>【原因】</b> [IP 動作モード] が [IPv6 モード] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。</p> <p><b>【処置】</b> [IP 動作モード] を [デュアルスタック] または [IPv4 モード] に変更してください。</p>
018-441	<p><b>【原因】</b> [動作周波数帯] が [5GHz] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。</p> <p><b>【処置】</b> [動作周波数帯] を [自動] または [2.4GHz] に変更してください。</p>
018-443	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。</p>
018-444	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
018-500	<p><b>【原因】</b> 認証サーバーに証明書がありません。</p> <p><b>【処置】</b> サーバー証明書を設定してください。または、認証機能を解除してください。</p>
018-501	<p><b>【原因】</b> 本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> ネットワーク接続および CA 認証サーバーのアドレスを確認してください。</p>
018-503 018-504	<p><b>【原因】</b> 本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度、認証操作を行ってください。</p>
018-506	<p><b>【原因】</b> 本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度、認証操作を行ってください。</p>
018-507	<p><b>【原因】</b> 入力されたユーザー名またはパスワードが正しくないため、認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。</p>
018-508	<p><b>【原因】</b> 認証中にサーバーエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 認証サーバーの状態を確認してください。</p>
018-533	<p><b>【原因】</b> 不正な形式のメールを受信しました。</p> <p><b>【処置】</b> メールは破棄されました。POP3 からメールを受信した場合、POP サーバーにそのメールが残っている可能性があるため、コンピューターのメールクライアントなどでメールを受信するか、削除してください。</p>
018-595	<p><b>【原因】</b> LDAP サーバーのデータベース上に、現在使用中の IC カードと同じ情報を持つエントリーが複数見つかりました。</p> <p><b>【処置】</b> LDAP サーバーのデータベース上に、ユーザーのエントリーが同じ IC カード情報を持たないように修正してください。</p>
018-596	<p><b>【原因】</b> LDAP サーバーの認証でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を実施してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
018-700	<p><b>【原因】</b> 外部認証時にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> しばらくしてから、もう一度同じ操作を実施してください。</p>
018-709	<p><b>【原因】</b> 外部アクセス中に、エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 環境に応じて、次のどれかの方法で処置してください。</p> <p>IPv4 環境の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機の IPv4 アドレスを確認する</li> <li>• ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する</li> <li>• DHCP サーバーのアドレスを確認する</li> </ul> <p>IPv6 環境の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機の IPv6 アドレスに IPv6 ルーターから配布されるグローバルアドレスが割り当てられているか確認する</li> <li>• ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する</li> <li>• IPv6 ルーターが正しく設定されているか確認する</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
018-715	<p><b>【原因】</b> Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。Kerberos サーバーに、本機で利用できる認証方式と一致するものがない、または本機に、Kerberos サーバーで利用できる認証方式と一致するものはありません。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Kerberos サーバーの認証方式を設定しなおしてください。</li> <li>2. 本機の FIPS 認証モードを解除してください。</li> </ol> <p>それでも状態が改善されない場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
018-725	<p><b>【原因】</b> Kerberos サーバーに設定されたユーザーのパスワードの使用期限が切れています。</p> <p><b>【処置】</b> パスワードの使用期限を延長してください。</p>
018-726	<p><b>【原因】</b> IC カード内の上位の CA 証明書が本機に登録されていません。</p> <p><b>【処置】</b> IC カード内の上位の CA 証明書を本機に登録してください。</p>
018-727	<p><b>【原因】</b> Kerberos サーバーに認証されませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> IC カード内の証明書を確認し、無効または失効している場合は、証明書を更新してください。また、サーバー側で使用禁止となっていないか確認してください。</p>
018-728	<p><b>【原因】</b> Kerberos サーバーに認証されませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• KDC証明書のルートCA証明書が登録されていない場合は、ルートCA証明書を登録する</li> <li>• KDC 証明書が失効している場合は、サーバーの KDC 側の証明書を更新する</li> <li>• 本機に設定した Kerberos サーバーのアドレスと、Kerberos サーバーの KDC 証明書に記載されたアドレスが一致していることを確認する</li> </ul>
018-731	<p><b>【原因】</b> ハードディスクの容量が不足しているため、ジョブを中止しました。</p> <p><b>【処置】</b> ハードディスクの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。処理中のジョブはすべて実行してから、もう一度操作してください。</p>
018-737	<p><b>【原因】</b> 内部エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
018-739	<p><b>【原因】</b> 内部エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
018-741	<p><b>【原因】</b> 内部エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
018-534	<p><b>【原因】</b> LDAP サーバーのデータベースから取得した認証用ユーザー名の属性または IC カード認証に使用する属性が、32 文字を超えました。</p> <p><b>【処置】</b> LDAP サーバーのデータベース上に定義されている、認証用ユーザー名の属性値または IC カード認証に使用する属性値が、32 文字を超えないよう修正してください。</p>

## "021-001" - "022-999"

エラーコード	原因 / 処置
021-210 021-211 021-212	<p><b>【原因】</b> IC カードリーダーにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> IC カードリーダーの接続を確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、IC カードリーダーが故障している可能性があります。壊れていないICカードリーダーを取り付けて、もう一度電源を入れなおしてください。</p>
021-213	<p><b>【原因】</b> インターネットを使用する関連商品の単価テーブルの設定に問題があります。</p> <p><b>【処置】</b> 機械管理者が CentreWare Internet Services を使用し、単価テーブルを読み出して、修正してください。1 ~ 9,999,999 の範囲で任意の値を設定して、書き込みを行ってください。</p>
021-214	<p><b>【原因】</b> USB メモリーとの暗号通信中にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
021-360 021-361	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
021-401	<p><b>【原因】</b> 設定した数より多い IC カードリーダーなどの認証機器が差し込まれました。</p> <p><b>【処置】</b> 差し込んだ認証機器を抜いてください。</p>
021-700	<p><b>【原因】</b> USB ケーブルが外れているか、USB インターフェイスが壊れている可能性があります。</p> <p><b>【処置】</b> USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
021-701	<p><b>【原因】</b> USB インターフェイスにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> しばらく待ってから、もう一度操作するか、USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
021-731	<p><b>【原因】</b> 関連商品を使用しているとき、カラーの利用が制限されている状態でカラーコピーをしようとした。</p> <p><b>【処置】</b> カラーの使用を許可するか、利用制限されていないカードを挿入してください。</p>
021-732	<p><b>【原因】</b> カード抜け、料金不足（電子マネーを含む）または、度数不足になっています。あるいは認証されていません。</p> <p><b>【処置】</b> カードを挿入または料金（電子マネー）を入れて、料金 / 度数の不足がないようにしてください。または認証（例えばICカードかパネルにより）してください。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• エラーコードが表示されたときは、本機内に残っているプリントデータや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
021-733	<p><b>【原因】</b> カラーの利用が禁止されているか、カラー枚数の上限値に達しています。</p> <p><b>【処置】</b> カラーの利用を許可するか、上限値に達していないカードを使用してください。</p>

## "023-001" - "025-999"

エラーコード	原因 / 処置
023-500	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
024-312	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
024-313 024-314 024-315	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
024-321	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
024-322 024-323 024-324	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
024-367 024-370 024-371 024-372 024-373 024-375 024-376	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
024-700	<p><b>【原因】</b> オプション機能を利用するために必要なメモリー容量、またはストレージが装着されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
024-702	<p><b>【原因】</b> [プリンター設定] で [紙づまり発生時のプリント処理] を [プリントを中止する] に設定しているときに、紙づまりが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 詰まった用紙を取り除いて、もう一度プリント指示をしてください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
024-704	<p><b>【原因】</b> Denshi-Pen からのプリント指示でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
024-705	<p><b>【原因】</b> 指定された強制アノテーションのテンプレートが本機内にありません。</p> <p><b>【処置】</b> 親展ボックスから文書を削除し、プリンタードライバーから [ボックス保存] を指定して、再度蓄積してください。</p>
024-706	<p><b>【原因】</b> [強制複製管理 - クライアントプリント] または [強制ペーパーセキュリティ] &gt; [クライアントプリント] が [する] に設定された状態で、Denshi-Pen から指示された文書を印刷しようとしてしました。</p> <p><b>【処置】</b> 仕様設定の [認証 / セキュリティ設定] で、[強制印字の一時解除] を [する] に設定してください。</p>
024-707	<p><b>【原因】</b> 用紙の種類が両面 / 反転印刷に対応していません。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙の種類を変更するか、片面プリントに変更してください。</p>
024-708	<p><b>【原因】</b> 用紙の種類が両面 / 反転印刷に対応していません。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙の種類を変更するか、おもて面プリントに変更してください。</p>
024-746	<p><b>【原因】</b> 指定した紙質と組み合わせできない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、排出トレイ、両面プリントのどれか）が指定されました。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認してください。</p>
024-747	<p><b>【原因】</b> プリンターパラメーターの組み合わせが不正です。原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。</p>
024-748	<p><b>【原因】</b> アノテーションで設定した [ページ桁数] と、[開始番号] で設定したページの桁数が合っていません。</p> <p><b>【処置】</b> [ページ桁数] に、[開始番号] で指定したページの桁数を設定するか、[自動] を選択してください。</p>

## "026-001" - "026-999"

エラーコード	原因 / 処置
026-704	<p><b>【原因】</b> DocuWorks 文書の処理中にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> DocuWorks Viewer からプリンタードライバー（ART EX、PCL など）を使用して印刷してください。</p>
026-705	<p><b>【原因】</b> メモリー容量が不足したため、DocuWorks 文書の処理ができません。</p> <p><b>【処置】</b> 印刷モードが「高画質」になっている場合には、「標準」に、「標準」の場合には「高速」に変更してください。それでも発生する場合には、メモリーを増設してください。</p> <p>最大まで増設しても発生する場合は、DocuWorks Viewer からプリンタードライバー（ART EX、PCL など）を使用して印刷してください。</p>
026-706	<p><b>【原因】</b> 印刷禁止指定された DocuWorks 文書を処理しようとしてしました。</p> <p><b>【処置】</b> DocuWorks Viewer を使用して印刷禁止指定を解除して、再プリントしてください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
026-707	<p><b>【原因】</b> パスワードで保護されている DocuWorks 文書进行处理する場合、パスワードが一致しませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。</p>
026-710	<p><b>【原因】</b> 本機が対応していない暗号方式で暗号化された S/MIME メールを受信しました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• メール送信者に暗号方式 (3DES) で暗号化したメールの送信を依頼してください。</li> <li>• 本機の FIPS140 認証モードを解除してください。</li> </ul>
026-718	<p><b>【原因】</b> プリントの指示で、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。</p>
026-723	<p><b>【原因】</b> USB 保存の操作中にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作中に、USB メモリーを抜いたり、別の USB メモリーに挿し替えたりしていないか</li> <li>• USB メモリー内のファイルが、コンピューターで開けるか</li> </ul>
026-730	<p><b>【原因】</b> 指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズが不明です。</p> <p><b>【処置】</b> 指定した用紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、再度ジョブを実行してください。</p>
026-404	<p><b>【原因】</b> トナーを調整しています。</p> <p><b>【処置】</b> 操作は必要ありません。しばらくお待ちください。</p>

## "027-001" - "032-999"

エラーコード	原因 / 処置
027-442 027-443 027-444	<p><b>【原因】</b> IPv6 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
027-445	<p><b>【原因】</b> 手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。</p> <p><b>【処置】</b> 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。</p>
027-446	<p><b>【原因】</b> 手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 本機 IPv6 の「IPv6- 手動設定 IP アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
027-447	<p><b>【原因】</b> IPv6 の IPv6 アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
027-452	<p><b>【原因】</b> IPv4 の IP アドレスが重複しています。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上の機器の IPv4 アドレスを変更してください。</p>
027-500	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーに接続できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> SMTP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
027-501	<p><b>【原因】</b> POP サーバーに接続できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> POP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。</p>
027-502	<p><b>【原因】</b> POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。</p>
027-701	<p><b>【原因】</b> 本機からネットワークケーブルが抜けています。</p> <p><b>【処置】</b> ネットワークケーブルが抜けていることを確認し、ケーブルを接続し直してください。</p>
027-710	<p><b>【原因】</b> 受信したメールに、S/MIME 証明書がありません。</p> <p><b>【処置】</b> 送信者に、S/MIME 証明書を添付してメールを送信するよう、連絡してください。</p>
027-711	<p><b>【原因】</b> 受信したメールから、送信者の S/MIME 証明書が取得できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、送信者が送信する S/MIME 署名メールに、S/MIME 証明書を添付してください。</p>
027-712	<p><b>【原因】</b> 受信したメールの S/MIME 証明書が、有効期限を過ぎているか、信頼できない証明書でした。</p> <p><b>【処置】</b> 送信者に、期限の有効な S/MIME 証明書を添付してメールを送信するように連絡してください。</p>
027-713	<p><b>【原因】</b> 受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。</p> <p><b>【処置】</b> 送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。</p>
027-714	<p><b>【原因】</b> 受信したメールの From フィールドと、S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていたため、受信したメールを破棄しました。</p> <p><b>【処置】</b> 送信者に、From フィールドと S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていることを連絡し、メールを再送信してもらってください。</p>
027-715	<p><b>【原因】</b> 受信したメールの S/MIME 証明書が、本機に登録されていないか、本機で使用するよう設定されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、すでに S/MIME 証明書が登録済みの場合は、本機で使用するよう設定してください。</p>
027-716	<p><b>【原因】</b> 受信したメールの S/MIME 証明書が信頼できないため、受信メールを破棄しました。</p> <p><b>【処置】</b> 送信者に信頼できる S/MIME 証明書を添付して送信するように連絡してください。</p>
027-720	<p><b>【原因】</b> アプリケーション連携先のサーバーが見つかりません。</p> <p><b>【処置】</b> DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。または、連携するアプリケーション (ApeosWare Management Suite 2 (別売)) がインストールされているコンピューターが、DNS 登録されているかを確認してください。</p>
027-721	<p><b>【原因】</b> アプリケーション連携先が存在しません。</p> <p><b>【処置】</b> 連携するアプリケーション (ApeosWare Management Suite 2 (別売)) が正しく動作しているかを確認してください。</p>
027-722	<p><b>【原因】</b> アプリケーション連携先との接続中に、タイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> ジョブフローを、もう一度実行してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
027-723	<p><b>【原因】</b> アプリケーション連携先（ApeosWare Management Suite 2（別売））の認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> ジョブフロー作成時に、入力するユーザー名、パスワードを確認してください。</p>
027-724	<p><b>【原因】</b> アプリケーション連携（ApeosWare Management Suite 2（別売））に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> ApeosWare Management Suite 2（別売）が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。</p>
027-725	<p><b>【原因】</b> アプリケーション連携でジョブ操作に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 連携するアプリケーション（ApeosWare Management Suite 2（別売））が正しく動作しているかを確認してください。動作している場合は、ログを確認してください。動作していない場合は、ネットワーク環境を確認してください。</p>
027-726	<p><b>【原因】</b> アプリケーション連携先（ApeosWare Management Suite 2（別売））のステータスが不明になりました。</p> <p><b>【処置】</b> ApeosWare Management Suite 2（別売）が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。</p>
027-727	<p><b>【原因】</b> アプリケーション連携でパラメーターが不正です。</p> <p><b>【処置】</b> ジョブフローを、もう一度実行してください。</p>
027-728	<p><b>【原因】</b> 外部サービスへの送信要求ファイル数が、送信可能最大数を超えました。</p> <p><b>【処置】</b> 送信可能枚数を超えない枚数で、もう一度実行してください。</p>
027-751	<p><b>【原因】</b> ジョブフローに従って実行するときに、エラーが起きました。</p> <p><b>【処置】</b> ジョブフローの設定内容を確認してください。</p>
027-752	<p><b>【原因】</b> ジョブフローの必須入力項目が入力されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 必須入力項目があるジョブフローは、親展ボックスに関連付けない</li> <li>• ジョブフローの必須入力項目に既定値を設定する</li> </ul>
027-753	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ジョブフローを実行するために必要なポートが、起動されていないか使用できない状態で、サービスを実行しようとした。</li> <li>2. S/MIME 通信を無効に設定している状態で、暗号化またはデジタル署名ありのメールを送信するジョブフローを実行しました。</li> </ol> <p><b>【処置】</b> 1. については、機械管理者にポートの状態を確認してもらってください。</p> <p>2. については、S/MIME 通信を有効に設定するか、暗号化、およびデジタル署名なしでメールを送信するようにジョブフローの設定を変更してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
027-757	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバーとの通信でエラーが発生しました。</li> <li>2. 本機に信頼する証明書がインポートされていません。</li> <li>3. SSL プロキシサーバーを経由したため、SSL 証明書記載のサーバーアドレスと接続先サーバーアドレスが一致しませんでした。</li> <li>4. 本機未対応の暗号方式が使われるサーバーと通信しようとしてしました。</li> <li>5. SSL サーバーがクライアント証明書認証の設定の場合、本機にクライアント証明書が未登録または一致しません。</li> <li>6. サーバー証明書の有効期限が切れている、または期限前です。</li> </ol> <p><b>【処置】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. については、ping または traceroute コマンドを使用して、本機とサーバーまたは DNS との接続を確認してください。</li> <li>2. については、本機に、SSL サーバーの証明書が信頼する CA 証明書・中間証明書がインポートされているかをブラウザで確認してください。不足なら CA 証明書・中間証明書をインポートしてください。</li> <li>3. については、本機が SSL 通信内容を確認する機能を持つ SSL プロキシを経由しないか確認してください。経由していた場合、本機を SSL プロキシの対象外に指定してください。</li> <li>4. については、本機が対応する暗号方式にサーバーが対応しているか確認してください。対応していない場合は、対応している暗号方式を SSL サーバー設定に含めてください。</li> <li>5. については、本機にクライアント証明書を設定してください。本機にクライアント証明書をインポートし、クライアント証明書として利用します。</li> <li>6. については、本機の日時が正しいか、サマータイムまたは時差を確認します。ずれがある場合は日時または時刻を合わせます。</li> </ol>
027-758	<p><b>【原因】</b> [LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定] の [検索用ログイン名] と [検索用パスワード] が正しく設定されていない状態で、外部認証が実行され、LDAP サーバーから RFC2251 規定の resultMessageNo 「49」(指定された認証証明書は無効) が返されました。</p> <p><b>【処置】</b> セキュリティーに関する問題が発生しています。[LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定] の [検索用ログイン名] と [検索用パスワード] が正しく設定されているかを確認してください。詳しくは、「LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定」を参照してください。</p> <p>改善されないときは、ネットワーク管理者に相談し、LDAP サーバー側の認証設定を確認してください。</p>
027-759	<p><b>【原因】</b> 「LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定」で指定された LDAP サーバーから照会された LDAP サーバーに対する接続に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機のネットワーク設定が正しく設定されているかを確認してください。</p> <p>状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に相談し、本機から照会先のサーバーへの接続状態を確認してください。</p>
027-760	<p><b>【原因】</b> XJT コマンドで仕様範囲外のパラメーターが指定されました。</p> <p><b>【処置】</b> 指定したパラメーターを確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
027-761	<p><b>【原因】</b> 本機に外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントを指示しましたが、印刷要求をしてから実際に印刷処理を開始するまでの時間が、本機に設定されている時間を超えました。</p> <p><b>【処置】</b> 複数文書を外部アクセス機能を使ってオンデマンドプリントした場合は、文書数を減らして再度実行してください。</p> <p>それでも改善されない場合は、機械管理者モードで入り、[設定] &gt; [システム設定] &gt; [システム時計 / タイマー設定] &gt; [オンデマンド印刷の有効時間] で、時間を長くするか、0 に設定してください。</p> <p>外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントで複数の文書を指示した場合、最後の文書を受け付けるまでの印刷処理時間は考慮されません。そのため、大量の文書の場合やデータ処理時間がかかる複雑な文書の場合は、最後の文書を受け付ける前にタイムアウトする可能性があります。印刷指示する文書の形態に合わせて、有効時間を設定してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
027-762	<p><b>【原因】</b> 外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントジョブが本機に指示されましたが、指示されたジョブチケットが次のように不正でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機ソフトウェア不具合によるジョブチケット異常書き換え</li> <li>• 送信元の外部サーバーのバグによるジョブチケット異常書き換え</li> <li>• ネットワークトラブルによるジョブチケット異常書き換え</li> <li>• 意図的なジョブチケットの改ざん</li> </ul> <p><b>【処置】</b> もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
027-763	<p><b>【原因】</b> 外部のアカウントティングサーバーとユーザー情報の照合ができませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部アカウントティングサーバーが正しく動作しているか確認する</li> <li>• ネットワークに障害がないか確認する</li> <li>• ネットワークケーブルを正しく接続する</li> <li>• 本機の設定を確認する</li> </ul>
027-772	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> [設定] &gt; [ネットワーク設定] &gt; [本体メールアドレス / ホスト名] に設定されているホスト名を、ASCII 文字で設定してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが HELO コマンドに対応しているか確認してください。</p>
027-773	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> しばらく待ってから、もう一度操作してください。</p>
027-774	<p><b>【原因】</b> 指定したメールアドレスに使用できない文字が含まれています。</p> <p><b>【処置】</b> 宛先のメールアドレスは、ASCII 文字だけで設定してください。</p>
027-775	<p><b>【原因】</b> 送信する宛先数が多すぎます。</p> <p><b>【処置】</b> 宛先数を減らしてください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが EHLO コマンドに対応しているか確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
027-776	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> [設定] &gt; [ネットワーク設定] &gt; [本体メールアドレス / ホスト名] に設定されているホスト名を、ASCII 文字で設定してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが EHLO コマンドに対応しているか確認してください。</p>
027-777	<p><b>【原因】</b> 送信先の SMTP サーバーが SMTP-AUTH に対応していません。</p> <p><b>【処置】</b> [設定] &gt; [ネットワーク設定] &gt; [メール送受信設定] &gt; [SMTP サーバー設定] &gt; [送信時の認証方式] を [利用しない] に設定してください。</p>
027-778	<p><b>【原因】</b> 送信先の SMTP サーバーが、本機に設定してある SMTP-AUTH の認証方式に対応していません。</p> <p><b>【処置】</b> ネットワーク管理者に、SMTP サーバーの認証方式を確認してください。</p> <p>本機が対応している認証方式は、AUTH GSSAPI (Kerberos 指定時のみ)、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTH PLAIN、AUTH LOGIN、AUTH CRAM-MD5 です。</p>
027-779	<p><b>【原因】</b> SMTP サーバーの認証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> SMTP-AUTH に設定してあるログイン名とパスワードを確認してください。</p>
027-796	<p><b>【原因】</b> メール受信時に添付文書だけをプリントするように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。</p> <p><b>【処置】</b> メール本文やメールヘッダー情報などもプリントする場合は、CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、設定を変更してください。</p>
027-797	<p><b>【原因】</b> 受信メールの出力先が不正です。</p> <p><b>【処置】</b> 正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。</p>
027-798	<p><b>【原因】</b> ジョブフローで指定した文書が存在しませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> ジョブフローの設定内容を確認してください。</p>
029-704	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルの形式が無効です。</p> <p><b>【処置】</b> ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-705	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN ケーブルの接続</li> <li>• デフォルトゲートウェイ設定</li> <li>• サブネットマスク設定</li> <li>• DNS サーバアドレス設定</li> </ul> <p>エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
029-706	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN ケーブルの接続</li> <li>• デフォルトゲートウェイ設定</li> <li>• サブネットマスク設定</li> <li>• DNS サーバアドレス設定</li> </ul> <p>エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-707	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> [プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [PAC ファイルの URL] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-708	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL が無効です。</p> <p><b>【処置】</b> [プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [PAC ファイルの URL] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-709	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN ケーブルの接続</li> <li>• デフォルトゲートウェイ設定</li> <li>• サブネットマスク設定</li> </ul> <p>エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
029-710	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> ネットワーク管理者に相談して、DHCP サーバーに PAC ファイルの URL 情報が登録されているかどうかを確認してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-711	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルが無効です。</p> <p><b>【処置】</b> ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-712	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN ケーブルの接続</li> <li>• デフォルトゲートウェイ設定</li> <li>• サブネットマスク設定</li> <li>• DNS サーバアドレス設定</li> </ul> <p>エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-713	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN ケーブルの接続</li> <li>• デフォルトゲートウェイ設定</li> <li>• サブネットマスク設定</li> <li>• DNS サーバアドレス設定</li> </ul> <p>エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
029-714	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、エラーになりました。</p> <p><b>【処置】</b> [プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [PAC ファイルの URL] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-715	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL が無効です。</p> <p><b>【処置】</b> [プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [PAC ファイルの URL] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-716	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN ケーブルの接続</li> <li>• デフォルトゲートウェイ設定</li> <li>• サブネットマスク設定</li> </ul> <p>エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-717	<p><b>【原因】</b> Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL を取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-731	<p><b>【原因】</b> セカンダリーイーサネットでエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルが無効です。</p> <p><b>【処置】</b> ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
029-732	<p><b>【原因】</b> セカンダリーイーサネットでエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN ケーブルの接続</li> <li>• デフォルトゲートウェイ設定</li> <li>• サブネットマスク設定</li> <li>• DNS サーバーアドレス設定</li> </ul> <p>エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-733	<p><b>【原因】</b> セカンダリーイーサネットでエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN ケーブルの接続</li> <li>• デフォルトゲートウェイ設定</li> <li>• サブネットマスク設定</li> <li>• DNS サーバーアドレス設定</li> </ul> <p>エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-734	<p><b>【原因】</b> セカンダリーイーサネットでエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> [プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [PAC ファイルを指定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-735	<p><b>【原因】</b> セカンダリーイーサネットでエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL が無効です。</p> <p><b>【処置】</b> [プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [PAC ファイルの URL] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバー設定] の [プロキシサーバー指定方法] が [自動検出] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
029-736	<p><b>【原因】</b> セカンダリーイーサネットでエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。</p> <p><b>【処置】</b> 次のことを確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN ケーブルの接続</li> <li>• デフォルトゲートウェイ設定</li> <li>• サブネットマスク設定</li> </ul> <p>エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
029-737	<p><b>【原因】</b> セカンダリーイーサネットでエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL を取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "033-001" - "036-999"

エラーコード	原因 / 処置
035-550	<p><b>【原因】</b> FaxG3-ROM へのデータ書き込み処理時にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 弊社サービス窓口にご連絡ください。</p>
036-550	<p><b>【原因】</b> FaxG4-ROM へのデータ書き込み処理時にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 弊社サービス窓口にご連絡ください。</p>

## "041-001" - "044-999"

エラーコード	原因 / 処置
041-310	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
041-318	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
041-321 041-322	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
041-340 041-341 041-342 041-343	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
041-363	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
041-388	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
041-500 041-501	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
042-313	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
042-325	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
042-335 042-336	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
042-348	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
043-373	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
044-329	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
044-370	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "045-001" - "046-999"

エラーコード	原因 / 処置
045-310 045-311	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "047-001" - "049-999"

エラーコード	原因 / 処置
048-500	<p><b>【原因】</b> インターフェイスモジュールの ROM の書き込みにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
049-500	<p><b>【原因】</b> スタッカールの ROM の書き込みにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "055-001" - "058-999"

エラーコード	原因 / 処置
058-310 058-311	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
058-313	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "059-001" - "059-999"

エラーコード	原因 / 処置
059-324	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
059-326	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "060-001" - "060-999"

エラーコード	原因 / 処置
060-363 060-364 060-365 060-366 060-367 060-368 060-369 060-370 060-371 060-372 060-373 060-374 060-375 060-376 060-377 060-378 060-379 060-380 060-381 060-382	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
060-383 060-384 060-385 060-386 060-387 060-388 060-389 060-390 060-391 060-392 060-393 060-394 060-395 060-396 060-397 060-398 060-399	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "061-001" - "061-999"

エラーコード	原因 / 処置
061-362 061-363 061-364 061-365 061-366 061-367 061-368 061-369 061-370 061-371 061-372 061-373	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "062-001" - "063-999"

エラーコード	原因 / 処置
062-500	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
063-500	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "071-001" - "076-999"

エラーコード	原因 / 処置
071-452	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 1 が開いています。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙トレイ 1 を閉じてください。</p>
071-461	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 1 が正しく動作していません。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙トレイ 1 が確実に取り付けられていることを確認してください。</p>
072-310 072-311 072-312	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 2 が故障しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
072-452	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 2 が開いています。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙トレイ 2 を閉じてください。</p>
072-461	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 2 が正しく動作していません。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙トレイ 2 が確実に取り付けられていることを確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
073-310 073-311 073-312	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 3 が故障しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
073-452	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 3 が開いています。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙トレイ 3 を閉じてください。</p>
073-461	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 3 が正しく動作していません。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙トレイ 3 が確実に取り付けられていることを確認してください。</p>
074-310 074-311 074-312	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 4 が故障しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
074-452	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 4 が開いています。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙トレイ 4 を閉じてください。</p>
074-461	<p><b>【原因】</b> 用紙トレイ 4 が正しく動作していません。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙トレイ 4 が確実に取り付けられていることを確認してください。</p>

## "077-001" - "077-999"

エラーコード	原因 / 処置
077-314	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
077-322 077-323	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
077-327	<p><b>【原因】</b> 規定の数よりも多い用紙トレイモジュールか、ほかの機種用の用紙トレイモジュールが接続されました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、余分な用紙トレイモジュールを外してください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "078-001" - "080-999"

エラーコード	原因 / 処置
078-500	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "081-001" - "091-999"

エラーコード	原因 / 処置
091-312 091-313	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
091-316	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
091-407	<p><b>【原因】</b> ドラムカートリッジ [R1] にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> ドラムカートリッジ [R1] を一度抜いて、再度挿入してください。</p>
091-417	<p><b>【原因】</b> ドラムカートリッジ [R4] にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> ドラムカートリッジ [R4] を一度抜いて、再度挿入してください。</p>
091-427	<p><b>【原因】</b> ドラムカートリッジ [R3] にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> ドラムカートリッジ [R3] を一度抜いて、再度挿入してください。</p>
091-437	<p><b>【原因】</b> ドラムカートリッジ [R2] にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> ドラムカートリッジ [R2] を一度抜いて、再度挿入してください。</p>

## "092-001" - "092-999"

エラーコード	原因 / 処置
092-312 092-313 092-314 092-315	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
092-318	<p><b>【原因】</b> プリントでエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジ [Y] (イエロー) を交換してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
092-319	<p><b>【原因】</b> プリントでエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) を交換してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
092-320	<p><b>【原因】</b> プリントでエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジ [C] (シアン) を交換してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
092-321	<p><b>【原因】</b> プリントでエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジ [K] (ブラック) を交換してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "093-001" - "093-999"

エラーコード	原因 / 処置
093-426	<p><b>【原因】</b> トナーカートリッジ [K] (ブラック) にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジ [K] (ブラック) を一度抜いて、再度挿入してください。</p>
093-427	<p><b>【原因】</b> トナーカートリッジ [Y] (イエロー) にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジ [Y] (イエロー) を一度抜いて、再度挿入してください。</p>
093-428	<p><b>【原因】</b> トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) を一度抜いて、再度挿入してください。</p>
093-429	<p><b>【原因】</b> トナーカートリッジ [C] (シアン) にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジ [C] (シアン) を一度抜いて、再度挿入してください。</p>
093-441	<p><b>【原因】</b> トナーカートリッジ [Y] (イエロー) が空の可能性ががあります。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジを取り外して、よく振ってから再度装着してください。改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。</p>
093-442	<p><b>【原因】</b> トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) が空の可能性ががあります。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジを取り外して、よく振ってから再度装着してください。改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。</p>
093-443	<p><b>【原因】</b> トナーカートリッジ [C] (シアン) が空の可能性ががあります。</p> <p><b>【処置】</b> トナーカートリッジを取り外して、よく振ってから再度装着してください。改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。</p>

## "094-001" - "098-999"

エラーコード	原因 / 処置
094-310	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
094-318	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
094-325 094-326	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "099-001" - "101-999"

エラーコード	原因 / 処置
099-396 099-397 099-398 099-399	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "102-001" - "115-999"

エラーコード	原因 / 処置
102-311 102-312 102-313 102-314 102-315 102-316 102-317 102-318 102-319 102-356	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "116-001" - "116-999"

エラーコード	原因 / 処置
116-210 116-211 116-212	<p><b>【原因】</b> USB メモリーにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-220	<p><b>【原因】</b> ダウンロードモードへの移行に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-312 116-313 116-314 116-315 116-317 116-319	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
116-321 116-323	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-324	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> プリントが発生した場合は、いったん本機の電源を切り、ホームボタンを押しながら電源 / 節電ボタンを 6 秒間長押しして、表示される [SPECIAL BOOT MENU] 画面で [HDD INITIALIZE MODE] を選択して、[YES] を押ししてください。エラー発生の要因となったプリントデータが自動的に削除されて起動します。それ以外で発生した場合は、次の手順に従って、本機を再起動します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コピー、またはプリントが完全に終了していることを確認し、電源 / 節電ボタンを押します。</li> <li>2. [再起動する] を押します。</li> </ol> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-325 116-330 116-331 116-332 116-334 116-336 116-337	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-340	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-342	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-343 116-348 116-349 116-353 116-354 116-355 116-356 116-357 116-359 116-361 116-362 116-363 116-364 116-365 116-366 116-367 116-368	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
116-370 116-371 116-372 116-373 116-374 116-376 116-377 116-378 116-379 116-383 116-384 116-385	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-388	<p><b>【原因】</b> ハードディスクが取り付けられていません。</p> <p><b>【処置】</b> ハードディスクを取り付けてください。</p> <p>お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-389	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-391 116-392 116-393 116-394 116-395 116-396	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-399	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-701	<p><b>【原因】</b> メモリーが不足したため、両面プリントができません。</p> <p><b>【処置】</b> メモリーを増設するか、ハードディスクがオプションの機種の場合は、ハードディスクを装着してください。メモリーやハードディスクの装着については、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-702	<p><b>【原因】</b> 代替フォントでプリントされました。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認してください。</p>
116-703	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. PostScript* でエラーが発生しました。</li> <li>2. メモリーが不足したため、エラーが発生しました。</li> <li>3. PostScript 用のメモリーが不足したため、エラーが発生しました。</li> </ol> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> 1. については、プリントデータを確認してください。</p> <p>2. については、メモリーを増設してください。</p> <p>3. については、[PostScript 使用メモリー] を増やしてください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
116-704	<p><b>【原因】</b> メディア内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> メディアが正しく挿入されているか確認してください。</p>
116-705 116-706 116-707 116-708 116-709	<p><b>【原因】</b> メディア内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> コンピューターで、メディアに記録されている内容を確認してください。</p>
116-710	<p><b>【原因】</b> 受信データが HP-GL/2* スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。</p> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。</p>
116-711	<p><b>【原因】</b> 指定した ART EX フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていない。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙のサイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。</p>
116-712	<p><b>【原因】</b> ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。</p> <p><b>【処置】</b> 不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。</p>
116-713	<p><b>【原因】</b> ハードディスクがいっぱいになったため、ジョブを分割してプリントしました。</p> <p><b>【処置】</b> ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。</p>
116-714	<p><b>【原因】</b> HP-GL/2* コマンドエラーが発生しました。</p> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認してください。</p>
116-715	<p><b>【原因】</b> ART EX フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 不要なフォームを削除してください。フォームの登録上限数は、ハードディスクを装着している機種は 2048 で、ハードディスクを装着していない機種は 64 です。</p>
116-716 116-717	<p><b>【原因】</b> メディア内のデータを読み取るときにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> コンピューターで、メディアに記録されている内容を確認してください。</p>
116-718	<p><b>【原因】</b> 指定した ART EX 用フォームは登録されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART EX フォーム登録リスト] で確認できます。</p>
116-720	<p><b>【原因】</b> メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。</p> <p><b>【処置】</b> 不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。</p>
116-725	<p><b>【原因】</b> 本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度ジョブを実行してください。それでも、同じエラーが発生する場合は、次のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 不要なイメージログを削除する</li> <li>• イメージログの [作成保証レベル] を [低] に変更する</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
116-737	<p><b>【原因】</b> ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。</p> <p><b>【処置】</b> 不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。</p>
116-738	<p><b>【原因】</b> 指定した ART IV フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていない。</p> <p><b>【処置】</b> 用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。</p>
116-739	<p><b>【原因】</b> ART IV 用のメモリー、またはハードディスクの容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。</p> <p><b>【処置】</b> 不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。</p>
116-740	<p><b>【原因】</b> プリントデータに本機の制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認してください。</p>
116-741	<p><b>【原因】</b> ART IV フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 不要なフォームを削除してください。フォームの登録上限数は、ハードディスクを装着している機種は 2048 で、ハードディスクを装着していない機種は 64 です。</p>
116-742	<p><b>【原因】</b> ART IV ロゴデータの登録上限数に達したため、ロゴデータが登録できません。</p> <p><b>【処置】</b> 不要なロゴデータを削除してください。</p>
116-743	<p><b>【原因】</b> ART IV 用のメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。</p> <p><b>【処置】</b> メモリーの領域を増やしてください。</p>
116-745	<p><b>【原因】</b> ART IV コマンドエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認してください。</p>
116-746	<p><b>【原因】</b> 指定した ART IV 用フォームは登録されていません。</p> <p><b>【処置】</b> 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART IV,ESC/P ユーザー定義リスト] で確認できます。</p>
116-747	<p><b>【原因】</b> HP-GL/2* の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が多すぎます。</p> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> ペーパーマージン値を少なくして、もう一度プリントを指示してください。</p>
116-748	<p><b>【原因】</b> HP-GL/2* のプリントデータに描画データがありません。</p> <p>*: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の担当営業にお尋ねください。</p> <p><b>【処置】</b> プリントデータを確認してください。</p>
116-749	<p><b>【原因】</b> 指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。</p> <p><b>【処置】</b> フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。</p>
116-750	<p><b>【原因】</b> バナーシートの給紙トレイに不具合があります。</p> <p><b>【処置】</b> バナーシートの給紙トレイを正常な状態にもどすか、バナーシートの給紙トレイを変更してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
116-751	<p><b>【原因】</b> ハードディスクの容量がいっぱいで処理が中止されました。</p> <p><b>【処置】</b> 蓄積文書を削除してください。それでも状態が改善されないときは、ファイルを分割して処理してください。</p>
116-752	<p><b>【原因】</b> PDF のプリントジョブチケットの記述内容に問題があります。</p> <p><b>【処置】</b> もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	<p><b>【原因】</b> データに含まれるパラメーターに問題があったため、自動修正しました。</p> <p><b>【処置】</b> プリントされた画像は完全ではない可能性があります。相手に画像の確認をするか、再送信を依頼してください。また、インターネットファックスの転送機能を設定している場合は、メールの宛先に確認してください。</p>
116-780	<p><b>【原因】</b> 受信したメールの添付文書に問題があります。</p> <p><b>【処置】</b> 添付文書を確認してください。</p>

## "117-001" - "117-999"

エラーコード	原因 / 処置
117-311	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-312	<p><b>【原因】</b> 本機に異常が発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-319 117-320 117-321 117-322 117-323 117-324	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-326 117-327	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-329	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
117-331 117-332 117-333	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-334	<p><b>【原因】</b> ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-339	<p><b>【原因】</b> 不揮発性メモリのバックアップが見つかりませんでした。</p> <p><b>【処置】</b> 新しいハードディスクドライブを本体から取り外し、直前のハードディスクドライブを取り付けてください。電源を切ると、不揮発性メモリがバックアップされます。</p>
117-340	<p><b>【原因】</b> ハードディスクドライブが無効です。</p> <p><b>【処置】</b> 正しいハードディスクドライブまたは未フォーマットのハードディスクドライブを取り付けてください。</p>
117-343	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 仕様設定の [イメージログ管理] が無効で、かつ [イメージログ転送] の [転送機能] が [使用する] の場合に、[転送動作] が [ジョブ単位で転送] に設定されている。</li> <li>2. [イメージログ転送] が無効 (ハードディスク未装着) の場合に、[転送機能] が [使用する] に設定されている。</li> </ol> <p><b>【処置】</b> 1. については、[転送動作] を [ジョブ単位で転送] 以外に設定してください。</p> <p>2. 本体にハードディスクを装着してください。または、[転送動作] を [一時停止] に設定してください。</p>
117-345	<p><b>【原因】</b> データ設定中です。</p> <p><b>【処置】</b> 処理が終わるまで電源を切らずにお待ちください。</p>
117-347	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-348	<p><b>【原因】</b> 異なる機械で利用された未フォーマットのSDカードが本体に装着されました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-355	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
117-357	<p><b>【原因】</b> 本機 TPM チップにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-358	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-360	<p><b>【原因】</b> 日時設定の年の値が設定可能な範囲外です。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。電源再投入後、正しい値を設定してください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-362 117-363	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-364	<p><b>【原因】</b> 暗号鍵情報は無効です。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-365	<p><b>【原因】</b> Wi-Fi 診断でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-367	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-373	<p><b>【原因】</b> データの変換に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-375	<p><b>【原因】</b> ストレージの暗号化に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
117-376	<p><b>【原因】</b> ストレージの暗号化に失敗しました。次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ストレージ暗号化で不正な鍵が使用された</li> <li>• ファイルシステムが破損している</li> <li>• HDD が故障している</li> </ul> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-379	<p><b>【原因】</b> エラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> ネットワークケーブルが抜けていないか、シスログサーバが停止していないか、本機とシスログサーバ間の接続状況を確認してください。接続できる状態にして、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-380	<p><b>【原因】</b> ファームウェアの署名検証に失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
117-381	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "118-001" - "122-999"

エラーコード	原因 / 処置
118-310	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
118-311	<p><b>【原因】</b> ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-310	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-311	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> IC Card Gate を接続している場合は、[設定] &gt; [認証 / 集計管理] &gt; [認証 / セキュリティ設定] &gt; [認証の設定] &gt; [パスワードの運用] &gt; [パスワード使用 -IC カード認証時] &gt; [する] に変更されます。必要に応じて、設定を変更してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
121-312 121-313	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> EP システムの関連機器を接続しないで本機を起動し、[設定] &gt; [認証 / 集計管理] &gt; [認証 / セキュリティ設定] &gt; [認証の設定] で [認証方式の設定] を [外部認証] 以外の設定にしてください。</p>
121-314 121-316 121-317 121-318 121-322	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-325	<p><b>【原因】</b> 本機の起動時に、本機が許容できない組み合わせを検知したため、[IC カード接続時の認証] の設定を自動的に [IC カードのみ] に変更しました。このエラーは以下の条件がすべて満たされたときに発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• USB 接続の IC カードリーダーと EP 関連商品が併用されている</li> <li>• [認証方式の設定] が [本体認証] に設定されている</li> <li>• [IC カード接続時の認証] が [IC カードまたはパネル入力] に設定されている</li> </ul> <p><b>【処置】</b> 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IC カードとパネル入力の認証を併用しない。 [IC カード接続時の認証] が自動的に [IC カードのみ] に変更されたので、そのままご利用になれます。特に処置は必要ありません。</li> <li>• USB 接続の IC カードリーダーのみ本機に接続し、IC カードとパネル入力の認証を併用する。 お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</li> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-327	<p><b>【原因】</b> 本機がサポートしていない商品が接続されたことを検知しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-328	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-329 121-330 121-331 121-332	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-333	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 接続機器の電源が入っているか確認し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-334 121-335 121-336 121-337 121-338	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
121-339	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> CoinKit の単価テーブルを確認してください。単価テーブルに未設定の単価ある場合は、単価設定を修正し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-340	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-341 121-342 121-343	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
121-350 121-370	<p><b>【原因】</b> 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "123-001" - "126-999"

エラーコード	原因 / 処置
123-310 123-311 123-312 123-325 123-326 123-333 123-343 123-344	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
123-362 123-368 123-369 123-371 123-374 123-377 123-379 123-380 123-381 123-382 123-383 123-384 123-389 123-390 123-392 123-393 123-395 123-396 123-397 123-398	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
123-399 124-310 124-311 124-312 124-313 124-314 124-315 124-316 124-317 124-318 124-319 124-320 124-321 124-322 124-323 124-324 124-325	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
124-326	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 画面の指示にしたがって情報を入力してください。</p>
124-327	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
124-329 124-335 124-339 124-340 124-341 124-342 124-343 124-344 124-345 124-346 124-347 124-348 124-349 124-350 124-351 124-352 124-353 124-354 124-355	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
124-356 124-357	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
124-359	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機が再起動するまで待ってください。</p>
124-360 124-361 124-362 124-363	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
124-367	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
124-368 124-369 124-370	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
124-371 124-372 124-373 124-374 124-375 124-376 124-380 124-381 124-382 124-383 124-390 124-391 124-392 124-393	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
124-701	<p><b>【原因】</b> 指定した排出先（サイドトレイ）が故障しているため、排出先を変更しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul> <p>なお、故障している排出トレイ以外の排出トレイは使用できます。</p>
124-706	<p><b>【原因】</b> 紙折りの設定を解除しました。</p> <p><b>【処置】</b> 紙折りの設定が正しいか確認し、もう一度実行してください。</p>
124-708	<p><b>【原因】</b> 用紙の排出先が、指定したトレイとは別のトレイに排出されました。次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 両面指定時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙が送られた</li> <li>2. フィニッシャーのパンチが故障した</li> </ol> <p><b>【処置】</b> 1. については、指定したサイズの用紙が用紙トレイにセットされているか確認してください。</p> <p>2. については、操作パネルに、012-231、012-232、012-233、012-234のどれかのエラーコードが表示されていることを確認して、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
124-710	<p><b>【原因】</b> 指定した排出先から排出できません。排出できない用紙サイズや紙質が指定されているか、排出先が故障しています。</p> <p><b>【処置】</b> 操作は必要ありません。自動で利用可能な排出先を選択して排出されます。正しい用紙サイズや紙質を指定しても、指定した排出先から排出されない場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
124-714	<p><b>【原因】</b> 何らかのエラーにより、折り目を付けられません。</p> <p><b>【処置】</b> 折り目を付けずにプリントしてください。</p>
125-311	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
124-717	<p><b>【原因】</b> プリント速度が遅くなりました。</p> <p><b>【処置】</b> ジョブが完了するまで待ってください。</p>

## "127-001" - "132-999"

エラーコード	原因 / 処置
127-310 127-314 127-315 127-353	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
127-398	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
127-399	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機を再起動してください。</p> <p>改善されない場合は、いったん本機の電源を切り、ホームボタンを押しながら電源 / 節電ボタンを6秒間長押しして、表示される [SPECIAL BOOT MENU] 画面で [HDD INITIALIZE MODE] を選択して、[YES] を押ししてください。エラー発生 の要因となったプリントデータが自動的に削除されて起動します。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
132-313	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
132-314	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>
132-315	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

## "133-001" - "178-999"

エラーコード	原因 / 処置
149-500	<p><b>【原因】</b> スタッカールの ROM の書き込みにエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li> </ul>

エラーコード	原因 / 処置
178-500	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li></ul>
161-310 161-311 161-312	<p><b>【原因】</b> 本機にエラーが発生しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お使いの製品に応じて、次の窓口へお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 弊社の担当営業、またはサービス窓口</li></ul>

# 12

## オプションの取り付け

## オプション製品について

最新の情報については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

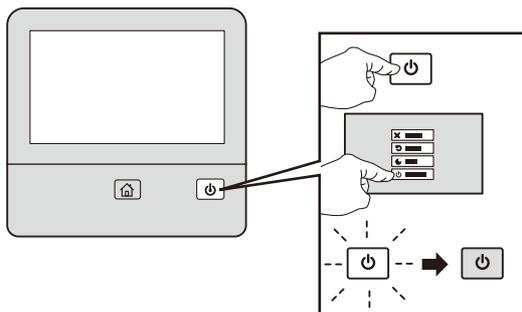
# ストレージ（ソリッドステートドライブ）の取り付け

## 注記

- 一度取り付けしたストレージは、情報漏洩を防ぐため、その機械専用のストレージになります。取り外して、ほかの機械に取り付けることはできません。

## 1 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。

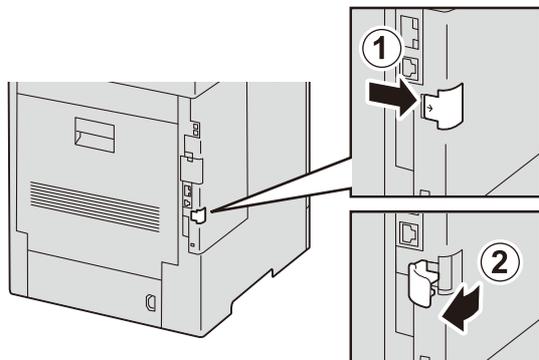
操作パネルのディスプレイおよび各ランプがすべて消えたことを確認して、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。



## 注記

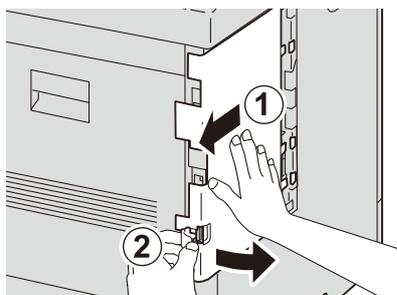
- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約 40 分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

## 2 背面の左側にあるラッチを矢印の方向にスライドさせて、手前に起こします。

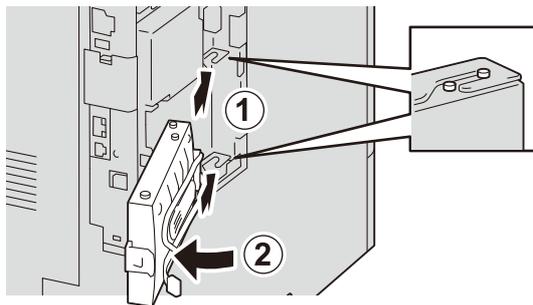


## 3 左側面のカバーを、本機の後ろ方向に向かってスライドさせて取り外します。

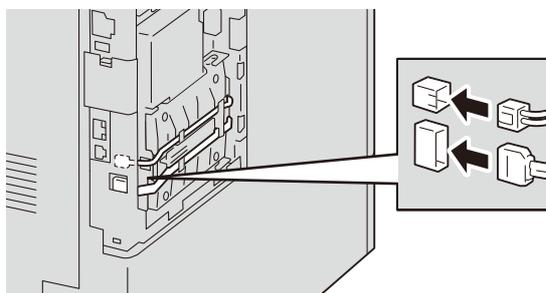
ストレージがすでに取り付けられている場合は取り外します。



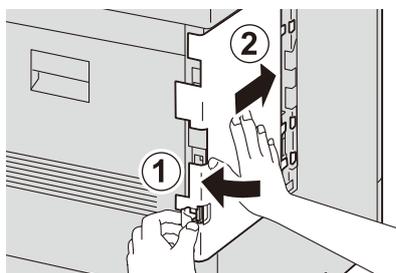
- 4** ストレージから出ているコネクタケーブルを外側にして、コントローラーボード上のフレームに差し込みます。  
ストレージの突起部をフレームのくぼみに正しくはめてください。



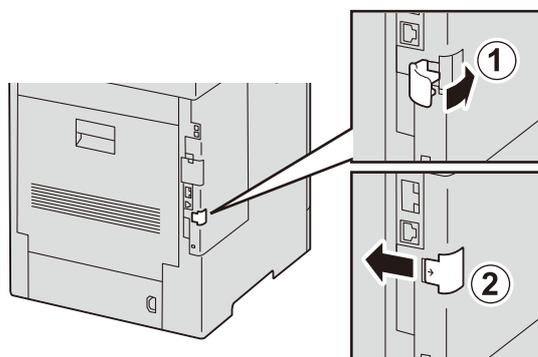
- 5** ストレージのコネクタケーブルを、コントローラーボード上のコネクタに接続します。



- 6** 左側面のカバーを、本機の前方向にスライドさせ、突起を本体側の穴に差し込みます。



- 7** ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。



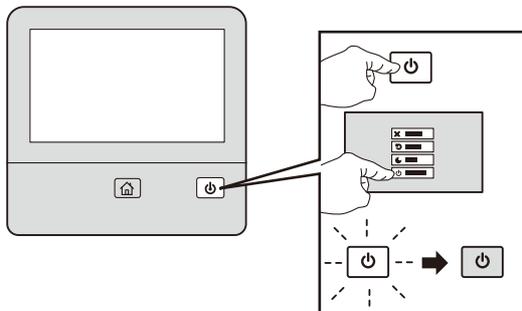
- 8** 電源コードを接続し、電源 / 節電ボタンを押して電源を入れます。

#### 補足

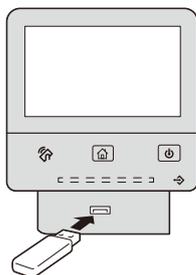
- 機能設定リストをプリントすると、ストレージが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。
- ストレージの取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更してください。変更方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

# PostScript ソフトウェアキット またはセキュリティ拡張キットの取り付け

- 1 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。  
操作パネルのディスプレイおよび各ランプがすべて消えたことを確認して、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。



- 2 PostScript®ソフトウェアキットまたはセキュリティ拡張キットのUSB Dongleを用意します。
- 3 キャップを外し、操作パネルの下にある USB 2.0 インターフェイスコネクタに挿入します。



- 4 コンセントおよび本機に電源コードを差し込んで、電源を入れます。  
これで、インストール準備は完了です。  
続けて、操作パネルで機能を有効に設定します。
- 5 本機に機械管理者モードにログインします。
- 6 ホーム画面の [設定] をタップし、[保守] > [ソフトウェアオプションの設定 -USB] の順に選択します。
- 7 [機能を有効化する] をタップします。  
有効化が開始されます。処理が終了すると、本機が自動的に再起動します。

#### 補足

- 有効化処理が開始されない場合は、正しく USB Dongle が取り付けられていません。USB Dongle を取り付け直してください。

- 8 USB Dongle を取り外します。

## IC カードリーダーの取り付け

### 補足

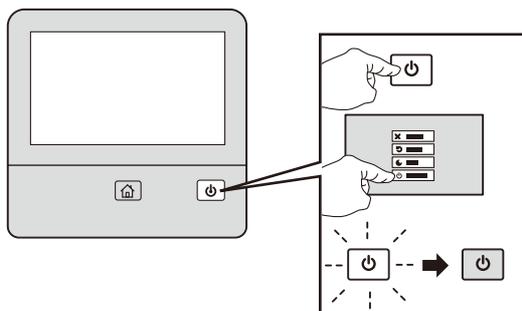
- IC カードリーダーを使用するには、サービス担当者による有償作業が必要です。詳しくは、営業担当者にお問い合わせください。
- IC カードリーダーを使用しない運用に戻す場合は、再度サービス担当者による有償の作業が必要となります。
- IC カードの読み取り設定については、IC カードリーダーに付属のマニュアルを参照してください。

IC カードリーダーには、本機に内蔵して使用方法と、外置きして使用方法があります。

### 内蔵して使用する場合

- 1 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。

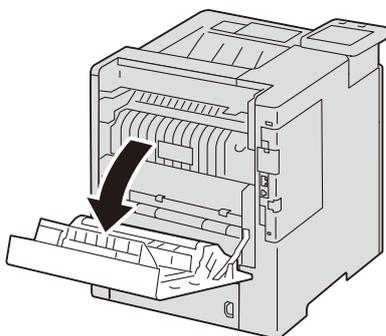
操作パネルのディスプレイおよび各ランプがすべて消えたことを確認して、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。



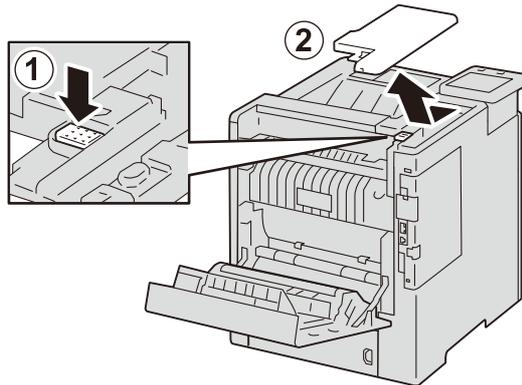
### 注記

- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約 40 分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

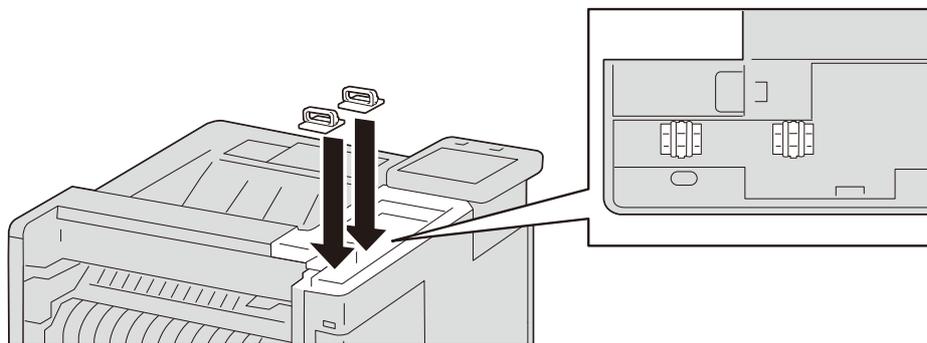
- 2 背面カバーを開けます。



- 3 レバーを押しながら、IC カードリーダー内蔵部の上部カバーを取り外します。



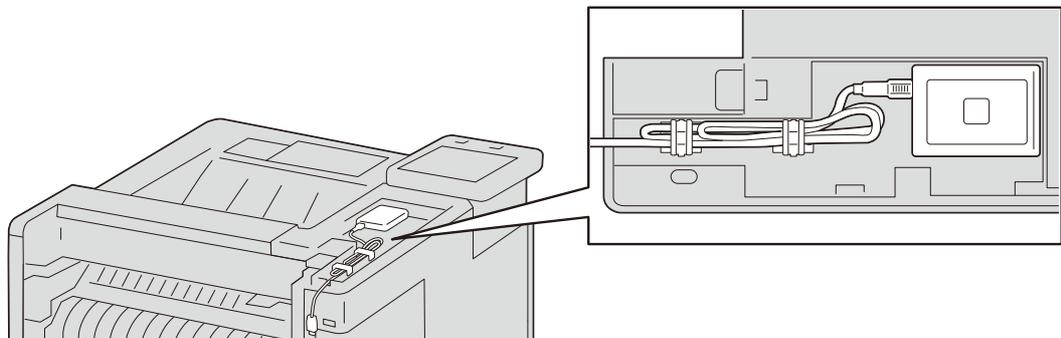
- 4 IC カードリーダーに付属のクランプ (2 個) を、図の位置に取り付けます。



- 5 IC カードリーダーを図の位置に置き、USB ケーブルをクランプに通して固定します。

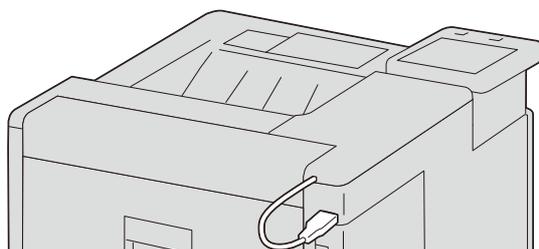
補足

- ケーブルを折りたたんで固定するとき、1 つのクランプで固定できる本数は最大 3 本です。



- 6 背面側の穴に USB ケーブルを通して、上部カバーを元の位置に取り付けます。IC カードリーダーの USB コネクターを、本機の USB2.0 インターフェイスコネクター (上) に接続します。

上部カバーでケーブルを挟まないように注意してください。

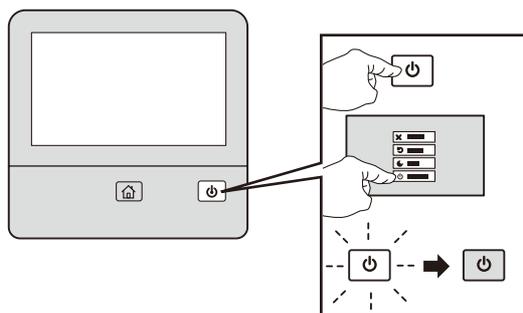


- 7 背面カバーを閉じます。
- 8 電源コードを接続し、電源 / 節電ボタンを押して電源を入れます。

## 外置きして使用する場合

- 1 電源 / 節電ボタンを押し、[電源を切る] を選択して、電源を切ります。

操作パネルのディスプレイおよび各ランプがすべて消えたことを確認して、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。

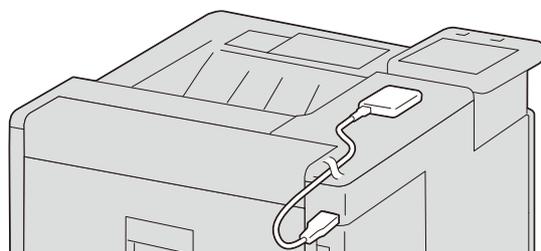


### 注記

- 本機の背面カバー内の電気部品が高温になっている場合があります。取り付けるときには必ず電源を切り、約 40 分後、本機の内部が冷めていることを確認してから作業を行ってください。

- 2 ICカードリーダーのUSBコネクターを、本機のUSB2.0インターフェイスコネクター（上）に接続します。

ICカードリーダーは、任意の場所に設置してください。



- 3 電源コードを接続し、電源 / 節電ボタンを押して電源を入れます。

# 13

付録

# 主な仕様

製品の仕様、および外観は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## プリント機能

### ■ 型番

PR-L7700C

### ■ 形式

デスクトップ

### ■ プリント方式

ゼログラフィー

補足

- LED + 乾式電子写真方式です。

### ■ ウォームアップ時間

38 秒以下（電源投入時、室温 23 °C）  
（スリープモード時は 20 秒以下）

### ■ 連続プリント速度

- 片面プリント時  
カラー：40 枚 / 分、モノクロ：40 枚 / 分
- 両面プリント時  
カラー：26 頁 / 分、モノクロ：26 頁 / 分

補足

- A4 たて、同一原稿を普通紙にプリントするときの速度です。用紙種類、サイズ、条件によっては、速度が低下します。

### ■ ファーストプリント時間

A4：カラー 8.0 秒、モノクロ 8.0 秒

注記

- 本体給紙トレイから給紙した場合です。数値は、出力環境によって異なります。

### ■ 解像度

- 標準【ART EX ドライバー】  
標準：1,200×2,400 dpi、高画質：1,200×2,400 dpi、高精細：1,200×1,200 dpi
- オプション【Adobe PostScript 3 ドライバー】  
高速（標準）：600×600 dpi、高画質：1,200×2,400 dpi、高精細：1,200×1,200 dpi

### ■ 階調

各色 256 階調（1,670 万色）

## ■用紙サイズ

- 標準トレイ：

A5、A5 よこ<sup>\*</sup>、B5 (JIS)、B5 (ISO)、A4、139.7×215.9 mm (Statement)、184.0×267.0 mm (Executive)、8.5×11" (レター)、8.5×13" (リーガル)、8.5×14" (リーガル)、封筒 (洋長形 3 号、洋形 4 号、長形 3 号、長形 4 号、角形 6 号、COM-10、モナーク、DL、C5)、郵便はがき<sup>\*</sup>、往復はがき、4 連はがき  
ユーザー定義サイズ：幅 76.2 ~ 215.9 mm × 長さ 148.0 ~ 355.6 mm

<sup>\*</sup>: A5 対応用紙ガイド (オプション) 使用の場合

- 手差しトレイ：

A6、B6、A5、A5 よこ、B5 (JIS)、B5 (ISO)、A4、139.7×215.9 mm (Statement)、184.0×267.0 mm (Executive)、8.5×11" (レター)、8.5×13" (リーガル)、8.5×14" (リーガル)、封筒 (洋長形 3 号、洋形 2 号、洋形 3 号、洋形 4 号、長形 3 号、長形 4 号、角形 6 号、COM-10、モナーク、DL、C5)、郵便はがき、往復はがき、4 連はがき  
ユーザー定義サイズ：幅 76.2 ~ 215.9 mm × 長さ 127.0 ~ 355.6 mm

- オプショントレイ：

A5、B5 (JIS)、B5 (ISO)、A4、139.7×215.9 mm (Statement)、184.0×267.0 mm (Executive)、8.5×11" (レター)、8.5×13" (リーガル)、8.5×14" (リーガル)  
ユーザー定義サイズ：幅 76.2 ~ 215.9 mm × 長さ 190.5 ~ 355.6 mm

- 両面印刷：

A5、B5 (JIS)、A4、5.5×8.5"、7.25×10.5"、8.5×11" (レター)、8.5×13" (リーガル)、8.5×14" (リーガル)

ユーザー定義サイズ：幅 139.7 ~ 215.9 mm × 長さ 203.2 ~ 355.6 mm

- 像欠け幅：

先端 / 後端 / 左右端 4.0 mm

## ■用紙坪量

標準トレイ：60 ~ 220 g/m<sup>2</sup>

手差しトレイ：60 ~ 220 g/m<sup>2</sup>

オプショントレイ：60 ~ 220 g/m<sup>2</sup>

両面印刷：60 ~ 176 g/m<sup>2</sup>

### 注記

- 弊社推奨紙の使用をお勧めします。用紙の種類 (紙質、サイズなど) によっては正しくプリントできない場合があります。
- ユーザー定義サイズの用紙を使用する場合は、用紙走行性を事前に確認してください。
- インクジェット専用用紙は使用できません。
- 再生紙はがきは使用できない場合があります。
- 使用済用紙のうら面、および事前に印刷した用紙にプリントする場合や、使用環境が乾燥地、寒冷地、高温多湿の場合は、用紙によってプリントの品質が低下することがあります。また、用紙の種類や環境条件により印刷の品質に差異が生じる場合がありますので、事前に印刷品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

## ■給紙容量

標準：トレイ 550 枚 + 手差しトレイ 150 枚

オプション：トレイ 550 枚

最大：2,350 枚 [標準 + オプショントレイ ×3]

**補足**

- 富士ゼロックス社製の用紙の場合です。

**■ 出力トレイ容量**

250 枚

**補足**

- 富士ゼロックス社製の用紙の場合です。

**■ 両面機能**

標準

**■ CPU**

ARM Dual Core 1.3 GHz

**■ メモリー容量**

4 GB (最大 : 4 GB)

**■ ストレージ容量**

3.6 GB、オプション : 128 GB

**注記**

- 128 GB は、オプションのストレージ (SSD) を装着したときの容量です。

**■ 搭載フォント**

- 標準 :
  - アウトラインフォント (平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5、欧文 21 書体)
  - ストロークフォント (日本語書体、欧文書体 : HP-GL 用)、欧文 82 書体 / シンボル 43 セット (PCL 用)
- オプション :
  - 【Adobe PostScript 3】  
平成 2 書体版 : 日本語 2 書体 (平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5、欧文 136 書体)

**■ ページ記述言語**

- 標準 :  
ART EX
- オプション :  
Adobe PostScript 3

**■ エミュレーション**

- 標準 :  
ART IV、ESC/P (VP-1000)、PDF、XPS、DocuWorks 文書 (XDW)、TIFF、PC-PR201H、HP-GL (HP7586B)、HP-GL2/RTL (HP Designjet 750C Plus)、PCL5/PCL6

**■ 対応 OS**

- 標準 : [ART EX ドライバー]  
Windows 10 (32 ビット)

Windows 10 (64 ビット)  
 Windows 8.1 (32 ビット)  
 Windows 8.1 (64 ビット)  
 Windows 7 (32 ビット)  
 Windows 7 (64 ビット)  
 Windows Server 2019 (64 ビット)  
 Windows Server 2016 (64 ビット)  
 Windows Server 2012 R2 (64 ビット)  
 Windows Server 2012 (64 ビット)  
 Windows Server 2008 R2 (64 ビット)  
 Windows Server 2008 (64 ビット)  
 Windows Server 2008 (32 ビット)  
 macOS 10.15 Catalina  
 macOS 10.14 Mojave  
 macOS 10.13 High Sierra  
 macOS 10.12 Sierra  
 OS X 10.11 El Capitan  
 OS X 10.10 Yosemite

• オプション：[Adobe PostScript 3 ドライバー]

Windows 10 (32 ビット)  
 Windows 10 (64 ビット)  
 Windows 8.1 (32 ビット)  
 Windows 8.1 (64 ビット)  
 Windows 7 (32 ビット)  
 Windows 7 (64 ビット)  
 Windows Server 2019 (64 ビット)  
 Windows Server 2016 (64 ビット)  
 Windows Server 2012 R2 (64 ビット)  
 Windows Server 2012 (64 ビット)  
 Windows Server 2008 R2 (64 ビット)  
 Windows Server 2008 (64 ビット)  
 Windows Server 2008 (32 ビット)  
 macOS 10.15 Catalina  
 macOS 10.14 Mojave  
 macOS 10.13 High Sierra  
 macOS 10.12 Sierra  
 OS X 10.11 El Capitan  
 OS X 10.10 Yosemite

補足

- 最新の対応 OS については、当社公式サイトをご覧ください。

## ■ インターフェイス

- 標準

Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、USB3.0、USB2.0、無線 LAN (IEEE 802.11 a/b/g/n/ac)

## ■ 対応プロトコル

TCP/IP (Ipd、IPP、Port9100)

## ■ 電源

AC 100 V $\pm$ 10 %、15 A、50/60 Hz 共用

### 補足

- 推奨するコンセント容量です。機械側の最大電流は、15 A です。

## ■ 騒音

稼働時 (本体のみ) : 6.9 B、53.5 dB (A)

待機時 : 4.9 B、33.2 dB (A)

### 補足

- ISO7779 に基づいて、本体だけを測定した値です。
- 単位 B は音響パワーレベル (LWA<sub>d</sub>)、単位 dB は放射音圧レベル (バースタンド位置) を表します。

## ■ 最大消費電力

最大 : 1,270 W

スリープモード時 : 0.4 W

平均 - 待機モード時 : 68 W

平均 - 稼働時 : 721 W

## ■ エネルギー消費効率

104 kWh/年、区分 : プリンター A

## ■ 外形寸法

幅 428.0 $\times$  奥行 466.0 $\times$  高さ 408.0 mm

### 補足

- オプションの用紙トレイの高さは 123 mm です。3 つまで追加できます。

## ■ 質量

- 消耗品とドラムカートリッジを含む場合

28.0 kg

- 消耗品とドラムカートリッジを含まない場合

24.0 kg

### 補足

- トナーカートリッジを含みます。
- オプションの用紙トレイの質量は、6.6 kg です。3 つまで追加できます。

# プリント可能領域

## 標準印字領域

用紙の上下左右の端から余白（4.1 mm）を除いた領域です。

## 拡張印字領域

印字領域を広げてプリントします。

ただし、本機の制限によって用紙の端までプリントできない部分があります。

### 注記

- 本機は、用紙の端から 4.0 mm 未満の領域にはプリントできません。また、プリント時の本機の最大印字可能領域は、211.0 mm×352.0 mm です。これを越えてプリントすることはできません。

### 参照

- プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。操作パネルでの設定方法については、「[プリント可能領域]」(P.140) を参照してください。

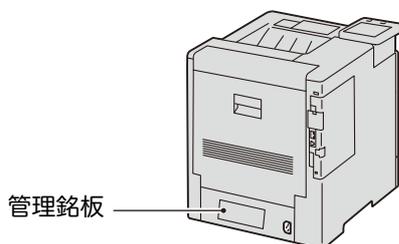
# 保証について

## 保証書について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店、またはサービス窓口へお問い合わせください。

### 補足

- 本機の背面に製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



## 保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守  
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理  
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- PrinterSupportPack  
PrinterSupportPack は、プリンターの障害復旧に必要なハードウェア保守を提供する保守パッケージ商品です。  
詳しくは、  
「<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/psp/outline/index.html>」を参照してください。

## 保守サービスの種類

種類	概要	修理料金		お支払方法	受付窓口 *1
		保証 期間内	保証 期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。 <sup>*2</sup> （原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NEC フィールディング (株)
スポット保守 (出張修理)	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料 <sup>*3</sup>	修理料 + 出張料	そのつど 清算	

\*1 :受付窓口の所在地、連絡先などはインターネットの Web ページ  
<https://www.fielding.co.jp/per/index.html>

をご覧ください。お問い合わせください。

\*2 :保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー（個人番号）は取り扱いしません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や記憶領域等が存在し、マイナンバー（個人番号）を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせていただきます。

\*3 :本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

保守サービスの最新情報については、インターネットの Web ページ  
[\(https://jpn.nec.com/printer/laser/support/\)](https://jpn.nec.com/printer/laser/support/) をご覧ください。

## プリンターの耐久性について

本機の耐久性は印刷枚数 30 万枚、または使用年数 5 年のいずれか早い方です。

## 補足

- 印刷枚数は、A4 の普通紙を片面連続印刷した場合の目安です。使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンターの電源投入頻度などにより変動します。本機は、有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換が必要です。なお、商品の性能維持のためには、定期交換部品の交換が必要です。交換については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。

## 有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを有寿命部品（定期交換部品、有償）といいます。

部品名	交換の周期
定着ユニット	約 100,000 頁印刷可能、または通電時間が 9,000 時間以上
転写ユニットキット	約 100,000 頁印刷可能
給紙ローラキット（オプショントレイ用）	約 100,000 頁印刷可能

有寿命部品（定期交換部品、有償）は、寿命がくると交換依頼を促すメッセージとエラーコードが表示されます。ベルトユニット以外の部品が寿命になっても機械は停止しませんが、本機の性能を維持するために早めの交換をお願いします。

メッセージとエラーコードが表示された場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。

有寿命部品（定期交換部品、有償）は、エンジニアが交換いたします。

### 注記

- 交換の周期は、A4 サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際に印刷可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因をある家庭に基づき印刷ページ数に置き換えて表示しているためです。

たとえば、定着ユニットの寿命の支配的要因は通電時間になりますが、これを印刷ページ数に換算して表記しているためです。

- 定着ユニットの交換の周期は印刷ページのほかに通電時間も要因になります。スリープモードへの移行設定時間によっては大きく影響します。

## 情報サービスについて

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談、修理受付、使い方相談に関する窓口等、最新情報をホームページで提供しています。

URL : <http://jpn.nec.com/printer/laser/support/>

## MultiWriter サポート窓口について

MultiWriter サポート窓口		
修理受付窓口	保守契約（サポートパック含む）されているお客様	専用フリーダイヤルへおかけください。（契約後 担当営業または登録窓口より案内） 受付時間：年中無休 24 時間
	保守契約されていないお客様	NEC プリンタインフォメーションセンター フリーダイヤル 0120-614-552
使い方相談		（受付時間：9:00 ～ 17:00 月曜日～金曜日 *土・日・祝日および当社所定の休日を除く）  携帯電話・PHS からでもご利用になれます。 （電話番号をよくお確かめの上おかけください。）

# 使用済みカートリッジ回収について

## ■ 方法 1

### 直接回収

使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1本からでも、弊社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。

- 連絡先

EP カートリッジ回収センター

TEL : 0120-30-6924 FAX : 0120-30-8049

E-MAIL : ep-kai@mua.biglobe.ne.jp

- 受付時間

9:00 ~ 17:00（土・日・祝日を除く）

## ■ 方法 2

### お持ち込みいただく場合

お買い上げの販売店までお持ちください。購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。

### 補足

- 回収を希望されないカートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分していただきますようお願い申し上げます。

# 消耗品および補修用性能部品について

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

# 本機の廃棄について

本機の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はトナーカートリッジを取り外してお出してください。

## エミュレーションについて

プリントデータはある規則（文法）に従ったデータになっています。この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。

## エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/P エミュレーションモード (ESC/P モード)	VP-1000
PC-PR201H エミュレーションモード (PC-PR201H モード)	PC-PR201H
HP-GL エミュレーションモード (HP-GL モード)	7586B または DJ750C Plus
HP-GL/2 エミュレーションモード (HP-GL/2 モード)	DJ750C Plus
PCL エミュレーションモード (PCL モード)	HP-CLJ5500

## プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

### コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

### 自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。

### プロトコル従属

CentreWare Internet Services を使って、プロトコル (LPD、IPP、Port9100、WSD) ごとにプリント言語を固定化できます。

## モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。モードメニュー画面を表示するには、ホーム画面で [プリンターモード] をタップし、設定するエミュレーションモードを選んでください。

### 補足

- [メモリー呼び出し]、[メモリー登録 / 削除]、[立ち上げメモリー] は、ESC/P モード、HP-GL/2 モード、PC-PR201H モードに表示されます。

### [メモリー呼び出し]

メモリーに登録した設定を呼び出します。

[工場出荷時の設定] を選ぶか、[ユーザー登録メモリー] で登録してある設定の番号を選びます。

### [詳細確認 / 変更]

エミュレーションモードの項目番号に設定されている値を確認 / 変更します。

- [項目番号] に機能の項目番号を入力すると現在の設定値を表示できます。
- 設定値を変更するには、[変更値] に変更する値を入力し、[決定] をタップします。

### [メモリー登録 / 削除]

現在の設定項目の内容を [ユーザー登録メモリー] に登録したり、登録済みのメモリーを削除したりします。

### [立ち上げメモリー]

本機を起動したときの初期値を設定します。

[工場出荷時の設定] を選ぶか、[ユーザー登録メモリー] で登録してある設定の番号を選びます。

## 使用できるフォント

使用できるフォントは、[フォントリスト] および [PCL フォントリスト] で確認できます。

### ユーザー定義文字 (外字)

ESC/P モード、PC-PR201H モードでは、ユーザー定義文字 (外字) を使用できません。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録され、電源を切っても保持されます。各プリント言語の間で共有はできません。

## ART IV、ESC/P エミュレーションについて

### エミュレーションモードでのプリント機能

#### ■ N アップ (ESC/P)

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。

ESC/P モードでは、2 アップを利用できます。

#### ■ フォーム合成

ESC/P モードでは、あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。ESC/P モードからは、ESC/P および ART IV のフォームが使用でき、操作パネルから、合成するフォームを指定します。

#### ■ バーコード

ESC/P および ART IV モードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- JAN コード
- CODE39

- CODABAR
- Industrial 2 of 5
- Matrix 2 of 5
- Interleaved 2 of 5

#### ■ フォームについて

ART IV または ESC/P を使用して定形のフォームを登録できます。  
登録できるフォームの数は次のとおりです。

	ART IV	ESC/P
ストレージなし	64	64
ストレージあり	2048	64

#### 補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。

#### 参照

- フォームが登録されたかどうかは、「[ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト]」(P.111)で確認してください。

### ART IV および ESC/P に関連する設定メニュー

#### ■ [ポート設定]

[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100/WSD)  
エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- [USB- プリントモード指定]

USB ポートのプリントモード指定を、ART IV または ESC/P エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [ART IV] や [ESC/P] を指定できます。

#### 補足

- [USB- プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [ART IV] や [ESC/P] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.338)で説明している「自動切り替え」は行われません。
- CentreWare Internet Services を使って、プロトコル (LPD、IPP、Port9100、WSD) ごとにプリントモードを指定することもできます。

#### ■ [メモリー設定]

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [メモリー設定] で、ART IV のフォームやユーザー定義で使用するメモリー容量を指定します。

- [ART IV, ESC/P, 201H フォームメモリー]  
フォームを格納するメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。ストレージが取り付けられている場合は、[(ストレージ)] と表示されます。

- [ART IV ユーザー定義用メモリー]

ART IV のユーザー定義で使用するメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

- [フォーム削除]

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [フォーム削除] で、本機に登録されているフォームを削除します。

## ESC/P 設定項目一覧

ESC/P のモードメニューで設定できる項目について、基本設定項目と拡張設定項目に分けて説明します。

### 基本設定項目

設定項目	項目番号	設定値
カラーモード	5	[0] (初期値) : カラー [1] : モノクロ
給紙トレイ	3	[0] : 自動 [1] (初期値) : トレイ 1 [2] : トレイ 2 [3] : トレイ 3 [4] : トレイ 4 [5] : トレイ 5 (手差し)  <b>補足</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「自動」に設定した場合、同じサイズ of 用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイ 1 → トレイ 2 → トレイ 3 → トレイ 4 の順に給紙されます。また、同じサイズの用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、よこにセットされている用紙が優先されます。</li> </ul>
原稿サイズ	1	[99] (初期値) : 用紙 [100] : 連続紙 (10×12) [101] : 連続紙 (10×11) [102] : 連続紙 (15×12) [103] : 連続紙 (15×11) [3] : A3 [4] : A4 [5] : A5 [14] : B4 [15] : B5 [21] : 8.5×14 [22] : 8.5×13 [23] : 8.5×11 [24] : 11×17 [0] : はがき  <b>補足</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「原稿サイズ」で連続紙に設定した場合、「用紙位置」の設定はできません。</li> <li>• 「倍率」で「固定倍率」または「カット紙全面」が設定されている場合、「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせで倍率が自動設定されます。ただし、45～210% に収まらない倍率値となった場合、原稿は自動拡張/縮小されず等倍でプリントされます。また、2 アップモードが設定されている場合は、「原稿サイズ」と「用紙サイズの 1/2」の組み合わせで倍率が自動設定されます。</li> </ul>

設定項目	項目番号	設定値
用紙方向	19	<p>【0】(初期値)：縦 【1】：横</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ここで設定する方向は「原稿の向き」です。トレイ内の用紙のセットの方向には影響しません。</li> </ul>
用紙サイズ	2	<p>「給紙トレイ」の設定が「自動」、または「トレイ 5 (手差し)」の場合の用紙サイズを設定します。また、設定できる用紙はカット紙だけです。</p> <p>【4】：A4 【5】：A5 【15】：B5 【21】：8.5×14 【22】：8.5×13 【23】：8.5×11 【0】：はがき</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「給紙トレイ」を「トレイ 1」～「トレイ 4」のどれかに設定しているときには、「用紙サイズ」の設定はできません。</li> </ul> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「倍率」で「固定倍率」または「カット紙全面」が設定されている場合、「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせで倍率が自動設定されます。ただし、45～210%に収まらない倍率値となった場合、原稿は自動拡張/縮小されず等倍でプリントされます。また、2 アップモードが設定されている場合は、「原稿サイズ」と「用紙サイズの 1/2」の組み合わせで倍率が自動設定されます。</li> </ul>

#### 拡張設定項目

設定項目	項目番号	設定値
用紙位置	20	<p>【0】(初期値)：カットシートフィーダーなし (左) 【1】：カットシートフィーダーあり (中央)</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カットシートフィーダーなしの場合は、FF (改ページコマンド) を受信すると、VFU で設定された値だけ行送りをします。カットシートフィーダーありの場合は、改ページします。</li> <li>「原稿サイズ」で連続紙に設定した場合、「用紙位置」の設定はできません。</li> </ul>
出力部数	8	<p>【1～250】(初期値：1)：1～250 枚</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、lpd ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。</li> </ul>

設定項目	項目番号	設定値
倍率	54 (倍率モード)	<p>【0】(初期値)：固定倍率  【1】：任意倍率  【2】：カット紙全面</p> <p>固定倍率とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じであれば100% (等倍) 印字となります。また、2アップが設定されている場合には、2枚分の原稿サイズが1枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。</p> <p>任意倍率とは、「倍率」 &gt; 「任意倍率」で設定される倍率のことで、倍率の基準値は印字エリアの左上です。これは文字、イメージ、グラフィックスすべてにおける基準点になります。</p> <p>カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。</p> <p>カット紙全面とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが用紙サイズの印字エリアに収まるよう印字されます。</p> <p><b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「原稿サイズ」で連続紙が設定されている場合、「固定倍率」と「カット紙全面」は同じ印字結果となります。</li> </ul>
	17 (任意倍率 / 縦倍率)	【45～210】(初期値：100)：45～210%
	18 (任意倍率 / 横倍率)	
2UPモード	21	<p>【0】(初期値)：なし  【1】：順方向  【2】：逆方向</p> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「原稿サイズ」でよこ向きを指定している場合、「順方向」と「逆方向」のどちらを設定しても同じ結果となります。</li> </ul>
トレイ5確認表示	67	<p>トレイ5 (手差し) から給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作によってプリントを開始します。</p> <p>【0】(初期値)：なし  【1】：あり</p>
罫線	22	<p>2バイト系罫線フォントの印字方法を設定します。</p> <p>【0】(初期値)：イメージ  【1】：フォント</p>
両面	12	<p>【0】(初期値)：なし  【1】：左右開き  【2】：上下開き</p>
フォント	13 (漢字書体)	<p>2バイト系文字 (漢字) の書体を設定します。なお、2バイト系半角文字もこの書体が適用されます。</p> <p>【0】(初期値)：明朝  【1】：ゴシック</p> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本設定は、初期値を指定する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。</li> </ul>

設定項目	項目番号	設定値
フォント	14 (英数字書体)	1 バイト系文字 (ANK) の書体を設定します。 【0】(初期値) : ローマン 【1】 : サンセリフ  注記 • 本設定は、初期値を指定する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
印字制御	50 (漢字コード)	使用する漢字コード表を設定します。 【0】(初期値) : エプソン 【1】 : 東芝
	51 (白紙排出)	改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかしないかを設定します。 【0】(初期値) : しない 【1】 : する  補足 • 「しない」に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや、白だけのイメージデータのときは白紙が排出されます。 • 「しない」が設定され、2 アッププリントまたは両面プリントの指示がされている場合、白紙となるページはスキップして処理します。
	52 (印字桁範囲)	右マージンの位置を拡張できます。 【0】(初期値) : 標準 【1】 : 拡張  注記 • 印字桁範囲を「拡張」から「標準」に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。 • コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。
	53 (イメージエンハンスメント)	イメージエンハンスメントとは、白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。 【0】 : OFF 【1】(初期値) : ON
ESCP スイッチ	55 (文字品位)	文字の印字品質モードを高品位かドラフトに設定します。 【0】(初期値) : 高品位 【1】 : ドラフト  注記 • 「文字品位」、「縮小文字」、「文字コード表」、「ページ長」および「1 インチミシン目スキップ」の各設定は、初期値を指定する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。  補足 • 設定状態の変更で、実際の印字は変化しません。
	56 (縮小文字)	1 バイト系の英数字を印字する場合、文字を縮小して印字できます。縮小するか等倍で印字するかを設定します。 【0】(初期値) : しない 【1】 : する
	57 (文字コード表)	1 バイト系の英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。国内版アプリケーションをご使用の場合はカタカナを、海外版アプリケーションをご使用の場合は拡張グラフィックスに設定してください。 【0】(初期値) : カタカナ 【1】 : 拡張グラフィックス
	58 (ページ長)	1 ページの長さ(印字エリア)を11インチまたは12インチに設定します。 【0】(初期値) : 11 インチ 【1】 : 12 インチ

設定項目	項目番号	設定値
印字制御	59 (1 インチミシン目スキップ)	ページとページの間を 1 インチ空けるか、空けないかを設定します。 【0】(初期値) : しない 【1】 : する  注記 ・「用紙位置」で CSF が「なし」に設定されている場合だけ実行されます。
	60 (給紙位置)	印字開始位置を、用紙の上端から 8.5 mm か 22 mm に設定します。 【0】(初期値) : 8.5 mm 【1】 : 22 mm
	61 (CR の機能)	CR コマンド受信時の動作を設定します。 【0】(初期値) : 復帰 【1】 : 復帰改行
位置補正	15 (縦位置補正)	データをプリントする位置をたてまたはよこ方向に移動し、余白の位置を変える機能です。 【0】(初期値) : しない 【1 ~ 500】 : -250 ~ +250 mm
	16 (横位置補正)	注記 ・印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
拡張子	62 (拡張子指定)	通常の拡張コマンドは、コマンドを識別するための拡張子として、先頭に 16 進法で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン = 3BH) を指定しています。 ホストコンピューターで ESC コードやセミコロンを使用できない場合は、それに代わる特定の文字列を拡張子として使用できます。この拡張子の置き換え機能を有効にするかどうかを設定します。 有効にする場合、項目番号 63 で、拡張子を指定します。 【0】(初期値) : 無効 【1】 : 有効
	63 (拡張子)	テキストコードで制御できるようにする場合は、拡張コマンドの拡張子(先頭 2 バイト)を指定します。画面に表示されるキーボードから 2 文字を入力します。 【&%】(初期値) : 0x21 ~ 0x7e
フォーム合成	64	登録されているフォーム名 (No.01 ~ 64) を指定することによって、常にフォームを合成します。 【0】(初期値) : しない 【1 ~ 64】 : No.1 ~ No.64  注記 ・本設定は、初期値を指定する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。 ・フォームを指定したあと、フォームが削除された場合でも、そのフォーム名が表示されています。この場合はフォームが合成されません。
手差し給紙の一時停止	67	手差しトレイから給紙するとき、一時停止するかしないかを設定します。一時停止したあとに本体側の操作によって、プリントを開始します。 【0】 : しない 【1】(初期値) : する
フォーム種類	68	【0】(初期値) : ESC/P 【1】 : ART IV
文字コード	71	【0】(初期値) : JIS 【1】 : ShiftJIS
バイナリーデータの指定文字列	72	16 進表記でコマンドを入力する指定文字列を設定します。 【0】(初期値) : OFF 【1】 : &\$\$ 【2】 : \$?!#

設定項目	項目番号	設定値
0の字体	73	0の字体を設定します。 【0】(初期値) : 0 【1】 : ∅
有効出力部数	74	プリント部数の指定方法を設定します。 【0】 : プロトコル指定 【1】 : パネル 【2】(初期値) : コマンド
バーコードモード	75	バーコードモードを設定します。バーコードモードに設定すると、バーコードの輪郭がはっきりと印刷されます。 【0】(初期値) : 通常モード 【1】 : バーコードモード

## PC-PR201H エミュレーションについて

### エミュレーションモードでのプリント機能

PC-PR201H エミュレーションモードで使用できる、本機のプリント機能について説明します。

#### ■ N アップ

N アップは、複数ページを縮小して、1枚の用紙にプリントする機能です。

#### ■ フォーム合成

PC-PR201H モードでは、あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。PC-PR201H および ART IV のフォームが使用できます。

操作パネルから、合成するフォームを指定できます。

#### ■ バーコード

PC-PR201H モードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- JAN コード
- CODE39
- CODABAR
- Industrial 2 of 5
- Matrix 2 of 5
- Interleaved 2 of 5

#### ■ フォームについて

本機では、PC-PR201H を使用して定形のフォームに登録できます。フォームは、64 ファイルまで登録できます。

##### 補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。

##### 参照

- フォームが登録されたかどうかは、「[ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト]」(P.111) で確認してください。

## PC-PR201H に関連する設定メニュー

### ■ [ポート設定]

[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100/WSD)

PC-PR201H エミュレーションで使用するポートを起動します。

- [USB- プリントモード指定]

USB ポートのプリントモード指定を、PC-PR201H エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [PC-PR201H] を指定できます。

#### 補足

- [USB- プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [201H] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.338) で説明している「自動切り替え」は行われません。
- CentreWare Internet Services を使って、プロトコル (LPD、IPP、Port9100、WSD) ごとにプリントモードを指定することもできます。

### ■ [メモリー設定]

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [メモリー設定] で、PC-PR201H のフォームで使用するメモリー容量を指定します。

- [ART IV, ESC/P, 201H フォームメモリー]

フォームを格納するメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。ストレージが取り付けられている場合は、[(ストレージ)] と表示されます。

### ■ [フォーム削除]

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [フォーム削除] で、本機に登録されているフォームを削除します。

## PC-PR201H 設定項目一覧

モードメニューで設定できる項目について、基本設定項目と拡張設定項目に分けて説明します。

## 基本設定項目

設定項目	項目番号	設定値
原稿サイズ	301	<p>【0】：はがき            【3】：A3            【4】：A4            【5】：A5            【14】：B4            【15】：B5            【21】：8.5×14            【22】：8.5×13            【23】：8.5×11            【24】：11×17            【99】（初期値）：用紙            【100】：連続紙（10×12）            【101】：連続紙（10×11）            【102】：連続紙（15×12）            【103】：連続紙（15×11）</p> <p><b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリント保証桁は、連続紙（10×12）は 80 桁 /72 行、連続紙（10×11）は 80 桁 /66 行、連続紙（15×12）は 136 桁 /72 行、連続紙（15×11）は 136 桁 /66 行です。</li> <li>• 「原稿サイズ」で連続紙に設定した場合、「用紙位置」の設定はできません。</li> <li>• 「倍率」で「固定倍率」または「カット紙全面」が設定されている場合、「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせで倍率が自動設定されます。ただし、45～210% に収まらない倍率値となった場合、原稿は自動拡張 / 縮小されず等倍でプリントされます。また、2 アップモードが設定されている場合は、「原稿サイズ」と「用紙サイズの 1/2」の組み合わせで倍率が自動設定されます。</li> </ul>
用紙サイズ	302	<p>「給紙トレイ」の設定が「自動」、または「トレイ 5（手差し）」の場合の用紙サイズを設定します。また、設定できる用紙はカット紙だけです。</p> <p>【0】：はがき            【4】：A4            【5】：A5            【15】：B5            【21】：8.5×14            【22】：8.5×13            【23】：8.5×11</p> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「給紙トレイ」を「トレイ 1」～「トレイ 4」のどれかに設定しているときには、その用紙トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため、「用紙サイズ」の設定はできません。</li> </ul> <p><b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「倍率」で「固定倍率」または「カット紙全面」が設定されている場合、「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせで倍率が自動設定されます。ただし、45～210% に収まらない倍率値となった場合、原稿は自動拡張 / 縮小されず等倍でプリントされます。また、2 アップモードが設定されている場合は、「原稿サイズ」と「用紙サイズの 1/2」の組み合わせで倍率が自動設定されます。</li> </ul>

設定項目	項目番号	設定値
給紙トレイ	303	<p>【0】：自動            【1】（初期値）：トレイ 1            【2】：トレイ 2            【3】：トレイ 3            【4】：トレイ 4            【5】：トレイ 5（手差し）</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「自動」に設定した場合、同じサイズ of 用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイ 1 → トレイ 2 → トレイ 3 → トレイ 4 の順に給紙されます。また、同じサイズ of 用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、よこにセットされている用紙が優先されます。</li> </ul>
カラーモード	304	<p>【0】：カラー            【1】（初期値）：モノクロ</p>
出力部数	305	<p>【1】～【250】（初期値：1）：1～250 枚</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューターからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、lpd ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。</li> </ul>

## 拡張設定項目

設定項目	項目番号	設定値
両面	307	<p>【0】（初期値）：なし            【1】：左右開き            【2】：上下開き</p>
フォント	308 （漢字書体）	<p>2 バイト系文字（漢字）の書体を設定します。なお、2 バイト系半角文字もこの書体が適用されます。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォントについては「使用できるフォント」(P.339)を参照してください。</li> </ul> <p>【0】（初期値）：明朝            【1】：ゴシック</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本設定は、初期値を指定する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。</li> </ul>
	309 （英数字書体）	<p>1 バイト系文字（ANK）の書体を設定します。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォントについては「使用できるフォント」(P.339)を参照してください。</li> </ul> <p>【0】（初期値）：ローマン            【1】：サンセリフ</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本設定は、初期値を指定する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。</li> </ul>
位置補正	310 （横位置補正）	<p>データをプリントする位置をたてまたはよこ方向に移動し、余白の位置を変える機能です。</p>
	311 （横位置補正）	<p>【0】（初期値）：しない            【1】～【250】：-250～-1 mm            【251】～【500】：+1～+250 mm</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。</li> </ul>

設定項目	項目番号	設定値
倍率	312 (縦倍率)	【45】～【210】(初期値：100)：45～210%
	313 (横倍率)	
用紙方向	314	<p>【0】(初期値)：縦 【1】：横</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ここで設定する方向は「原稿の向き」です。トレイ内の用紙のセットの方向には影響しません。</li> </ul>
用紙位置	315	<p>【0】(初期値)：左置き 【1】：中央置き</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「原稿サイズ」で連続紙に設定した場合、「用紙位置」の設定はできません。</li> </ul>
2UP モード	316	<p>【0】(初期値)：なし 【1】：順方向 【2】：逆方向</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「原稿サイズ」でよこ向きを指定している場合、「順方向」と「逆方向」のどちらを設定しても同じ結果となります。</li> </ul>
罫線	317	<p>2バイト系罫線フォントの印字方法を設定します。</p> <p>【0】(初期値)：イメージ 【1】：フォント</p>
印字制御	318 (白紙排出)	<p>改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかしないかを設定します。</p> <p>【0】(初期値)：しない 【1】：する</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「しない」に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや、白だけのイメージデータのときは白紙が排出されます。</li> <li>「しない」が設定され、2 アッププリントまたは両面プリントの指示がされている場合、白紙となるページはスキップして処理します。</li> </ul>
	319 (印字桁範囲)	<p>右マージンの位置を拡張できます。</p> <p>【0】(初期値)：標準 【1】：拡張</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印字桁範囲を「拡張」から「標準」に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。</li> <li>コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。</li> </ul>
	320 (イメージエンハンス)	<p>イメージエンハンスメントを行うか行わないかを設定します。</p> <p>イメージエンハンスメントとは、画像の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。</p> <p>【0】：OFF 【1】(初期値)：ON</p>

設定項目	項目番号	設定値
印字制御	321 (倍率モード)	<p>【0】(初期値)：固定 【1】：任意 【2】：カット全面</p> <p>固定倍率とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じであれば100% (等倍) 印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。</p> <p>任意倍率とは、「倍率」 &gt; 「任意倍率」で設定される倍率のことで、倍率の基準値は印字エリアの左上です。これは文字、イメージ、グラフィックスすべてにおける基準点になります。</p> <p>カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。</p> <p>カット紙全面とは、設定されている「原稿サイズ」と「用紙サイズ」から自動算出される倍率のことで、設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが用紙サイズの印字エリアに収まるよう印字されます。</p>
	322 (国別文字)	<p>【0】(初期値)：日本 【1】：アメリカ 【2】：イギリス 【3】：ドイツ 【4】：スウェーデン</p>
	323 (自動改行)	<p>右マージン位置を超えたときの自動改行の動作を設定します。</p> <p>【0】：CR 【1】(初期値)：CR/LF 「CR」は印字復帰だけします。「CR/LF」は印字復帰したあと改行します。</p>
	324 (印字指令)	<p>印字指令のコマンドを設定します。</p> <p>【0】(初期値)：CR 【1】：すべて 「CR」は印字指令のコマンドをCRのみ、「すべて」は印字指令のコマンドを、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b とします。</p>
	325 (CRの機能)	<p>CR コマンド受信時の動作を設定します。</p> <p>【0】(初期値)：復帰 【1】：復帰改行</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この設定は、初期値を設定する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。</li> </ul> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この設定は、8 ビットドットイメージ印字コマンドの印字結果に影響しません。</li> </ul>
	326 (0の書体)	<p>数字の0の字体を設定します。</p> <p>【0】(初期値)：0 【1】：∅ 「0」は普通の字体、「∅」は斜線のついた字体に設定します。</p>
	327 (グラフィック ドット数)	<p>ドット対応のグラフィックドット数の種類を設定します。</p> <p>【0】(初期値)：ネイティブ 【1】：コピー</p>
	328 (データサイ ズ)	<p>データのビットサイズを設定します。</p> <p>【0】：7ビット 【1】(初期値)：8ビット</p>
	329 (1ページ長)	<p>1 ページの長さ (印字エリア) を11 インチ (初期値) か12 インチに設定します。</p> <p>【0】(初期値)：11 インチ 【1】：12 インチ</p>

設定項目	項目番号	設定値
印字制御	330 (拡張子指定)	通常の拡張コマンドは、コマンドを識別するための拡張子として、先頭に 16 進法で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン =3BH) を指定しています。 ホストコンピュータで ESC コードやセミコロンを使用できない場合は、それに代わる特定の文字列を拡張子として使用することができます。この拡張子の置き換え機能を有効にするかどうかを設定します。 有効にする場合、項目番号 331 で、拡張子を指定します。 【0】(初期値)：無効 【1】：有効  補足 • 拡張子に 1B3B を使用する時は「無効」、任意の文字列を使用する場合は「有効」を設定してください。
	331 (拡張子)	テキストコードで制御できるようにしたい場合は、拡張コマンドの拡張子(先頭 2 バイト)を指定します。画面に表示されるキーボードから 2 文字を入力します。 【&%】(初期値)：0x21 ~ 0x7e
	332 (フォーム合成)	登録されているフォーム名 (No.01 ~ 64) を指定することによって、常にフォームを合成します。 【0】(初期値)：しない 【1】 ~ 【64】：No.1 ~ No.64  注記 • 本設定は、初期値を指定する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
	336 (フォーム種類)	フォームの種類を指定します。 【0】(初期値)：PC-PR201H 【1】：ART IV
トレイ5確認表示	335	トレイ 5 (手差し) から給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作によってプリントを開始します。 【0】(初期値)：なし 【1】：あり
カットシートフィーダー (CSF)	338	カットシートフィーダー機能を設定します。 CSF なしの場合は、改ページコマンドを受信したら、VFU で設定された設定値まで印字ヘッドを移動させ、印字位置は左よりになります。 CSF ありの場合は、改ページコマンドを受信したら、用紙を自動排出後に自動給紙して、印字位置は中央になります。 【0】(初期値)：CSF なし 【1】：CSF あり
有効出力部数	339	プリント部数の指定方法を設定します。 【0】：プロトコル指定 【1】：パネル 【2】(初期値)：コマンド

## PCL エミュレーションについて

### PCL に関連する設定メニュー

#### ■ [ポート設定]

[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100/WSD)  
PCL エミュレーションで使用するポートを起動します。

• [USB- プリントモード指定]

USB ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [PCL] を選びます。

補足

- [USB- プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [PCL] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.338) で説明している「自動切り替え」は行われません。
- CentreWare Internet Services を使って、プロトコル (LPD、IPP、Port9100、WSD) ごとにプリントモードを指定することもできます。

## PCL 設定項目一覧

設定項目	項目番号	設定値
給紙トレイ	201	<p>[0] (初期値) : 自動            [1] : トレイ 1            [2] : トレイ 2            [3] : トレイ 3            [4] : トレイ 4            [5] : トレイ 5 (手差し)</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「自動」に設定した場合、同じサイズ of 用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイ 1 → トレイ 2 → トレイ 3 → トレイ 4 の順に給紙されます。また、同じサイズの用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、よこにセットされている用紙が優先されます。</li> </ul>
用紙サイズ (「給紙トレイ」が「自動」の場合)	202	<p>「給紙トレイ」の設定が「自動」の場合の用紙サイズを設定します。また、設定できる用紙はカット紙だけです。</p> <p>[4] (初期値) : A4            [5] : A5            [15] : B5            [21] : 8.5×14            [22] : 8.5×13            [23] : 8.5×11            [25] : ユーザー定義用紙</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「給紙トレイ」を「トレイ 1」～「トレイ 4」のどれかに設定しているときには、「用紙サイズ」の設定はできません。設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。</li> </ul> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせによって、倍率符号が「?」となることがあります。この場合、原稿は等倍でプリントされます。</li> </ul>
用紙サイズ (「給紙トレイ」が「手差しトレイ」の場合)	203	<p>「給紙トレイ」の設定が「手差し」の場合の用紙サイズを設定します。また、設定できる用紙はカット紙だけです。</p> <p>[4] (初期値) : A4            [5] : A5            [15] : B5            [21] : 8.5×14            [22] : 8.5×13            [23] : 8.5×11            [25] : ユーザー定義用紙</p>
原稿の向き	205	<p>[0] (初期値) : 縦            [1] : 横</p>
両面	206	<p>[0] (初期値) : オフ            [1] : オン</p>

設定項目	項目番号	設定値
デフォルトフォント	207	<p>1 バイト系文字 (ANK) の書体を設定します。初期値は「23」で Courier です。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フォントについては「使用できるフォント」(P.339)を参照してください。</li> </ul> <p>           【0】 : CG Times            【1】 : CG Times Italic            【2】 : CG Times Bold            【3】 : CG Times Italic Bold            【4】 : Univers Medium            【5】 : Univers Medium Italic            【6】 : Univers Bold            【7】 : Univers Bold Italic            【8】 : Univers Medium Condensed            【9】 : Univers Medium Condensed Italic            【10】 : Univers Bold Condensed            【11】 : Univers Bold Condensed Italic            【12】 : Antique Olive            【13】 : Antique Olive Italic            【14】 : Antique Olive Bold            【15】 : CG Omega            【16】 : CG Omega Italic            【17】 : CG Omega Bold            【18】 : CG Omega Bold Italic            【19】 : Garamond Antiqua            【20】 : Garamond Kursiv            【21】 : Garamond Halbfett            【22】 : Garamond Kursiv Halbfett            【23】 (初期値) : Courier            【24】 : Courier Italic            【25】 : Courier Bold            【26】 : Courier Bold Italic            【27】 : Letter Gothic            【28】 : Letter Gothic Italic            【29】 : Letter Gothic Bold            【30】 : Albertus Medium            【31】 : Albertus Extra Bold            【32】 : Clarendon Condensed            【33】 : Coronet            【34】 : Marigold         </p>

設定項目	項目番号	設定値
デフォルトフォント	207	【35】 : Arial 【36】 : Arial Italic 【37】 : Arial Bold 【38】 : Arial Bold Italic 【39】 : Times New 【40】 : Times New Italic 【41】 : Times New Bold 【42】 : Times New Bold Italic 【43】 : Symbol 【44】 : Wingdings 【45】 : Line Printer 【46】 : Times Roman 【47】 : Times Italic 【48】 : Times Bold 【49】 : Times Bold Italic 【50】 : Helvetica 【51】 : Helvetica Oblique 【52】 : Helvetica Bold 【53】 : Helvetica Bold Oblique 【54】 : CourierPS 【55】 : CourierPS Oblique 【56】 : CourierPS Bold 【57】 : CourierPS Bold Oblique 【58】 : SymbolPS 【59】 : Palatino Roman 【60】 : Palatino Italic 【61】 : Palatino Bold 【62】 : Palatino Bold Italic 【63】 : ITC Bookman Light 【64】 : ITC Bookman Light Italic 【65】 : ITC Bookman Demi 【66】 : ITC Bookman Demi Italic 【67】 : Helvetica Narrow 【68】 : Helvetica Narrow Oblique 【69】 : Helvetica Narrow Bold 【70】 : Helvetica Narrow Bold Oblique 【71】 : New Century Schoolbook Roman 【72】 : New Century Schoolbook Italic 【73】 : New Century Schoolbook Bold 【74】 : New Century Schoolbook Bold Italic 【75】 : ITC Avant Garde Book 【76】 : ITC Avant Garde Book Oblique 【77】 : ITC Avant Garde Demi 【78】 : ITC Avant Garde Demi Oblique 【79】 : ITC Zapf Chancery Medium Italic 【80】 : ITC Zapf Dingbats

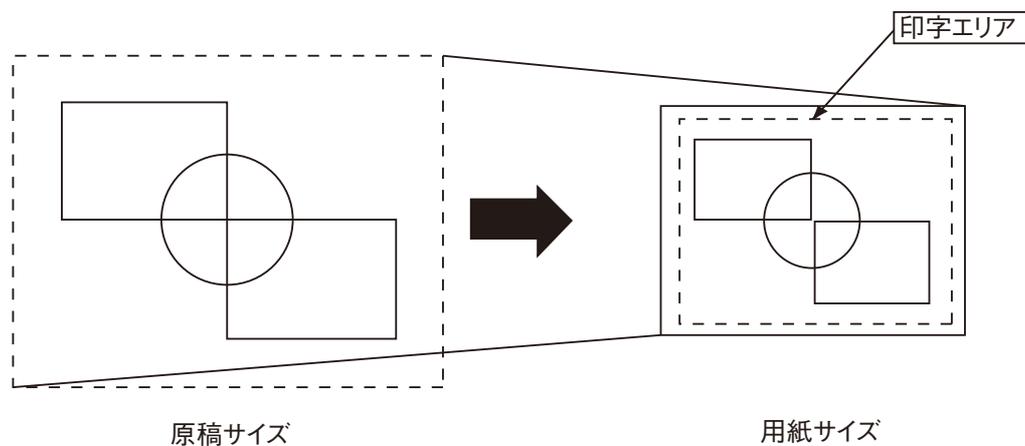
設定項目	項目番号	設定値
デフォルトシンボル	208	<p>シンボルセットの初期値を設定します。</p> <p>【0】(初期値) : Roman 8  【1】 : ISO 8859-1 Latin 1  【2】 : ISO 8859-2 Latin 2  【3】 : ISO 8859-9 Latin 5  【4】 : ISO 8859-10 Latin 6  【5】 : PC-8  【6】 : PC-8 DN  【7】 : PC-775  【8】 : PC-850  【9】 : PC-852  【10】 : PC-1004 (OS/2)  【11】 : PC Turkish  【12】 : Windows 3.1 Latin 1  【13】 : Windows 3.1 Latin 2  【14】 : Windows 3.1 Latin 5  【15】 : DeskTop  【16】 : PS Text  【17】 : MC Text  【18】 : Microsoft Publishing  【19】 : Math 8  【20】 : PS Math  【21】 : Pi Font  【22】 : Legal  【23】 : ISO 4 United Kingdom  【24】 : ISO 6 ASCII  【25】 : ISO 11 Swedish:names  【26】 : ISO 15 Italian  【27】 : ISO 17 Spanish  【28】 : ISO 21 German  【29】 : ISO 60 Norwegian v1  【30】 : ISO 69 French  【31】 : Windows 3.0 Latin 1  【32】 : Windows Baltic  【33】 : Symbol  【34】 : Wingdings  【35】 : UCS-2</p>
フォントサイズ	209	【400】 ~ 【5000】 (初期値 : 1200) : 4.00 ~ 50.00 ポイント
フォントピッチサイズ	210	【600】 ~ 【2400】 (初期値 : 1000) : 5 ~ 128 行
フォント行数	211	【5】 ~ 【128】 (初期値 : 64) : 6.00 ~ 24.00 ポイント
プリント部数	212	<p>【1】 ~ 【999】 (初期値 : 1) : 1 ~ 999 部</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、lpd ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。</li> </ul>
イメージエンハンス	213	<p>イメージエンハンスとは、画像の境界を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。</p> <p>【0】 : OFF  【1】 (初期値) : ON</p>
HexDump	214	<p>HexDump を有効にするかどうかを設定します。</p> <p>【0】 (初期値) : OFF  【1】 : ON</p>

設定項目	項目番号	設定値
薄墨印刷	215	白黒でプリントする場合に、黒でプリントされる部分を薄墨色でプリントします。この機能は、原稿全体に対して有効です。 【0】(初期値)：OFF 【1】：ON
カラーモード	216	【0】(初期値)：自動 【1】：カラー 【2】：モノクロ
両面時のとじ方	217	【0】(初期値)：長辺とじ 【1】：短辺とじ
行末処理	218	行末処理を設定します。 「CR-xx」は、CR のとき LF を後に付け、LF と FF のとき CR を前に付けます。 【0】(初期値)：OFF 【1】：LF を後に付ける 【2】：CR を前に付ける 【3】：CR-xx
ユーザー定義用紙サイズの初期値	219 (短辺)	ユーザー定義用紙の初期値を設定します。 【2100】(短辺初期値)：210.0 mm 【2970】(長辺初期値)：297.0 mm
	220 (長辺)	【0】～【9999】：0～999.9 mm
有効出力部数	221	プリント部数の指定方法を設定します。 【0】：プロトコル 【1】：パネル 【2】(初期値)：コマンド

## HP-GL/2 エミュレーションについて

### 工場出荷時の設定

工場出荷時の、HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定では、次のように用紙サイズに合わせて、原稿データを縮小拡大してプリント（オートレイアウト）します。



## ■ ペーパーマージン

工場出荷時は用紙サイズが A サイズに設定されており、少しでもプリントデータが有効座標エリアからはみ出す場合は、次の大きさの A 系列サイズに（例：A5 サイズの次は A4）プリントされます。

ペーパーマージンを設定すると、エリア判定モードで求めた有効座標エリアから、ページマージンで設定した領域を差し引いたエリアを有効座標エリアとします。指定した用紙サイズより大きいサイズにプリントされるような場合は、本設定を行ってください。

## ハードクリップエリア

HP-GL モードでは、印字可能エリアとは別に、用紙によって作画可能な領域が決まっています。この領域はハードクリップエリアと呼ばれ、ペンが移動する最大範囲を決定します。したがって、ハードクリップエリアを超えて作画することはできません。本機では、次の中からハードクリップエリアを選びます。

- 標準

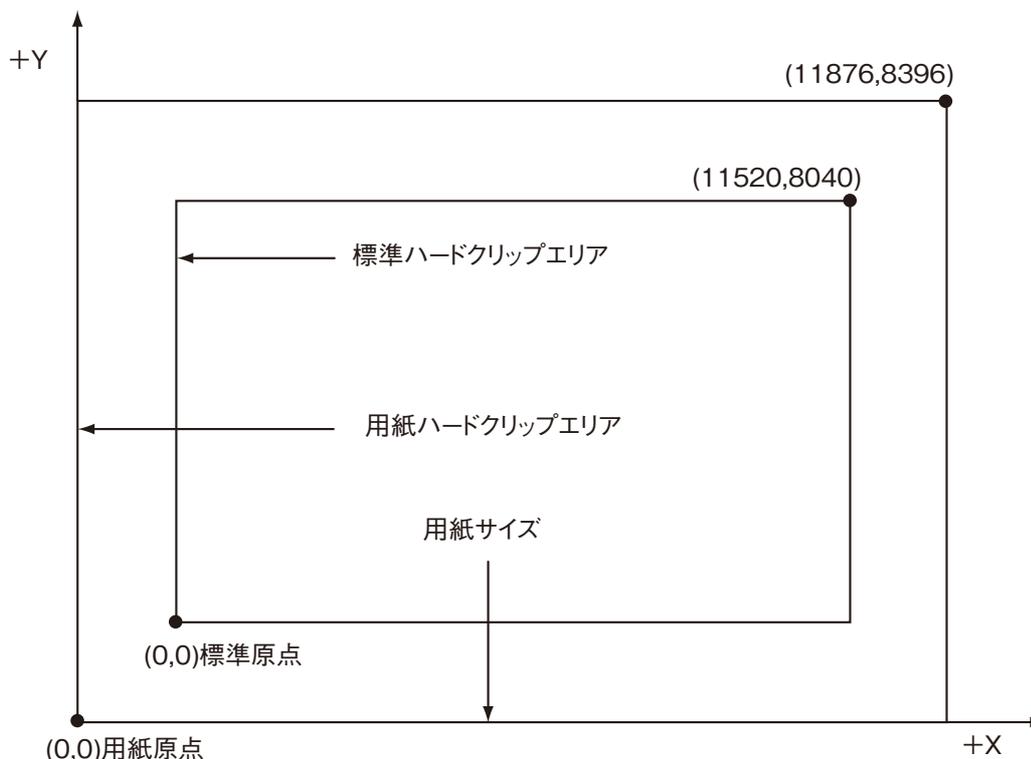
本機の印字可能エリアをハードクリップとして定義します。

- 用紙

用紙と同じサイズをハードクリップエリアとして定義します。しかし、実際にプリントできる領域は印字可能エリア内のみとなります。

ハードクリップエリアの設定は、HP-GL エミュレーションモード設定、またはハードクリップの指定コマンド &I で行うことができます。

下図の座標値は、A4 サイズで原点が左下（HP-GL/2 でオートレイアウト時）に設定されている場合です。



印字可能エリア

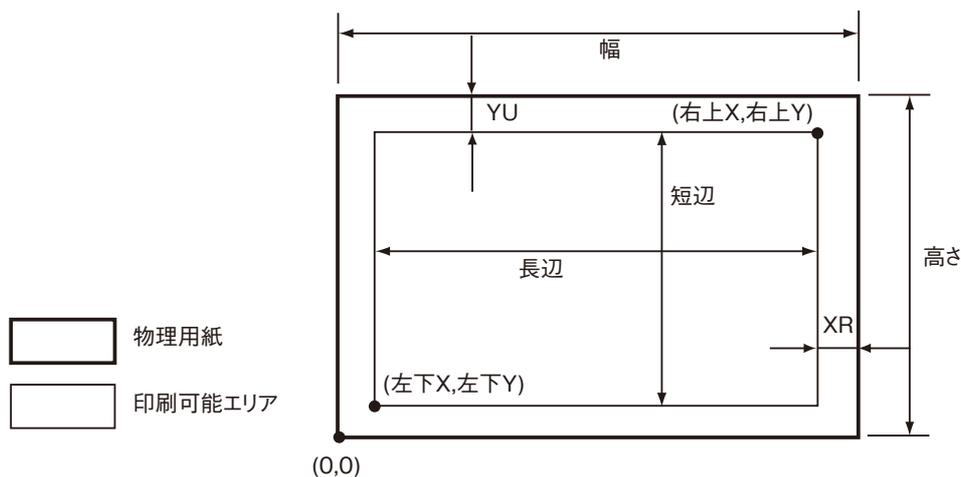
HP-GL モードで印刷できるエリアは、次のとおりです。

■用紙サイズと印刷可能エリア

用紙 サイズ	用紙長 (1/7200 インチ)		座標値 (1/7200 インチ)							
	X 方向	Y 方向	マージン		印刷可能エリア		右上端		マージン	
	幅	高さ	左下 X	左下 Y	長辺	短辺	右上 X	右上 Y	XR	YU
A4	84168	59508	1260	1260	81648	56988	82908	58248	1260	1260
A5	59508	41940	1260	1260	56988	39420	58248	40680	1260	1260
B5	72828	51588	1260	1260	70308	49068	71568	50328	1260	1260

補足

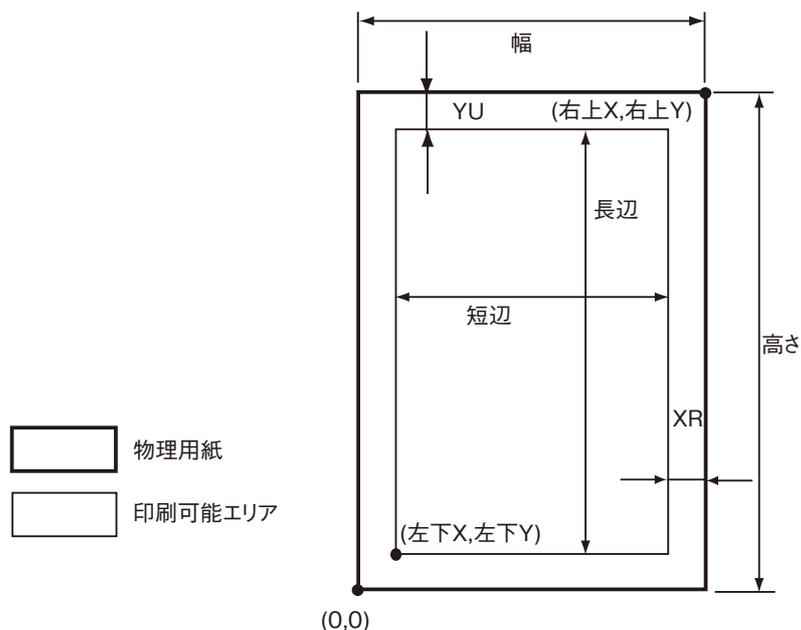
- HP-GL エミュレーションでサポートしている用紙サイズは、A5、A4、B5 の 3 種類です。



用紙 サイズ	用紙長 (1/7200 インチ)		座標値 (1/7200 インチ)							
	X 方向	Y 方向	マージン		印刷可能エリア		右上端		マージン	
	幅	高さ	左下 X	左下 Y	長辺	短辺	右上 X	右上 Y	XR	YU
A4	59508	84168	1260	1260	56988	81648	58248	82908	1260	1260
A5	41940	59508	1260	1260	39420	56988	40680	58248	1260	1260
B5	51588	72828	1260	1260	49068	70308	50328	71568	1260	1260

補足

- HP-GL エミュレーションでサポートしている用紙サイズは、A5、A4、B5 の 3 種類です。



## オートレイアウト

### ■ オートレイアウトとは

オートレイアウトとは、ホスト装置から入力された HP-GL データをもとに原稿サイズを判断し、描画する用紙サイズに合わせて拡大・縮小し、描画データが用紙の中央にくるようにレイアウトする機能のことです。オートスケール・オートレイアウト機能を使用することによって、原稿サイズ、原点位置などを意識することなく、HP-GL モードでプリントできます。

オートレイアウトの指定はすべて操作パネルで行います。拡張コマンドで設定することはできません。

### ■ オートレイアウト機能を有効にするためには

オートレイアウト機能を有効にするためには、操作パネルを使って次の項目の設定をします。

- 原稿サイズを「オート」に設定します。
- 原点位置を設定するために、オートレイアウトを「ON」に設定します。
- スケールを「ON」に設定します。
- エリア判定モードで、有効座標エリアを求める方法を選びます。
- ペーパーマージンでペーパーマージンを設定します。
- スケールモードを設定します。

### ■ 設定項目の詳細

#### ◆ 原稿サイズ

原稿サイズで「オート」を選ぶと、オートレイアウトの設定を「ON」にできるようになります。

#### ◆ オートレイアウト

オートレイアウトの設定を「ON」に設定します。「ON」に設定すると、スケール、エリア判定モード、ペーパーマージン、スケールモードの設定が有効になります。



「用紙サイズ」の場合

求めた有効座標エリアと原点位置の設定から、原稿サイズを設定します。原稿サイズは、A系列の用紙サイズ（A0、A1、A2、A3、A4、A5の6種類）から選択されます。

#### ■ 原稿サイズの決定方法

原稿サイズは、スケールモード、ペーパーマージン、エリア判定モードで求めた有効座標エリアをもとに、各用紙サイズの用紙ハードクリップエリアと比較し、決定されます。

##### ◆ スケールモードが用紙サイズの場合

- 1) エリア判定モードに従い、入力された HP-GL データから有効となる座標エリアを求めます。
- 2) 手順 1 で求めた有効となる座標エリアに対し、ページ内で指定された文字の大きさまたはデフォルトの文字の大きさ、または指定されたペン幅の 1/2 のどれか値の大きいほうをマージンとして加えます。
- 3) 手順 2 で求めた有効な座標エリアから、ペーパーマージンで設定された値を引きます。
- 4) 手順 3 で求めた有効な座標エリアを含む最小のサイズを原稿サイズとします。

##### ◆ スケールモードが有効座標エリアの場合

- 1) エリア判定モードに従い、入力された HP-GL データから有効となる座標エリアを求めます。
- 2) 手順 1 で求めた有効となる座標エリアに対し、ページ内で指定された文字の大きさまたはデフォルトの文字の大きさ、または指定されたペン幅の 1/2 のどれか値の大きいほうをマージンとして加えます。
- 3) 手順 2 で求めた有効な座標エリアから、ペーパーマージンで設定された値を引きます。
- 4) 手順 3 までの処理で求めた座標エリアを原稿サイズとします。

例：

スケールモード = 用紙サイズ、原点位置 = オート、ペーパーマージン 10 mm、エリア判定モード = IP の場合に下記データが入力された場合

ペン幅設定はすべて 0.1 mm

下記データでは文字サイズ指定コマンドは存在せず、IP, IW で指定しているエリアは A3 物理サイズ

IN;

IP-8399,-5938,8399,5938;

IW-8399,-5938,8399,5938;

PU;

SP1;

:

:

SPO;

1) エリア判定モードが IP のため IP コマンドで指定されたエリア -8399,-5938,8399,5938 を有効座標エリアとします。

2) 上記例では文字サイズ指定コマンドなし、ペン幅はすべて 0.1 mm のため A3 サイズのデフォルト文字サイズの高さ /2 (75 プロッタユニット) のサイズを手順 1 で求めた有効座標エリアに加えます。

手順 2 で求めた有効座標エリア -8474,-6013,8474,6013

3) ペーパーマージンで設定されている値 (10 mm=400 プロッタユニット) を手順 2 で求めた有効座標エリアから差し引きます。

手順 3 で求めた有効座標エリア -8074,-5613,8074,5613

4) 手順 3 で求めた有効座標エリアは A4 サイズを超え A3 サイズのため、原稿サイズは A3 と判断されます。

また、ペーパーマージンの設定が 0 mm だった場合の有効座標エリアは -8474,-6013,8474,6013 なので、A3 サイズを超え A2 サイズ以下のため、原稿サイズは A2 と判断されます。

## ■用紙サイズの決定方法

操作パネルの設定が次の場合、用紙サイズの決定方法は次のようになります。

- 原稿サイズ：オート
- 給紙トレイ：自動

用紙サイズの決定方法は、操作パネルの用紙サイズの設定、およびスケールモードの設定によって異なります。

### ◆用紙サイズの設定が「A サイズ」の場合

A4、A5 の 2 種類の中から実際にトレイにセットされている用紙サイズが、用紙サイズの候補となります。

A 系列 (A4、A5) の用紙がトレイにセットされていない場合は、A4 と A5 両方のサイズを候補とし、操作パネルには、A 系列の用紙のセットを促すエラーメッセージが表示されます。

### ◆用紙サイズの設定が「オート」の場合

A4、B5、A5 の 3 種類の中から実際にトレイにセットされている用紙サイズが、用紙サイズの候補となります。

A4、B5、A5 の用紙がトレイにセットされていない場合は、このすべてのサイズを候補とし、操作パネルには、用紙のセットを促すエラーメッセージが表示されます。

### ◆スケールモードの設定が「用紙サイズ」の場合

原稿サイズと同じ用紙サイズがある場合は、原稿サイズと同じサイズの用紙を選びます。

原稿サイズが、候補となったどの用紙サイズよりも大きい場合は、いちばん大きいサイズの用紙を選びます。

原稿サイズが、候補となったどの用紙サイズよりも小さい場合は、いちばん近いサイズの用紙を選びます。

### ◆スケールモードの設定が「有効座標エリア」の場合

有効座標エリアを含むいちばん小さい用紙サイズを選びます。

有効座標エリアが、候補となったどの用紙サイズよりも大きい場合は、いちばん大きいサイズの用紙を選びます。

有効座標エリアが、候補となったどの用紙サイズよりも小さい場合は、いちばん近いサイズの用紙を選びます。

#### 補足

- 原稿サイズが「オート」以外に設定されている場合、用紙サイズは操作パネルの [用紙サイズ] で設定されているサイズとなります。
- 給紙トレイが「自動」に設定されている場合、用紙サイズは各トレイにセットされている用紙サイズとなります。ただし、サポートされていないサイズの用紙がセットされていると、サポートしているサイズの用紙のセットを促すエラーメッセージが表示されます。

## ■倍率の決定方法

オートスケール実行時、スケーリングの倍率は原稿サイズおよび用紙サイズで決定しますが、スケールモードの設定によって異なります。

### 補足

- スケーリングを有効にするためには、操作パネルのスケールの設定を「ON」にします。「OFF」の場合は、等倍（100%）で描画されます。

### ◆原稿サイズが「オート」、スケールモードが「用紙サイズ」の場合

ハードクリップの設定は、無効になります。ハードクリップエリアは常に用紙ハードクリップエリアとなります。

- 原稿サイズ＝用紙サイズの場合は、等倍（100%）で描画します。
- 原稿サイズ＞用紙サイズの場合は、縮小して描画します。
- 原稿サイズ＜用紙サイズの場合は、等倍（100%）で描画します。

		用紙		
		A4	A5	B5
原稿	A0	25	100	100
	A1	35	25	31
	A2	50	35	43
	A3	71	50	61
	A4	100	71	87
	A5	100	100	100

描画位置は、原点位置がレイアウトの場合、原稿を用紙の中央に配置して描画します。

原点位置が左下または中央の場合、原稿、用紙それぞれの原点を合わせて描画します。

### ◆原稿サイズが「オート」、スケールモードが「有効座標エリア」の場合

ハードクリップの設定は、無効になります。ハードクリップエリアは常に拡張ハードクリップエリアとなります。

倍率は、有効座標エリアと用紙サイズによって決定します。各用紙サイズの有効座標範囲は次のとおりです。

単位：プロッターユニット

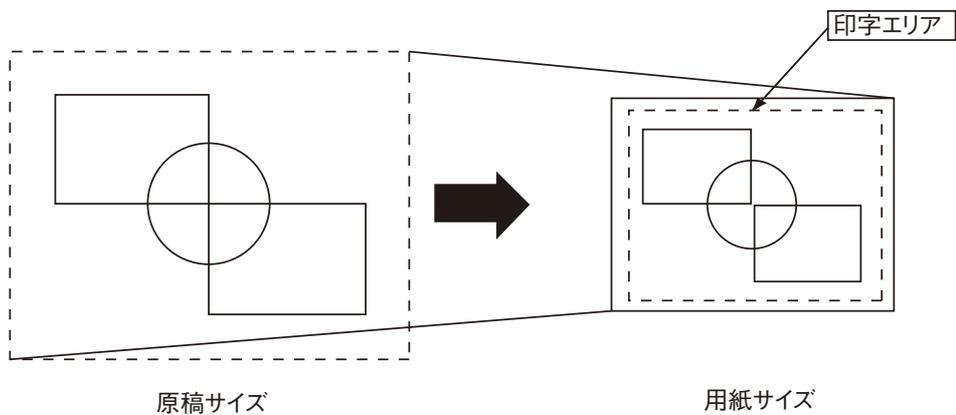
用紙 サイズ	0度				90度			
	最小値		最大値		最小値		最大値	
	P2x - P1x	P2y - P1y						
A4	5485	3828	51200	35733	3828	5485	35733	51200
A5	3828	2648	35733	24720	2648	3828	44088	35733
B5	4723	3297	44088	30773	3297	4723	30773	44088

倍率の最大値は、各用紙サイズの拡張ハードクリップエリアの210.0%、倍率の最小値は、22.5%となります。

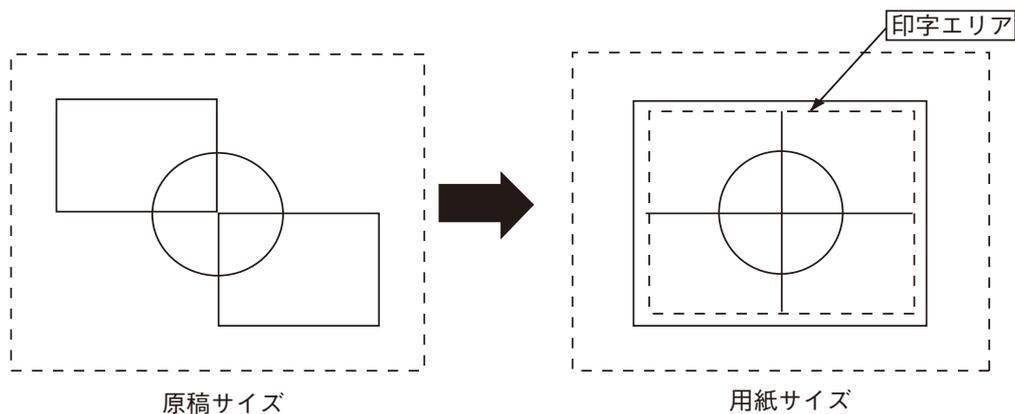
### ■各機能組み合わせ例

次に各機能の組み合わせによって、どのような印刷結果となるか例を記載します。

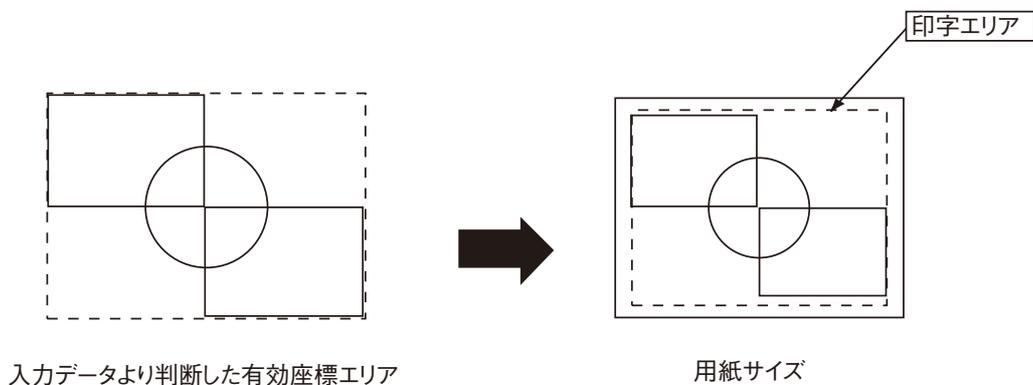
◆原稿：自動、座標原点：0°、スケールモード：用紙サイズ、スケール：ON



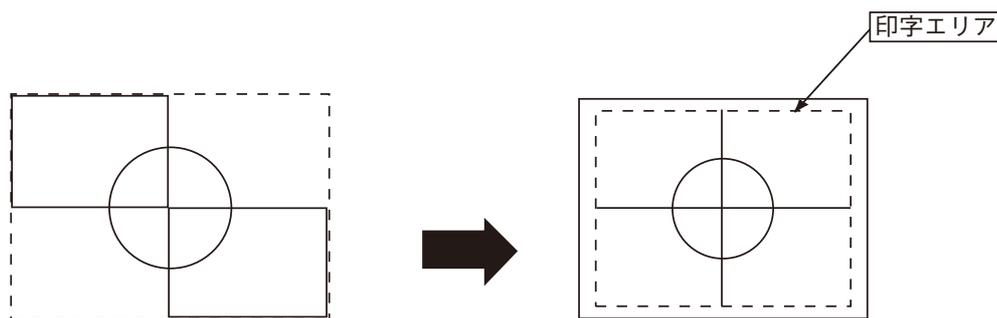
◆原稿：自動、座標原点：0°、スケールモード：用紙サイズ、スケール：OFF



◆原稿：自動、座標原点：0°、スケールモード：有効座標エリア、スケール：ON



◆原稿：自動、座標原点：0°、スケールモード：有効座標エリア、スケール：OFF



入力データより判断した有効座標エリア

用紙サイズ

## HP-GL/2 に関連する設定メニュー

### ■ [ポート設定]

[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100/WSD)

エミュレーションモードで使用するポートを起動します。

- [USB- プリントモード指定]

USB ポートのプリントモード指定を、HP-GL/2 エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [HP-GL/2] を指定できます。

#### 補足

- [USB- プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [HP-GL/2] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.338) で説明している「自動切り替え」は行われません。
- CentreWare Internet Services を使って、プロトコル (LPD、IPP、Port9100、WSD) ごとにプリントモードを指定することもできます。

### ■ [メモリー設定]

[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [メモリー設定] で、HP-GL/2 のオートレイアウトメモリーで使用するメモリー容量を指定します。

- [HP-GL/2 オートレイアウト用メモリー]

オートレイアウト実行時、プリントデータを格納するメモリーの容量を設定できます。

## HP-GL/2 設定項目一覧

モードメニューで設定できる項目について、基本設定項目と拡張設定項目に分けて説明します。

## 基本設定項目

設定項目	項目番号	設定値
原稿サイズ	101	<p>【0】：A0  【1】：A1  【2】：A2  【3】：A3  【4】：A4  【5】：A5  【10】：B0  【11】：B1  【12】：B2  【13】：B3  【14】：B4  【15】：B5  【99】（初期値）：オート  【100】：用紙  「オート」に設定すると、「印字制御」のスケールモード、エリア判定モード、ペーパーマージンの設定が有効になります。</p> <p><b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「オート」以外に設定すると、拡張設定項目の「オートレイアウト」の設定は「しない」になります。</li> <li>「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせによって、原稿は等倍でプリントされます。</li> </ul>
用紙サイズ	102	<p>「給紙トレイ」の設定が「自動」、または「トレイ 5（手差し）」の場合の用紙サイズを設定します。また、設定できる用紙はカット紙だけです。</p> <p>【4】：A4  【5】：A5  【15】：B5  【99】：オート  【101】（初期値）：A サイズ</p> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「給紙トレイ」を「トレイ 1」～「トレイ 4」のどれかに設定しているときには、「用紙サイズ」の設定はできません。設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。</li> </ul> <p><b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「A サイズ」または「オート」に設定した場合は、次のように設定されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「原稿サイズ」を「オート」以外に設定すると、「A4」になります。</li> </ul> </li> <li>「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせによって、倍率符号が「？」となることがあります。この場合、原稿は等倍でプリントされます。</li> </ul>
給紙トレイ	103	<p>【0】（初期値）：自動  【1】：トレイ 1  【2】：トレイ 2  【3】：トレイ 3  【4】：トレイ 4  【5】：トレイ 5（手差し）</p> <p><b>補足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「自動」に設定した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイ 1 → トレイ 2 → トレイ 3 → トレイ 4 の順に給紙されます。また、同じサイズの用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、よこにセットされている用紙が優先されます。</li> </ul>
座標回転	104	<p>【0】（初期値）：0 度  【1】：90 度</p>
カラーモード	105	<p>【0】（初期値）：カラー  【1】（初期値）：グレースケール  【2】：黒ペン</p>

## 拡張設定項目

設定項目	項目番号	設定値
オートレイアウト	106	オートレイアウトを使用するかしないかを設定します。 【0】(初期値) : ON 【1】 : OFF
パレット優先指定	107	優先して使用するパレットを設定します。 【0】(初期値) : コマンド 【1】 : パネル
プリント部数	108	【1】 ~ 【250】(初期値 : 1) : 1 ~ 250 枚  注記 • コンピュータからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、lpd ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。
両面	110	【0】(初期値) : なし 【1】 : 左右開き 【2】 : 上下開き
フォント	111 (漢字書体)	2 バイト系文字 (漢字) の書体を設定します。なお、2 バイト系半角文字もこの書体が適用されます。  参照 • フォントについては「使用できるフォント」(P.339) を参照してください。 【0】(初期値) : ストローク 【1】 : 明朝 【2】 : ゴシック
	112 (英数字書体)	1 バイト系文字 (ANK) の書体を設定します。  参照 • フォントについては「使用できるフォント」(P.339) を参照してください。 【0】(初期値) : ストローク 【1】 : ローマン 【2】 : サンセリフ
位置補正	113 (縦位置補正) 114 (横位置補正)	ハードクリップエリアをたてまたはよこ方向に移動させる機能です。-250 ~ 250 mm まで 1 mm 単位で設定できます。 【0】(初期値) : しない 【1】 ~ 【250】 : -250 ~ -1 mm 【251】 ~ 【500】 : +1 ~ +250 mm  注記 • 印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
有効出力部数	115	プリント部数の指定方法を設定します。 【0】(初期値) : プロトコル指定 【1】 : パネル 【2】 : コマンド
印字制御	150 (HP-GL モード)	グラフィックス言語の変更ができます。この設定は、HP-GL コマンドの IW、OW、UC コマンドに影響します。 【0】(初期値) : HP-GL 【1】 : HP-GL/2  補足 • BP コマンドを含まない HP-GL/2 コマンドを印字する場合は「HP-GL/2」に設定してください。

設定項目	項目番号	設定値
印字制御	151 (ハードクリップ)	ハードクリップエリアの大きさを設定します。 HP-GL モードでは、用紙によって作画可能な領域が決まっています。この領域はハードクリップエリアと呼ばれ、ペンが移動する最大範囲を決定します。したがって、ハードクリップエリアを超えて描画することはできません。 【0】：標準 【2】（初期値）：用紙
	152 (排出コマンド (SP))	描画の終了を示すコマンドを設定します。ここで指定したコマンドを受信すると描画を終了し、用紙が排出されます。 【0】：OFF 【1】：ON 初期値は、SP0 は「ON」、SP0 以外のコマンドは「OFF」に設定されています。 <b>補足</b> • 複数のコマンドが指定された場合は、どれか1つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。
	153 (排出コマンド (SP0))	
	154 (排出コマンド (NR))	
	155 (排出コマンド (FR))	
	156 (排出コマンド (PG))	
	157 (排出コマンド (AF))	
	158 (排出コマンド (AH))	
	159 (スケール)	
	160 (スケールモード)	オートスケール実行時の原稿サイズを、A 系列の用紙サイズ（A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類）とするか、エリア判定モードで指定された方法によって求められた有効座標エリアとするかを設定します。 【0】（初期値）：用紙サイズ 【1】：有効座標エリア <b>補足</b> • 「有効座標エリア」は、「オートレイアウト」が「ON」の場合だけ設定できます。「OFF」の場合は、「用紙サイズ」になります。 • スケールモードの設定は、「原稿サイズ」が「オート」の場合に有効になります。
161 (エリア判定コマンド)	オートスケール実行時、有効座標エリアを求める方法を設定します。 【0】（初期値）：Auto 【1】：PS 【2】：IW 【3】：IP 【4】：Adapted <b>補足</b> • エリア判定コマンドの設定は、「原稿サイズ」が「オート」の場合に有効になります。	

設定項目	項目番号	設定値
印字制御	162 (ペーパーマージン)	オートスケール実行時のペーパーマージンを設定します。 【0】～【99】(初期値：0)：0～99 mm  補足 ・ペーパーマージンの設定は、「原稿サイズ」が「オート」の場合に有効になります。
	163 (イメージエンハンス)	イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。 イメージエンハンスとは、画像の境界を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。 【0】：OFF 【1】(初期値)：ON
トレイ5確認表示	165	【0】：なし 【1】(初期値)：あり
対象機	169	エミュレーションする対象機を設定します。 【0】(初期値)：HP750 【1】：FX4036
ペン属性	800～815 (幅)	16本のペン(No.00～No.15)の幅(太さ)を設定します。ペンの幅は、0.0～25.5 mmの範囲で、0.1 mm刻みに設定できます。No.00の項目番号が800です。 【0】～【255】(初期値：3)：0～25.5 mm  補足 ・「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も最小0.1 mmまで縮小します。 ・線の幅は線の中心から太くなります。 ・太さが0.0 mmの場合は、何も描画されません。 ・本項目は、書体がストローク以外の文字には無効です。
	850～865 (ペン終端形状)	16本のペン(No.00～No.15)の先端を設定します。No.00の項目番号が850です。 【0】(初期値)：切断 【1】：丸め 【2】：矩形 「切断」(初期値) ●：座標指定位置 「丸め」 ●：座標指定位置 「矩形」 ●：座標指定位置  補足 ・本項目は、書体がストローク以外の文字には無効です。

設定項目	項目番号	設定値
ペン属性	900～915 (ペン接続形状)	<p>16本のペン (No.00～No.15) の、ペンの線を接続した場合の処理を設定します。No.00の項目番号が900です。</p> <p>【0】(初期値)：なし  【1】：交差  【2】：丸め  【3】：切断  「なし」(初期値)</p>  <p>「交差」</p>  <p>「丸め」</p>  <p>「切断」</p>  <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「なし」は、処理時間がもっとも短く、確認用に適しています。</li> <li>• シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定するHPGLコマンドです。</li> <li>• 本項目は、文字には無効です。</li> </ul>
	950～965 (ペンカラー)	<p>16本のペン (No.00～No.15) の色を設定します。0～255の範囲で設定します。No.00～No.15の初期値は、それぞれ0、1、2、3、4、5、6、7、8、12、19、27、35、68、100、110になります。No.00の項目番号が950です。</p> <p>【0】～【255】：0～255 (カラー)</p>

# PDF ダイレクトプリントを使用するには

PDF ダイレクトプリントとは、PDF ファイルをプリンタードライバーを使わずに、直接 lpr コマンドなどを使ってプリントする機能です。PDF ダイレクトプリントを使ってプリントする場合、次の項目は [プリンターモード] の [PDF エミュレーション設定] の設定に従ってプリントされます。

- 出力部数
- 両面
- 印刷モード
- ソート
- レイアウト
- 用紙サイズ
- カラーモード
- プリント処理モード

## 補足

- PDFファイルのダイレクトプリント機能は、Adobe純正のPDFダイレクトプリントとPostScript非搭載のPDFダイレクトプリント (PDF Bridge) の2種類が可能です。どちらを優先するかは、「プリント処理モード」で設定できます。
- lpr コマンドを使ってプリントする場合、[PDF エミュレーション設定] の「出力部数」の設定は無効になります。部数を指定するときは、lpr コマンドで行ってください。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1部として処理されます。
- lprコマンドを使ってPDFファイルをプリントする場合は、操作パネルまたはCentreWare Internet Services を使って、本体側の LPD ポートを起動しておく必要があります。

## モードメニュー画面

PDF ダイレクトプリント機能固有の項目を設定する画面です。モードメニュー画面を表示するには、ホーム画面で [プリンターモード] をタップし、[PDF エミュレーション設定] を選んでください。

### [詳細確認 / 変更]

PDF ダイレクトプリント機能の項目番号に設定されている値を確認 / 変更します。

- [項目番号] に機能の項目番号を入力すると現在の設定値を表示できます。
- 設定値を変更するには、[変更値] に変更する値を入力し、[決定] をタップします。

### [パスワード]

ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントするファイルと、設定したパスワードが一致した場合にだけプリントできます。

## PDF ダイレクトプリント機能の設定項目

PDF ダイレクトプリント機能で設定できる項目について、説明します。

「ContentsBridge」を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合は、ここでの設定が有効になります。

### 補足

- ContentsBridge Utility を使用して PDF ファイルをプリントする場合は、メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『メディア情報』を参照してください。

設定項目	項目番号	設定値
出力部数	401	[1 ~ 999] (初期値: 1) : 1 ~ 999 枚
両面	402	[0] (初期値) : しない [1] : 長辺とじ [2] : 短辺とじ

設定項目	項目番号	設定値
印刷モード	403	<p>【0】（初期値）：標準  【1】：高速  【2】：高画質</p>
ソート	404	<p>【0】（初期値）：しない  【1】：する</p>
レイアウト	405	<p>補足  • この項目は、「プリント処理モード」で「PDF Bridge」に設定した場合だけ、設定が有効になります。</p> <p>【0】（初期値）：自動倍率  【1】：カタログ（製本）  【2】：2 アップ  【3】：4 アップ  【4】：100%（等倍）</p>
用紙サイズ	406	<p>【0】（初期値）：自動  【1】：A4</p>
カラーモード	407	<p>【0】（初期値）：自動  【1】：白黒</p>
プリント処理モード	408	<p>PDF エミュレーション機能を使用するとき、プリント処理をするモードを指定します。</p> <p>【0】（初期値）：PDF Bridge  【1】：PS</p> <p>PDF Bridge は、PDF を弊社製の PDF エミュレーション機能を使用して処理します。  PS は、PDF を Adobe 社製の PostScript の機能を使用して処理します。</p> <p>補足  • この項目は、Adobe PostScript キット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。  • 「PDF Bridge」に設定した場合と「PS」に設定した場合は、プリント結果が異なることがあります。  • 「PS」に設定した場合は、「レイアウト」での設定は無効になります。</p>

# DocuWorks ダイレクトプリントを使用するには

DocuWorks ダイレクトプリントとは、DocuWorks ファイルをプリンタードライバーを使わないで、直接 lpr コマンドなどを使ってプリントする機能です。DocuWorks ダイレクトプリントを使ってプリントする場合、次の項目は [プリンターモード] の [DocuWorks プリント設定] の設定に従ってプリントされます。

- 出力部数
- 両面
- 印刷モード
- ソート
- レイアウト
- 用紙サイズ
- カラーモード

## 注記

- DocuWorks文書をダイレクトプリント方式でプリントすると、デバイスフォントに置き換わってプリントされます。DocuWorks 文書をコンピューター上で表示した場合やプリンタードライバー経由でプリントした場合は、フォントの違いなどから見栄えが異なりますので注意が必要です。
- DocuWorks Desk Ver.7.0 と ContentsBridge の組み合わせの場合だけ、コンピューターの画面表示どおりのフォントでプリントされます。

## 補足

- lpr コマンドを使ってプリントする場合、[DocuWorks プリント設定] の「出力部数」の設定は無効になります。部数を指定するときは、lpr コマンドで行ってください。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。
- lpr コマンドを使って DocuWorks ファイルをプリントする場合は、操作パネルまたは CentreWare Internet Services を使って、本体側の LPD ポートを起動しておく必要があります。

## モードメニュー画面

DocuWorks ダイレクトプリント機能固有の項目を設定する画面です。モードメニュー画面を表示するには、ホーム画面で [プリンターモード] をタップし、[DocuWorks プリント設定] を選んでください。

### [詳細確認 / 変更]

DocuWorks ダイレクトプリント機能の項目番号に設定されている値を確認 / 変更します。

- [項目番号] に機能の項目番号を入力すると現在の設定値を表示できます。
- 設定値を変更するには、[変更値] に変更する値を入力し、[決定] をタップします。

### [パスワード]

ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントするファイルと、設定したパスワードが一致した場合にだけプリントできます。

## DocuWorks ダイレクトプリント機能の設定項目

DocuWorks ダイレクトプリント機能で設定できる項目について、説明します。

「ContentsBridge」を使用しないで DocuWorks ファイルをプリントする場合は、ここでの設定が有効になります。

### 補足

- ContentsBridge Utility を使用して DocuWorks ファイルをプリントする場合は、メディア(ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『メディア情報』を参照してください。

設定項目	項目番号	設定値
出力部数	501	【1～999】（初期値：1）：1～999 枚
両面	502	【0】（初期値）：しない 【1】：長辺とじ 【2】：短辺とじ
印刷モード	503	【0】（初期値）：標準 【1】：高速 【2】：高画質
ソート	504	【0】（初期値）：しない 【1】：する
レイアウト	505	【0】（初期値）：自動倍率 【2】：2 アップ 【3】：4 アップ 【4】：100%（等倍）
用紙サイズ	506	【0】（初期値）：自動 【1】：A4
カラーモード	507	【0】（初期値）：自動 【2】：白黒

## 本機のファームウェアを更新する

弊社公式サイトでは、本機のファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）を、お使いのコンピューターから更新できるツールを提供しています。最新のファームウェアおよび更新ツールは、次の URL からダウンロードできます。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/>

表示されるサイト上の指示に従って、必要なファームウェアや更新ツールをダウンロードしてください。

### 補足

- 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

